

神戸市
子どもの生活状況に関する実態調査
報告書

令和4年3月

大阪府立大学

目次

はじめに	1
1 調査概要	2
1.1. 調査の目的	3
1.2. 調査対象者	3
1.3. 調査実施日	3
1.4. 調査方法	3
1.5. 調査内容	3
1.6. 対象者数・回収数	5
1.7. 調査実施主体	5
1.8. データの取り扱い	5
1.9. 本報告書を読む際の留意点	6
1.10. 変数の説明	6
2 調査結果	9
2.1. 回答者の属性	10
2.1.1. 子ども	10
2.1.2. 保護者	12
2.2. 単純集計	16
2.2.1. 経済状況	16
2.2.2. 生活環境	35
2.2.3. 教育環境	61
2.2.4. 社会環境	78
2.3. クロス集計	99
2.3.1. 経済状況	99
2.3.2. 家庭状況（制度等）	121
2.3.3. 雇用	143
2.3.4. 健康	154
2.3.5. 家庭生活、学習	180
2.3.6. 対人関係	214
3 課題と方向性	255
3.1. 経済的資本の欠如	256
3.2. ヒューマンキャピタルの欠如	259
3.3. ソーシャルキャピタルの欠如	263
3.4. まとめ	266
4 資料編	272

4. 1.	単純集計表	273
4. 2.	クロス集計表（報告書本文非掲載分）	315
4. 3.	調査票	352

はじめに

令和元年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が改正され、市町村における子どもの貧困対策についての計画策定が努力義務化されるとともに、改正時の国会決議において「子どもの貧困に関する調査が全国的に実施されるよう努めること」とされた。

これを受け、内閣府において、令和2年3月に「令和元年度 子供の貧困実態調査に関する研究 報告書」が作成され、自治体が子供の貧困実態調査を実施する際に参考となるよう「共通調査項目案」が示されるとともに、令和3年には、これらの共通調査項目等を用いた、全国を調査地域とする「子供の生活状況調査」が実施され、その結果が令和3年12月に公表されたところである。

このような中、神戸市は、令和3年9月、すべての子どもたちが未来に夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指すため、子どもの生活実態や家庭の状況を把握し、子どもへの効果的な支援の在り方や、支援を必要とする子どもや家庭に対して確実に支援が届くような方策や仕組みを検証・検討していくことを目的として、「神戸市子どもの生活状況に関する実態調査」を実施した。

本調査の実施にあたっては、「令和元年度 子供の貧困実態調査に関する研究 報告書」を踏まえつつ、調査業務受託者である大阪府立大学が過去に実施した「大阪府子どもの生活に関する実態調査（平成28年度）」、「平成30年度沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート調査」、「令和2年度厚生労働行政推進調査事業（厚生労働科学特別研究事業）コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査」の調査内容と実施手順を参考にしている。また、調査結果の集計については、大阪府立大学の先行研究に加えて、令和3年12月に内閣府から公表された「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」を参考にしている。

なお、本調査の分析にあたっては、子どもの貧困に関するタウンゼントの定義を元にチャイルド・ポバティ・アクション・グループ（CPAG：Child Poverty Action Group）が示している、①所得や資産など経済的資本（Capital）の欠如、②健康や教育など人的資本（Human Capital：ヒューマンキャピタル）の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本（Social Capital：ソーシャルキャピタル）の欠如からなる3つの資本の欠如・欠落を基本的な枠組みとしている。

1 調査概要

1.1. 調査の目的

本調査では、神戸市の子どもの生活状況について実態調査を実施するとともに、調査結果を分析し、子どもへの効果的な支援の在り方や、支援を必要とする子どもや家庭に対して確実に支援が届くような方策や仕組みを検証・検討していくことを目的とする。

1.2. 調査対象者

神戸市立学校小学5年生の児童とその保護者

中学2年生の生徒とその保護者

(対象学校数)

小学校 163校 (義務教育学校含む)、分校 1校

中学校 82校 (義務教育学校含む)、分校 1校

特別支援学校 5校

1.3. 調査実施日

令和3年9月1日～17日

1.4. 調査方法

本調査では、調査対象者(子ども)の所属する学校において調査票の配布及び回収を行った。

- (1) 子どもの所属する学校で、子ども用調査票(以下、「子ども票」という)と保護者用調査票(以下、「保護者票」という)を配布。
- (2) 自宅で子どもと保護者がそれぞれ調査票に記入。
- (3) 記入した子ども票・保護者票をそれぞれ別の封筒に封緘した後、さらに1つの封筒にまとめ、子どもが学校に提出。
- (4) 学校は回収した封筒を開封することなく、そのまま神戸市役所に発送。

1.5. 調査内容

調査内容は、内閣府の「令和元年度 子供の貧困実態調査に関する研究 報告書」において共通して調査することが望ましいとされている項目を基本とし、別途、神戸市の独自項目として、家族でケアが必要な人の状況等を把握するための項目などを設定している。

(1) 調査項目数

子ども票：小学5年生用 23問

中学2年生用 25問

保護者票：30問

(2) 調査項目

子ども票と保護者票の調査項目は次のとおりである。調査票は日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ベトナム語も用意し、神戸市のホームページに掲載している。

○子ども票 ※下線は神戸市独自項目である。

1 本人の性別	10 部活動等を行わない理由	20 <u>子どものはく奪指標</u>
2 学習環境	11 <u>家族へのケア</u>	(持っているものや使う
3 学習習慣	12 食事の頻度	ことができるもの)
4 学習成績	13 就寝時間の規則性	21 <u>放課後過ごす場所</u>
5 授業の理解度	14 <u>遅刻の状況</u>	22 <u>放課後ともに過ごす</u>
6 授業についていけなくな	15 信頼できる大人・友人	人
った時期	16 主観的幸福(生活満足度)	23 <u>コロナで困っている</u>
7 進学希望	17 <u>自覚症状のある健康状態</u>	こと
8 想定する進学先の理由	18 支援の利用状況	24 <u>まわりの人との関係</u>
9 部活動等の状況	19 支援の効果	25 <u>この一週間の気持ち</u>

※「9 部活動等の状況」と「10 部活動等を行わない理由」は、中学2年生のみの質問項目である。

○保護者票 ※下線は神戸市独自項目である。

1 <u>年齢と性別</u>	12 幼児期の教育	23 支援の利用状況
2 回答者の続柄	13 保護者の関わり方	24 <u>居住形態</u>
3 居住区	14 学校行事への参加	25 <u>コロナの仕事への影響</u>
4 世帯人数	15 進学の見通し	と負担
5 家族構成	16 想定する進学先の理由	26 <u>コロナで利用した制度</u>
6 親の婚姻状況	17 <u>子どもの通学状況</u>	27 精神状態
7 ひとり親の養育費受取	18 保護者の頼れる相手	28 <u>健康状態</u>
状況	19 暮らし向き(主観)	29 <u>家族の状況</u>
8 家族で使用している言	20 世帯収入	30 <u>子どもの障害の状況</u>
語	21 滞納・欠乏経験	
9 親の学歴	22 <u>親から見た子どものはく</u>	
10 親の雇用形態	<u>奪指標(経済的理由で子ども</u>	
11 就労していない理由	<u>にできなかったこと)</u>	

1.6. 対象者数・回収数

調査対象者	対象者数 ^{※1}	回収数 ^{※2}	回収率
小学5年生	12,832	10,862	84.6%
小学5年生の保護者	12,832	10,800	84.2%
中学2年生	11,368	9,324	82.0%
中学2年生の保護者	11,368	9,255	81.4%
小学5年生・中学2年生合計	24,200	20,186	83.4%
小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	24,200	20,055	82.9%

※1 対象者数は令和3年5月1日現在の児童生徒数

※2 回収数は学年不明分を除く

1.7. 調査実施主体

神戸市

(調査業務受託者)

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野則子研究室

担当者：教授 山野 則子（業務責任者）

特認准教授 伊藤 ゆかり（主担当者）

研究員 伊藤 莉央

黄 健育

林 萍萍

楊 倩倩

1.8. データの取り扱い

本調査実施に係る委託業務としてのデータの集計・分析調査に関する研究は、大阪府立大学人間社会システム科学研究科研究倫理委員会の研究倫理審査の承認を令和3年8月に受けている（承認番号2021(1)-13）。調査データの取り扱いについては、研究倫理に基づいた下記の取り扱いをする。

- ・ 調査に携わった研究者（担当者と研究補助者）は、本調査業務に関して得た個人情報を外部に漏れないように厳重に保管する。
- ・ 調査において個別的な事案が見られる場合には、個人・地域等が特定可能な情報を匿名化、記号化、又は当該部分の削除を行う。また本研究により知り得た情報を基に、報告書等において個人が特定可能な記述等は行わない。
- ・ 委託契約書等の関連書類、同意書、調査・分析によって得られた研究データの保存期

間は、業務責任者が所属機関のガイドライン「人間社会システム科学研究科データの保存に関するガイドライン」に従い、原則本研究に関する最後の研究発表後 10 年とし、研究室内でのみ保管する。

1.9. 本報告書を読む際の留意点

- ・ 図表内の「n=○」はその設問の有効回答数を示している。
- ・ 回答の比率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、単一回答の数値の合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 回答の比率 (%) は、その項目の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の比率を合計すると 100%を超える場合がある。
- ・ 以下の場合、データを「無回答」として集計している。
 - 保護者の年齢が 16 歳未満となっている場合
 - 家族の人数が 0 人となっている場合
 - 世帯人数と家族構成に不整合が見られる場合
 - 単一回答に複数回答を記載している場合
 - 「あてはまらない」と同時に他の回答をしている場合
- ・ 以下の場合、データを無効として処理し、集計していない。
 - 中学 2 年生の設問に小学 5 年生が回答している場合
 - 小学 5 年生の設問に中学 2 年生が回答している場合
 - クロス集計において、保護者データと子どもデータの紐づけができない場合

1.10. 変数の説明

集計に際して、設問のデータの解釈を助けるために変数を作成している。変数の一覧は次のとおりである。

(1) 子ども票

- この一週間の気持ち (子ども票問 25)
 - この一週間の気持ち (子どもの心理状態) については、Birlleson (1981) 「Birlleson 自己記入式抑うつ評価尺度 (DSRS-C)」を用いている。この指標は、首都大学東京子ども・若者貧困研究センター (2017) 「東京都子供の生活実態調査報告書」においても用いられている。この指標を用いた調査には他に山口 (2012)、周防 (2016) がある。
 - 先行文献を参考に、選択肢に応じてそれぞれ 0~2 点で指標化し、その合計が 16 点以上であった場合、抑うつ傾向があるとする。
 1. 抑うつ傾向なし : 16 点未満
 2. 抑うつ傾向あり : 16 点以上
 3. 無回答

(2) 保護者票

● 困窮度基準

困窮度基準については、本調査から算出した等価世帯収入を基に、以下の基準でグループ分けをする。(詳細は、後述 2.2.1. <等価世帯収入と困窮度基準>を参照)

1. 困窮度 1 : (中央値の 50%未満) 162.5 万円未満
2. 困窮度 2 : (中央値の 50%以上中央値未満) 162.5 万円以上 325 万円未満
3. 中央値以上 : (中央値以上) 325 万円以上

● 滞納・欠乏経験区分 (保護者票問 21)

滞納・欠乏経験区分については、「大阪府子どもの生活に関する実態調査 (平成 28 年度)」の設問を参考に作成している。山野 (2019)「子どもの貧困調査 子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの」(表 5-2-4 潜在変数の説明 p. 108) を参考に区分けをする。

1. 0 個該当 : 問 21 で「22 どれもあてはまらない」を選んでいる
2. 1 個該当 : 問 21 で 1~21 の中で 1 個該当
3. 2 個該当 : 問 21 で 1~21 の中で 2 個該当
4. 3 個該当 : 問 21 で 1~21 の中で 3 個該当
5. 4 個以上 : 問 21 で 1~21 の中で 4 個以上該当
6. 無回答

● 親から見た子どものはく奪指標区分 (保護者票問 22)

親から見た子どものはく奪指標区分については、「大阪府子どもの生活に関する実態調査 (平成 28 年度)」の設問を参考に作成している。山野 (2019)「子どもの貧困調査 子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの」(表 5-2-4 潜在変数の説明 p. 108) を参考に区分けをする。

1. 0 個該当 : 問 22 で「15 どれもあてはまらない」を選んでいる
2. 1 個該当 : 問 22 で 1~14 の中で 1 個該当
3. 2 個該当 : 問 22 で 1~14 の中で 2 個該当
4. 3 個該当 : 問 22 で 1~14 の中で 3 個該当
5. 4 個以上 : 問 22 で 1~14 の中で 4 個以上該当
6. 無回答

● 精神状態 (保護者票問 27)

精神状態については、K6 という尺度を用いている。K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す

指標として広く利用されている（厚生労働省の国民生活基礎調査「こころの状態」の解説）。

点数化は、5段階（「まったくない」（0点）、「少しだけ」（1点）、「ときどき」（2点）、「たいてい」（3点）、「いつも」（4点））とする。合計点数によってそれぞれ下記のとおりに分けをする。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 抑うつ傾向なし | : 4点以下 |
| 2. 心理的ストレス反応相当 | : 5点～9点 |
| 3. 気分・不安障害相当 | : 10点～12点 |
| 4. うつ・不安障害相当 | : 13点以上 |
| 5. 無回答 | |

参考文献

Birleson, P., (1981) “The validity of depressive disorder in childhood and the development of a self-rating scale,” *Journal of Child Psychiatry*, 22, pp. 47-53.

厚生労働省「国民生活基礎調査」 「用語の解説 2019（大規模調査）」

(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-yougo_2019.pdf)

首都大学東京子ども・若者貧困研究センター（2017）「東京都子供の生活実態調査報告書」

(<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/joho/soshiki/syoushi/syoushi/oshirase/kodomoseikatsujittaityousakekka.html>)

周防美智子（2016）「小学生の問題行動と抑うつ状態の関連」 「岡山県立大学保健福祉学部紀要」 23, pp. 41-51

山口祐子（2012）「スクールカウンセリング活動におけるうつ状態を有する中学生への予防的支援：抑うつ尺度(DSRS-C)の教師へのフィードバック面接を中心に」 「九州大学心理学研究」 13, pp. 117-123, 九州大学大学院人間環境学研究院

山野則子（2019）「子どもの貧困調査 子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの」 明石書店

2 調査結果

2.1. 回答者の属性

2.1.1. 子ども

1. 学年

有効サンプル 20,186 名のうち、「小学 5 年生」が 10,862 名で 53.8%、「中学 2 年生」が 9,324 名で 46.2%である。

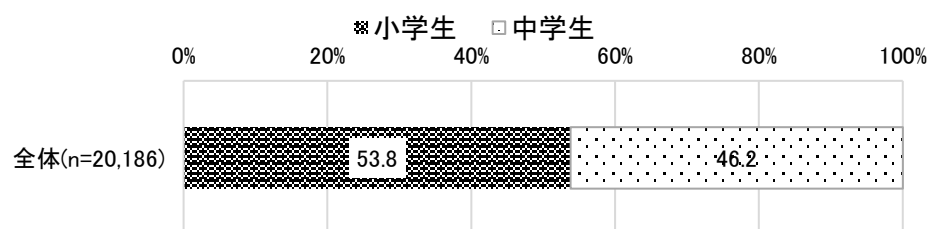


図 2-1-1-1 学年

2. 本人の性別

子ども票問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「男」が48.7%、「女」が49.2%、「その他」が0.2%、「答えたくない」が1.2%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「男」が48.5%、「女」が49.9%、「その他」が0.1%、「答えたくない」が0.9%、「無回答」が0.5%である。

中学2年生では、「男」が49.0%、「女」が48.4%、「その他」が0.4%、「答えたくない」が1.5%、「無回答」が0.6%である。

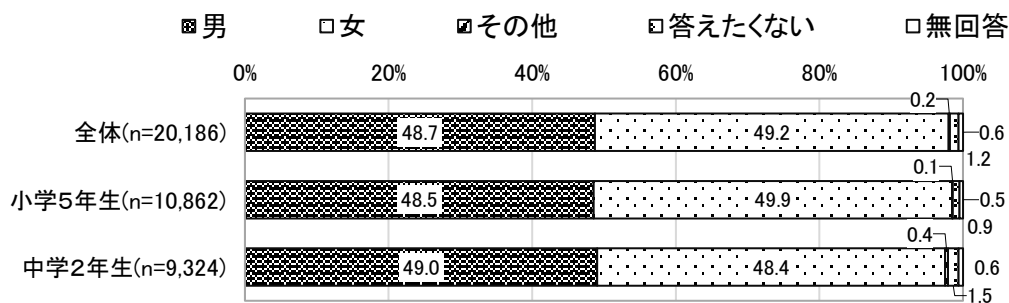


図 2-1-1-2 本人の性別

2.1.2. 保護者

1. 年齢と性別

保護者票問1 あなたの年齢と性別を教えてください。

a) 年齢

保護者全体では、20代が0.3%、30代が19.6%、40代が62.4%、50代が9.8%、60代以上が0.3%、無回答が7.5%である。また、保護者の年齢の平均値は43.4歳である。

小学5年生の保護者では、20代が0.5%、30代が25.3%、40代が60.4%、50代が6.4%、60代以上が0.3%、無回答が7.1%である。また、平均値は42.3歳である

中学2年生の保護者では、20代が0.1%、30代が12.9%、40代が64.8%、50代が13.8%、60代以上が0.4%、無回答が7.9%である。また、平均値は44.7歳である。

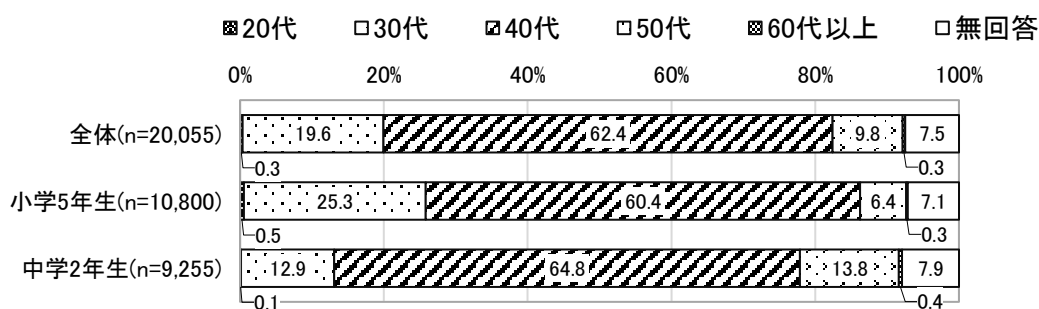


図 2-1-2-1-1 年齢

b) 性別

保護者全体では、「男」が8.9%、「女」が90.3%、「その他」が0.0%、「答えたくない」が0.4%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「男」が9.3%、「女」が90.0%、「その他」が0.0%、「答えたくない」が0.3%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「男」が8.4%、「女」が90.7%、「その他」が0.1%、「答えたくない」が0.4%、「無回答」が0.4%である。

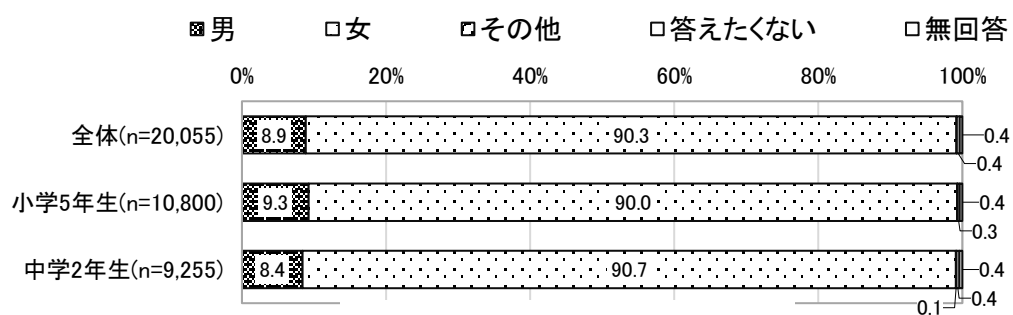


図 2-1-2-1-2 性別

2. 回答者の続柄

保護者票問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※この調査で「お子さん」とは調査対象となる小学5年生/中学2年生のお子さんのことをいいます。

保護者全体では、「母親(継母を含む)」が92.1%、「父親(継父を含む)」が6.9%、「祖父母」が0.2%、「その他」が0.3%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「母親(継母を含む)」が91.8%、「父親(継父を含む)」が7.4%、「祖父母」が0.2%、「その他」が0.3%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「母親(継母を含む)」が92.5%、「父親(継父を含む)」が6.4%、「祖父母」が0.3%、「その他」が0.4%、「無回答」が0.4%である。

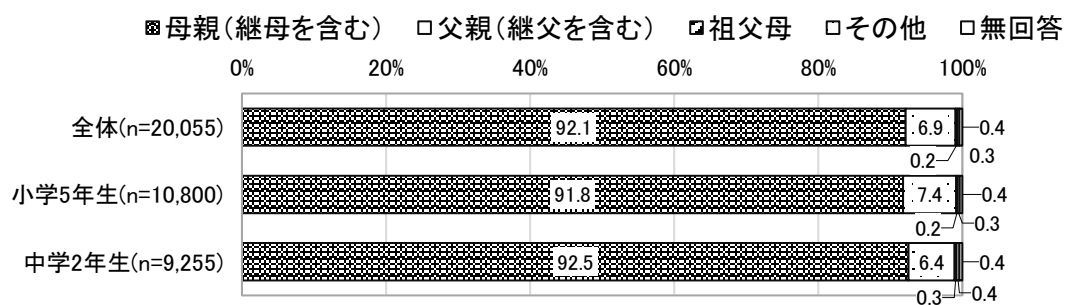


図 2-1-2-2 回答者の続柄

3. 居住区

保護者票問3 あなたがお住まいの区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「東灘区」が13.9%、「灘区」が9.2%、「中央区」が5.6%、「兵庫区」が5.2%、「北区」が16.3%、「長田区」が4.8%、「須磨区」が10.3%、「垂水区」が15.7%、「西区」が18.8%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生の保護者では、「東灘区」が14.7%、「灘区」が9.5%、「中央区」が6.2%、「兵庫区」が5.1%、「北区」が15.9%、「長田区」が4.6%、「須磨区」が10.3%、「垂水区」が16.2%、「西区」が17.4%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生の保護者では、「東灘区」が12.9%、「灘区」が8.8%、「中央区」が5.0%、「兵庫区」が5.3%、「北区」が16.8%、「長田区」が5.2%、「須磨区」が10.2%、「垂水区」が15.1%、「西区」が20.4%、「無回答」が0.3%である。

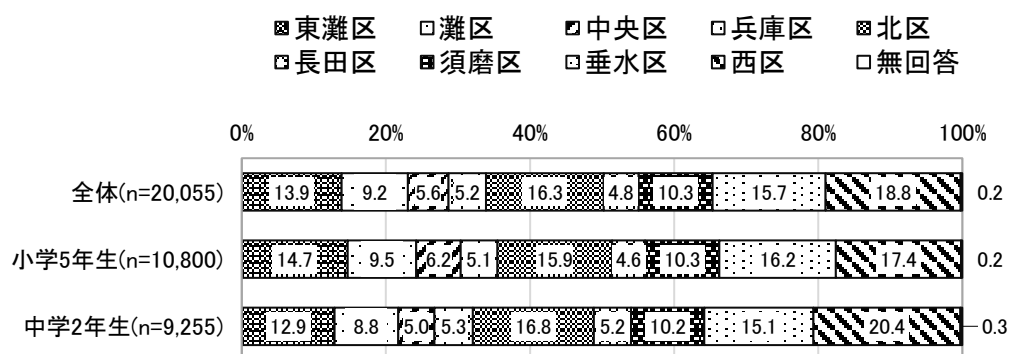


図 2-1-2-3 居住区

2.2. 単純集計

2.2.1. 経済状況

1. 世帯収入

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

保護者全体では、「1,000万円以上」が15.1%で最も高く、「500～600万円未満」、「600～700万円未満」が11.1%、「700～800万円未満」が11.0%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「1,000万円以上」が16.4%で最も高く、「600～700万円未満」が11.3%、「700～800万円未満」が11.0%、「500～600万円未満」が10.7%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「1,000万円以上」が13.5%で最も高く、「500～600万円未満」が11.5%、「700～800万円未満」、「600～700万円未満」がそれぞれ10.9%、10.7%の順に高くなっている。

以上のことから、「1,000万円以上」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では2割弱、中学2年生の保護者では1割強であった。

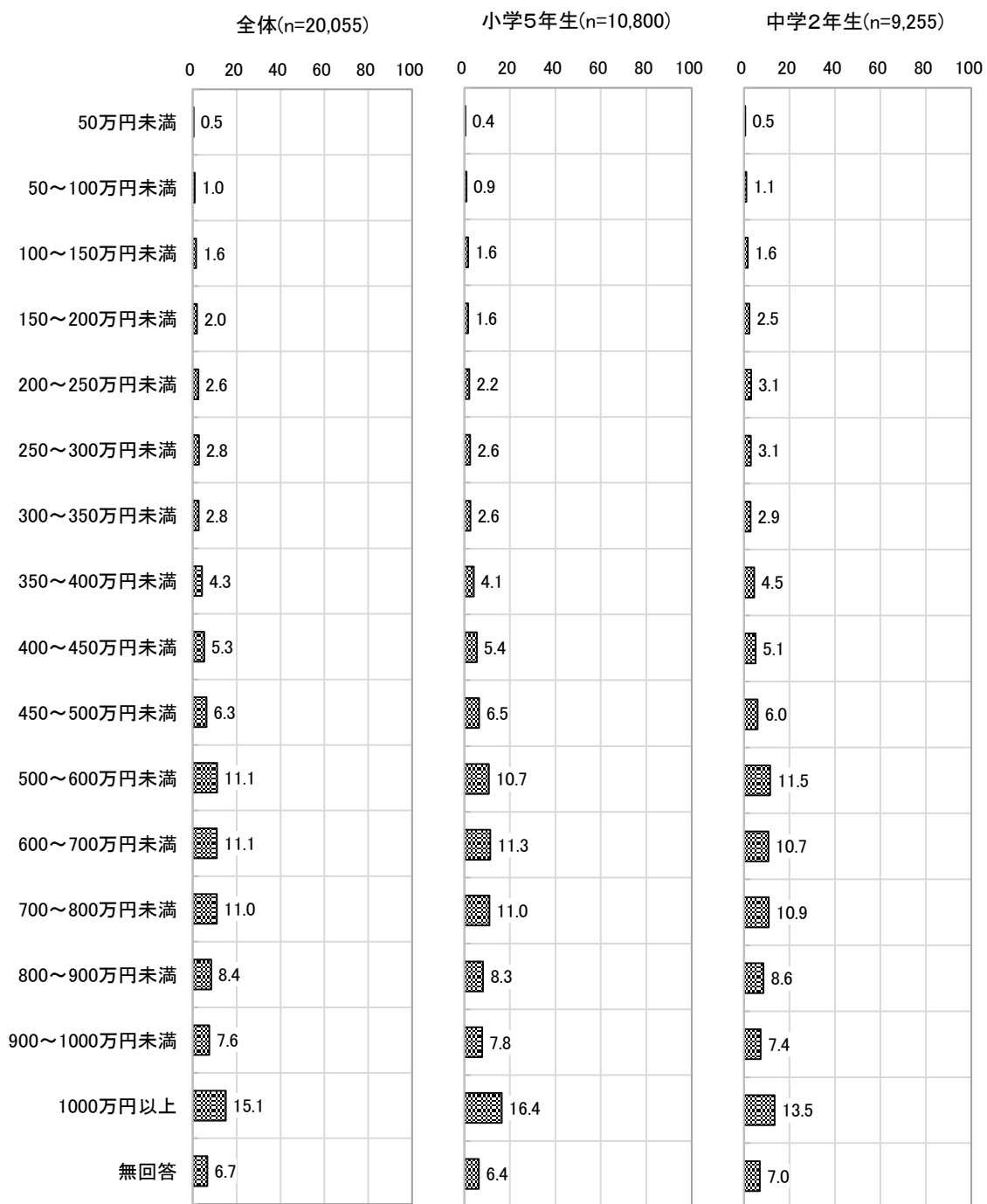


图 2-2-1-1 世帯収入

＜等価世帯収入と困窮度基準＞

本調査では、実際の生活上の体験や困りごとを把握し、多面的に貧困を図る指標として、「等価世帯収入」を基に区分した「困窮度基準」を用いている。

等価世帯収入は、内閣府（2021）「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」p.370の等価世帯収入の算出方法に基づき下記の方法で算出している。

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする）。
- 上記の値を、保護者票問4で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その50%未満であるか否かを困窮度基準として分類する。

本調査での等価世帯収入の中央値は325.00万円、等価世帯収入の中央値の50%は162.50万円のため、困窮度基準は下記のとおりとなる。この結果、「困窮度1」に該当するのは12.2%、「困窮度2」に該当するのは34.2%、「中央値以上」に該当するのは53.6%であった。

なお、内閣府の調査では、等価世帯収入の中央値は317.54万円、等価世帯収入の中央値の50%は158.77万円であり、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当するのは12.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは36.9%、「中央値以上」に該当するのは50.2%であった。

また、本調査の等価世帯収入は、国民生活基礎調査の相対的貧困率で用いられる等価世帯所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人数の平方根で割って調整した所得）ではないため、国民生活基礎調査のデータとの直接的な比較はできない。

本調査における困窮度基準とその割合

困窮度基準	等価世帯収入	人数	割合
困窮度1（中央値の50%未満）	162.5万円未満	2,230	12.2%
困窮度2（中央値の50%以上～中央値未満）	162.5万円以上 325万円未満	6,257	34.2%
中央値以上（中央値以上）	325万円以上	9,792	53.6%
合計		18,279	100.0%

※上記には、「無回答」の人数を除く

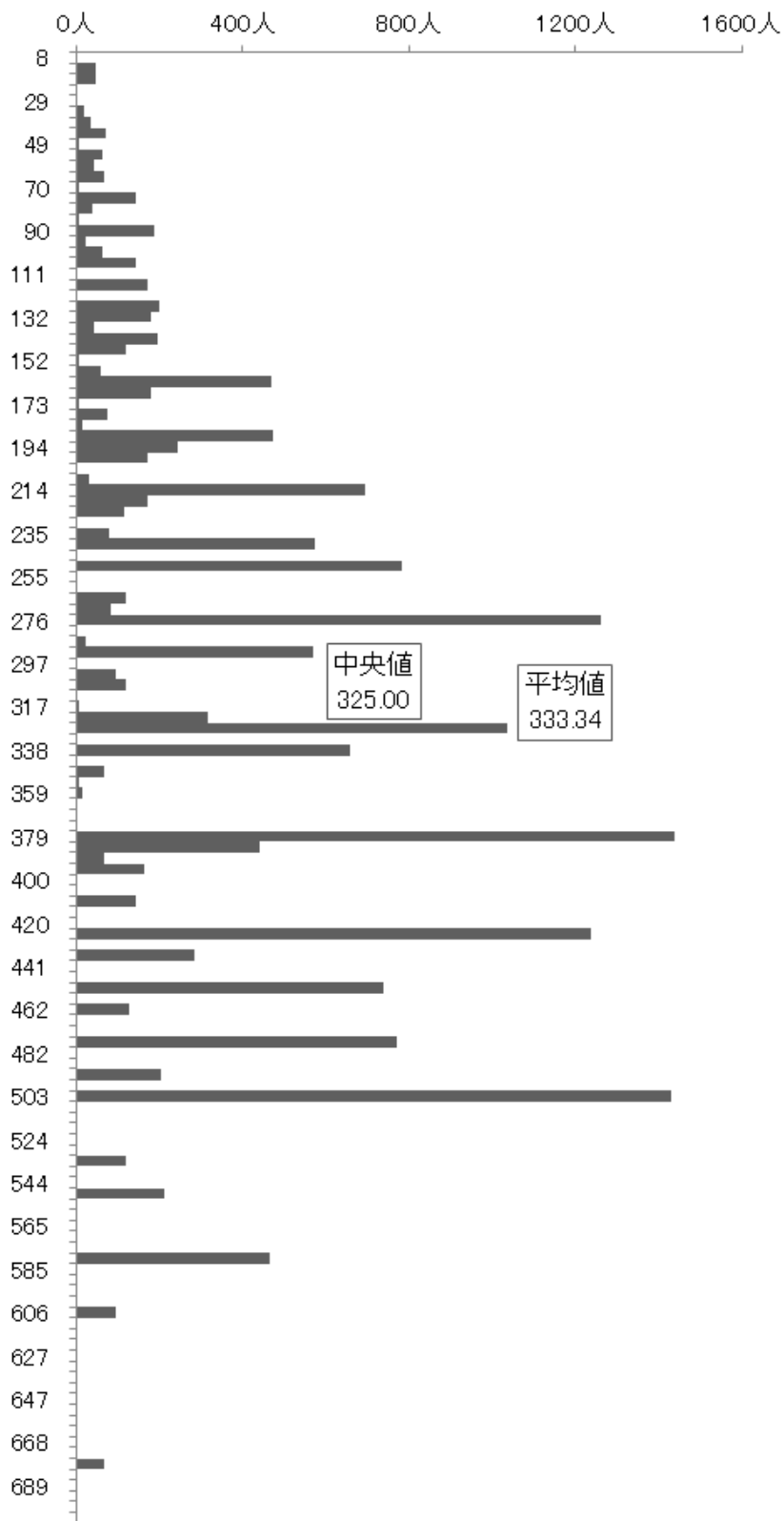


図 2-2-1-2 神戸市における等価世帯収入の分布

2. 滞納・欠乏経験

保護者票問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね 1 年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1～21 のあてはまるものすべてに○)

保護者全体では、「どれもあてはまらない」が 47.1%で最も高く、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 28.4%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 26.0%、「食費を切りつめた」が 22.6%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「どれもあてはまらない」が 49.4%で最も高く、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 26.4%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「食費を切りつめた」がそれぞれ 24.7%、20.7%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「どれもあてはまらない」が 44.5%で最も高く、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 30.9%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「食費を切りつめた」がそれぞれ 27.5%、24.8%の順に高くなっている。

以上のことから、「どれもあてはまらない」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では5割弱、中学2年生の保護者では4割強であった。

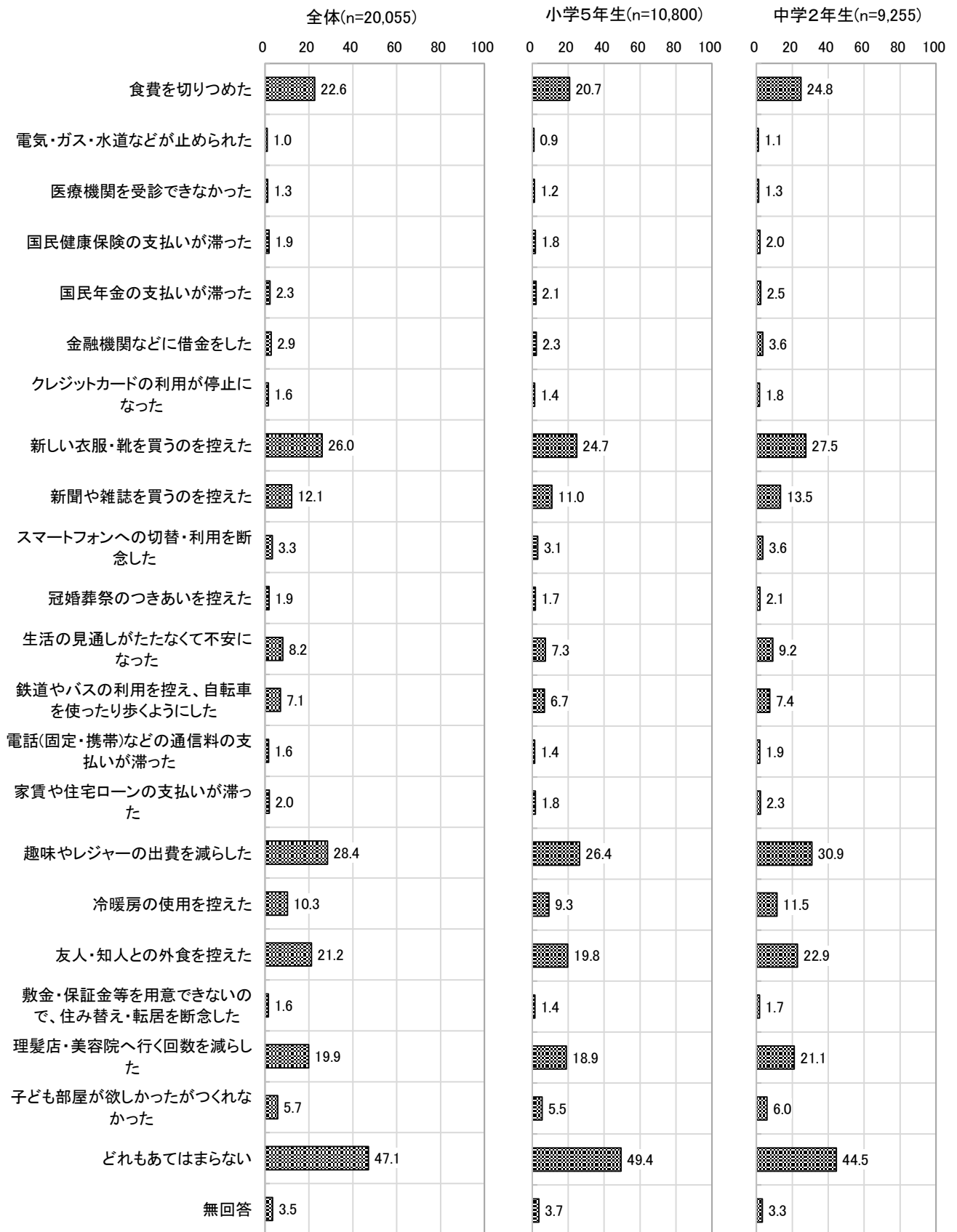


図 2-2-1-2 滞納・欠乏経験

3. 親から見た子どものはく奪指標

保護者票問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね 1 年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1~14 のあてはまるものすべてに○)

保護者全体では、「どれもあてはまらない」が 71.0%で最も高く、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」が 16.7%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」が 8.2%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が 6.9%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「どれもあてはまらない」が 73.1%で最も高く、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」が 14.7%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」、が 7.1%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が 6.5%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「どれもあてはまらない」が 68.7%で最も高く、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」が 19.0%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」が 9.5%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が 7.4%の順に高くなっている。

以上のことから、「どれもあてはまらない」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では7割強、中学2年生の保護者では7割弱であった。

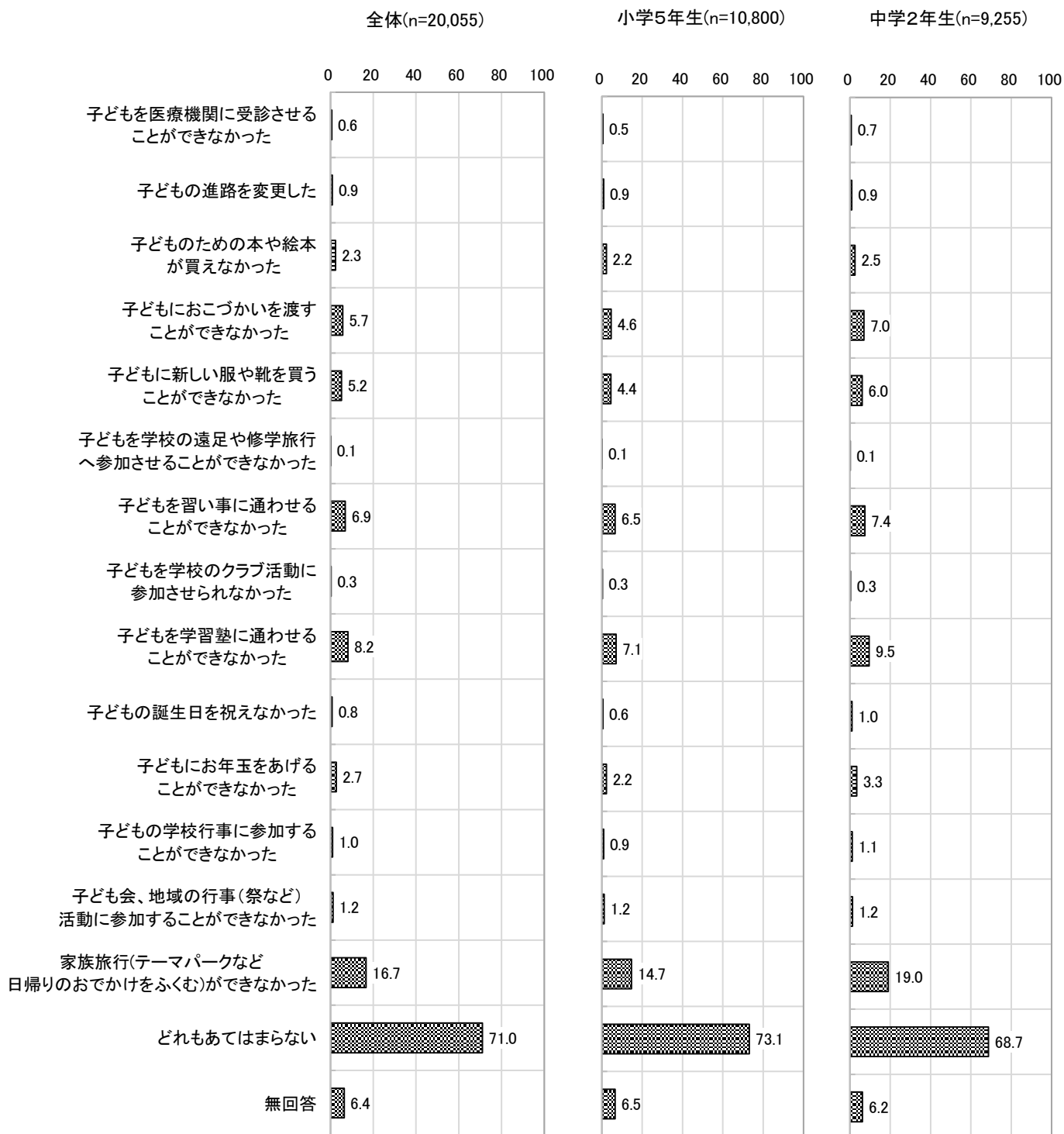


図 2-2-1-3 親から見た子どものはく奪指標

4. 子どものはく奪指標

子ども票問 20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(1～15については、あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「テレビ」が84.9%で最も高く、「ゲーム機」が84.1%、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」が82.7%、「運動用具(ボール・ラケットなど)」が81.5%、「自転車」が80.7%、「マンガ・雑誌」が79.9%の順に高くなっている。

小学5年生では、「ゲーム機」が84.5%で最も高く、「テレビ」が84.0%、「自転車」が83.6%、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」が82.1%、「運動用具(ボール・ラケットなど)」が80.3%、「マンガ・雑誌」が76.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)」が88.4%で最も高く、「テレビ」が86.0%、「ゲーム機」が83.7%、「マンガ・雑誌」が83.6%、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」が83.5%、「運動用具(ボール・ラケットなど)」が82.8%の順に高くなっている。

以上のことから、小学5年生では「ゲーム機」の回答が最も多く8割強、中学2年生では「スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)」の回答が最も多く9割弱であった。

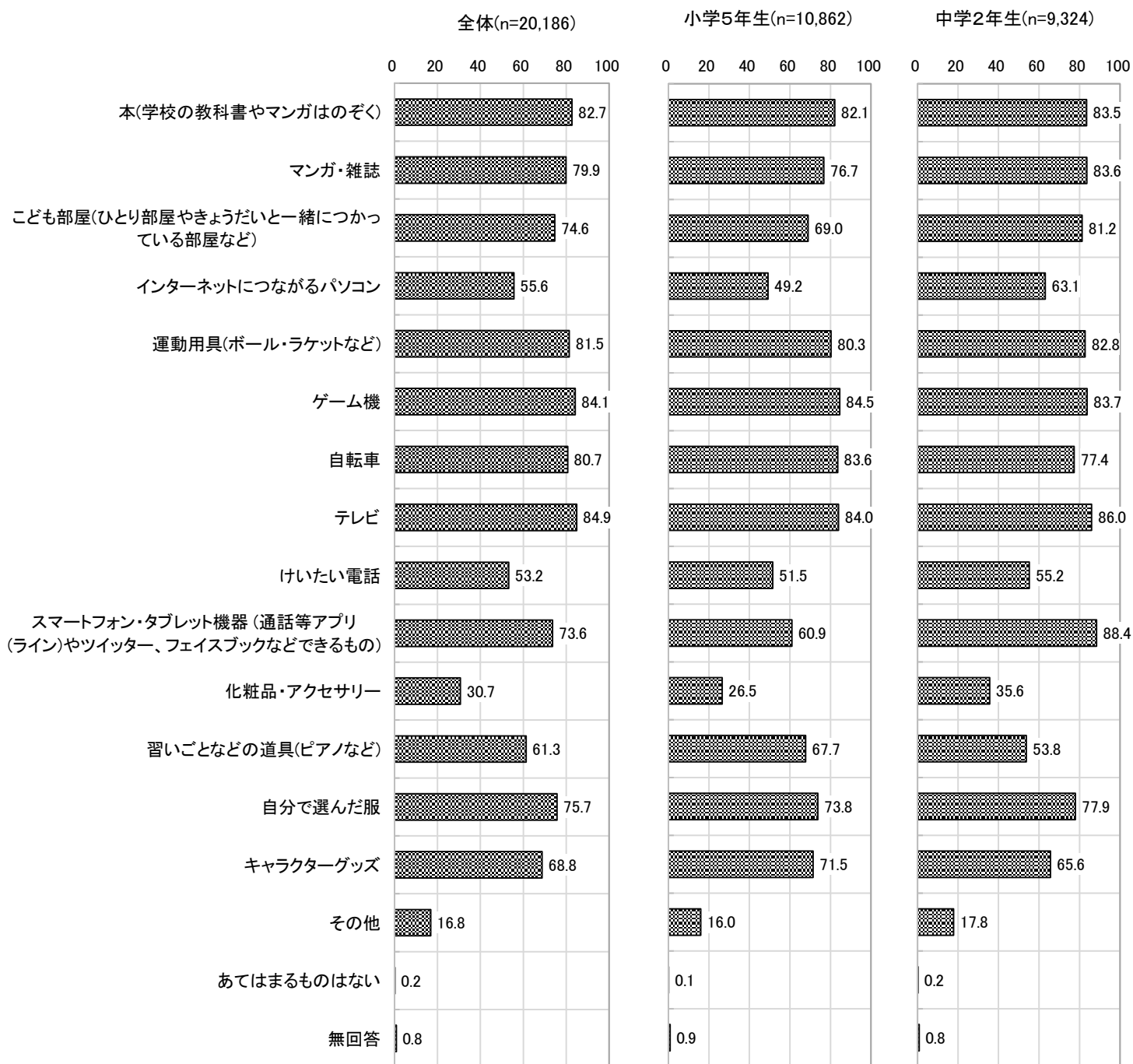


図 2-2-1-4 子どものはく奪指標

5. 暮らし向き（主観）

保護者票問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

保護者全体では、「大変ゆとりがある」が2.2%、「ゆとりがある」が15.8%、「ふつう」が61.1%、「苦しい」が16.3%、「大変苦しい」が3.6%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生の保護者では、「大変ゆとりがある」が2.7%、「ゆとりがある」が17.3%、「ふつう」が61.2%、「苦しい」が15.0%、「大変苦しい」が2.9%、「無回答」が0.9%である。

中学2年生の保護者では、「大変ゆとりがある」が1.7%、「ゆとりがある」が13.9%、「ふつう」が61.0%、「苦しい」が17.9%、「大変苦しい」が4.4%、「無回答」が1.1%である。

以上のことから、「ふつう」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに6割強であった。

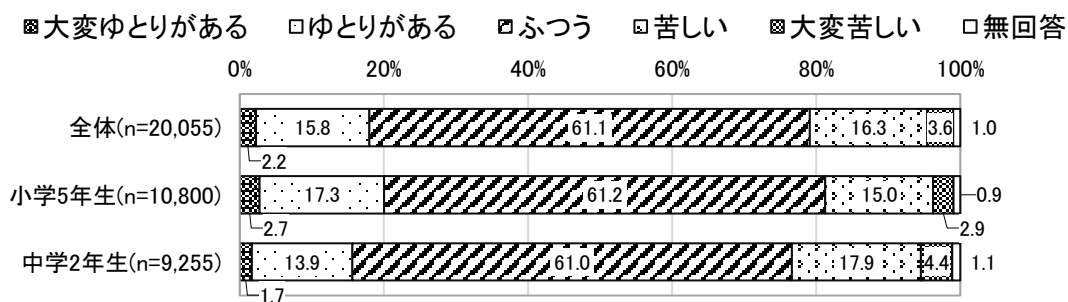


図 2-2-1-5 暮らし向き（主観）

6. 支援の利用状況

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

a) 就学援助

保護者全体では、「現在利用している」が13.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.3%、「利用したことがない」が80.3%、「無回答」が1.3%である。

小学5年生の保護者では、「現在利用している」が11.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.4%、「利用したことがない」が82.9%、「無回答」が1.1%である。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が14.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.4%、「利用したことがない」が77.3%、「無回答」が1.5%である。

以上のことから、「利用したことがない」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では8割強、中学2年生の保護者では8割弱であった。

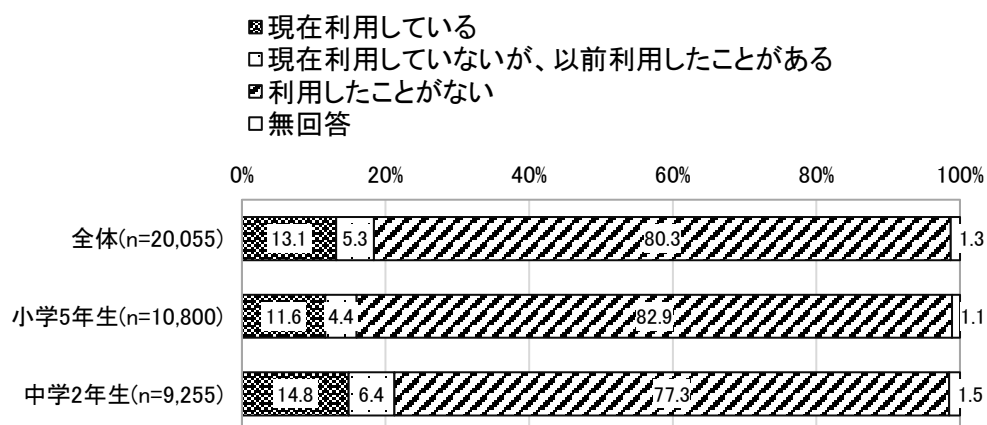


図 2-2-1-6-1 支援の利用状況 (就学援助)

b) 生活保護

保護者全体では、「現在利用している」が 1.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 1.0%、「利用したことがない」が 95.7%、「無回答」が 1.8%である。

小学5年生の保護者では、「現在利用している」が 1.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.9%、「利用したことがない」が 96.2%、「無回答」が 1.6%である。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が 1.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 1.2%、「利用したことがない」が 95.1%、「無回答」が 2.1%である。

以上のことから、「利用したことがない」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに 10 割弱であった。

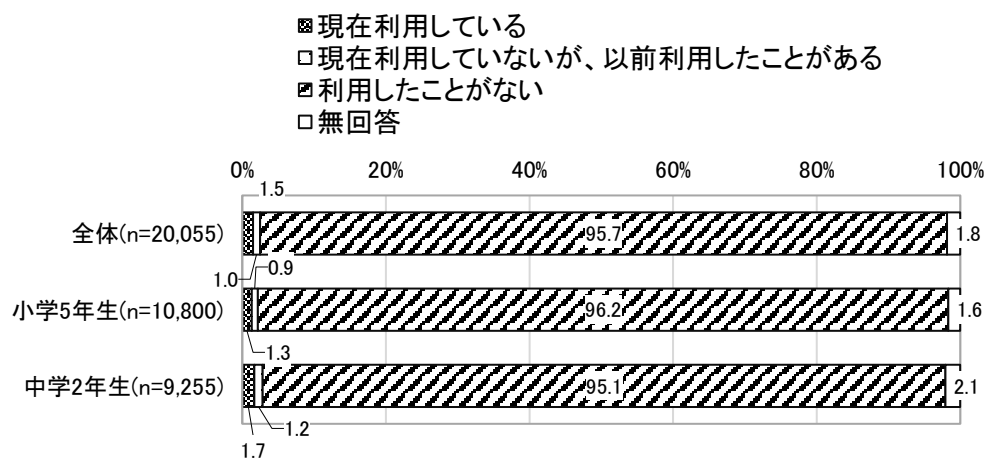


図 2-2-1-6-2 支援の利用状況（生活保護）

c) くらし支援窓口

保護者全体では、「現在利用している」が 0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.5%、「利用したことがない」が 97.1%、「無回答」が 2.0%である。

小学5年生の保護者では、「現在利用している」が 0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.5%、「利用したことがない」が 97.4%、「無回答」が 1.8%である。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が 0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.5%、「利用したことがない」が 96.9%、「無回答」が 2.2%である。

以上のことから、「利用したことがない」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに 10 割弱であった。

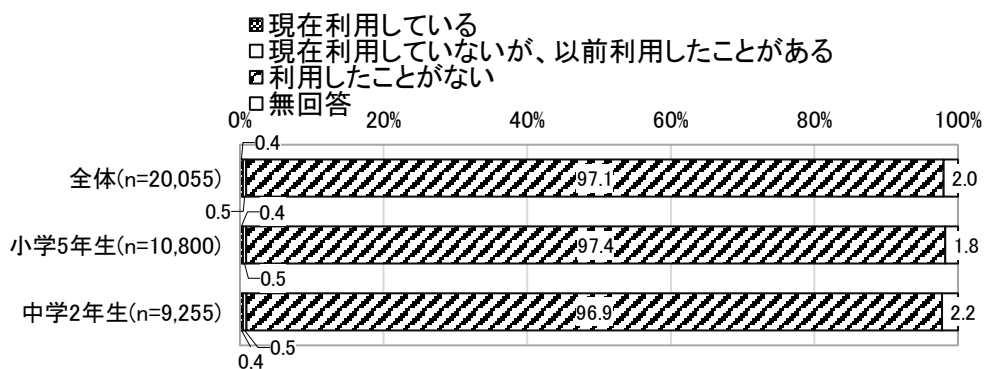


図 2-2-1-6-3 支援の利用状況（くらし支援窓口）

7. ひとり親の養育費受取状況

保護者票問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が30.1%、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」が4.3%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が20.4%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が42.8%、「無回答」が2.3%である。

小学5年生の保護者では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が33.0%、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」が4.4%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が20.4%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が39.6%、「無回答」が2.6%である。

中学2年生の保護者では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が27.6%、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」が4.1%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が20.4%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が45.7%、「無回答」が2.1%である。

以上のことから、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では4割弱、中学2年生の保護者では5割弱であった。

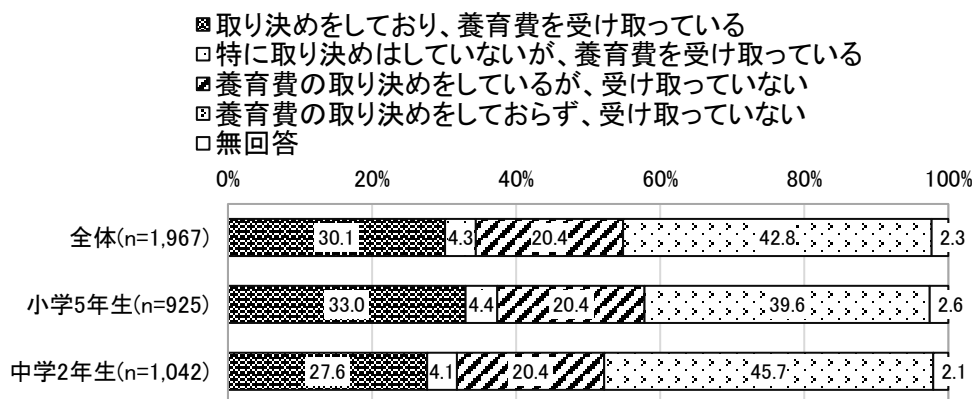


図 2-2-1-7 ひとり親の養育費受取状況

8. 親の雇用形態

保護者票問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 母親

保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が22.7%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が4.9%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が45.5%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が6.3%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が18.5%、「わからない、いない」が0.5%、「無回答」が1.6%である。

小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が23.4%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が4.3%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.3%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が6.6%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が20.7%、「わからない、いない」が0.4%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が21.9%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が5.7%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が48.2%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が5.9%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が16.0%、「わからない、いない」が0.6%、「無回答」が1.8%である。

以上のことから、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では4割強、中学2年生の保護者では5割弱であった。

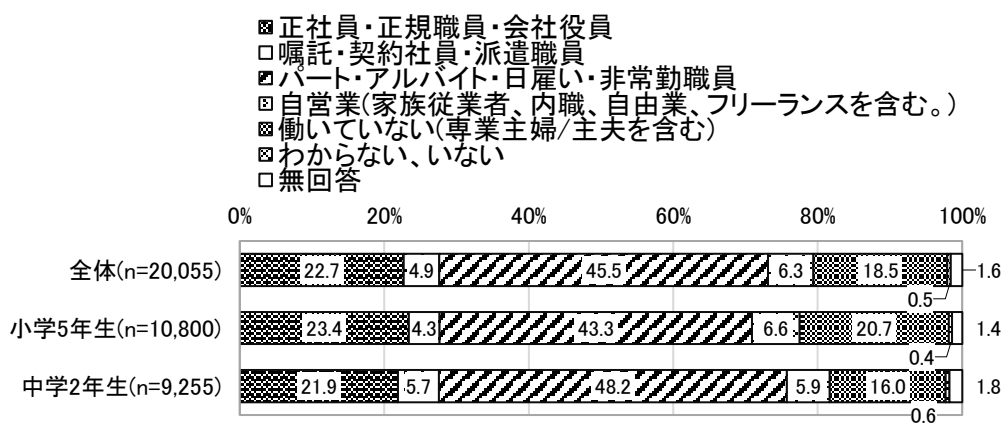


図 2-2-1-8-1 親の雇用形態 (母親)

b) 父親

保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が77.1%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が1.2%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が0.9%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が11.0%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が0.7%、「わからない、いない」が2.4%、「無回答」が6.8%である。

小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が78.5%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が1.1%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が0.9%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が11.0%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が0.6%、「わからない、いない」が2.1%、「無回答」が5.8%である。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が75.5%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が1.3%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が0.8%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が11.0%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が0.7%、「わからない、いない」が2.7%、「無回答」が8.0%である。

以上のことから、「正社員・正規職員・会社役員」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに8割弱であった。

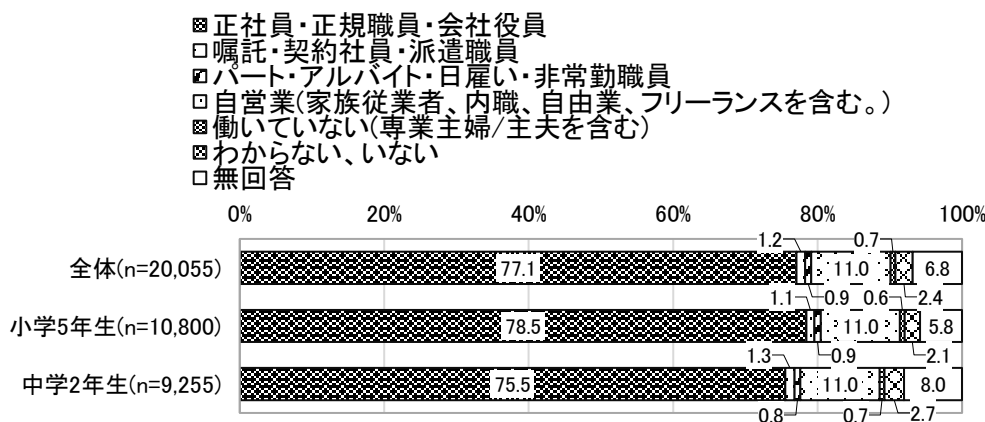


図 2-2-1-8-2 親の雇用形態（父親）

9. 就労していない理由

保護者票問 11 問 10 で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない主な理由を教えてください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 母親

保護者全体では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 15.2%、「子育てを優先したいため」が 53.1%、「家族の介護・介助のため」が 2.8%、「自分の病気や障害のため」が 7.2%、「通学しているため」が 0.7%、「その他の理由」が 12.1%、「無回答」が 8.9%である。

小学5年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 13.5%、「子育てを優先したいため」が 58.2%、「家族の介護・介助のため」が 1.8%、「自分の病気や障害のため」が 6.1%、「通学しているため」が 0.9%、「その他の理由」が 10.7%、「無回答」が 8.8%である。

中学2年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 17.8%、「子育てを優先したいため」が 45.4%、「家族の介護・介助のため」が 4.4%、「自分の病気や障害のため」が 8.9%、「通学しているため」が 0.3%、「その他の理由」が 14.3%、「無回答」が 9.0%である。

以上のことから、「子育てを優先したいため」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割弱であった。

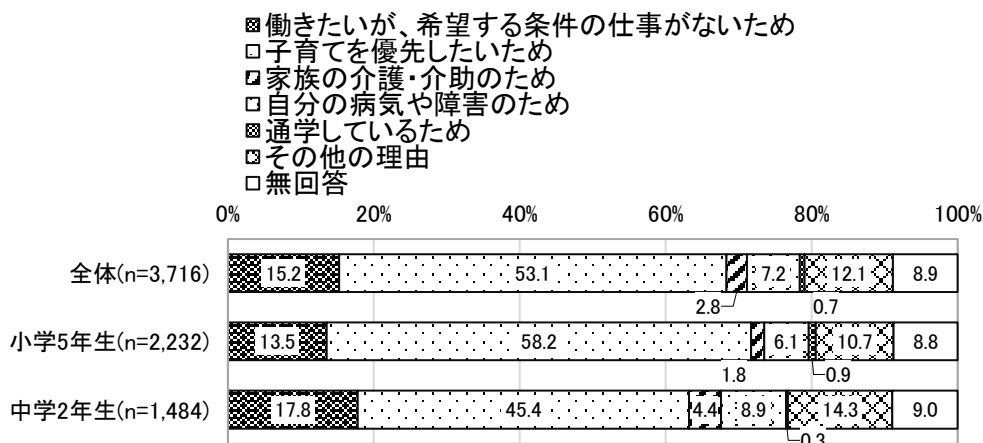


図 2-2-1-9-1 就労していない理由（母親）

b) 父親

保護者全体では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 15.3%、「子育てを優先したいため」が 6.1%、「家族の介護・介助のため」が 3.8%、「自分の病気や障害のため」が 46.6%、「通学しているため」が 0.8%、「その他の理由」が 22.9%、「無回答」が 4.6%である。

小学5年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 17.1%、「子育てを優先したいため」が 8.6%、「家族の介護・介助のため」が 4.3%、「自分の病気や障害のため」が 45.7%、「通学しているため」が 1.4%、「その他の理由」が 18.6%、「無回答」が 4.3%である。

中学2年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 13.1%、「子育てを優先したいため」が 3.3%、「家族の介護・介助のため」が 3.3%、「自分の病気や障害のため」が 47.5%、「通学しているため」が 0.0%、「その他の理由」が 27.9%、「無回答」が 4.9%である。

以上のことから、「自分の病気や障害のため」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに5割弱であった。

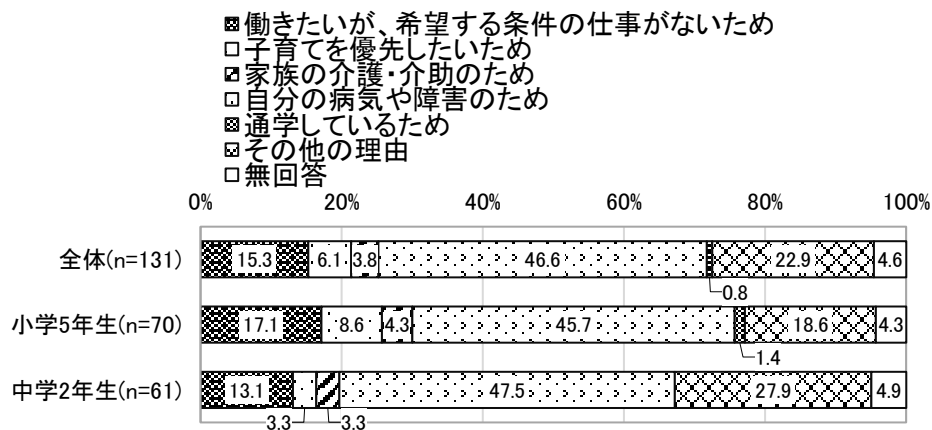


図 2-2-1-9-2 就労していない理由（父親）

2.2.2. 生活環境

1. 世帯人数

保護者票問 4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数（子どもを含む。）と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。

a) ご家族の人数

保護者全体では、「2人」が8.1%、「3～4人」が60.5%、「5～6人」が27.6%、「7人以上」が1.8%、「無回答」が2.0%である。

小学5年生の保護者では、「2人」が8.1%、「3～4人」が59.8%、「5～6人」が28.3%、「7人以上」が1.8%、「無回答」が2.0%である。

中学2年生の保護者では、「2人」が8.1%、「3～4人」が61.3%、「5～6人」が26.8%、「7人以上」が1.8%、「無回答」が2.0%である。

以上のことから、「3～4人」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では6割強であった。

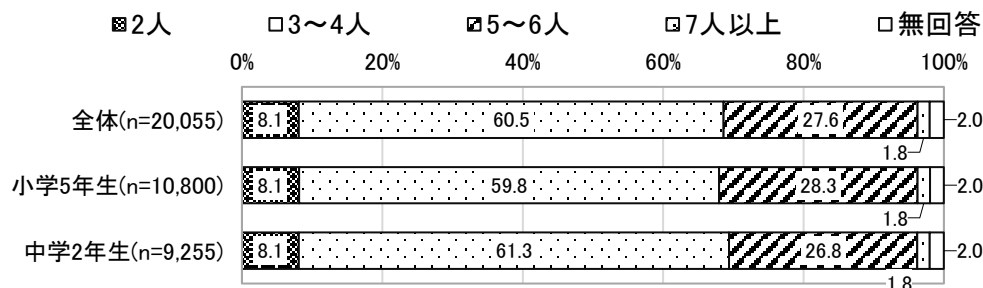


図 2-2-2-1-1 世帯人数（家族の人数）

b) 子どもの人数

保護者全体では、「1人」が14.9%、「2人」が49.3%、「3人」が24.7%、「4人以上」が5.6%、「無回答」が5.4%である。

小学5年生の保護者では、「1人」が15.0%、「2人」が48.7%、「3人」が25.7%、「4人以上」が5.6%、「無回答」が5.1%である。

中学2年生の保護者では、「1人」が14.9%、「2人」が49.9%、「3人」が23.7%、「4人以上」が5.7%、「無回答」が5.8%である。

以上のことから、「2人」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに5割弱であった。

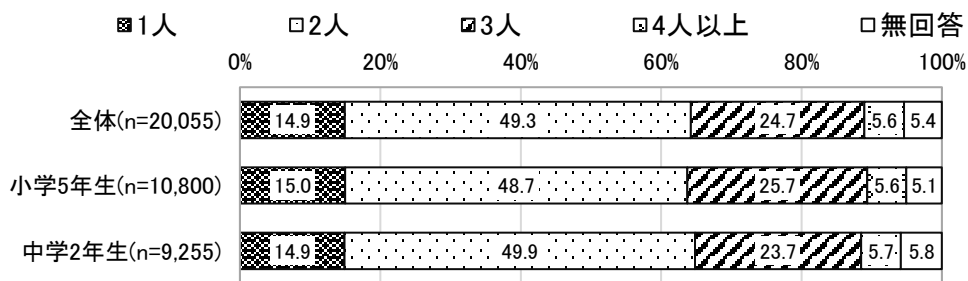


図 2-2-2-1-2 世帯人数（子どもの人数）

2. 家族構成

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者全体では、「母親」が85.4%、「父親」が77.0%、「祖父母」が5.7%、「兄弟姉妹」が68.8%、「その他」が0.9%、「無回答」が0.8%である。

小学5年生の保護者では、「母親」が85.5%、「父親」が78.7%、「祖父母」が5.4%、「兄弟姉妹」が68.6%、「その他」が0.9%、「無回答」が0.8%である。

中学2年生の保護者では、「母親」が85.4%、「父親」が75.0%、「祖父母」が6.1%、「兄弟姉妹」が69.1%、「その他」が0.9%、「無回答」が0.8%である。

以上のことから、小学5年生、中学2年生の保護者ともに「母親」の回答が最も多く、9割弱であった。

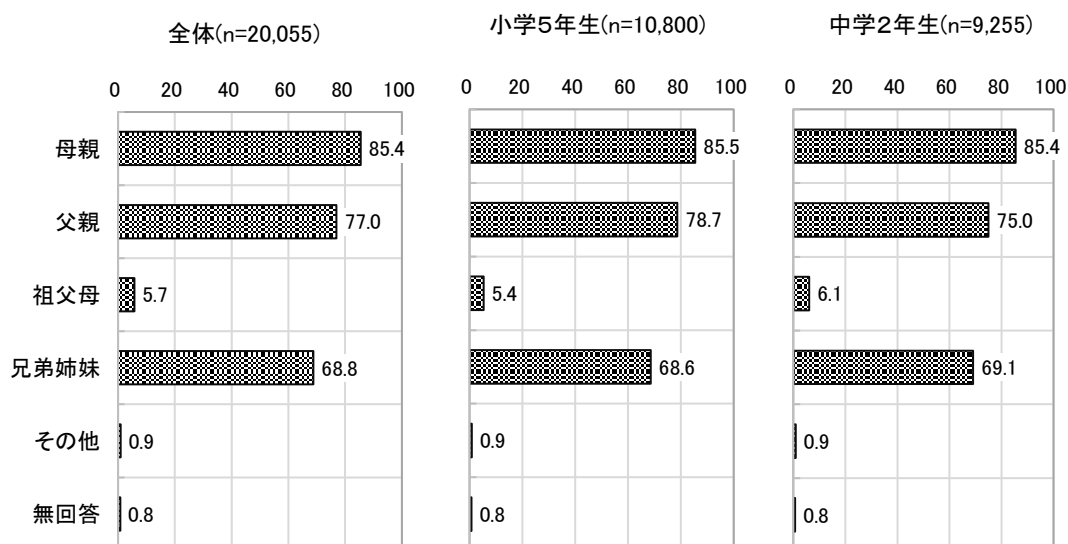


図 2-2-2-2 家族構成

3. 家族で使用している言語

保護者票問 8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「日本語のみを使用している」が 95.0%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.3%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.6%、「無回答」が 1.1%である。

小学5年生の保護者では、「日本語のみを使用している」が 94.4%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.7%、「無回答」が 1.1%である。

中学2年生の保護者では、「日本語のみを使用している」が 95.6%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 2.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.5%、「無回答」が 1.1%である。

以上のことから、「日本語のみを使用している」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では9割強、中学2年生の保護者では10割弱であった。

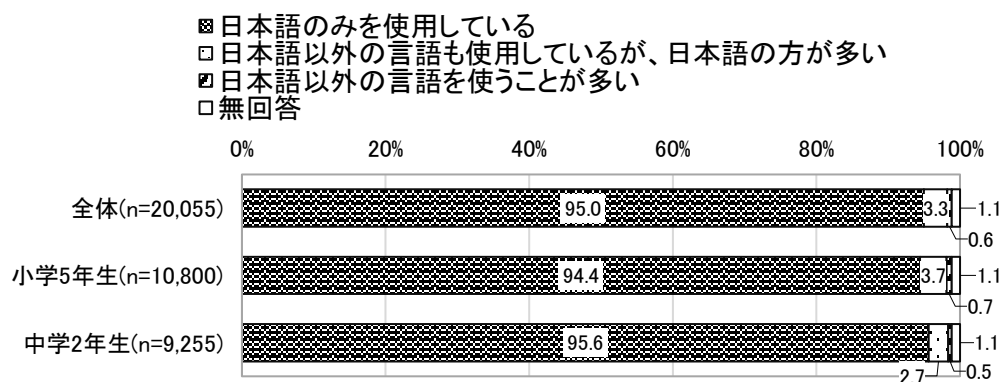


図 2-2-2-3 家族で使用している言語

4. 居住形態

保護者票問 24 現在のあなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が79.3%、「県営・市町村営の住宅」が3.4%、「公社賃貸住宅」が1.3%、「民間の賃貸住宅」が12.9%、「官舎・社宅」が1.3%、「その他」が0.8%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生の保護者では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が79.5%、「県営・市町村営の住宅」が2.9%、「公社賃貸住宅」が1.3%、「民間の賃貸住宅」が13.0%、「官舎・社宅」が1.5%、「その他」が0.7%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生の保護者では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が79.0%、「県営・市町村営の住宅」が3.9%、「公社賃貸住宅」が1.3%、「民間の賃貸住宅」が12.8%、「官舎・社宅」が1.0%、「その他」が0.8%、「無回答」が1.1%である。

以上のことから、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに8割弱であった。

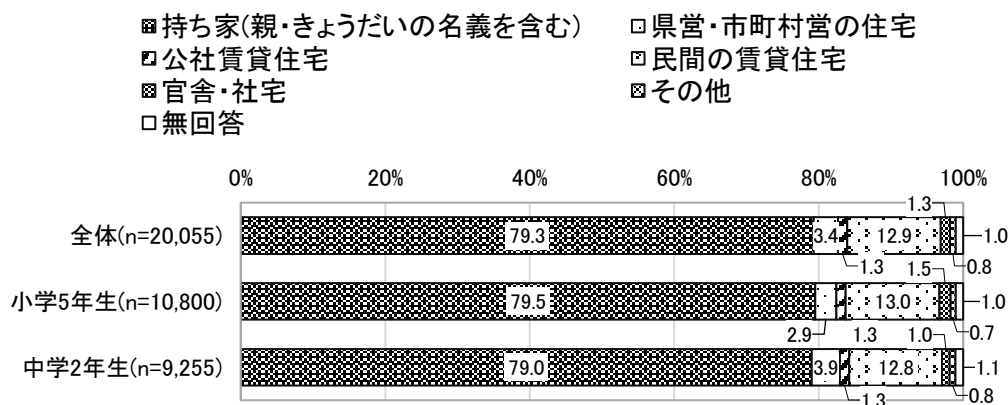


図 2-2-2-4 居住形態

5. 就寝時間の規則性

子ども票問 13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（あてはまるもの1つに○）

子ども全体では、「そうである」が32.2%、「どちらかといえばそうである」が44.2%、「どちらかといえばそうではない」が14.7%、「そうではない」が8.5%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生では、「そうである」が34.1%、「どちらかといえばそうである」が44.0%、「どちらかといえばそうではない」が13.8%、「そうではない」が7.5%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「そうである」が29.9%、「どちらかといえばそうである」が44.3%、「どちらかといえばそうではない」が15.8%、「そうではない」が9.6%、「無回答」が0.4%である。

以上のことから、「どちらかといえばそうである」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに4割強であった。

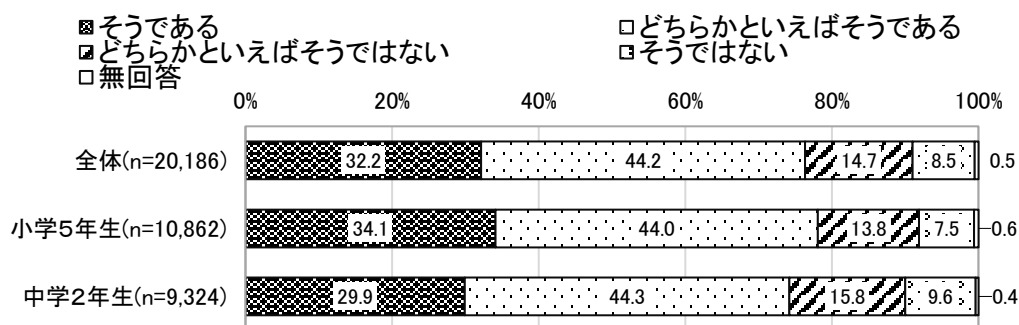


図 2-2-2-5 就寝時間の規則性

6. 食事の頻度

子ども票問 12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 朝食

子ども全体では、「毎日食べる(週7日)」が82.0%、「週5~6日」が9.6%、「週3~4日」が3.2%、「週1~2日、ほとんど食べない」が4.4%、「無回答」が0.8%である。

小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が86.9%、「週5~6日」が6.8%、「週3~4日」が2.3%、「週1~2日、ほとんど食べない」が3.0%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が76.3%、「週5~6日」が12.9%、「週3~4日」が4.2%、「週1~2日、ほとんど食べない」が6.0%、「無回答」が0.6%である。

以上のことから、「毎日食べる(週7日)」の回答が最も多く、小学5年生では9割弱、中学2年生では8割弱となっている。

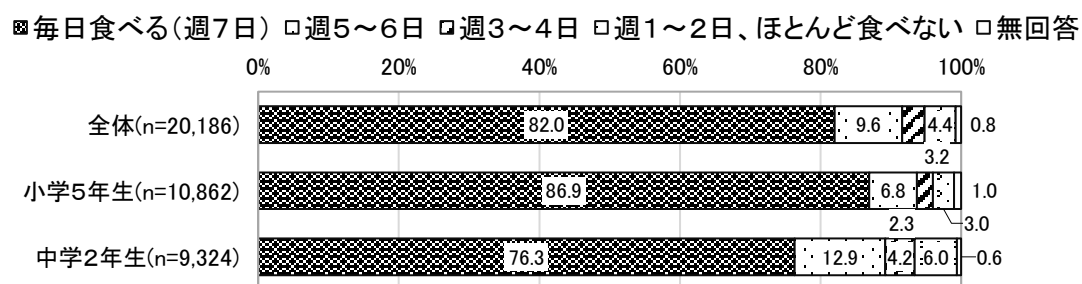


図 2-2-2-6-1 食事の頻度(朝食)

b) 夕食

子ども全体では、「毎日食べる(週7日)」が97.1%、「週5~6日」が1.4%、「週3~4日」が0.3%、「週1~2日、ほとんど食べない」が0.1%、「無回答」が0.9%である。

小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が97.7%、「週5~6日」が0.8%、「週3~4日」が0.2%、「週1~2日、ほとんど食べない」が0.1%、「無回答」が1.2%である。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が96.5%、「週5~6日」が2.1%、「週3~4日」が0.5%、「週1~2日、ほとんど食べない」が0.2%、「無回答」が0.7%である。

以上のことから、「毎日食べる(週7日)」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに10割弱となっている。

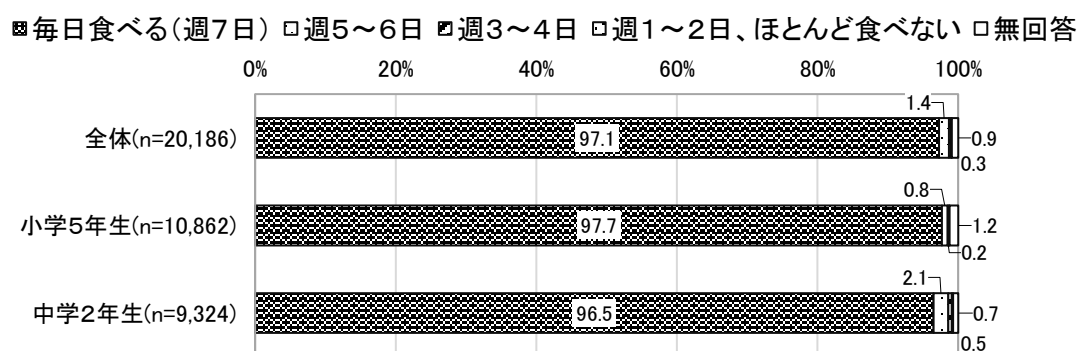


図 2-2-2-6-2 食事の頻度(夕食)

c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

子ども全体では、「毎日食べる(週7日)」が89.8%、「週5~6日」が6.0%、「週3~4日」が2.1%、「週1~2日、ほとんど食べない」が1.1%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が93.1%、「週5~6日」が4.2%、「週3~4日」が1.0%、「週1~2日、ほとんど食べない」が0.5%、「無回答」が1.3%である。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が86.0%、「週5~6日」が8.0%、「週3~4日」が3.5%、「週1~2日、ほとんど食べない」が1.7%、「無回答」が0.7%である。

以上のことから、「毎日食べる(週7日)」の回答が最も多く、小学5年生では9割強、中学2年生では9割弱となっている。

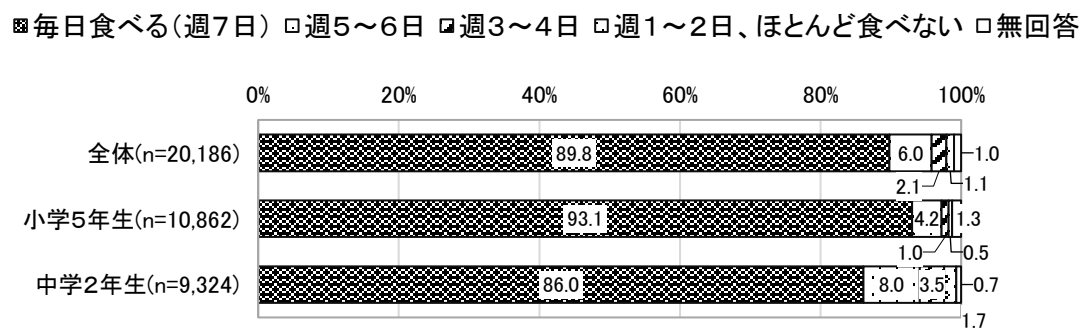


図 2-2-2-6-3 食事の頻度 (夏休みや冬休みなどの期間の昼食)

7. 放課後過ごす場所

子ども票問21 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（1～14については、あてはまるものすべてに○）

子ども全体では、「自分の家」が93.7%で最も高く、「習いごと」が36.4%、「塾」が35.7%、「公園・広場」が34.4%、「学校(クラブ活動など)」が27.8%の順に高くなっている。

小学5年生では、「自分の家」が92.1%で最も高く、「習いごと」が47.5%、「公園・広場」が46.9%、「塾」が28.3%、「ともだちの家」が19.1%の順に高くなっている。

中学2年生では、「自分の家」が95.5%で最も高く、「学校(クラブ活動など)」が46.4%、「塾」が44.2%、「習いごと」が23.6%、「公園・広場」が19.8%の順に高くなっている。

以上のことから、「自分の家」の回答が最も多く、小学5年生では9割強、中学2年生では10割弱となっている。

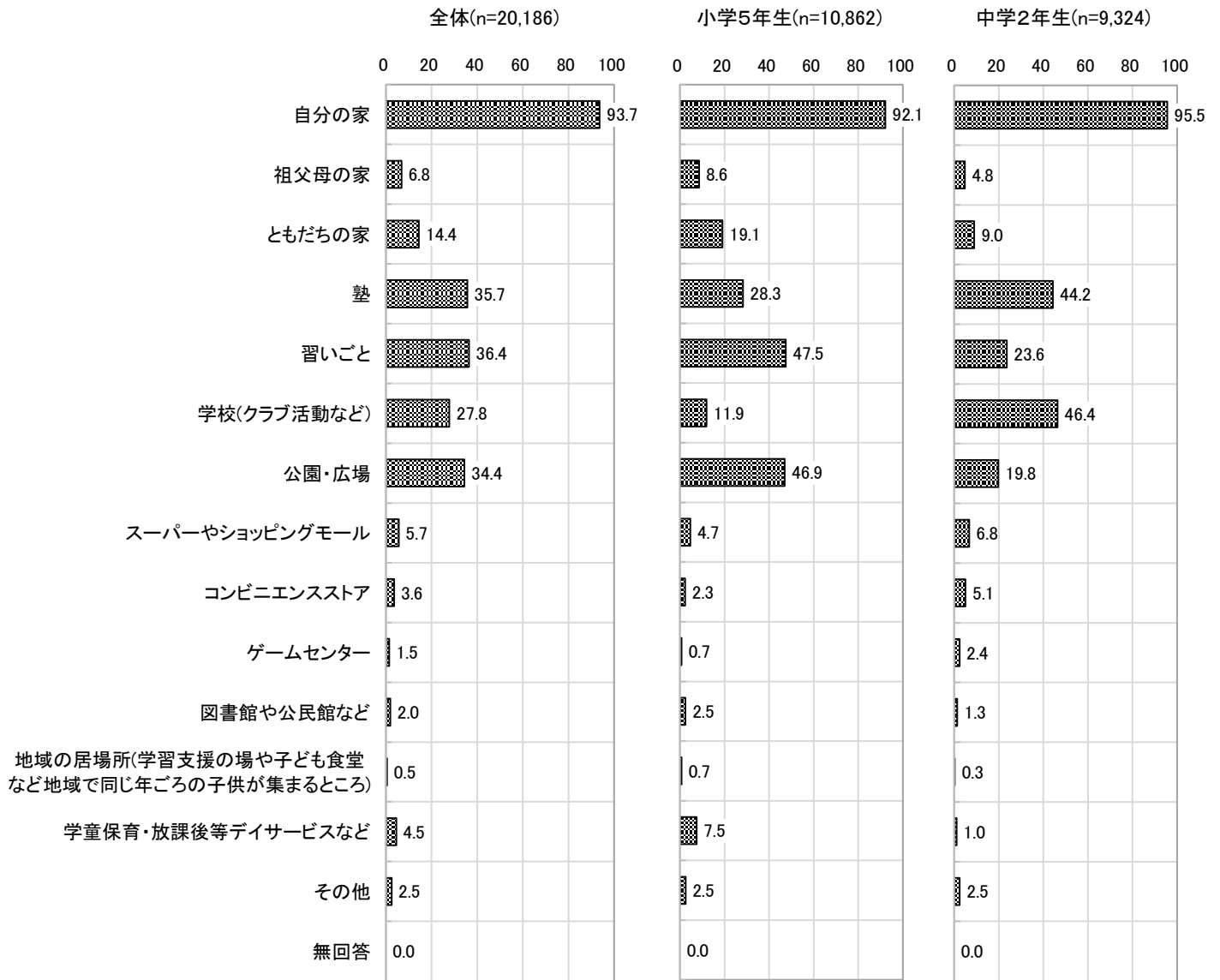


図 2-2-2-7 放課後過ごす場所

8. 放課後ともに過ごす人

子ども票問 22 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（1～7については、あてはまるものすべてに○）

子ども全体では、「おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）」が 78.6%で最も高く、「きょうだい」が 60.5%、「学校のともだち」が 53.0%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が 30.5%、「クラブ活動の仲間」が 23.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）」が 78.3%で最も高く、「きょうだい」が 62.1%、「学校のともだち」が 61.0%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が 33.6%、「ひとりである」が 12.3%の順に高くなっている。

中学2年生では、「おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）」が 79.0%で最も高く、「きょうだい」が 58.7%、「クラブ活動の仲間」が 44.3%、「学校のともだち」が 43.6%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が 26.9%の順に高くなっている。

以上のことから、「おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに8割弱であった。

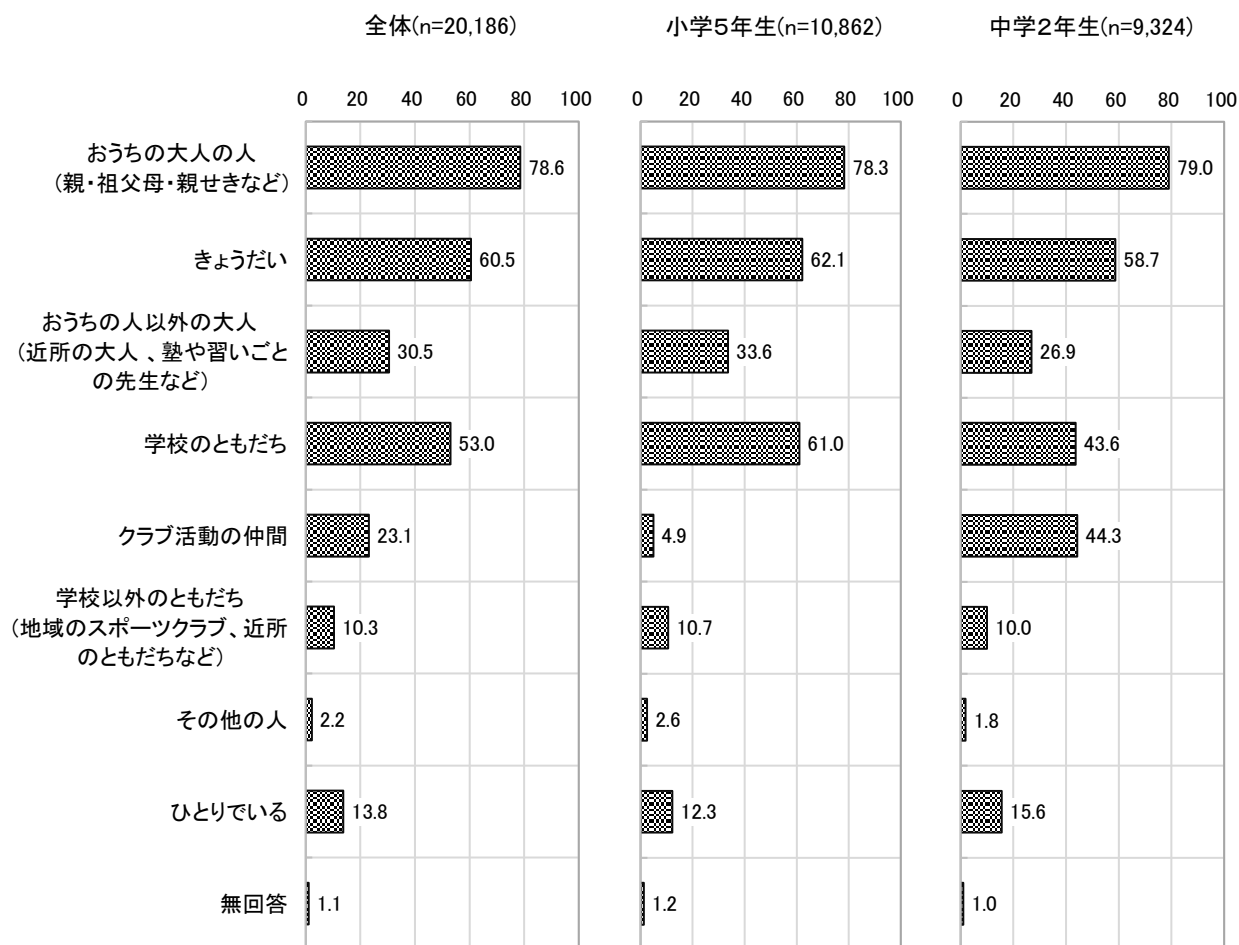


図 2-2-2-8 放課後ともに過ごす人

9. 自覚症状のある健康状態

子ども票問 17 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(1～13 については、あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「とくに気になることはない」が 39.6%で最も高く、「やる気が起きない」が 24.5%、「イライラする」が 20.0%、「よくおなかがいたくなる」が 19.2%、「まわりが気になる」が 18.3%の順に高くなっている。

小学5年生では、「とくに気になることはない」が 43.0%で最も高く、「よくかゆくなる」が 19.8%、「イライラする」が 19.0%、「やる気が起きない」が 16.7%、「よくおなかがいたくなる」が 16.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「とくに気になることはない」が 35.7%で最も高く、「やる気が起きない」が 33.6%、「まわりが気になる」が 22.9%、「よくおなかがいたくなる」が 22.4%、「不安な気持ちになる」が 21.2%の順に高くなっている。

以上のことから、「とくに気になることはない」の回答が最も多く、小学5年生では4割強、中学2年生では4割弱であった。

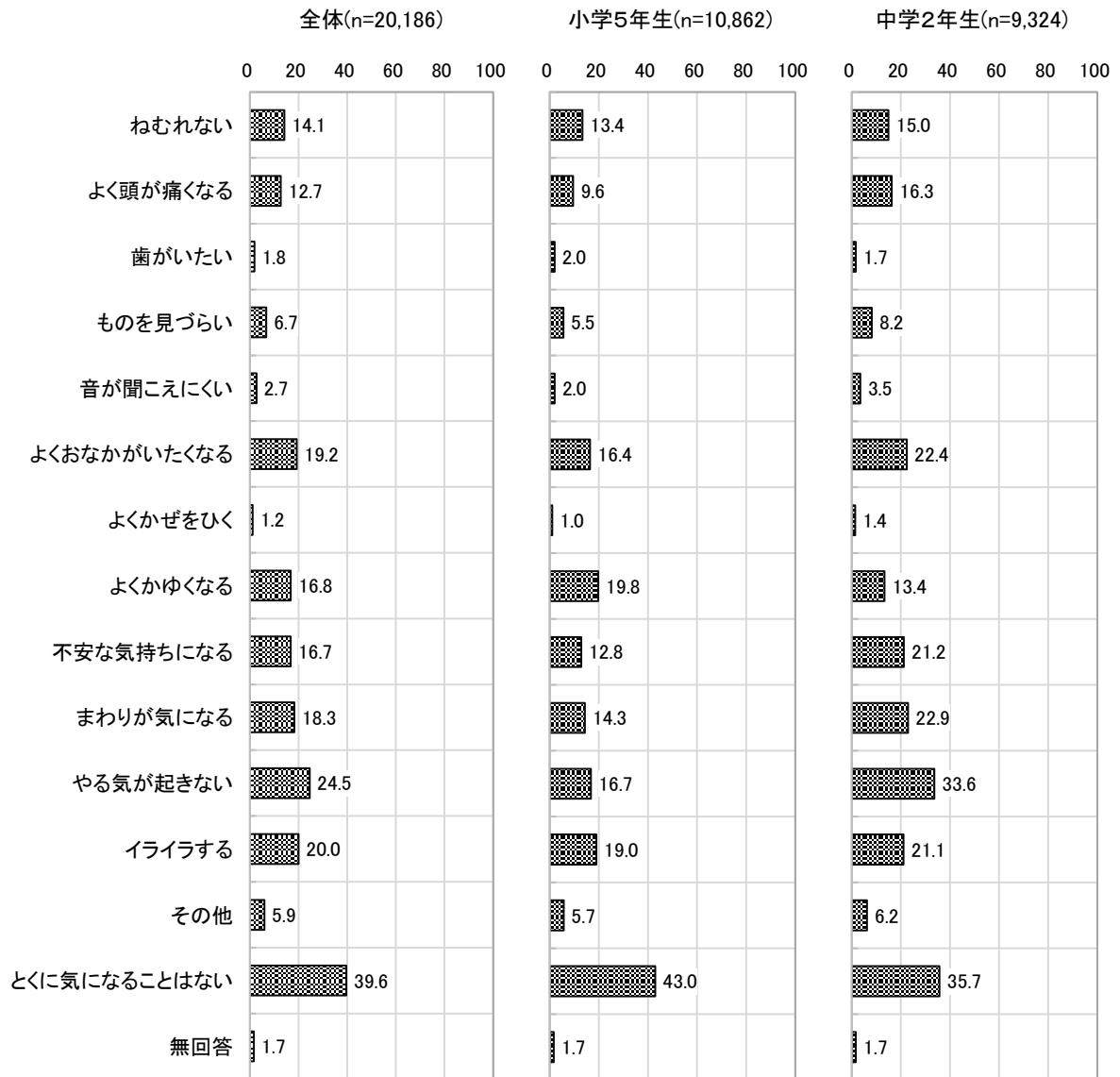


図 2-2-2-9 自覚症状のある健康状態

10. 家族へのケア

子ども票問 11 家庭や家族についてお聞きします。

a1) あなたは家族のお世話をしていますか。(ここで「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などをする事です。)(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「している」が29.1%、「していない」が64.8%、「無回答」が6.1%である。

小学5年生では、「している」が30.9%、「していない」が61.3%、「無回答」が7.7%である。

中学2年生では、「している」が27.0%、「していない」が68.9%、「無回答」が4.2%である。

以上のことから、「していない」の回答が最も多く、小学5年生では6割強、中学2年生では7割弱であった。

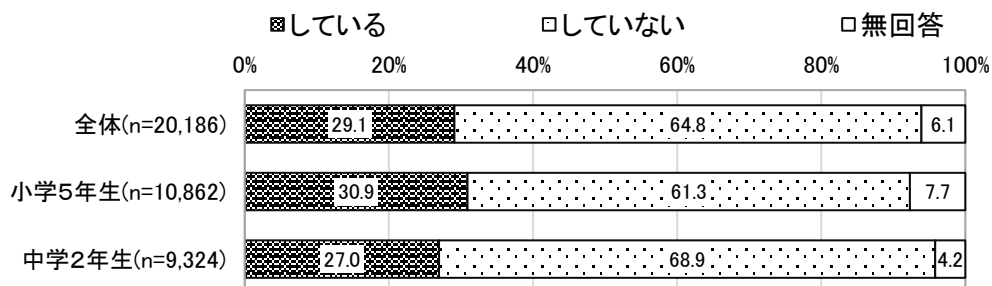


図 2-2-2-10-1 家族へのケア (家族へのケアの実施の有無)

a2) 「1. している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「母親」が61.4%、「きょうだい」が47.6%、「父親」が21.2%、「祖母」が8.4%、「祖父」が3.7%、「その他」が10.0%、「無回答」が2.7%である。

小学5年生では、「母親」が59.7%、「きょうだい」が50.6%、「父親」が21.7%、「祖母」が8.7%、「祖父」が3.9%、「その他」が10.3%、「無回答」が2.3%である。

中学2年生では、「母親」が63.6%、「きょうだい」が43.6%、「父親」が20.6%、「祖母」が8.1%、「祖父」が3.5%、「その他」が9.6%、「無回答」が3.3%である。

以上のことから、「母親」の回答が最も多く、小学5年生で6割弱、中学2年生では6割強であった。

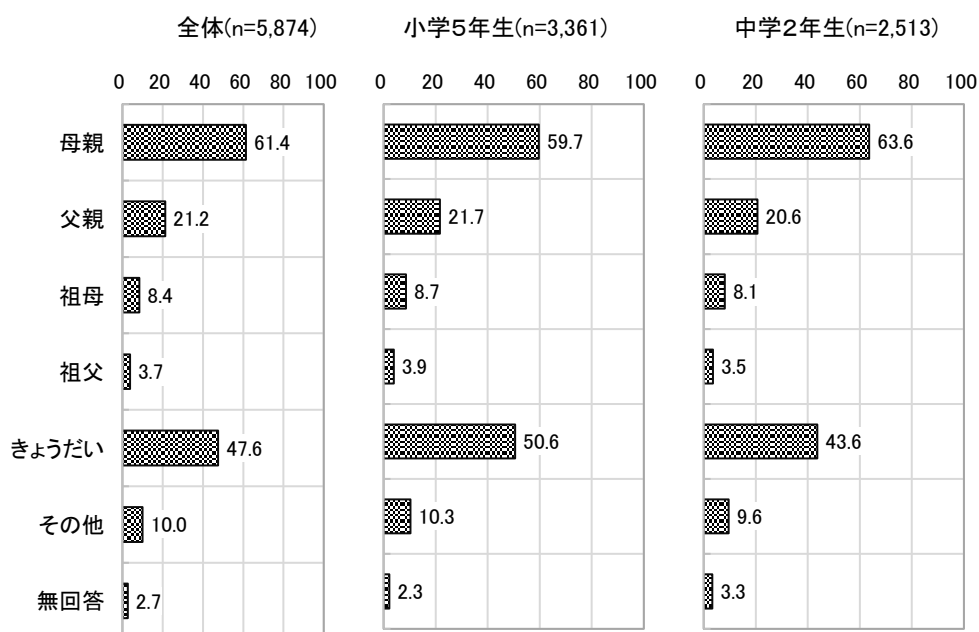


図 2-2-2-10-2 家族へのケア（ケアを必要としている人）

b) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(1～11のあてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「家事（食事の準備や掃除・洗濯）」が73.8%で最も高く、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が26.8%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」が24.3%、「見守り」が16.1%、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」が14.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「家事（食事の準備や掃除・洗濯）」が70.3%で最も高く、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」が27.3%、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が27.1%、「見守り」が16.7%、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」が11.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「家事（食事の準備や掃除・洗濯）」が78.4%で最も高く、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が26.3%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」が20.3%、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」が17.9%、「見守り」が15.2%の順に高くなっている。

以上のことから、「家事（食事の準備や掃除・洗濯）」の回答が最も多く、小学5年生では7割強、中学2年生では8割弱であった。

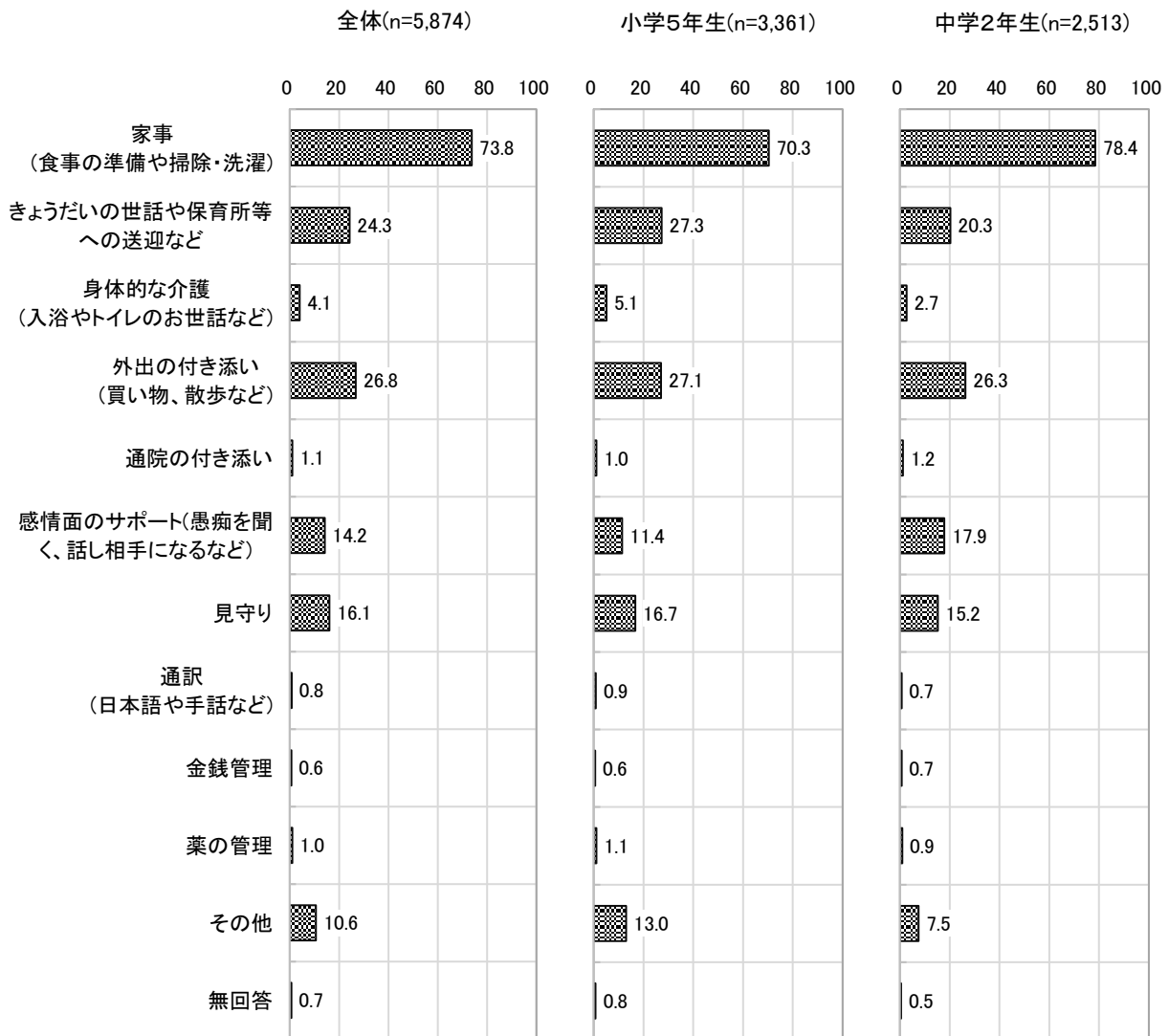


図 2-2-2-10-3 家族へのケア（ケアの内容）

c) お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「ほぼ毎日」が42.6%、「週に3～5日」が23.8%、「週に1～2日」が22.4%、「1カ月に数日」が7.5%、「その他」が2.8%、「無回答」が0.9%である。

小学5年生では、「ほぼ毎日」が43.6%、「週に3～5日」が23.1%、「週に1～2日」が21.8%、「1カ月に数日」が7.4%、「その他」が3.0%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生では、「ほぼ毎日」が41.3%、「週に3～5日」が24.8%、「週に1～2日」が23.2%、「1カ月に数日」が7.5%、「その他」が2.5%、「無回答」が0.8%である。

以上のことから、「ほぼ毎日」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに4割強であった。

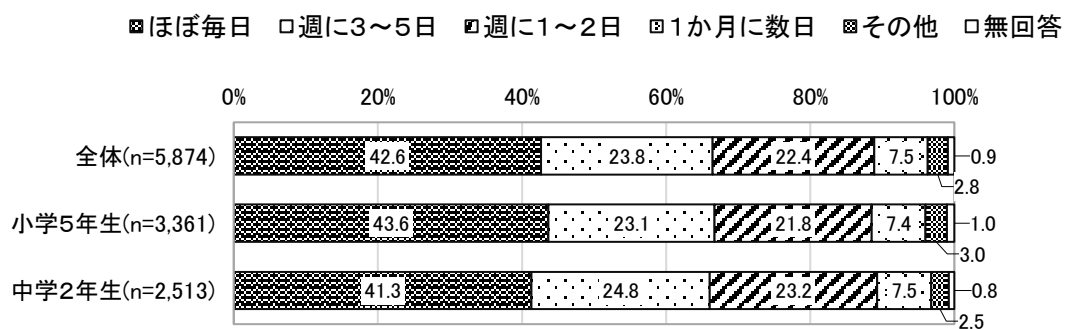


図 2-2-2-10-4 家族へのケア（ケアの頻度）

d) 平日にお世話はどれくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「30分未満」が48.6%、「30分以上1時間未満」が25.2%、「1時間以上3時間未満」が11.4%、「3時間以上5時間未満」が3.6%、「5時間以上7時間未満」が1.5%、「7時間以上」が1.7%、「その他」が6.5%、「無回答」が1.5%である。

小学5年生では、「30分未満」が48.3%、「30分以上1時間未満」が25.2%、「1時間以上3時間未満」が10.5%、「3時間以上5時間未満」が3.6%、「5時間以上7時間未満」が1.7%、「7時間以上」が2.0%、「その他」が6.9%、「無回答」が1.8%である。

中学2年生では、「30分未満」が49.1%、「30分以上1時間未満」が25.2%、「1時間以上3時間未満」が12.7%、「3時間以上5時間未満」が3.5%、「5時間以上7時間未満」が1.4%、「7時間以上」が1.4%、「その他」が5.8%、「無回答」が1.0%である。

以上のことから、「30分未満」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに5割弱であった。

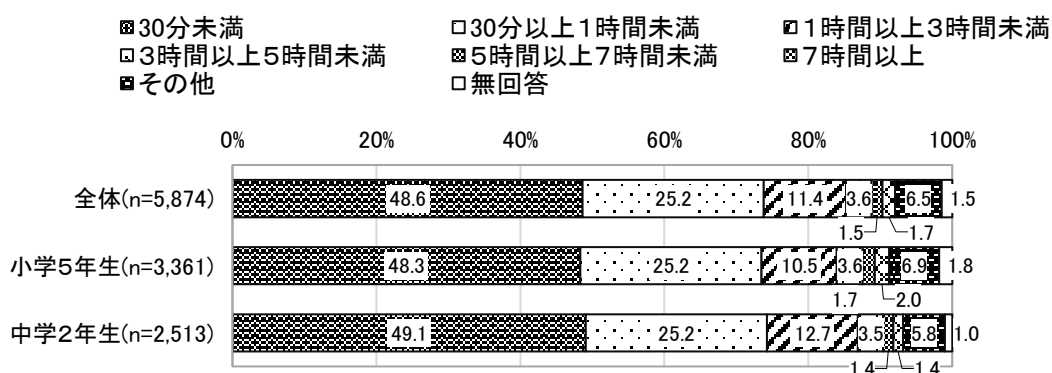


図 2-2-2-10-5 家族へのケア（ケアの時間）

11. 家族の状況

保護者票問 29 ご家族の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

保護者全体では、「みんな健康である」が73.7%で最も高く、「通院している家族がいる」が21.0%、「障がいのある家族がいる(難病をのぞく)」が5.3%、「通院していないが体調が悪い家族がいる」が2.9%、「難病の指定を受けた家族がいる」が2.2%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「みんな健康である」が75.9%で最も高く、「通院している家族がいる」が19.3%、「障がいのある家族がいる(難病をのぞく)」が5.0%、「通院していないが体調が悪い家族がいる」が2.5%、「難病の指定を受けた家族がいる」が2.2%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「みんな健康である」が71.0%で最も高く、「通院している家族がいる」が22.9%、「障がいのある家族がいる(難病をのぞく)」が5.7%、「通院していないが体調が悪い家族がいる」が3.3%、「難病の指定を受けた家族がいる」が2.3%の順に高くなっている。

以上のことから、「みんな健康である」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では8割弱、中学2年生の保護者では7割強であった。

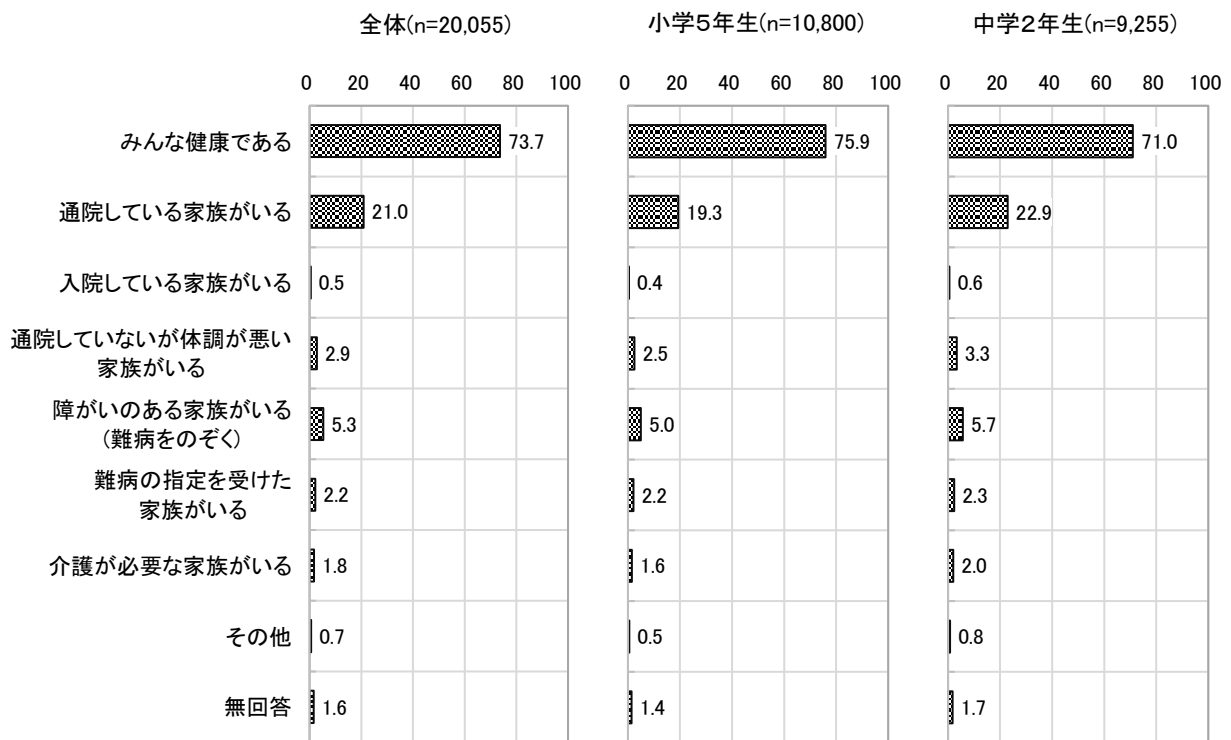


図 2-2-2-11 家族の状況

12. 健康状態

保護者票問 28 あなたとお子さんの健康状態はいかがですか。(a、b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) あなた

保護者全体では、「良い」が48.3%、「まあ良い」が20.1%、「普通」が22.3%、「あまり良くない」が7.0%、「良くない」が1.0%、「無回答」が1.3%である。

小学5年生の保護者では、「良い」が50.7%、「まあ良い」が20.0%、「普通」が21.0%、「あまり良くない」が6.3%、「良くない」が0.9%、「無回答」が1.2%である。

中学2年生の保護者では、「良い」が45.4%、「まあ良い」が20.3%、「普通」が23.8%、「あまり良くない」が7.9%、「良くない」が1.2%、「無回答」が1.5%である。

以上のことから、「良い」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では5割強、中学2年生の保護者では5割弱であった。

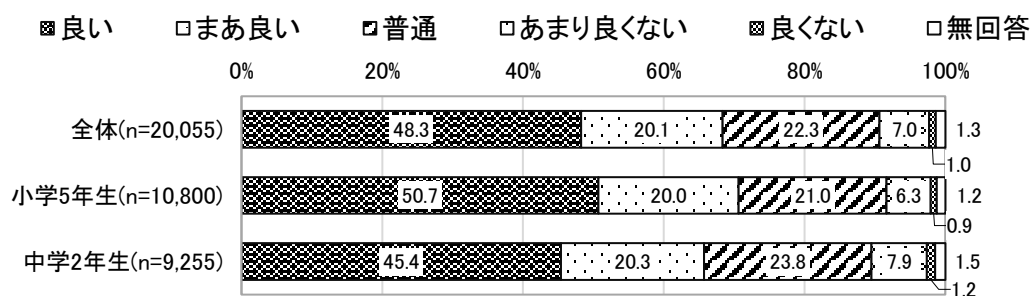


図 2-2-2-12-1 健康状態（あなた）

b) お子さん

保護者全体では、「良い」が68.3%、「まあ良い」が17.8%、「普通」が10.8%、「あまり良くない」が1.5%、「良くない」が0.3%、「無回答」が1.4%である。

小学5年生の保護者では、「良い」が72.4%、「まあ良い」が16.5%、「普通」が8.7%、「あまり良くない」が1.0%、「良くない」が0.1%、「無回答」が1.3%である。

中学2年生の保護者では、「良い」が63.5%、「まあ良い」が19.2%、「普通」が13.1%、「あまり良くない」が2.2%、「良くない」が0.4%、「無回答」が1.5%である。

以上のことから、「良い」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では7割強、中学2年生の保護者では6割強であった。

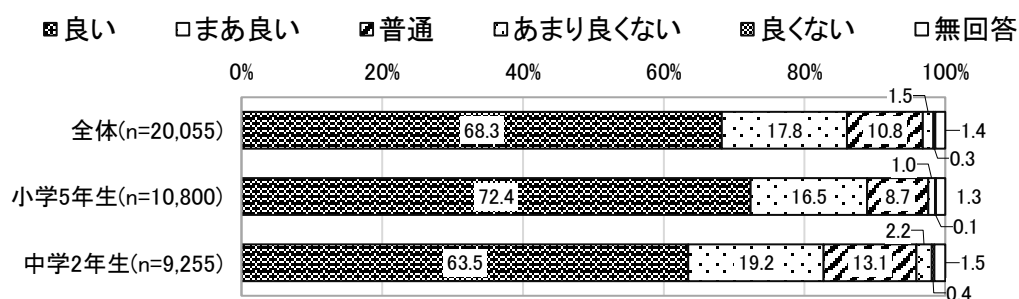


図 2-2-2-12-2 健康状態（お子さん）

13. 子どもの障害の状況

保護者票問 30 調査対象のお子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまるもの1つに○)
 ※今後の子育て施策に生かしたいと考えているため、差し支えなければお答えください。

保護者全体では、「持っている」が 3.6%、「持っていない」が 94.1%、「無回答」が 2.3%である。

小学5年生の保護者では、「持っている」が 3.4%、「持っていない」が 94.3%、「無回答」が 2.3%である。

中学2年生の保護者では、「持っている」が 3.8%、「持っていない」が 93.9%、「無回答」が 2.2%である。

以上のことから、「持っていない」の回答が最も多く、小学5年生と中学2年生の保護者ともに、9割強となっている。

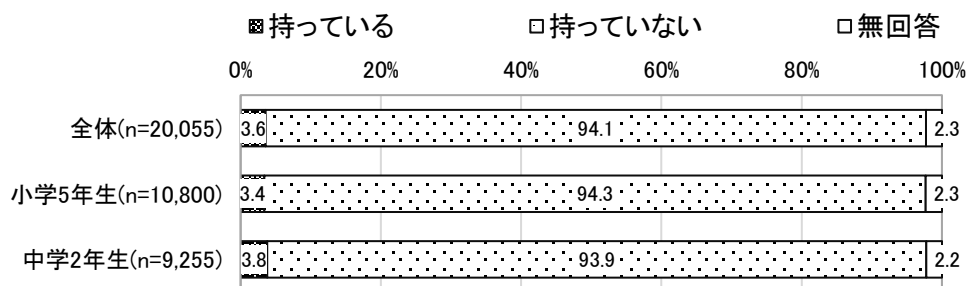


図 2-2-2-13 子どもの障害の状況

2.2.3. 教育環境

1. 親の学歴

保護者票問9 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（a、b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 母親

保護者全体では、「中学（中学部）まで」が3.2%、「高校（高等部）まで」が23.6%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が40.8%、「大学またはそれ以上」が30.1%、「わからない」が0.3%、「いない」が0.2%、「無回答」が1.8%である。

小学5年生の保護者では、「中学（中学部）まで」が3.0%、「高校（高等部）まで」が21.5%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が39.3%、「大学またはそれ以上」が34.1%、「わからない」が0.3%、「いない」が0.2%、「無回答」が1.6%である。

中学2年生の保護者では、「中学（中学部）まで」が3.5%、「高校（高等部）まで」が26.1%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が42.6%、「大学またはそれ以上」が25.3%、「わからない」が0.3%、「いない」が0.2%、「無回答」が2.0%である。

以上のことから、「短大・高専・専門学校（専門科）まで」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では4割弱、中学2年生の保護者では4割強であった。

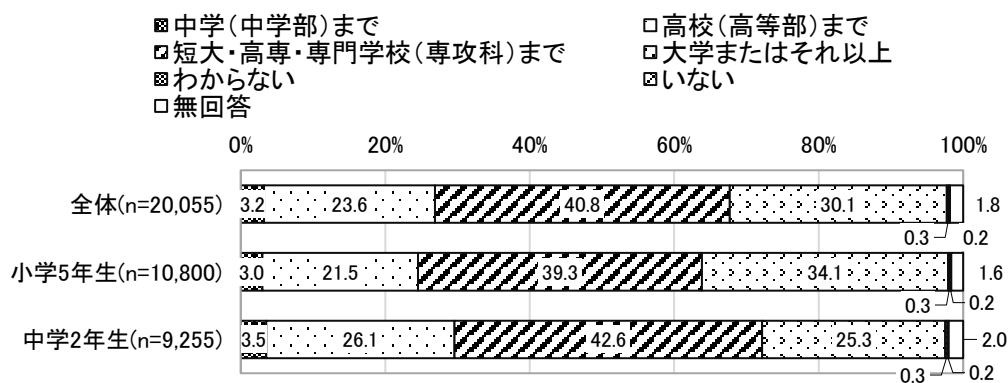


図 2-2-3-1-1 親の学歴（母親）

b) 父親

保護者全体では、「中学（中学部）まで」が4.3%、「高校（高等部）まで」が26.0%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が14.9%、「大学またはそれ以上」が46.4%、「わからない」が0.5%、「いない」が1.2%、「無回答」が6.5%である。

小学5年生の保護者では、「中学（中学部）まで」が4.3%、「高校（高等部）まで」が24.1%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が15.1%、「大学またはそれ以上」が49.3%、「わからない」が0.5%、「いない」が1.1%、「無回答」が5.7%である。

中学2年生の保護者では、「中学（中学部）まで」が4.4%、「高校（高等部）まで」が28.3%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が14.8%、「大学またはそれ以上」が43.1%、「わからない」が0.6%、「いない」が1.4%、「無回答」が7.5%である。

以上のことから、「大学またはそれ以上」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では5割弱、中学2年生の保護者では4割強であった。

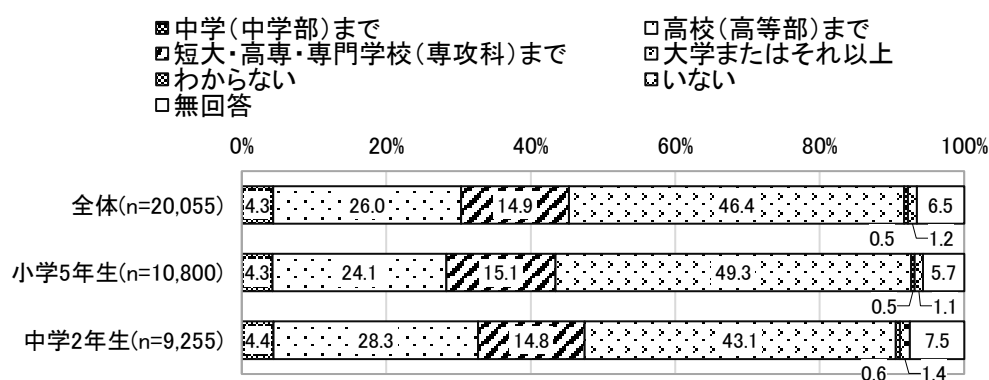


図 2-2-3-1-2 親の学歴（父親）

2. 学習環境

子ども票問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題も含まれます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「自分で勉強する」が70.7%で最も高く、「塾で勉強する」が48.0%、「家の人に教えてもらう」が41.6%、「友達と勉強する」が17.5%、「学校の授業以外で勉強はしない」が4.8%の順に高くなっている。

小学5年生では、「自分で勉強する」が69.6%で最も高く、「家の人に教えてもらう」が50.8%、「塾で勉強する」が38.5%、「友達と勉強する」が14.8%、「学校の授業以外で勉強はしない」が4.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「自分で勉強する」が72.1%で最も高く、「塾で勉強する」が59.2%、「家の人に教えてもらう」が30.9%、「友達と勉強する」が20.7%、「学校の授業以外で勉強はしない」が4.8%の順に高くなっている。

以上のことから、「自分で勉強する」の回答が最も多く、小学5年生では7割弱、中学2年生では7割強であった。

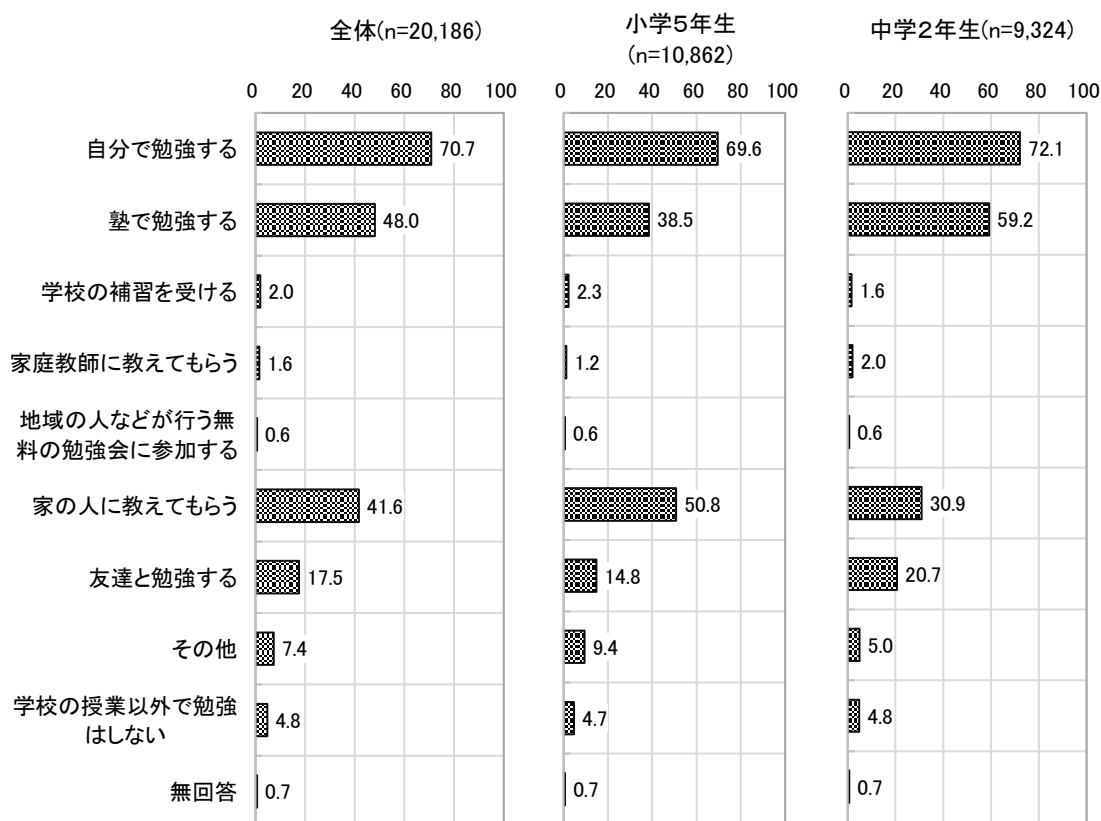


図 2-2-3-2 学習環境

3. 学習習慣

子ども票問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 学校がある日（月～金曜日）

子ども全体では、「まったくしない」が5.1%、「30分より少ない」が16.2%、「30分以上、1時間より少ない」が32.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が26.4%、「2時間以上、3時間より少ない」が12.2%、「3時間以上」が6.5%、「無回答」が1.2%である。

小学5年生では、「まったくしない」が2.9%、「30分より少ない」が16.2%、「30分以上、1時間より少ない」が38.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が23.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が9.1%、「3時間以上」が7.9%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生では、「まったくしない」が7.6%、「30分より少ない」が16.2%、「30分以上、1時間より少ない」が25.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が29.4%、「2時間以上、3時間より少ない」が15.8%、「3時間以上」が4.9%、「無回答」が1.0%である。

以上のことから、小学5年生は「30分以上、1時間より少ない」の回答が最も多く4割弱、中学2年生は「1時間以上、2時間より少ない」の回答が最も多く3割弱であった。

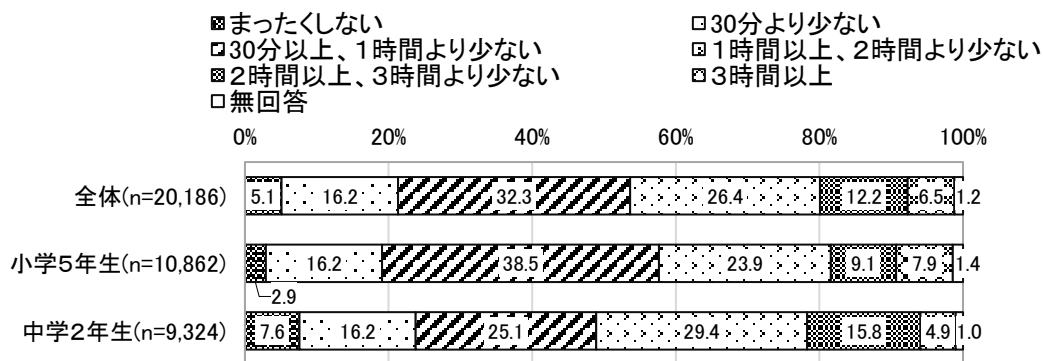


図 2-2-3-3-1 学習習慣（学校がある日（月～金曜日））

b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

子ども全体では、「まったくしない」が16.7%、「30分より少ない」が21.6%、「30分以上、1時間より少ない」が23.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が8.2%、「3時間以上」が6.8%、「無回答」が5.4%である。

小学5年生では、「まったくしない」が16.5%、「30分より少ない」が24.1%、「30分以上、1時間より少ない」が25.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が15.4%、「2時間以上、3時間より少ない」が5.8%、「3時間以上」が6.9%、「無回答」が6.2%である。

中学2年生では、「まったくしない」が17.0%、「30分より少ない」が18.8%、「30分以上、1時間より少ない」が21.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が20.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が10.9%、「3時間以上」が6.6%、「無回答」が4.5%である。

以上のことから、「30分以上、1時間より少ない」の回答が最も多く、小学5年生では3割弱、中学2年生では2割強であった。

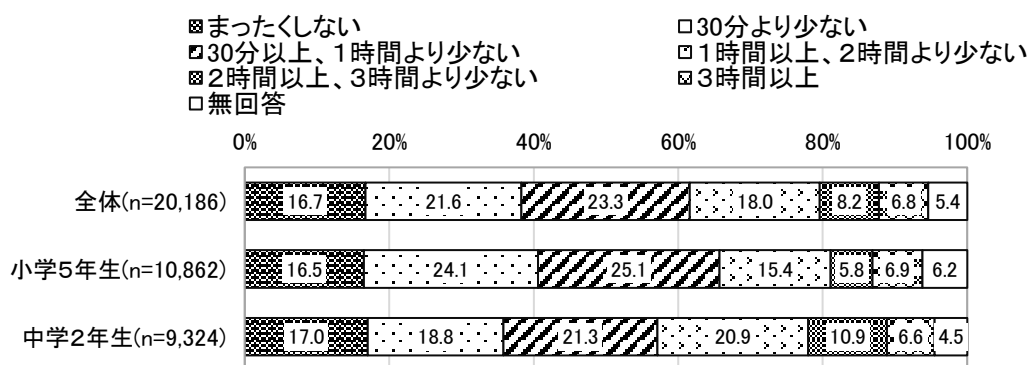


図 2-2-3-3-2 学習習慣（学校がない日（土・日曜日・祝日））

4. 部活動等の状況

子ども票問9 中2の方のみ教えてください。あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

中学2年生では、「参加している」が89.3%、「参加していない」が9.2%、「無回答」が1.6%である。

以上のことから、中学2年生の9割弱が部活動等に参加している。

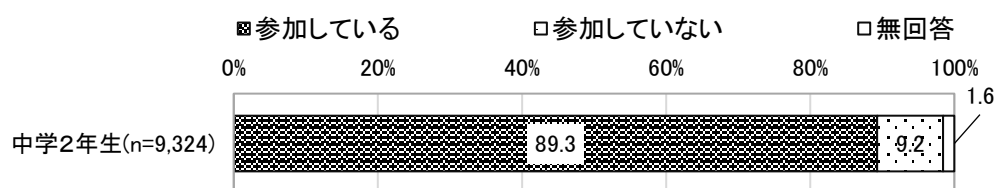


図 2-2-3-4 部活動等の状況

5. 部活動等を行わない理由

子ども票問10 問9で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中学2年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が37.7%、「塾や習い事が忙しいから」が19.8%、「費用がかかるから」が6.4%、「家の事情(家族の世話・家事など)があるから」が5.4%、「一緒にいる友達がいないから」が7.8%、「その他」が44.2%、「無回答」が1.1%である。

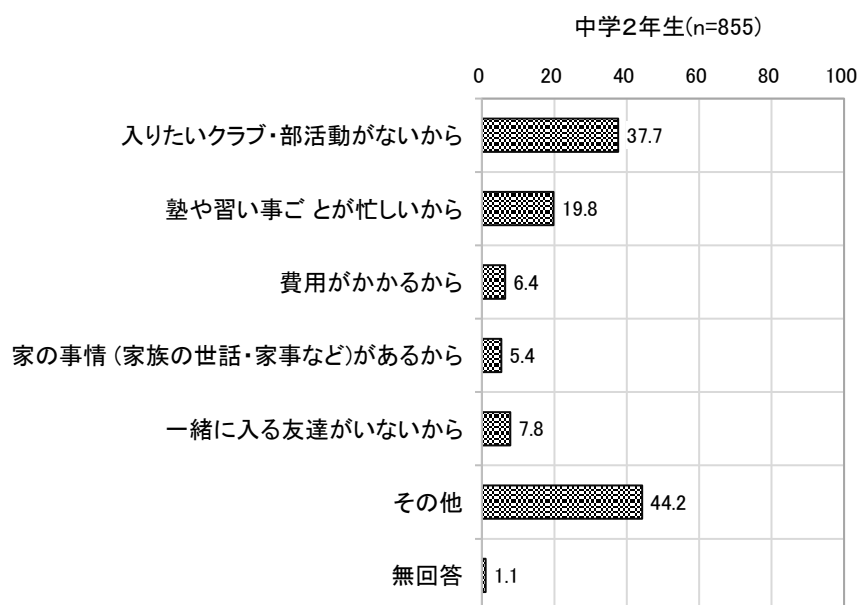


図 2-2-3-5 部活動等を行わない理由

6. 子どもの通学状況

保護者票問 17 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「ほぼ毎日通っている」が 92.7%、「欠席は年間 30 日未満である」が 3.3%、「欠席は年間 30 日以上、60 日未満である」が 0.6%、「欠席は年間 60 日以上、1 年未満である」が 0.9%、「欠席が 1 年以上続いている」が 0.3%、「わからない」が 0.3%、「無回答」が 1.9%である。

小学 5 年生の保護者では、「ほぼ毎日通っている」が 94.3%、「欠席は年間 30 日未満である」が 2.9%、「欠席は年間 30 日以上、60 日未満である」が 0.4%、「欠席は年間 60 日以上、1 年未満である」が 0.3%、「欠席が 1 年以上続いている」が 0.1%、「わからない」が 0.2%、「無回答」が 1.7%である。

中学 2 年生の保護者では、「ほぼ毎日通っている」が 90.8%、「欠席は年間 30 日未満である」が 3.8%、「欠席は年間 30 日以上、60 日未満である」が 0.8%、「欠席は年間 60 日以上、1 年未満である」が 1.6%、「欠席が 1 年以上続いている」が 0.5%、「わからない」が 0.4%、「無回答」が 2.1%である。

以上のことから、「ほぼ毎日通っている」の回答が最も多く、小学 5 年生と中学 2 年生の保護者ともに 9 割強であった。

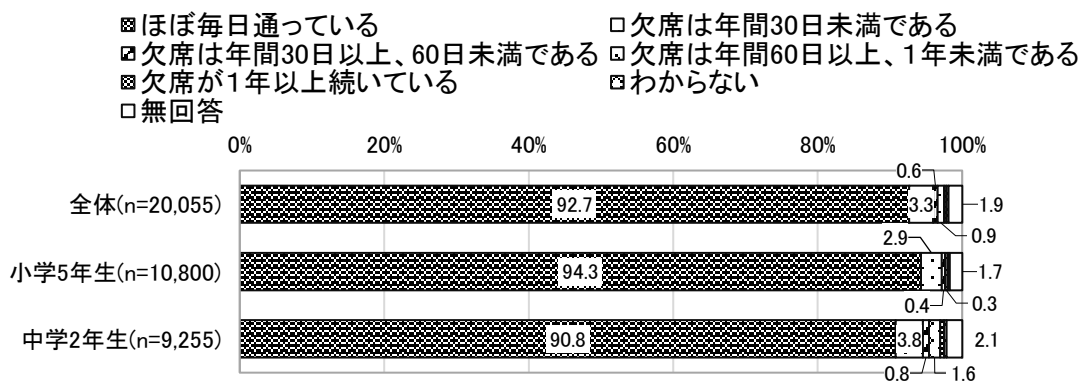


図 2-2-3-6 子どもの通学状況

7. 遅刻の状況

子ども票問 14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「毎日」が0.9%、「週に4～5回」が0.6%、「週に2～3回」が1.6%、「週に1回程度」が4.0%、「遅刻はしない」が91.7%、「無回答」が1.1%である。

小学5年生では、「毎日」が0.6%、「週に4～5回」が0.6%、「週に2～3回」が1.7%、「週に1回程度」が4.2%、「遅刻はしない」が91.7%、「無回答」が1.2%である。

中学2年生では、「毎日」が1.2%、「週に4～5回」が0.6%、「週に2～3回」が1.5%、「週に1回程度」が3.8%、「遅刻はしない」が91.8%、「無回答」が1.0%である。

以上のことから、「遅刻はしない」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに9割強であった。

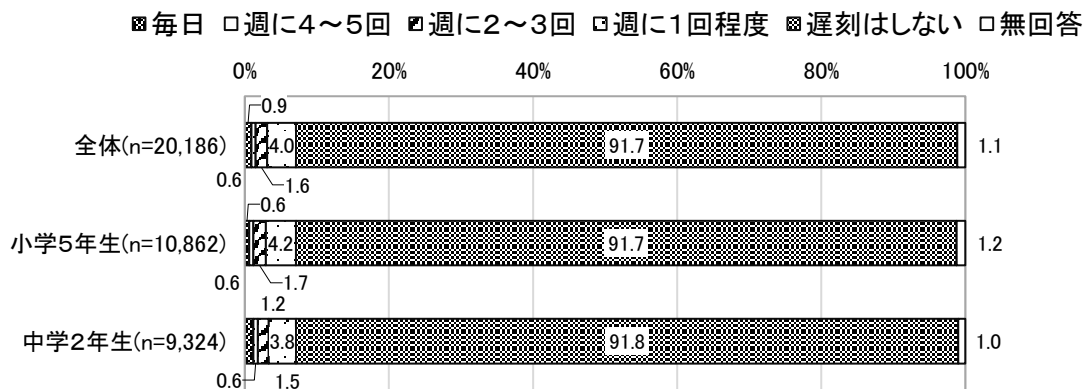


図 2-2-3-7 遅刻の状況

8. 幼児期の教育

保護者票問 12 お子さんが0～2歳の間と3～5歳の間に通っていた教育・保育施設などで
 主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（a、bそれぞれについて、あてはまる
 もの1つに○）

a) 0～2歳

保護者全体では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が31.7%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が3.7%、「親・親族以外の個人」が1.7%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が57.2%、「無回答」が5.6%である。

小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が33.3%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が4.2%、「親・親族以外の個人」が1.8%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が55.4%、「無回答」が5.3%である。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が29.7%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が3.2%、「親・親族以外の個人」が1.7%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が59.4%、「無回答」が6.0%である。

以上のことから、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の回答が最も多く、小学5年生と中学2年生の保護者ともに6割弱であった。

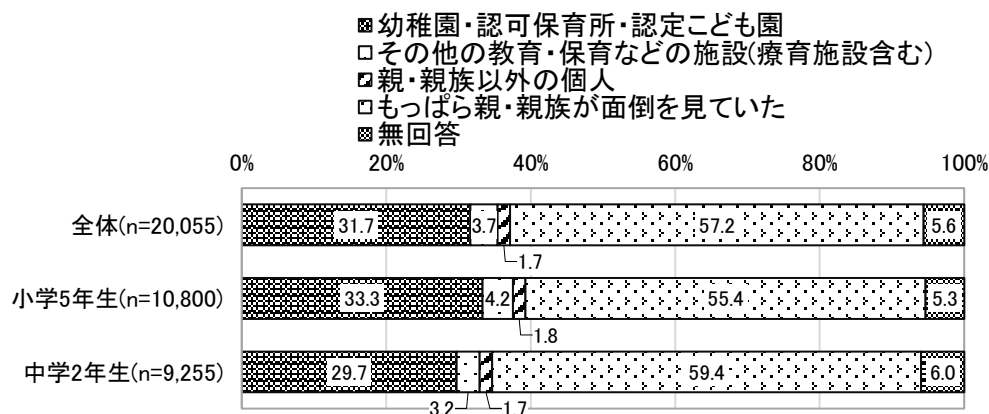


図 2-2-3-8-1 幼児期の教育 (0～2歳)

b) 3～5 歳

保護者全体では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 94.1%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が 2.1%、「親・親族以外の個人」が 0.0%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 1.6%、「無回答」が 2.2%である。

小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 94.4%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が 2.2%、「親・親族以外の個人」が 0.0%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 1.3%、「無回答」が 2.1%である。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 93.7%、「その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)」が 2.0%、「親・親族以外の個人」が 0.1%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 1.9%、「無回答」が 2.4%である。

以上のことから、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の回答が最も多く、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに9割強であった。

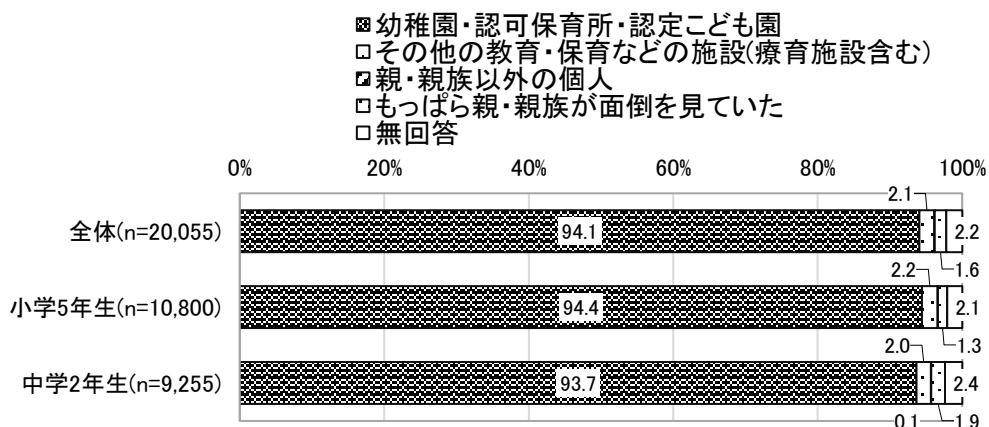


図 2-2-3-8-2 幼児期の教育 (3～5 歳)

9. 学校行事への参加

保護者票問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 学校行事への参加（授業参観や運動会など）

保護者全体では、「よく参加している」が76.7%、「ときどき参加している」が18.8%、「あまり参加していない」が3.5%、「まったく参加していない」が0.6%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「よく参加している」が83.3%、「ときどき参加している」が14.0%、「あまり参加していない」が2.2%、「まったく参加していない」が0.2%、「無回答」が0.3%である。

中学2年生の保護者では、「よく参加している」が69.1%、「ときどき参加している」が24.3%、「あまり参加していない」が5.0%、「まったく参加していない」が1.1%、「無回答」が0.5%である。

以上のことから、「よく参加している」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では8割強、中学2年生の保護者では約7割弱であった。

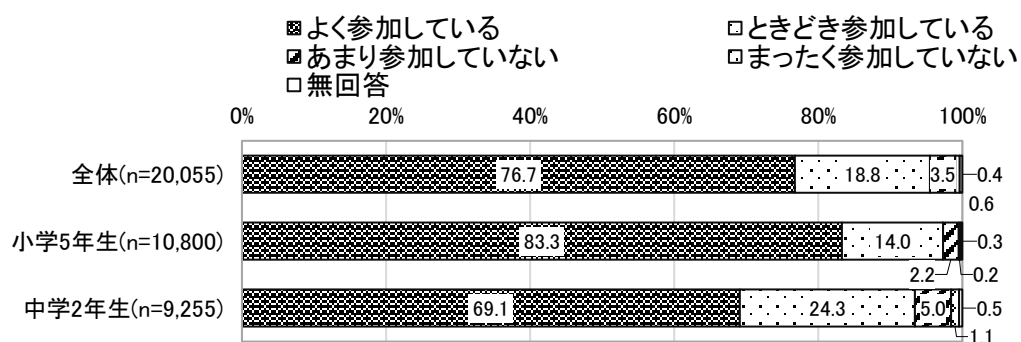


図 2-2-3-9-1 学校行事への参加（授業参観や運動会など）

b) 子どもに関するボランティアなどへの参加（PTA活動や保護者会、放課後学習支援など）

保護者全体では、「よく参加している」が19.9%、「ときどき参加している」が38.4%、「あまり参加していない」が28.4%、「まったく参加していない」が12.5%、「無回答」が0.9%である。

小学5年生の保護者では、「よく参加している」が21.5%、「ときどき参加している」が38.3%、「あまり参加していない」が27.0%、「まったく参加していない」が12.4%、「無回答」が0.9%である。

中学2年生の保護者では、「よく参加している」が18.1%、「ときどき参加している」が38.5%、「あまり参加していない」が29.9%、「まったく参加していない」が12.6%、「無回答」が0.9%である。

以上のことから、「ときどき参加している」の回答が最も多く、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに4割弱であった。

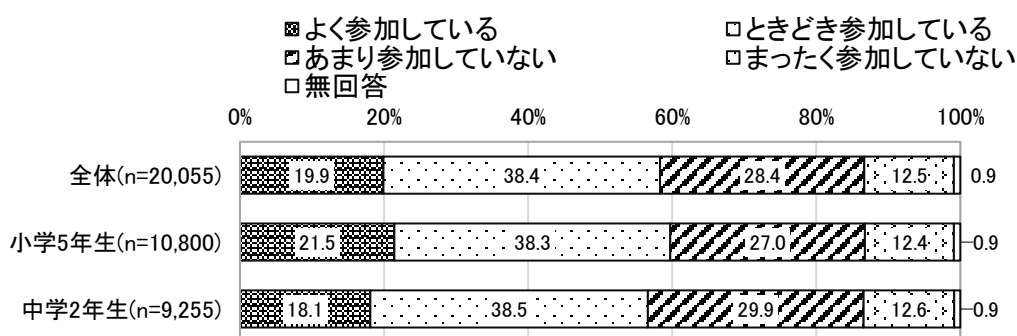


図 2-2-3-9-2 学校行事への参加
(子どもに関するボランティアなどへの参加)

10. 進学希望

子ども票問7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。

(あてはまるもの1つに○)

子ども全体では、「中学（中等部）まで」が0.6%、「高校（高等部）まで」が13.4%、「短大・高専・専門学校まで」が12.5%、「大学またはそれ以上」が44.5%、「まだわからない」が25.8%、「無回答」が3.3%である。

小学5年生では、「中学（中等部）まで」が0.8%、「高校（高等部）まで」が12.3%、「短大・高専・専門学校まで」が11.4%、「大学またはそれ以上」が40.0%、「まだわからない」が31.7%、「無回答」が3.8%である。

中学2年生では、「中学（中等部）まで」が0.4%、「高校（高等部）まで」が14.7%、「短大・高専・専門学校まで」が13.7%、「大学またはそれ以上」が49.6%、「まだわからない」が19.0%、「無回答」が2.7%である。

以上のことから、「大学またはそれ以上」の回答が最も多く、小学5年生では4割、中学2年生では5割弱であった。

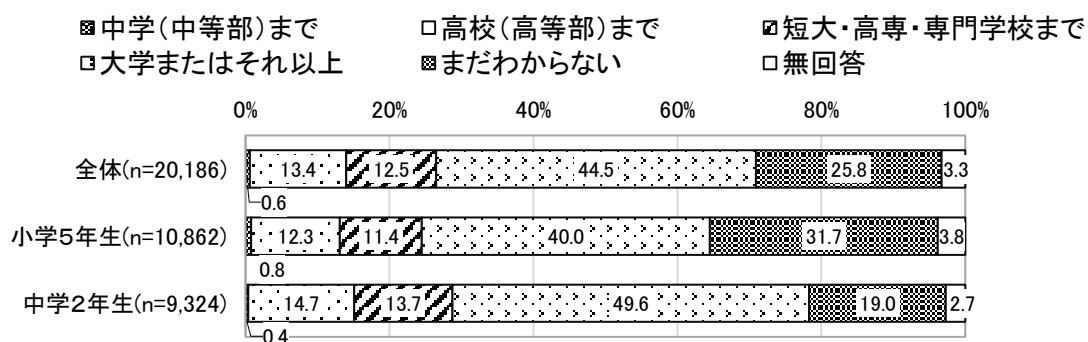


図 2-2-3-10 進学希望

11. 想定する進学先の理由（子ども）

子ども票問 8 問 7 の質問で 1~4 と答えた場合、その理由を教えてください。（1~8 については、あてはまるものすべてに○）

子ども全体では、「希望する学校や職業があるから」が 52.4%で最も高く、「とくに理由はない」が 19.5%、「親がそう言っているから」が 17.7%、「自分の成績から考えて」が 14.2%、「兄・姉がそうしているから」が 5.8%の順に高くなっている。

小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が 53.2%で最も高く、「とくに理由はない」が 19.8%、「自分の成績から考えて」が 14.1%、「親がそう言っているから」が 13.8%、「兄・姉がそうしているから」が 3.9%の順に高くなっている。

中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が 51.5%で最も高く、「親がそう言っているから」が 21.5%、「とくに理由はない」が 19.3%、「自分の成績から考えて」が 14.4%、「兄・姉がそうしているから」が 7.6%の順に高くなっている。

以上のことから、「希望する学校や職業があるから」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに5割強であった。

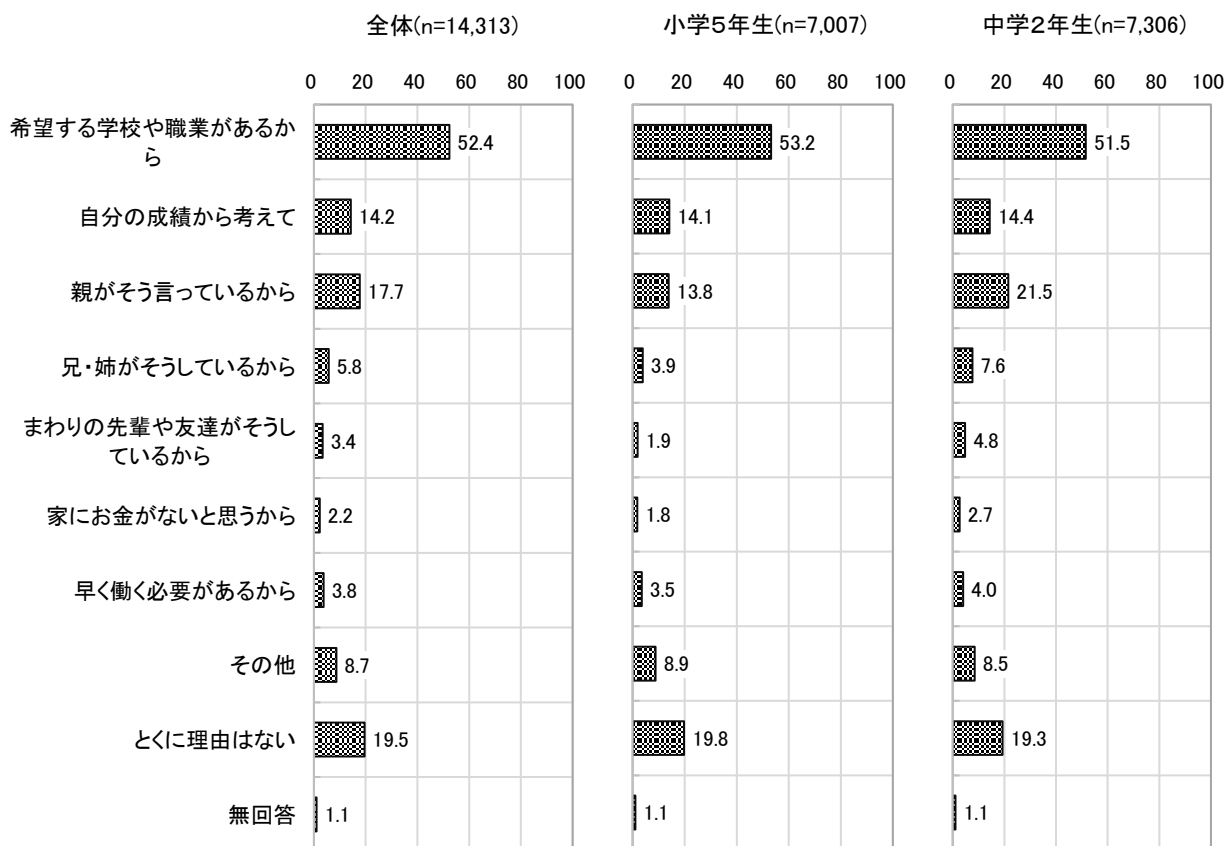


図 2-2-3-11 想定する進学先の理由（子ども）

12. 進学の見通し

保護者票問 15 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「中学（中等部）まで」が0.4%、「高校（高等部）まで」が10.6%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が11.9%、「大学またはそれ以上」が54.0%、「まだわからない」が21.0%、「無回答」が2.2%である。

小学5年生の保護者では、「中学（中等部）まで」が0.4%、「高校（高等部）まで」が8.3%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が11.3%、「大学またはそれ以上」が55.9%、「まだわからない」が22.2%、「無回答」が1.9%である。

中学2年生の保護者では、「中学（中等部）まで」が0.4%、「高校（高等部）まで」が13.2%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が12.6%、「大学またはそれ以上」が51.8%、「まだわからない」が19.6%、「無回答」が2.4%である。

以上のことから、「大学またはそれ以上」の回答が最も多く、小学5年生の保護者で6割弱、中学2年生の保護者で5割強であった。

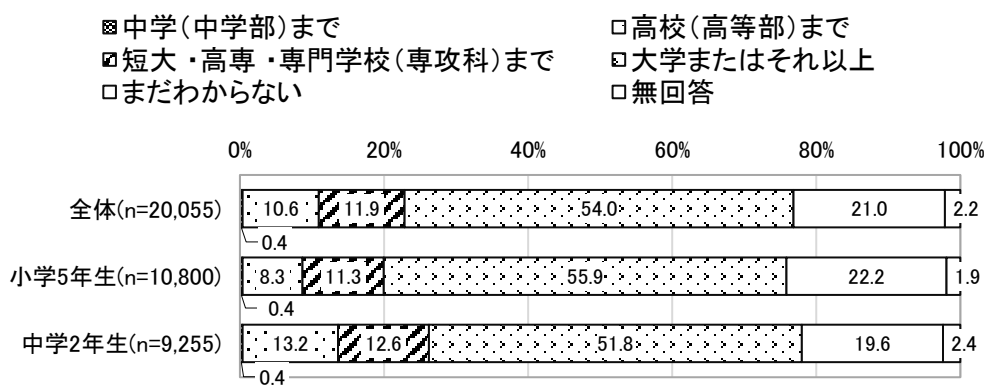


図 2-2-3-12 進学の見通し

13. 想定する進学先の理由（保護者）

保護者票問 16 問 15 で 1~4 と答えた場合、その理由は何ですか。（1~5 については、あてはまるものすべてに○）

保護者全体では、「一般的な進路だと思うから」が 39.8%で最も高く、「お子さんがそう希望しているから」が 39.5%、「お子さんの学力や状況から考えて」が 33.0%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 7.8%、「特に理由はない」が 5.5%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が 44.6%で最も高く、「お子さんがそう希望しているから」が 33.5%、「お子さんの学力や状況から考えて」が 32.0%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 8.6%、「特に理由はない」が 6.3%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が 46.3%で最も高く、「一般的な進路だと思うから」が 34.5%、「お子さんの学力や状況から考えて」が 34.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 6.8%、「特に理由はない」が 4.6%の順に高くなっている。

以上のことから、小学5年生の保護者は「一般的な進路だと思うから」の回答が最も多く4割強で、中学2年生の保護者は「お子さんがそう希望しているから」の回答が最も多く5割弱であった。

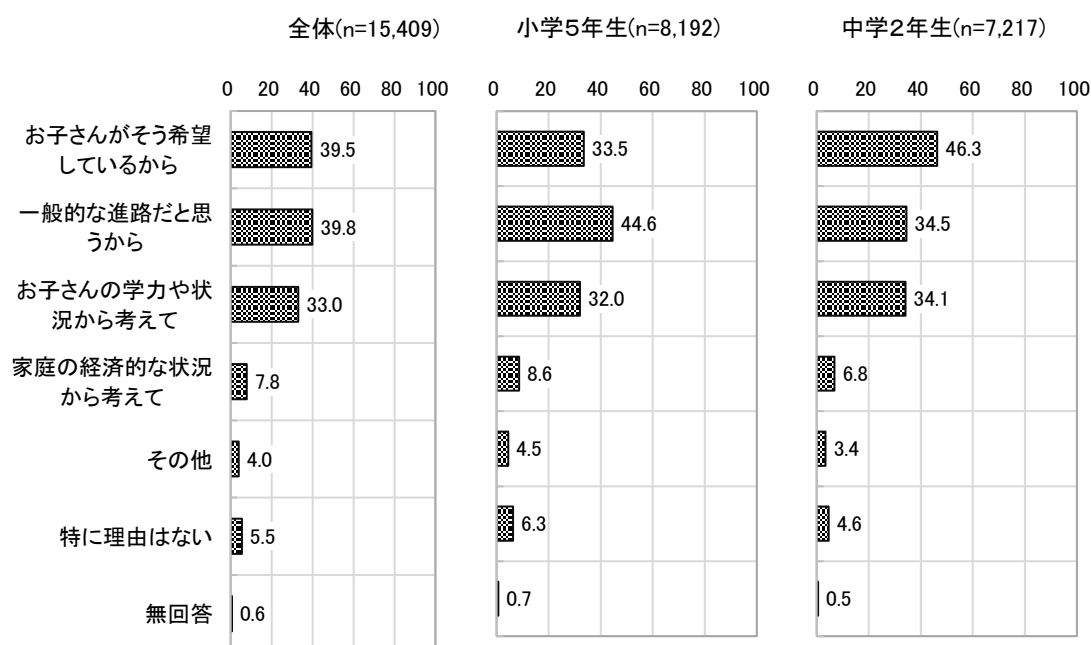


図 2-2-3-13 想定する進学先の理由（保護者）

2.2.4. 社会環境

1. 保護者の頼れる相手の有無

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

a) 子育てに関する相談

保護者全体では、「頼れる人がいる」が95.9%、「いない」が2.3%、「そのことでは人に頼らない」が1.6%、「無回答」が0.1%である。

小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が96.3%、「いない」が2.1%、「そのことでは人に頼らない」が1.5%、「無回答」が0.1%である。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が95.6%、「いない」が2.6%、「そのことでは人に頼らない」が1.8%、「無回答」が0.1%である。

以上のことから、「頼れる人がいる」の回答が最も多く、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに10割弱であった。

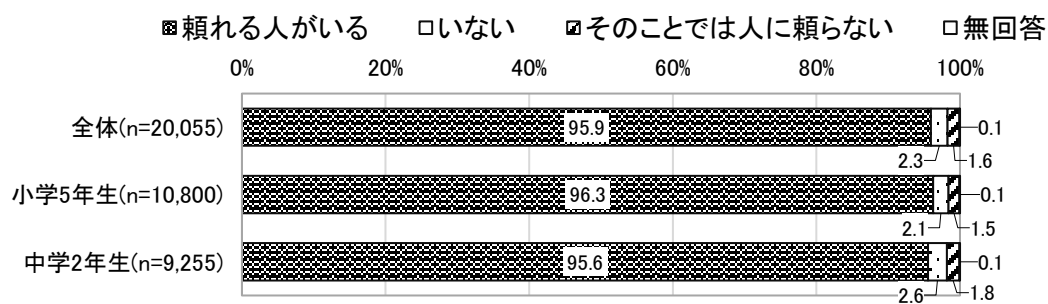


図 2-2-4-1 保護者の頼れる相手の有無（子育てに関する相談）

2. 保護者の頼れる相手

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

保護者全体では、「家族・親族」が 90.9%で最も高く、「友人・知人」が 69.3%、「職場の人」が 30.5%、「近所の人」が 15.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が 3.7%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「家族・親族」が 91.6%で最も高く、「友人・知人」が 70.3%、「職場の人」が 30.2%、「近所の人」が 16.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が 4.0%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「家族・親族」が 90.0%で最も高く、「友人・知人」が 68.1%、「職場の人」が 30.8%、「近所の人」が 14.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が 3.4%の順に高くなっている。

以上のことから、「家族・親族」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では9割強、中学2年生の保護者では9割であった。

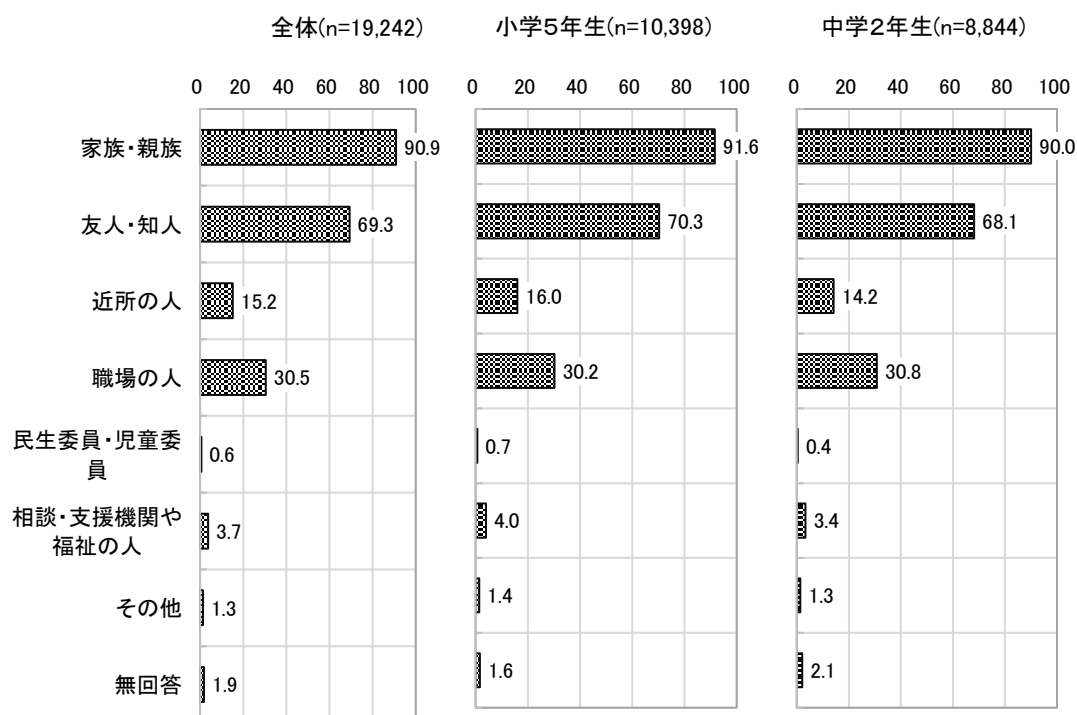


図 2-2-4-2 保護者の頼れる相手（子育てに関する相談）

3. 保護者の頼れる相手の有無

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの 1 つに○)

b) 重要な事柄の相談

保護者全体では、「頼れる人がいる」が 94.7%、「いない」が 2.9%、「そのことでは人に頼らない」が 2.2%、「無回答」が 0.2%である。

小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 95.3%、「いない」が 2.6%、「そのことでは人に頼らない」が 1.9%、「無回答」が 0.2%である。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 94.0%、「いない」が 3.3%、「そのことでは人に頼らない」が 2.5%、「無回答」が 0.2%である。

以上のことから、「頼れる人がいる」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では 10 割弱、中学2年生の保護者では 9 割強であった。

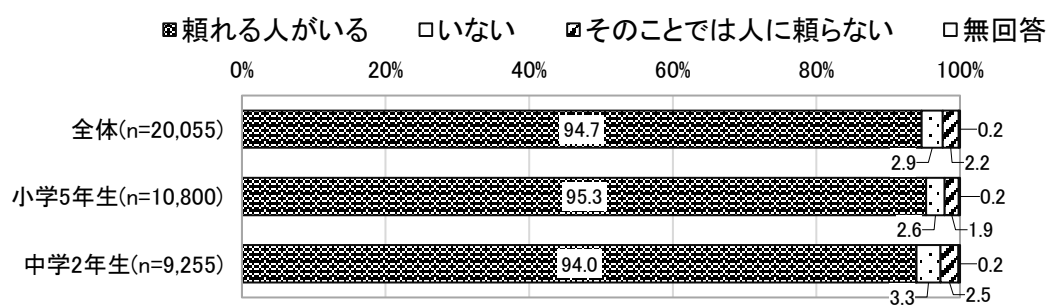


図 2-2-4-3 保護者の頼れる相手の有無 (重要な事柄の相談)

4. 保護者の頼れる相手

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

b) 重要な事柄の相談

保護者全体では、「家族・親族」が94.1%で最も高く、「友人・知人」が35.1%、「職場の人」が7.5%、「近所の人」が2.1%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.5%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「家族・親族」が94.4%で最も高く、「友人・知人」が35.7%、「職場の人」が7.7%、「近所の人」が2.3%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.5%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「家族・親族」が93.7%で最も高く、「友人・知人」が34.3%、「職場の人」が7.2%、「近所の人」が2.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.4%の順に高くなっている。

以上のことから、「家族・親族」の回答が最も多く、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに9割強であった。

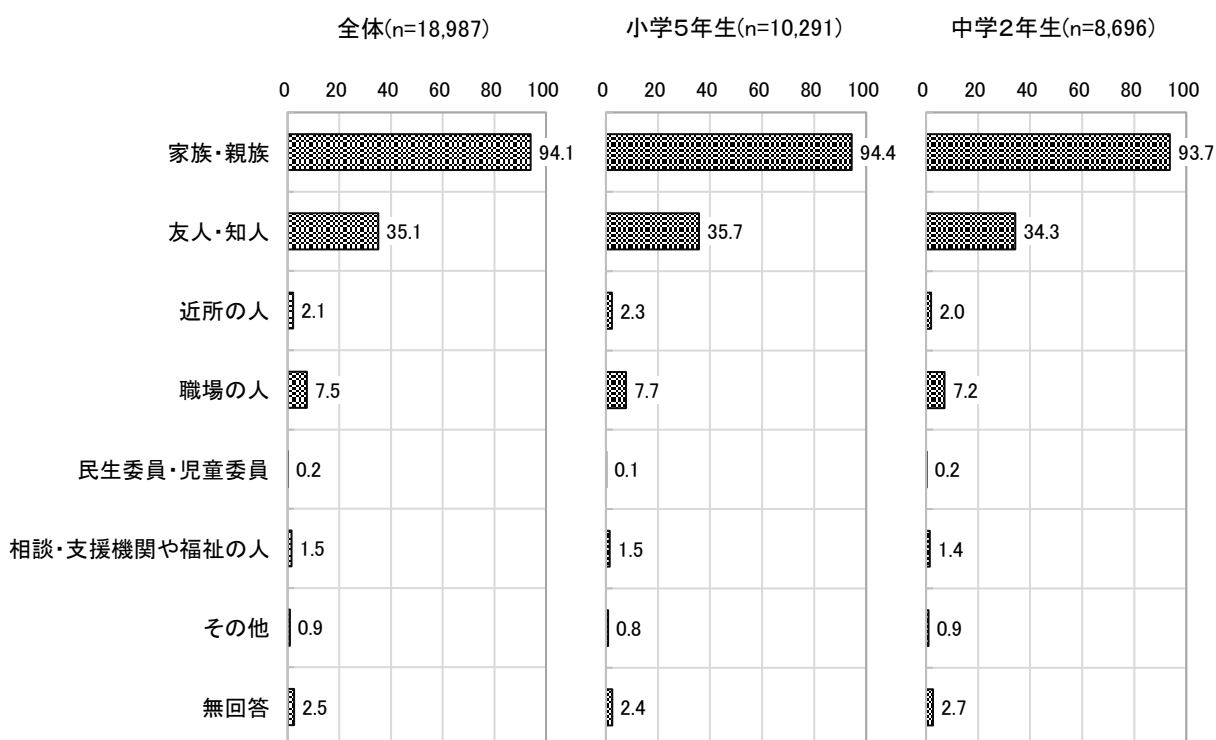


図 2-2-4-4 保護者の頼れる相手（重要な事柄の相談）

5. 保護者の頼れる相手の有無

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの 1 つに○)

c) いざという時のお金の援助

保護者全体では、「頼れる人がいる」が 70.8%、「いない」が 9.7%、「そのことでは人に頼らない」が 17.2%、「無回答」が 2.3%である。

小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 71.9%、「いない」が 8.9%、「そのことでは人に頼らない」が 17.0%、「無回答」が 2.2%である。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 69.5%、「いない」が 10.5%、「そのことでは人に頼らない」が 17.5%、「無回答」が 2.5%である。

以上のことから、「頼れる人がいる」の回答が最も多く、小学5年生の保護者では7割強、中学2年生の保護者では7割弱であった。

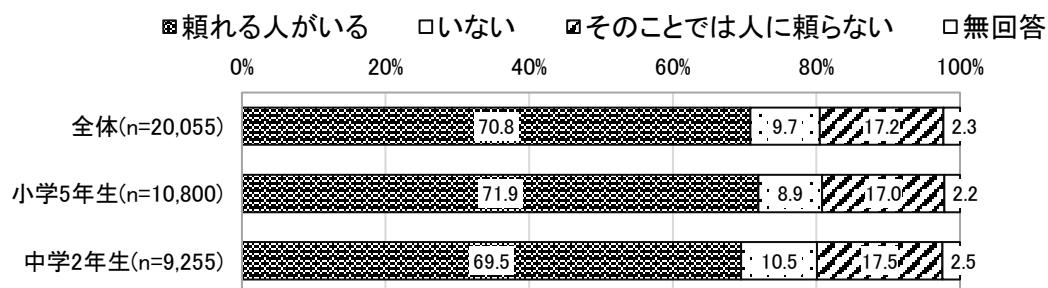


図 2-2-4-5 保護者の頼れる相手の有無 (いざというときのお金の援助)

6. 保護者の頼れる相手

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

c) いざという時のお金の援助

保護者全体では、「家族・親族」が97.6%で最も高く、「友人・知人」が2.1%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.4%、「職場の人」が0.7%、「近所の人」が0.2%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「家族・親族」が97.9%で最も高く、「友人・知人」が2.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.2%、「職場の人」が0.6%、「近所の人」が0.2%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「家族・親族」が97.2%で最も高く、「友人・知人」が2.3%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.7%、「職場の人」が0.8%、「近所の人」が0.1%の順に高くなっている。

以上のことから、「家族・親族」の回答が最も多く、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに10割弱であった。

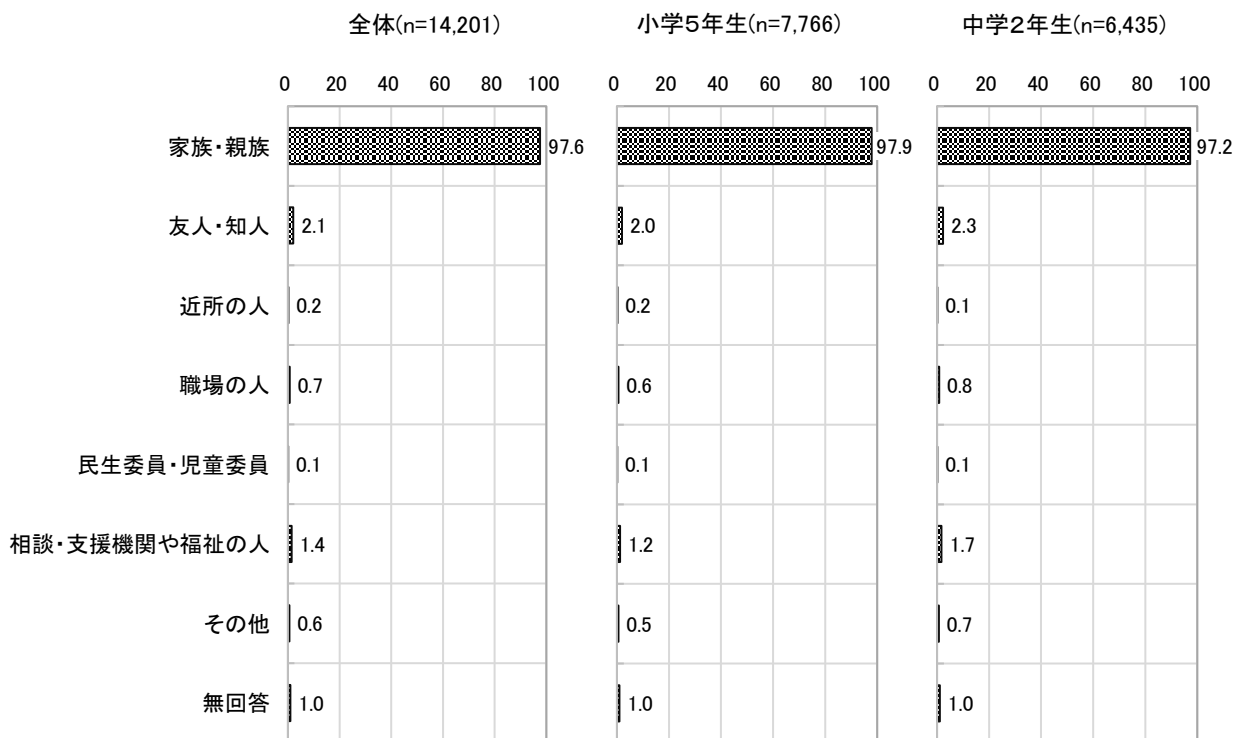


図 2-2-4-6 保護者の頼れる相手（いざというときのお金の援助）

7. 信頼できる大人・友人

子ども票問 15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1~9については、あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「親」が 75.5%で最も高く、「学校の友達」が 58.8%、「学校の先生」が 28.7%、「きょうだい」が 22.6%、「学校外の友達」が 15.7%の順に高くなっている。

小学5年生では、「親」が 82.8%で最も高く、「学校の友達」が 53.2%、「学校の先生」が 32.4%、「きょうだい」が 24.1%、「祖父母・親せきなど」が 16.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「親」が 66.9%で最も高く、「学校の友達」が 65.4%、「学校の先生」が 24.4%、「きょうだい」が 20.8%、「学校外の友達」が 18.8%の順に高くなっている。

以上のことから、「親」の回答が最も多く、小学5年生では8割強、中学2年生では7割弱であった。

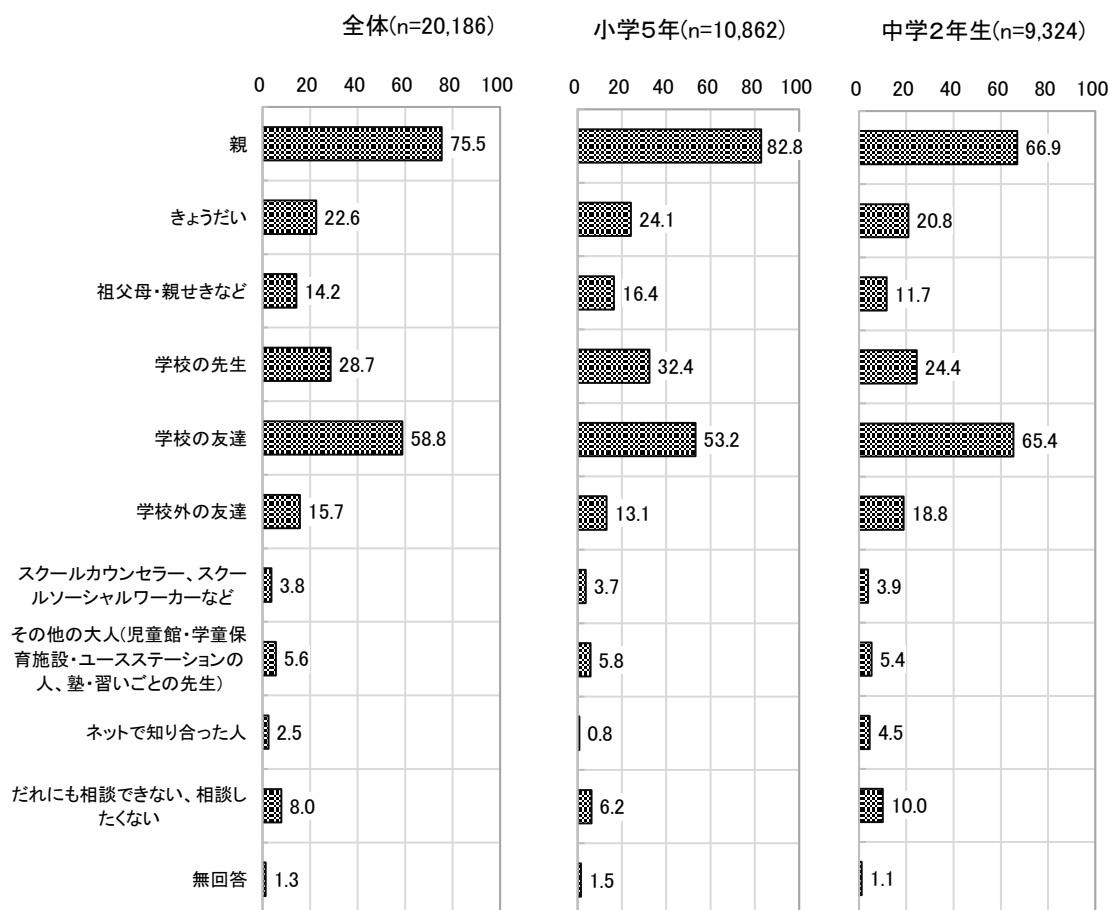


図 2-2-4-7 信頼できる大人・友人

8. 支援の利用状況

子ども票問 18 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a) (自分や友人の家以外で)放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育・放課後等デイサービスなど)

子ども全体では、「利用したことがある」が 34.3%、「あれば利用したいと思う」が 6.8%、「今後も利用したいと思わない」が 33.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が 23.2%、「無回答」が 2.1%である。

小学5年生では、「利用したことがある」が 37.8%、「あれば利用したいと思う」が 6.7%、「今後も利用したいと思わない」が 30.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が 22.4%、「無回答」が 2.4%である。

中学2年生では、「利用したことがある」が 30.3%、「あれば利用したいと思う」が 6.9%、「今後も利用したいと思わない」が 37.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が 24.2%、「無回答」が 1.7%である。

以上のことから、小学5年生では「利用したことがある」の回答が最も多く 4 割弱で、中学2年生では「今後も利用したいと思わない」の回答が最も多く 4 割弱であった。

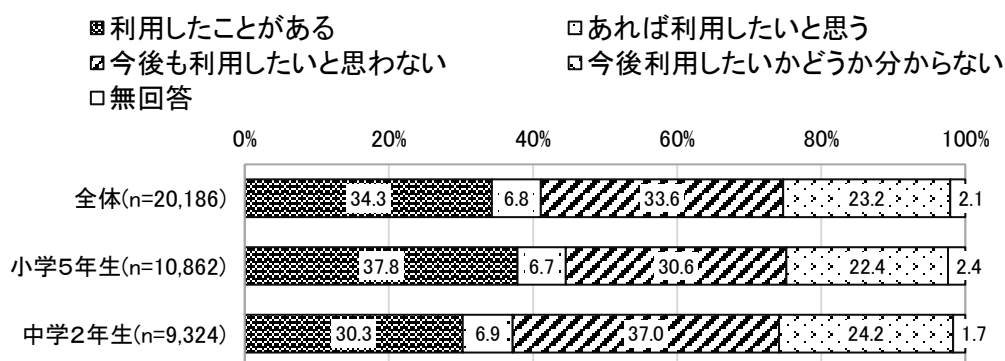


図 2-2-4-8-1 支援の利用状況
(放課後や休日を過ごすことができる場所)

b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

子ども全体では、「利用したことがある」が 4.3%、「あれば利用したいと思う」が 22.7%、「今後も利用したいと思わない」が 37.4%、「今後利用したいかどうか分からない」が 32.7%、「無回答」が 2.9%である。

小学5年生では、「利用したことがある」が 4.1%、「あれば利用したいと思う」が 23.1%、「今後も利用したいと思わない」が 36.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が 32.2%、「無回答」が 3.7%である。

中学2年生では、「利用したことがある」が 4.5%、「あれば利用したいと思う」が 22.1%、「今後も利用したいと思わない」が 38.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が 33.3%、「無回答」が 2.0%である。

以上のことから、「今後も利用したいと思わない」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに4割弱であった。

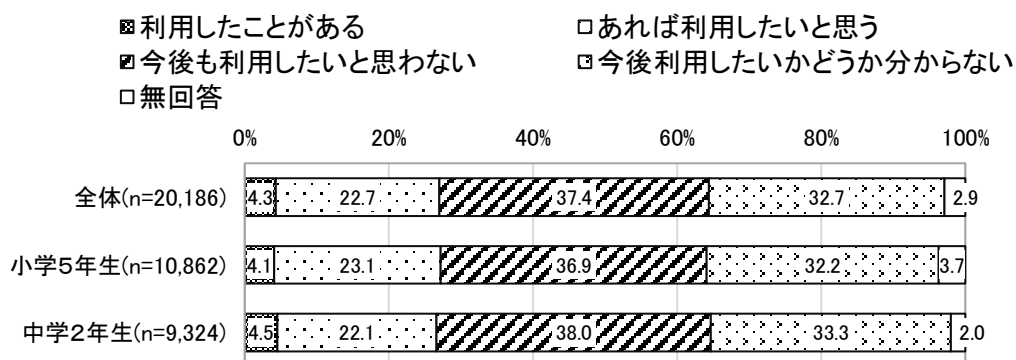


図 2-2-4-8-2 支援の利用状況
(タごはんを無料か安く食べることができる場所)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

子ども全体では、「利用したことがある」が3.9%、「あれば利用したいと思う」が33.0%、「今後も利用したいと思わない」が30.7%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.5%、「無回答」が2.8%である。

小学5年生では、「利用したことがある」が3.6%、「あれば利用したいと思う」が31.1%、「今後も利用したいと思わない」が32.1%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.6%、「無回答」が3.5%である。

中学2年生では、「利用したことがある」が4.3%、「あれば利用したいと思う」が35.3%、「今後も利用したいと思わない」が29.1%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.3%、「無回答」が2.0%である。

以上のことから、小学5年生では「今後も利用したいと思わない」の回答が最も多く3割強で、中学2年生では「あれば利用したいと思う」の回答が最も多く4割弱であった。

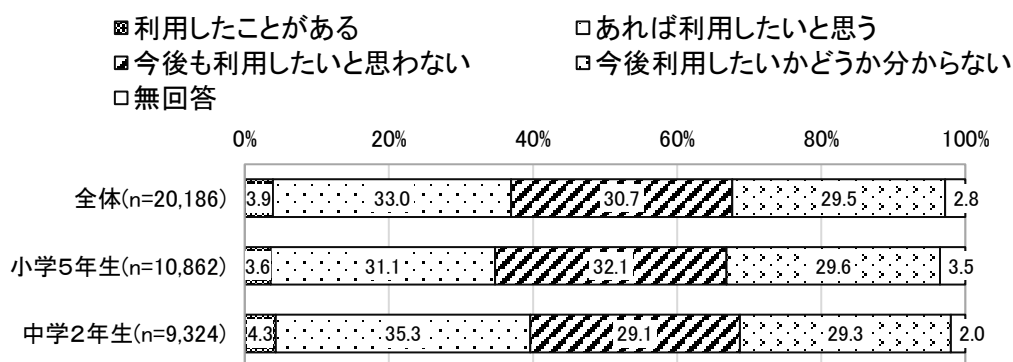


図 2-2-4-8-3 支援の利用状況（勉強を無料でみてくれる場所）

d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

子ども全体では、「利用したことがある」が2.2%、「あれば利用したいと思う」が15.3%、「今後も利用したいと思わない」が40.1%、「今後利用したいかどうか分からない」が39.2%、「無回答」が3.2%である。

小学5年生では、「利用したことがある」が1.9%、「あれば利用したいと思う」が15.8%、「今後も利用したいと思わない」が39.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が38.4%、「無回答」が4.0%である。

中学2年生では、「利用したことがある」が2.6%、「あれば利用したいと思う」が14.6%、「今後も利用したいと思わない」が40.3%、「今後利用したいかどうか分からない」が40.2%、「無回答」が2.3%である。

以上のことから、「今後も利用したいと思わない」の回答が最も多く、小学5年生では4割弱、中学2年生では4割強であった。

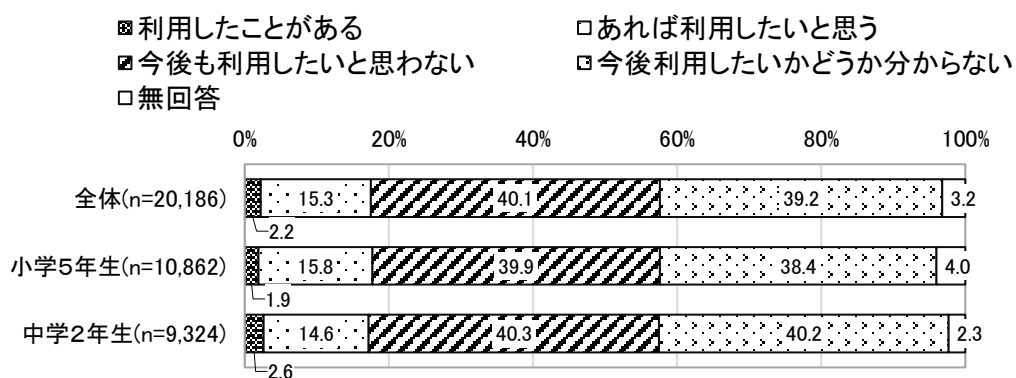


図 2-2-4-8-4 支援の利用状況 (何でも相談できる場所)

9. 支援の効果

子ども票問 19 問 18で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

子ども全体では、「友達が増えた」が51.5%で最も高く、「特に変化はない」が27.2%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が24.4%、「気軽に話せる大人が増えた」が21.0%、「ほっとできる時間が増えた」が15.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「友達が増えた」が55.2%で最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」が27.5%、「気軽に話せる大人が増えた」が24.0%、「特に変化はない」が23.8%、「ほっとできる時間が増えた」が15.9%の順に高くなっている。

中学2年生では、「友達が増えた」が46.2%で最も高く、「特に変化はない」が31.9%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が20.0%、「気軽に話せる大人が増えた」が16.8%、「ほっとできる時間が増えた」が15.1%の順に高くなっている。

以上のことから、「友達が増えた」の回答が最も多く小学5年生では6割弱、中学2年生では5割弱であった。

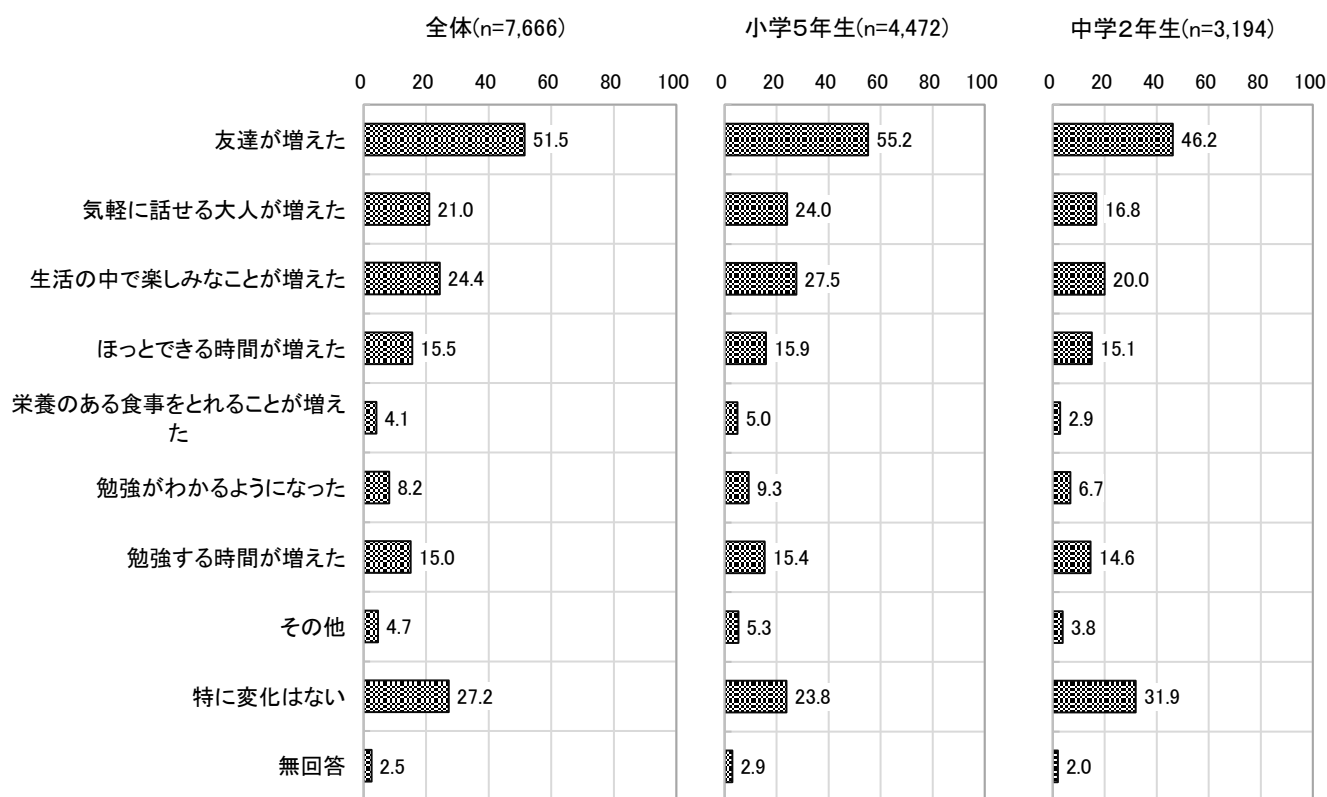


図 2-2-4-9 支援の効果

10. コロナで困っていること

子ども票問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じていることは次のうちのどれですか。(あてはまるものすべてに○。aは小5の方、bは中2の方が答えてください。)

a) 小5の方の質問

小学5年生では、「生活のリズムの乱れ」が19.7%で最も高く、「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」が14.6%、「友人関係」が12.6%、「自分の感情が不安定になること」が11.8%、「家の大人の人(親・祖父母・親など)が仕事にいつている間の過ごし方」が10.1%の順に高くなっている。



図 2-2-4-10-1 コロナで困っていること (小5)

b) 中2の方の質問

中学2年生では、「生活のリズムの乱れ」が27.4%で最も高く、「将来の入試などの状況」が25.9%、「将来の進路の状況(志望校や職業について)」が25.8%、「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」が24.5%、「自分の感情が不安定になること」が13.3%の順に高くなっている。

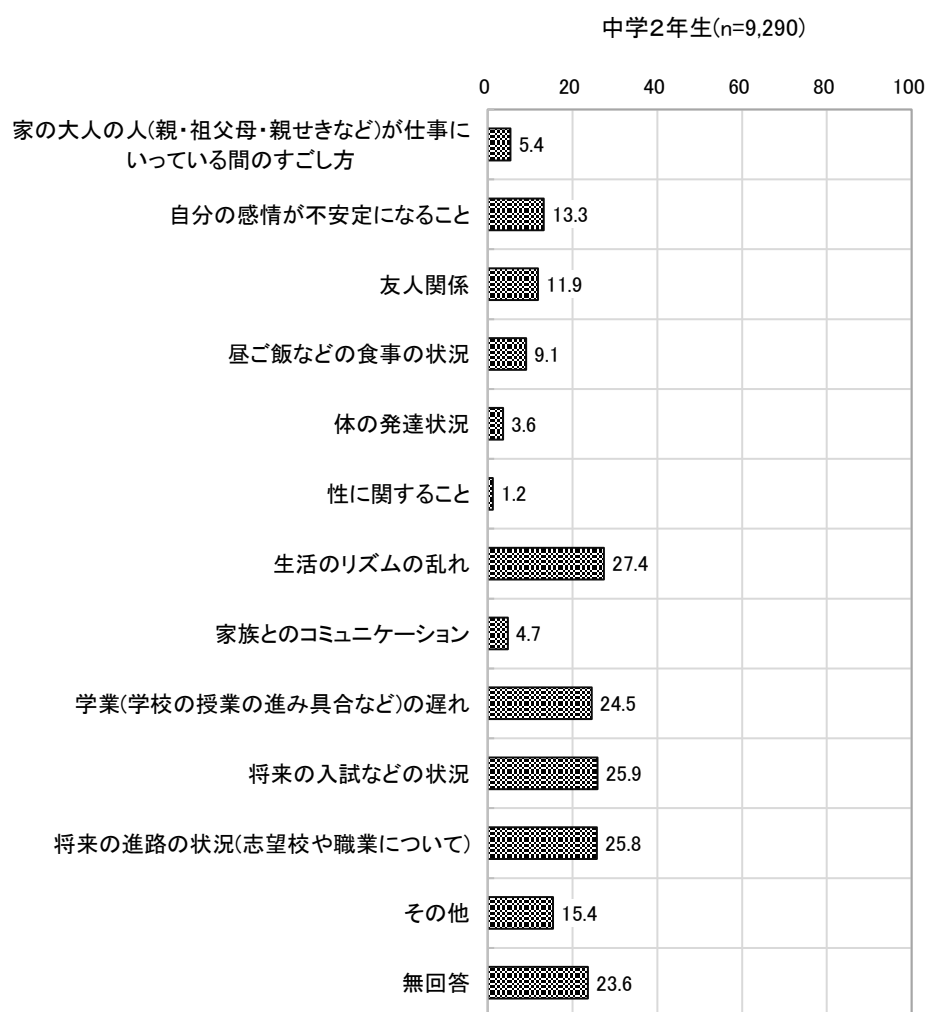


図 2-2-4-10-2 コロナで困っていること (中2)

11. まわりの人との関係

子ども票問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きます。(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした

子ども全体では、「とてもあてはまる」が1.8%、「まあまああてはまる」が4.9%、「どちらともいえない」が8.6%、「あまりあてはまらない」が13.3%、「まったくあてはまらない」が69.1%、「無回答」が2.3%である。

小学5年生では、「とてもあてはまる」が1.4%、「まあまああてはまる」が4.9%、「どちらともいえない」が7.2%、「あまりあてはまらない」が12.3%、「まったくあてはまらない」が71.2%、「無回答」が3.0%である。

中学2年生では、「とてもあてはまる」が2.2%、「まあまああてはまる」が4.8%、「どちらともいえない」が10.2%、「あまりあてはまらない」が14.5%、「まったくあてはまらない」が66.8%、「無回答」が1.5%である。

以上のことから、「まったくあてはまらない」の回答が最も多く、小学5年生では7割強、中学2年生では7割弱であった。

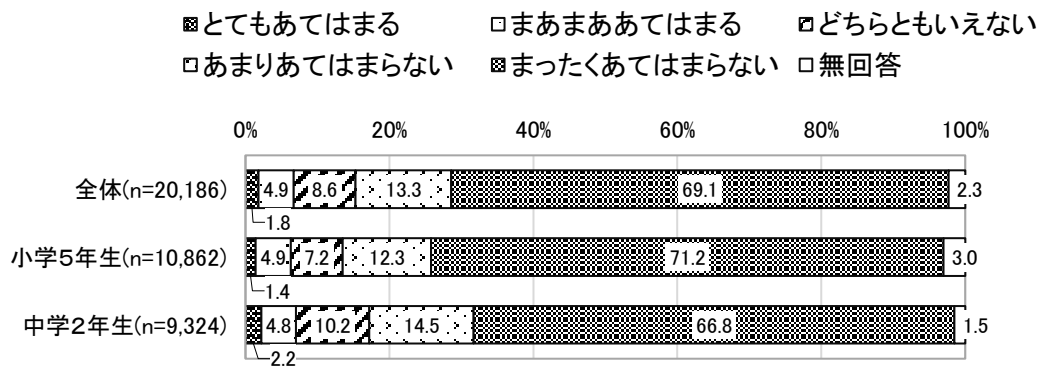


図 2-2-4-11-1 まわりの人との関係

(新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした)

b) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人（友達や知り合いの大人の人）に伝えたり、相談したりする機会がなくなった

子ども全体では、「とてもあてはまる」が 3.1%、「まあまああてはまる」が 5.5%、「どちらともいえない」が 12.5%、「あまりあてはまらない」が 13.8%、「まったくあてはまらない」が 62.7%、「無回答」が 2.5%である。

小学5年生では、「とてもあてはまる」が 3.1%、「まあまああてはまる」が 5.6%、「どちらともいえない」が 11.3%、「あまりあてはまらない」が 12.6%、「まったくあてはまらない」が 64.3%、「無回答」が 3.2%である。

中学2年生では、「とてもあてはまる」が 3.1%、「まあまああてはまる」が 5.4%、「どちらともいえない」が 13.8%、「あまりあてはまらない」が 15.1%、「まったくあてはまらない」が 60.9%、「無回答」が 1.6%である。

以上のことから、「まったくあてはまらない」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生ともに6割強であった。

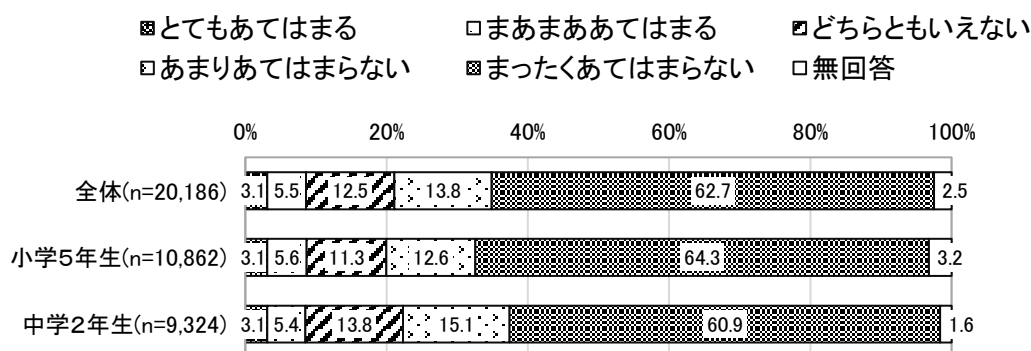


図 2-2-4-11-2 まわりの人との関係

(新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人に伝えたり、相談したりする機会がなくなった)

c) 私の保護者（お母さん、お父さんなど）は私の気持ちになって向き合ってくれる

子ども全体では、「とてもあてはまる」が44.4%、「まあまああてはまる」が28.0%、「どちらともえない」が16.0%、「あまりあてはまらない」が3.8%、「まったくあてはまらない」が5.3%、「無回答」が2.5%である。

小学5年生では、「とてもあてはまる」が47.6%、「まあまああてはまる」が27.2%、「どちらともえない」が13.8%、「あまりあてはまらない」が3.2%、「まったくあてはまらない」が5.2%、「無回答」が3.0%である。

中学2年生では、「とてもあてはまる」が40.5%、「まあまああてはまる」が29.0%、「どちらともえない」が18.7%、「あまりあてはまらない」が4.4%、「まったくあてはまらない」が5.5%、「無回答」が1.8%である。

以上のことから、「とてもあてはまる」の回答が最も多く、小学5年生では5割弱、中学2年生では4割強であった。

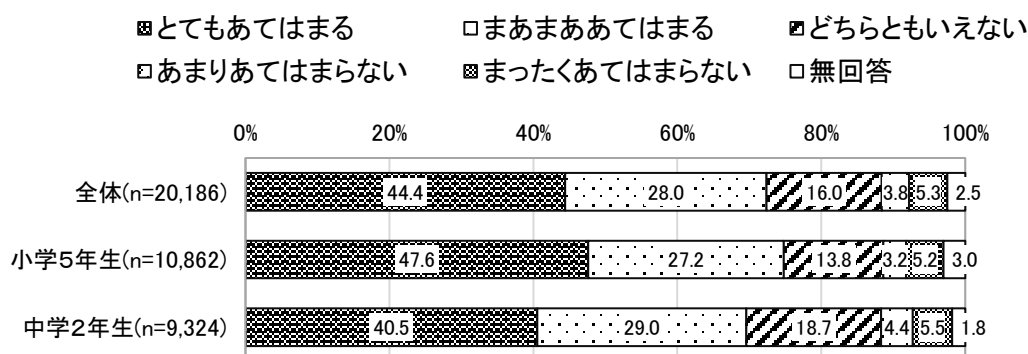


図 2-2-4-11-3 まわりの人との関係
(私の保護者は私の気持ちになって向き合ってくれる)

12. コロナの仕事への影響と負担

保護者票問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの仕事に変化はありましたか。

a) あなたの職場や職種が変わる、または仕事内容が変わるなどの変化はありましたか。(あなたにとってもっとも影響が大きかったものに○)

保護者全体では、「変化はなかった」が60.5%で最も高く、「勤務時間・日数が変更になった」が9.3%、「テレワークなど勤務場所が変わった」が5.7%、「休業を命じられた」が3.2%、「別の職場へ転職した」が2.3%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「変化はなかった」が60.4%で最も高く、「勤務時間・日数が変更になった」が8.9%、「テレワークなど勤務場所が変わった」が6.5%、「休業を命じられた」が3.0%、「別の職場へ転職した」が2.4%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「変化はなかった」が60.7%で最も高く、「勤務時間・日数が変更になった」が9.9%、「テレワークなど勤務場所が変わった」が4.7%、「休業を命じられた」が3.5%、「別の職場へ転職した」が2.2%の順に高くなっている。

以上のことから、「変化はなかった」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに6割強であった。

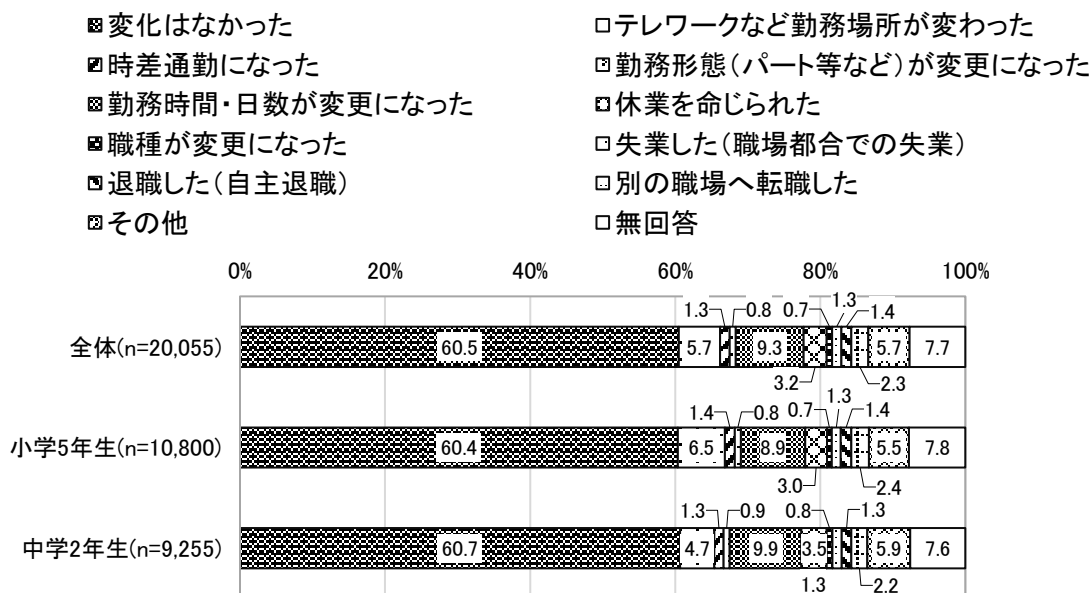


図 2-2-4-12-1 コロナの仕事への影響と負担 (仕事の変化)

b) 仕事の変化はあなたにとって負担になったと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

保護者全体では、「まったく負担に感じなかった」が11.5%、「あまり負担に感じなかった」が25.2%、「まあまあ負担に感じた」が38.1%、「とても負担に感じた」が20.3%、「無回答」が4.9%である。

小学5年生の保護者では、「まったく負担に感じなかった」が12.1%、「あまり負担に感じなかった」が26.9%、「まあまあ負担に感じた」が36.7%、「とても負担に感じた」が19.6%、「無回答」が4.7%である。

中学2年生の保護者では、「まったく負担に感じなかった」が10.7%、「あまり負担に感じなかった」が23.3%、「まあまあ負担に感じた」が39.7%、「とても負担に感じた」が21.1%、「無回答」が5.1%である。

以上のことから、「まあまあ負担に感じた」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに4割弱であった。

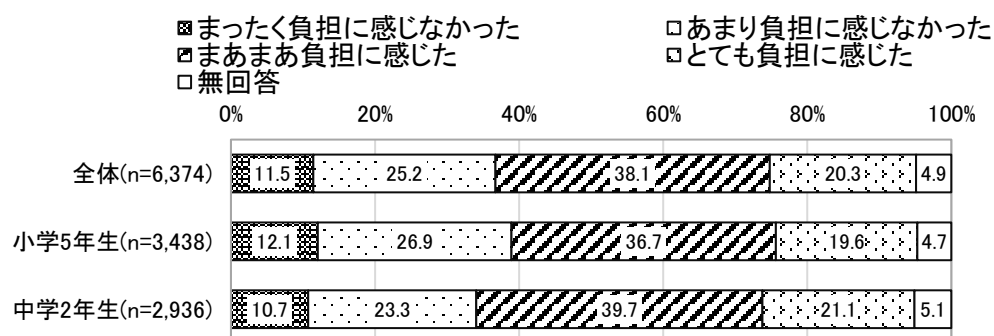


図 2-2-4-12-2 コロナの仕事への影響と負担（仕事の変化による負担）

13. コロナで利用した制度

保護者票問 26 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響であなたが利用した制度がありますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者全体では、「特別定額給付金(対象者1人につき10万円を給付)」が82.3%で最も高く、「子育て世帯への臨時特別給付金」が27.2%、「1～20のどの制度も利用していない」が12.6%、「ひとり親世帯臨時特別給付金」が7.5%、「事業者向けの支援制度(持続化給付金)」が4.1%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「特別定額給付金(対象者1人につき10万円を給付)」が81.6%、「子育て世帯への臨時特別給付金」が28.3%、「1～20のどの制度も利用していない」が13.0%、「ひとり親世帯臨時特別給付金」が6.8%、「事業者向けの支援制度(持続化給付金)」が4.1%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「特別定額給付金(対象者1人につき10万円を給付)」が83.0%、「子育て世帯への臨時特別給付金」が26.0%、「1～20のどの制度も利用していない」が12.0%、「ひとり親世帯臨時特別給付金」が8.4%、「事業者向けの支援制度(持続化給付金)」が4.0%の順に高くなっている。

以上のことから、「特別定額給付金(対象者1人につき10万円を給付)」の回答が最も多く、小学5年生、中学2年生の保護者ともに8割強であった。

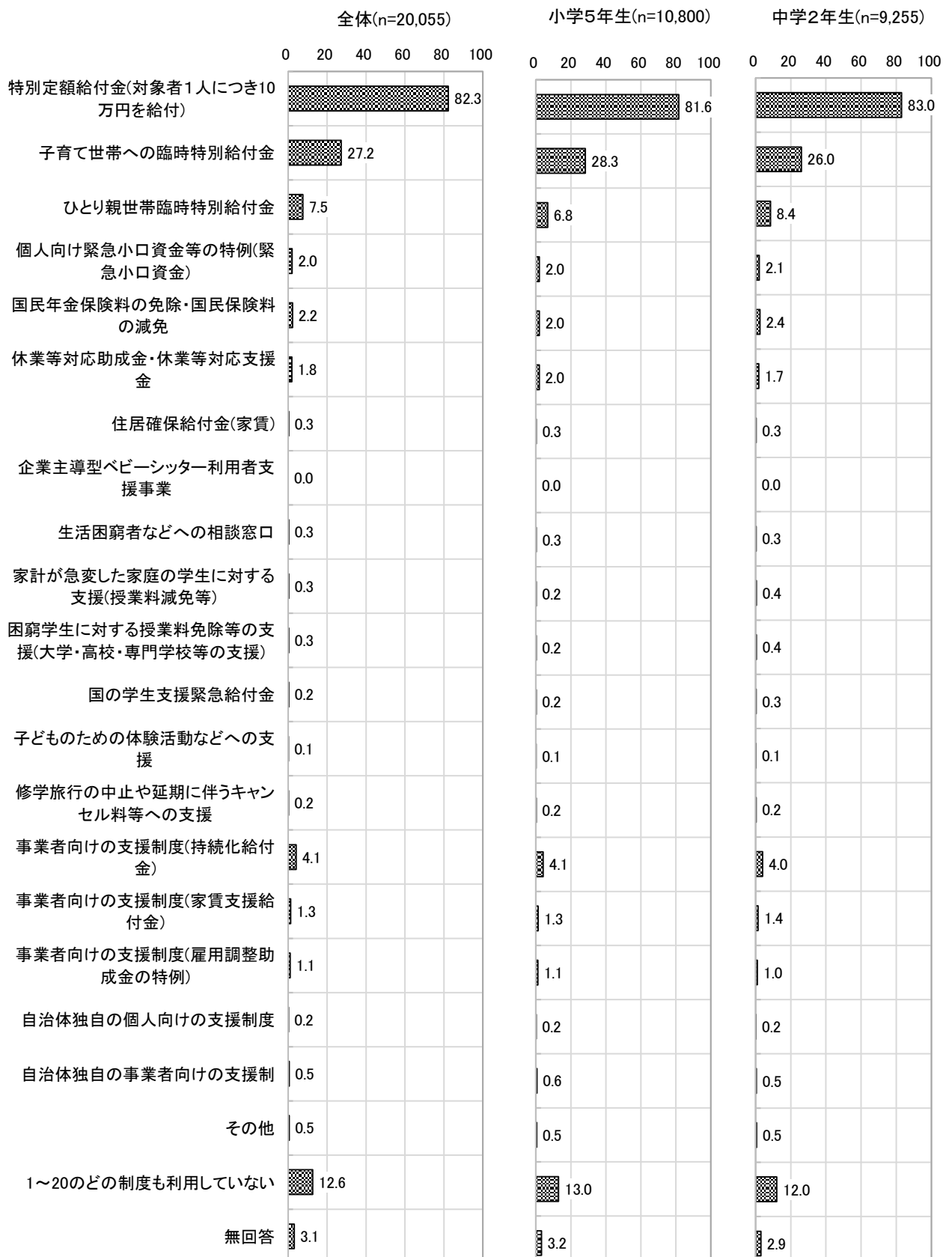


図 2-2-4-13 コロナで利用した制度

2.3. クロス集計

2.3.1. 経済状況

1. 困窮度別に見た、滞納・欠乏経験

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～21のあてはまるものすべてに○）

困窮度別に見た滞納・欠乏経験について、困窮度1群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度1群の数値を挙げると、「食費を切りつめた」52.2%（中央値以上群に対して、40.0ポイント高い）、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」53.2%（同じく36.9ポイント高い）、「友人・知人との外食を控えた」47.2%（同じく35.2ポイント高い）、「理髪店・美容院へ行く回数を減らした」45.3%（同じく34.4ポイント高い）となっている。逆に、「どれもあてはまらない」については、困窮度1群で14.2%となっており、中央値以上群より48.6ポイント低い。

また、同項目について、困窮度2群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度2群の数値を挙げると、「趣味やレジャーの出費を減らした」37.7%（中央値以上群に対して、19.3ポイント高い）、「食費を切りつめた」29.5%（同じく17.3ポイント高い）、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」33.3%（同じく17.0ポイント高い）、「友人・知人との外食を控えた」27.5%（同じく15.5ポイント高い）となっている。逆に、「どれもあてはまらない」については、困窮度2群で35.2%となっており、中央値以上群より27.6ポイント低い。

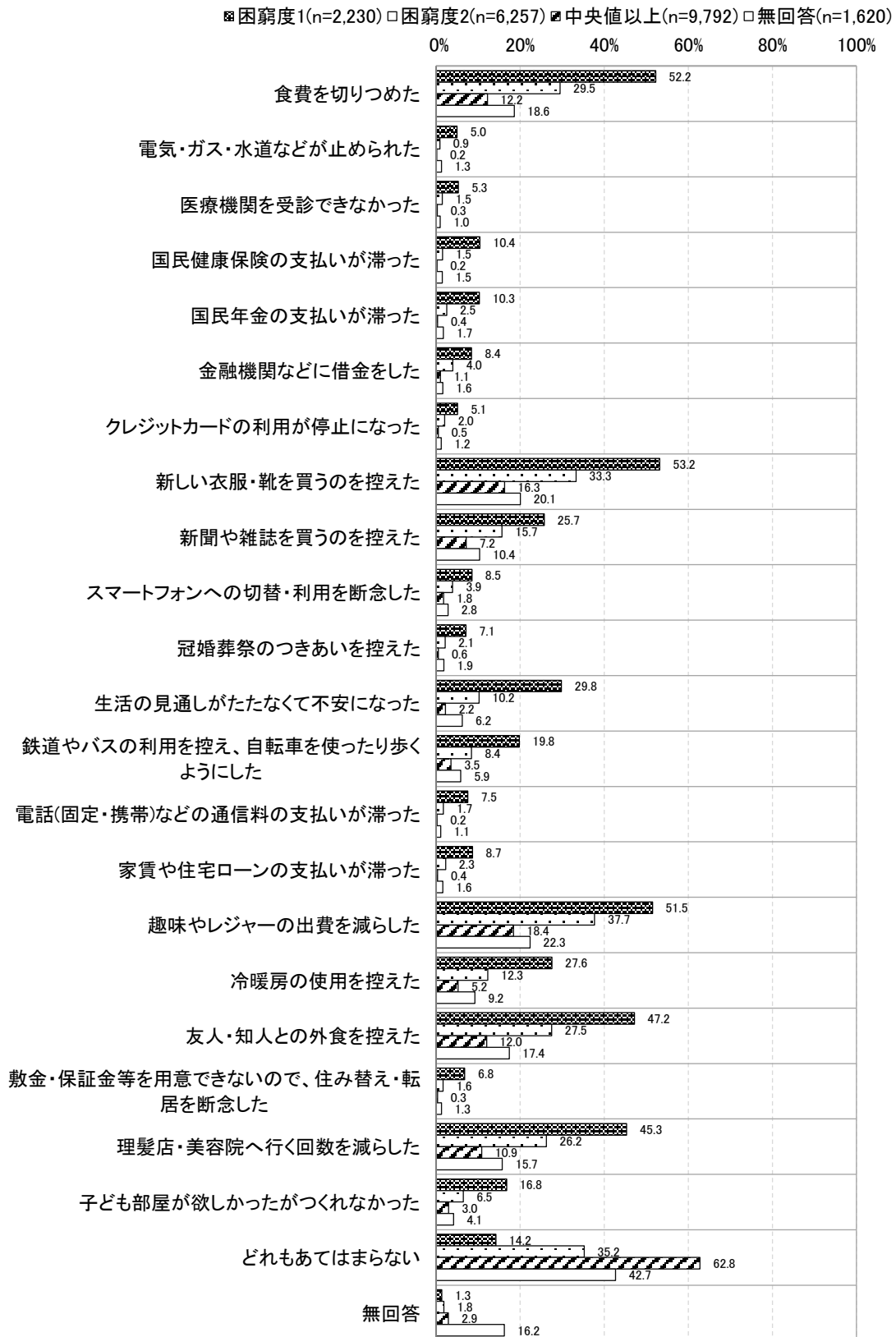


図 2-3-1-1 困窮度別に見た、滞納・欠乏経験

2. 世帯構成別に見た、滞納・欠乏経験

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね 1 年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1~21 のあてはまるものすべてに○)

世帯構成別滞納・欠乏経験を見ると、「どれもあてはまらない」と回答したのは、二人親家庭が 50.1%、父子家庭が 43.0%であるのに対して、母子家庭は 22.4%である。

滞納・欠乏経験がある項目を挙げると、二人親家庭では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 26.3%で最も高く、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 23.6%、「食費を切りつめた」が 20.2%の順に高くなっている。

母子家庭では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 47.8%で最も高く、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 47.2%、「食費を切りつめた」が 44.5%、「友人・知人との外食を控えた」が 42.7%、「理髪店・美容院へ行く回数を減らした」が 39.9%、「冷暖房の使用を控えた」が 24.9%、「生活の見通しがたなくて不安になった」が 23.7%、「新聞や雑誌を買うのを控えた」が 23.5%の順に高くなっている。

また、父子家庭では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 29.1%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 26.3%、「食費を切りつめた」および「友人・知人との外食を控えた」が 21.8%の順に高くなっている。

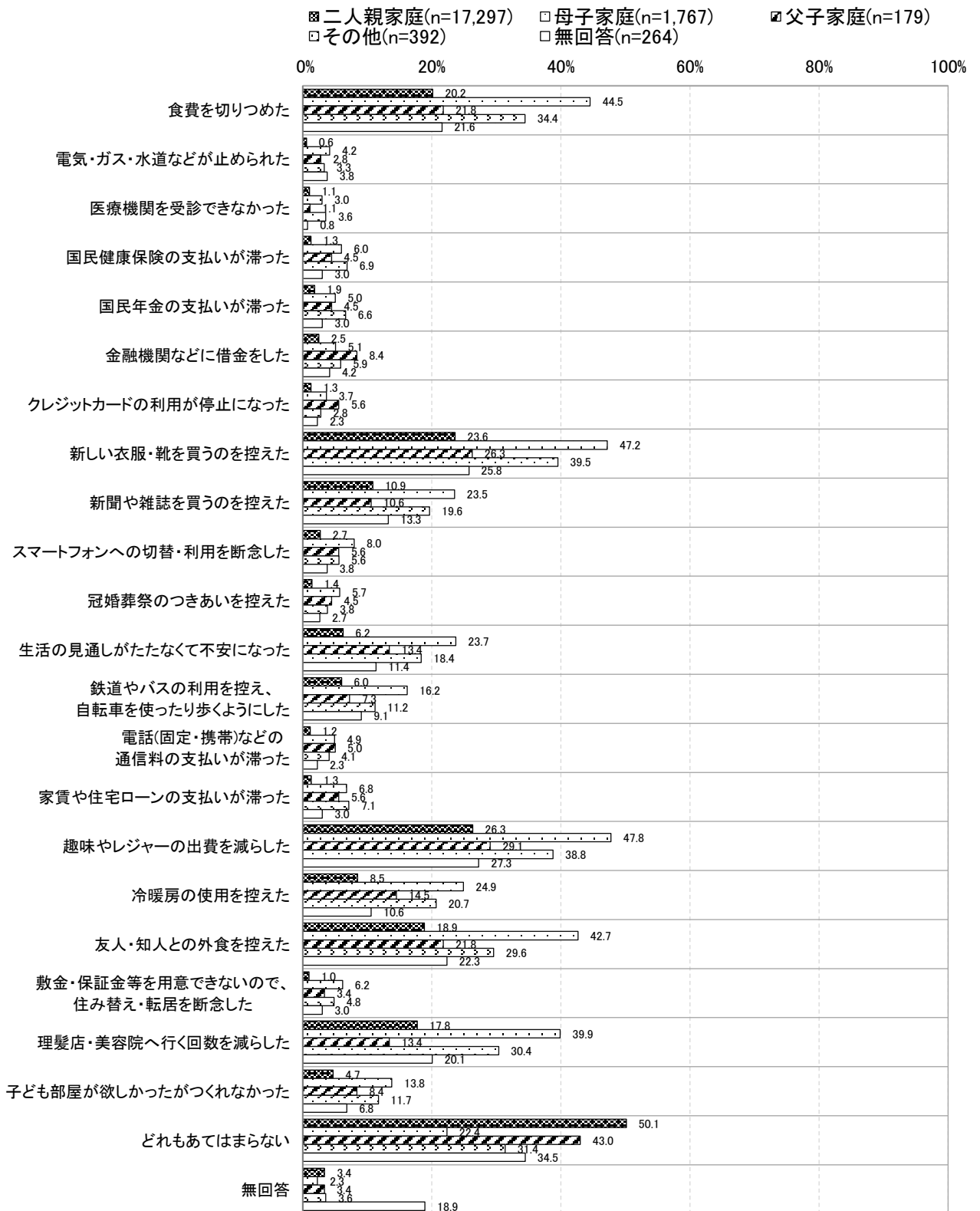


図 2-3-1-2 世帯構成別に見た、滞納・欠乏経験

3. 困窮度別に見た、親から見た子どものはく奪指標

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～14のあてはまるものすべてに○）

困窮度別に見た、親から見た子どものはく奪指標について、困窮度1群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度1群の数値を挙げると、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」45.5%（中央値以上群に対して、38.4ポイント高い）、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」27.9%（同じく25.4ポイント高い）、「子どもを習い事に通わせることができなかった」26.5%（同じく24.7ポイント高い）、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」24.6%（同じく23.4ポイント高い）、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」22.0%（同じく20.8ポイント高い）、「子どもにお年玉をあげることができなかった」13.3%（同じく12.9ポイント高い）となっている。逆に、「どれもあてはまらない」については、困窮度1群で34.0%となっており、中央値以上群より50.7ポイント低い。

また、同項目について、困窮度2群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度2群の数値を挙げると、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」22.8%（中央値以上群に対して、15.7ポイント高い）、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」11.0%（同じく8.5ポイント高い）、「子どもを習い事に通わせることができなかった」8.7%（同じく6.9ポイント高い）、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」6.6%（同じく5.4ポイント高い）となっている。逆に、「どれもあてはまらない」については、困窮度2群で64.6%となっており、中央値以上群より20.1ポイント低い。

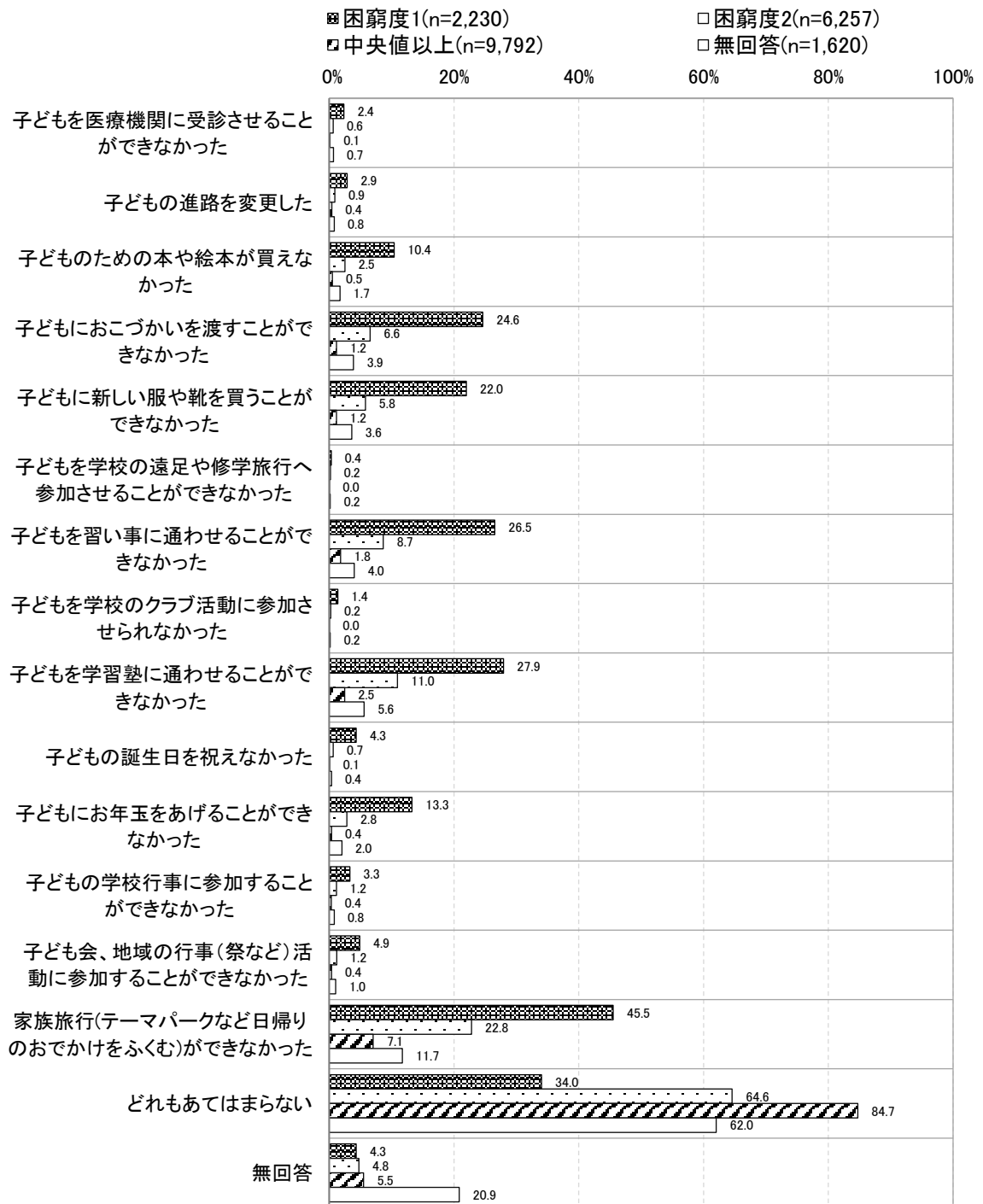


図 2-3-1-3 困窮度別に見た、親から見た子どものはく奪指標

4. 困窮度別に見た、子どものはく奪指標

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでく
ださい。（1～15については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に見た子どものはく奪指標について、困窮度 1 群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 1 群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具(ピアノなど)」40.1%（中央値以上群に対して、30.3 ポイント低い）、「インターネットにつながるパソコン」43.1%（同じく 19.1 ポイント低い）、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」72.8%（同じく 14.4 ポイント低い）、「運動用具(ボール・ラケットなど)」71.9%（同じく 13.6 ポイント低い）、「こども部屋(ひとり部屋やきょうだいと一緒につかっている部屋など)」66.2%（同じく 12.2 ポイント低い）、「マンガ・雑誌」71.9%（同じく 11.6 ポイント低い）となっている。逆に、「スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの）」については、困窮度 1 群で 77.8%となっており、中央値以上群より 4.5 ポイント高い。

また、同項目について、困窮度 2 群と中央値以上群で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 2 群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具(ピアノなど)」55.3%（中央値以上群に対して、15.1 ポイント低い）、「インターネットにつながるパソコン」50.4%（同じく 11.8 ポイント低い）、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」79.9%（同じく 7.3 ポイント低い）、「運動用具(ボール・ラケットなど)」71.9%（同じく 5.9 ポイント低い）、「マンガ・雑誌」77.9%（同じく 5.6 ポイント低い）となっている。

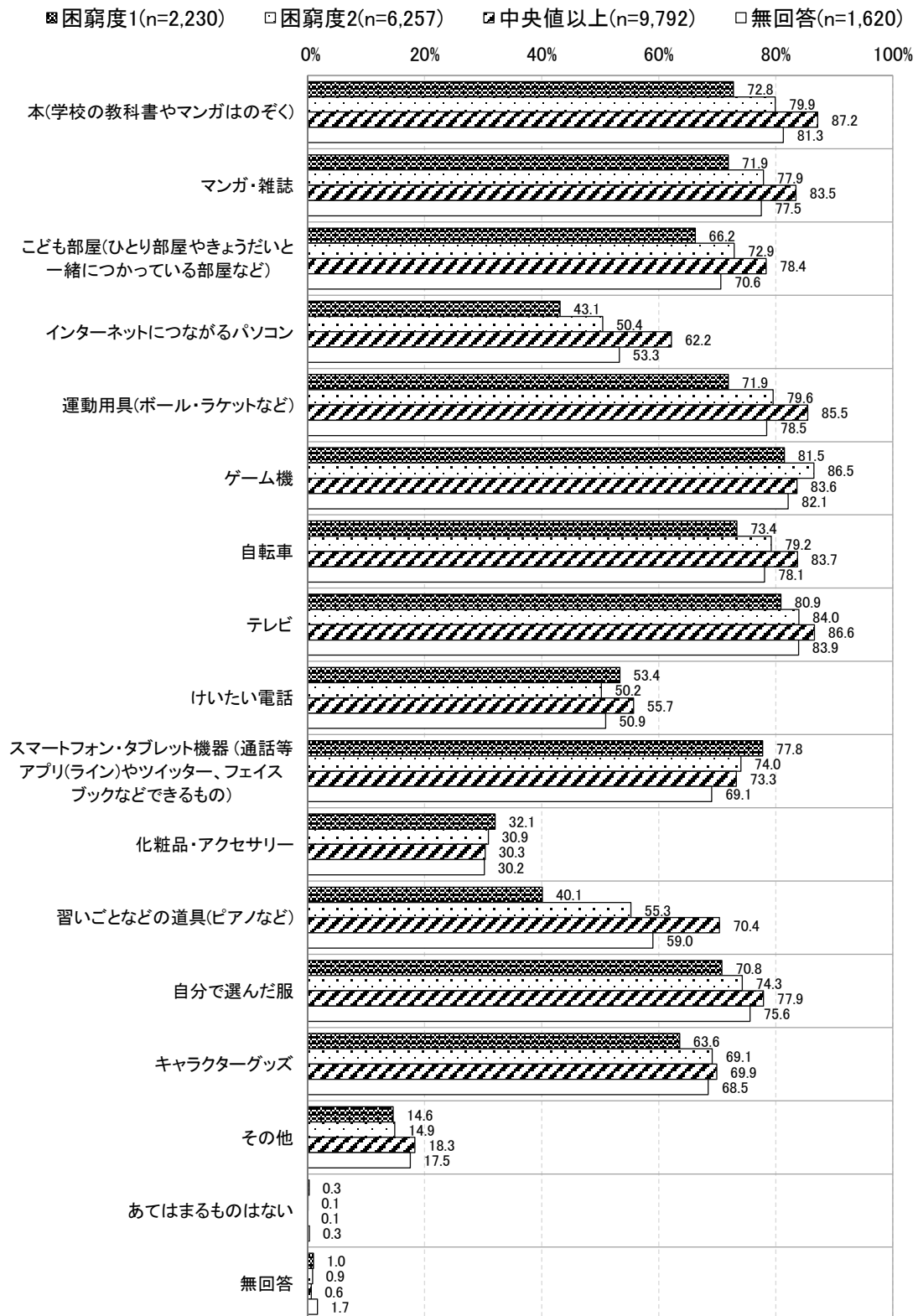


図 2-3-1-4 困窮度別に見た、子どものはく奪指標

5. 困窮度別に見た、子どものはく奪指標の該当数の平均

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。（1～15については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に子どものはく奪指標の平均該当数を見ると、全体では 0.56、困窮度 1 群では 1.98、困窮度 2 群では 0.69、中央値以上群では 0.17 であった。

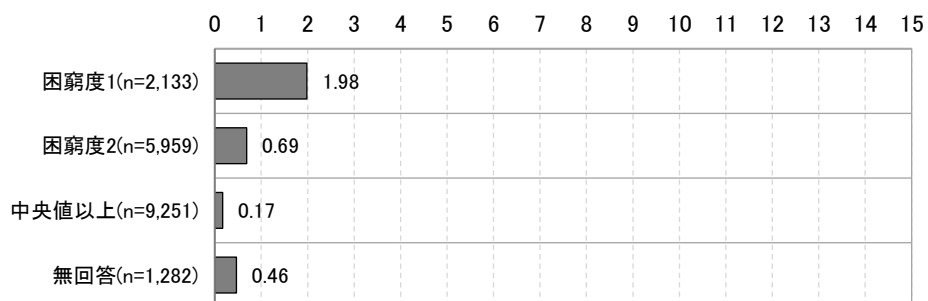


図 2-3-1-5 困窮度別に見た、子どものはく奪指標の該当数の平均

6. 世帯構成別に見た、子どものはく奪指標

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

子ども票問 20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(1~15 については、あてはまるものすべてに○)

世帯構成別に見た子どものはく奪指標について、二人親家庭と母子家庭で差が大きい項目に着目しながら、母子家庭の数値を挙げると、「習いごとなどの道具(ピアノなど)」44.1% (二人親家庭に対して、19.8 ポイント低い)、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」74.5% (同じく 9.7 ポイント低い)、「運動用具(ボール・ラケットなど)」73.5% (同じく 9.3 ポイント低い)、「インターネットにつながるパソコン」47.7% (同じく 9.2 ポイント低い)、「子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいと一緒につかっている部屋など)」66.9% (同じく 8.8 ポイント低い)、「自転車」73.7% (同じく 8.1 ポイント低い)、「マンガ・雑誌」73.4% (同じく 7.5 ポイント低い) となっている。逆に、「スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)」については、母子家庭で 80.1% となっており、二人親家庭より 7.1 ポイント高い。

また、同項目について、二人親家庭と父子家庭で差が大きい項目に着目しながら、父子家庭の数値を挙げると、「習いごとなどの道具(ピアノなど)」43.0% (二人親家庭に対して、20.9 ポイント低い)、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」69.3% (同じく 14.9% ポイント低い)、「インターネットにつながるパソコン」44.1% (同じく 12.8 ポイント低い)、「マンガ・雑誌」72.1% (同じく 8.8 ポイント低い)、「テレビ」77.7% (同じく 7.4 ポイント低い) となっている。逆に、「スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)」については、父子家庭で 75.4% となっており、二人親家庭より 2.4 ポイント高い。

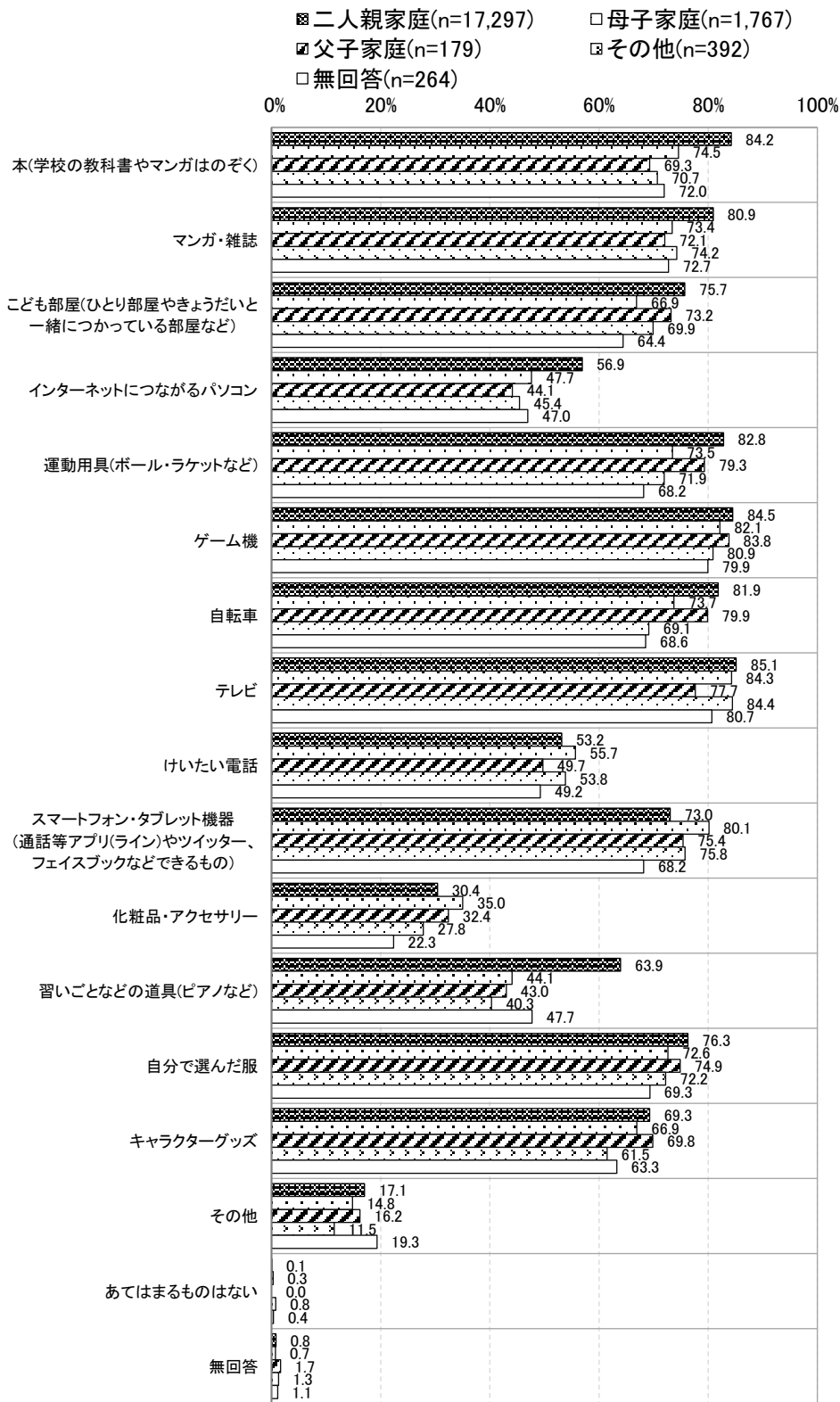


図 2-3-1-6 世帯構成別に見た、子どものはく奪指標

7. 困窮度別に見た、滞納・欠乏経験の該当数の平均

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～14のあてはまるものすべてに○）

困窮度別に滞納・欠乏経験の平均該当数を見ると、全体では1.9、困窮度1群では4.58、困窮度2群では2.36、中央値以上群では1.00であった。

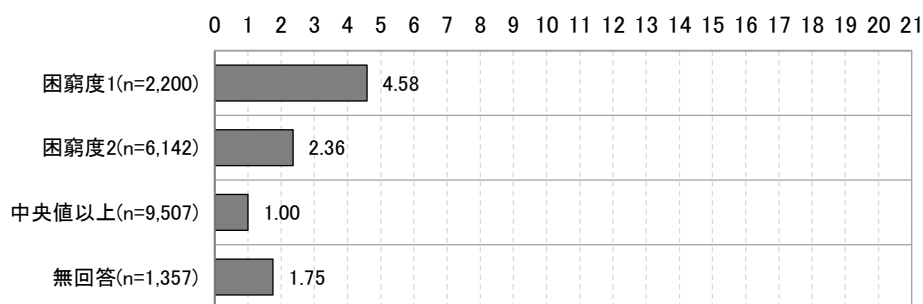


図 2-3-1-7 困窮度別に見た、滞納・欠乏経験の該当数の平均

8. 世帯構成別に見た、滞納・欠乏経験の該当数の平均

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね 1 年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1~21 のあてはまるものすべてに○)

世帯構成別に滞納・欠乏経験の平均該当数を見ると、二人親家庭では 1.65、母子家庭では 3.92、父子家庭では 2.25 であった。

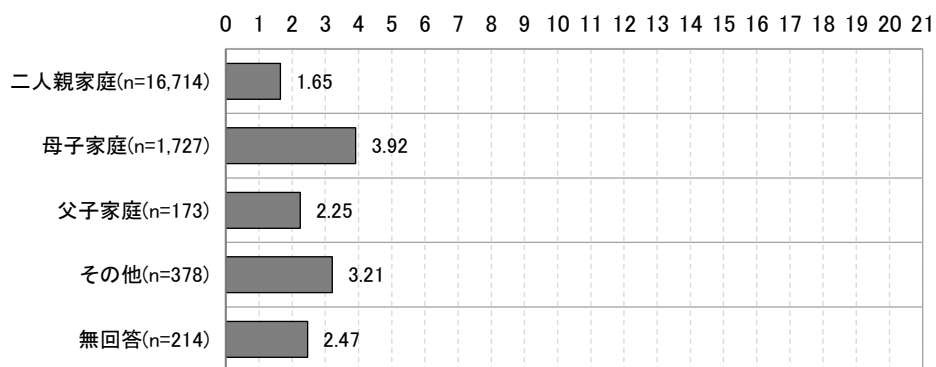


図 2-3-1-8 世帯構成別に見た、滞納・欠乏経験の該当数の平均

9. 困窮度別に見た、親から見た子どものはく奪指標区分

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～14のあてはまるものすべてに○）

困窮度別に親から見た子どものはく奪指標区分を見ると、困窮度1群においては「0個該当」の割合は34.0%で、「4個以上」の割合は21.4%であった。困窮度が高まるにつれ、「0個該当」の割合が低くなり、「4個以上」の割合が高くなっている。

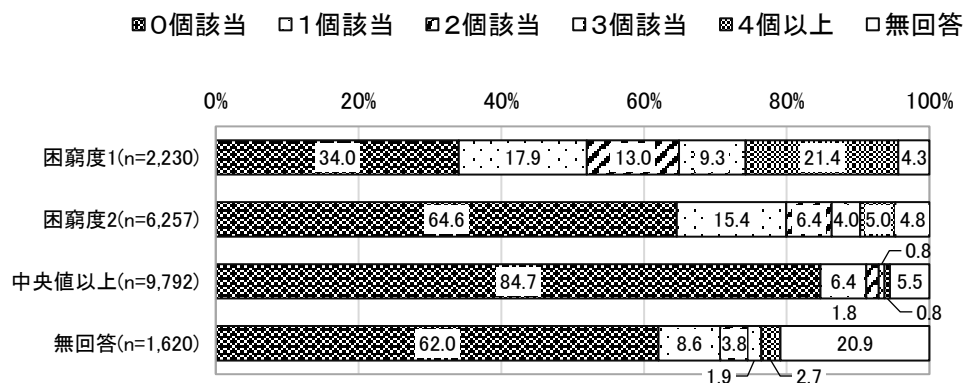


図 2-3-1-9 困窮度別に見た、親から見た子どものはく奪指標区分

10. 世帯構成別に見た、親から見た子どものはく奪指標区分

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね 1 年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1~14 のあてはまるものすべてに○)

世帯構成別に親から見た子どものはく奪指標区分を見ると、「0 個該当」と回答した割合は、二人親家庭で 74.7%と最も高いのに対して、父子家庭では 61.5%、母子家庭では 41.9%となっている。また、「4 個以上」と回答した割合は、二人親家庭では 2.8%なのに対して、母子家庭では 19.2%、父子家庭では 10.6%となっている。

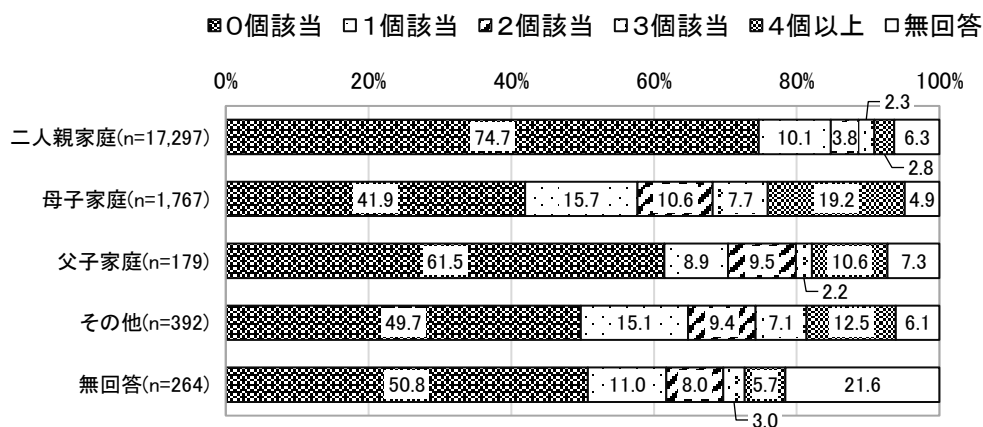


図 2-3-1-10 世帯構成別に見た、親から見た子どものはく奪指標区分

11. 困窮度別に見た、家族構成

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

困窮度別に家族構成を見ると、困窮度が高まるにつれ、「父親」を含む家族構成は少なくなる。困窮度1群においては、「父親」を含むと回答した家族構成は37.1%で中央値以上群と比べて48.7ポイント低くなっている。

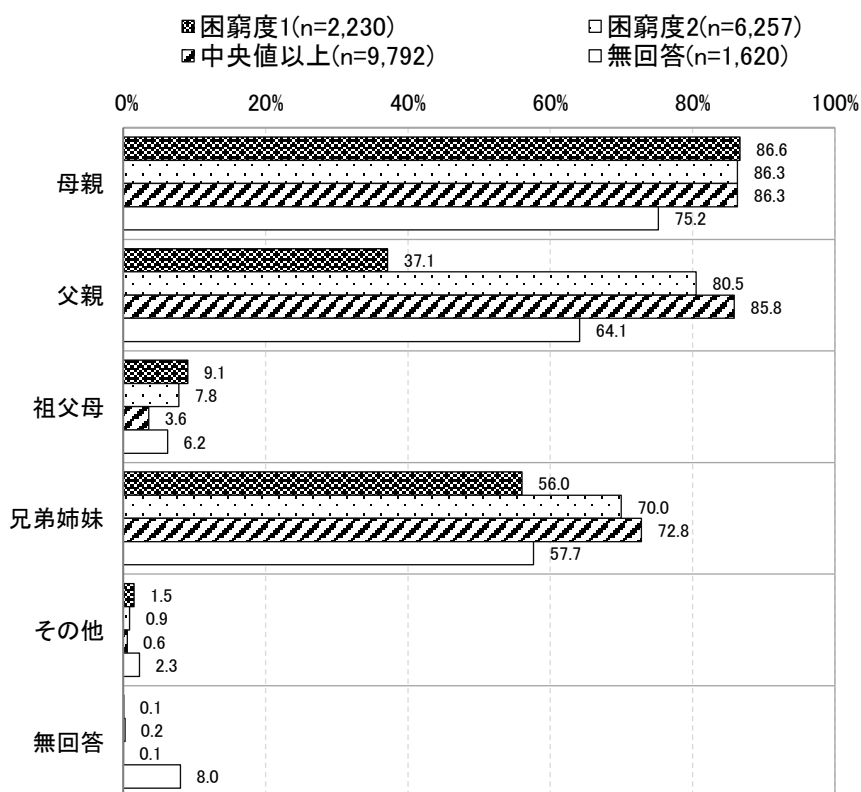


図 2-3-1-11 困窮度別に見た、家族構成

12. 困窮度別に見た、暮らし向き（主観）

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に保護者の主観的な暮らし向きを見ると、困窮度1群において「苦しい」と回答した割合は41.7%、「大変苦しい」と回答した割合は17.4%であった。「苦しい」と「大変苦しい」を合わせると、困窮度1群は中央値以上群より52.1ポイント高く（困窮度1群59.1%、中央値以上群7%）、困窮度が高まるにつれ、「苦しい」と「大変苦しい」と答えた割合が高くなっている。

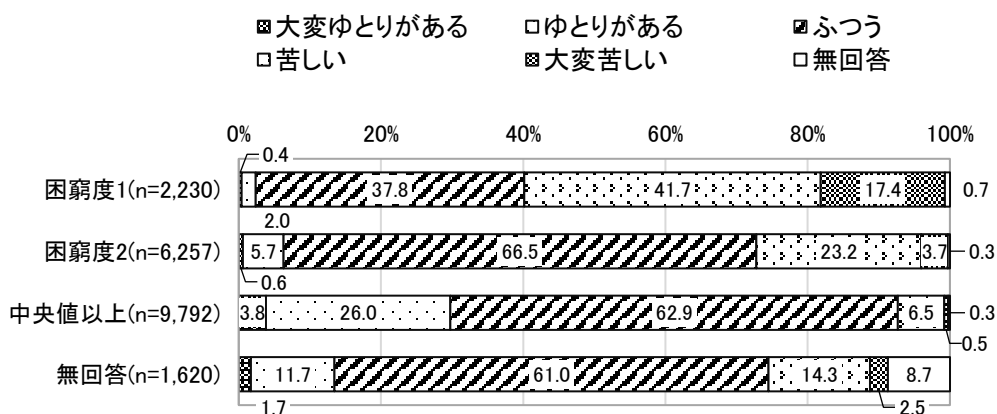


図 2-3-1-12 困窮度別に見た、暮らし向き（主観）

13. 世帯構成別に見た、暮らし向き（主観）

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

世帯構成別に保護者の主観的な暮らし向きを見ると、「大変苦しい」と回答した割合は、二人親家庭では2.4%なのに対して、母子家庭では13.0%、父子家庭では10.1%となっている。また、「苦しい」と回答した割合は、二人親家庭では13.8%であるのに対して、母子家庭では36.7%（二人親家庭に対して2.7倍）、父子家庭では23.5%（同じく1.7倍）となっている。

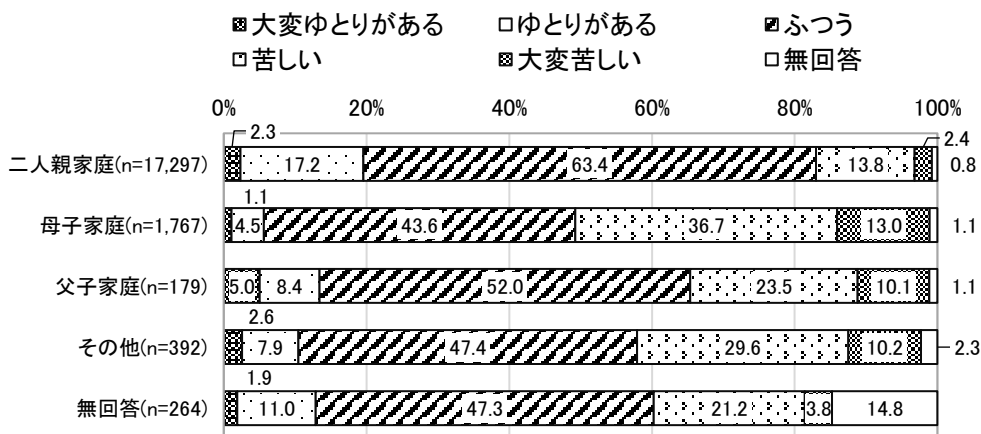


図 2-3-1-13 世帯構成別に見た、暮らし向き（主観）

14. 困窮度別に見た、家族の状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 29 ご家族の状況はいかがですか。（あてはまるものすべてに○）

困窮度別に見た家族の状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「みんな健康である」と答えた割合が低くなっている。一方で、困窮度が高まるにつれ、「通院している家族がいる」、「通院していないが体調が悪い家族がいる」、「障がいのある家族がいる（難病をのぞく）」、「介護が必要な家族がいる」の割合が高くなっている。

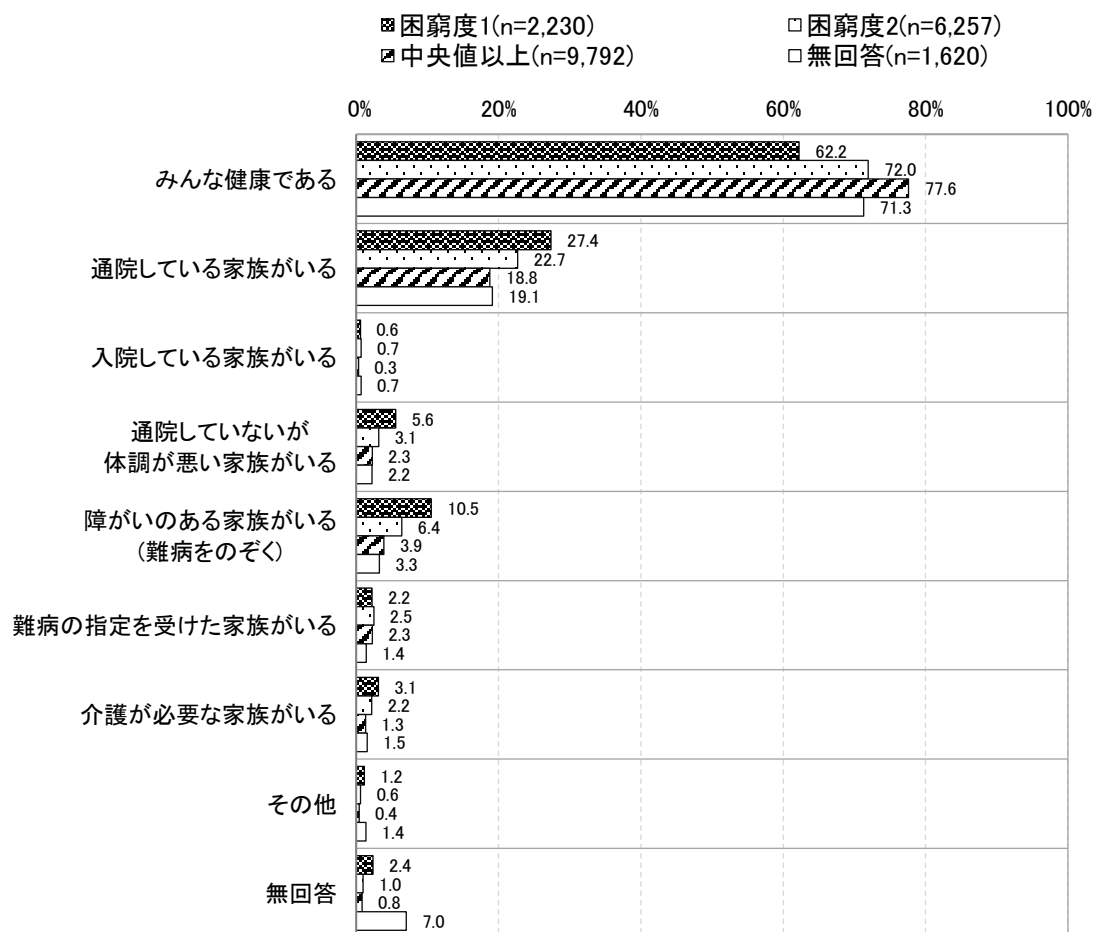


図 2-3-1-14 困窮度別に見た、家族の状況

15. 困窮度別に見た、世帯人数

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数（子どもを含む。）と子ども的人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。

a) ご家族の人数区分

困窮度別に見た家族の人数区分を見ると、困窮度1群においては「2人」の割合が15.7%であった。中央値以上群においては「2人」の割合が8.6%であり、困窮度1群との間に7.1%の差が見られた。

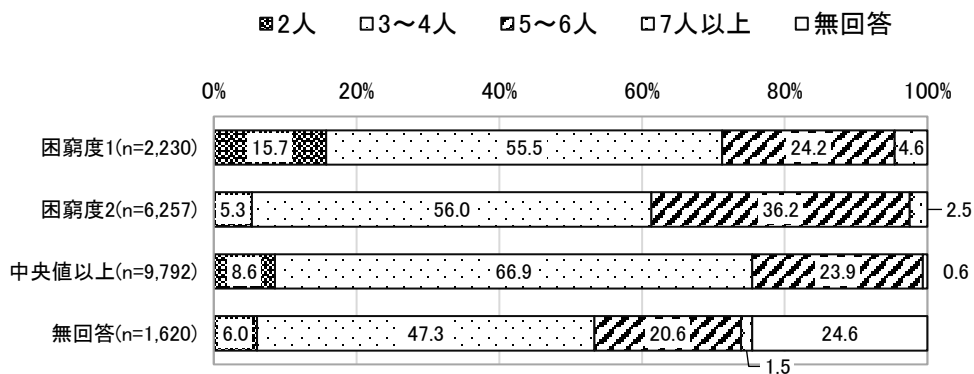


図 2-3-1-15-1 困窮度別に見た、世帯人数（家族の人数区分）

b) 子どもの人数区分

困窮度別に子どもの人数区分を見ると、困窮度1群においては「2人」の割合は35.9%で、「4人以上」の割合は11.8%であった。困窮度が高まるにつれ、「2人」の割合が低くなり、「4人以上」の割合が高くなっている。

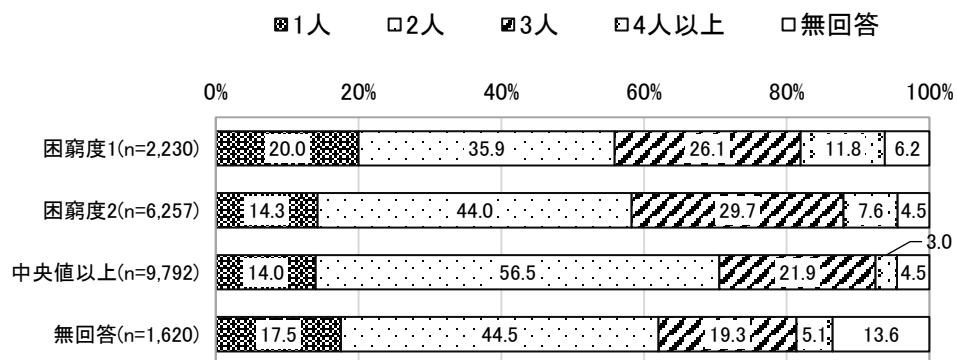


図 2-3-1-15-2 困窮度別に見た、世帯人数（子どもの人数区分）

16. 困窮度別に見た、居住形態

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 24 現在のあなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に居住形態を見ると、困窮度1群においては「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」の割合は42.2%であった。困窮度が高まるにつれ、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」の割合が低くなっている。

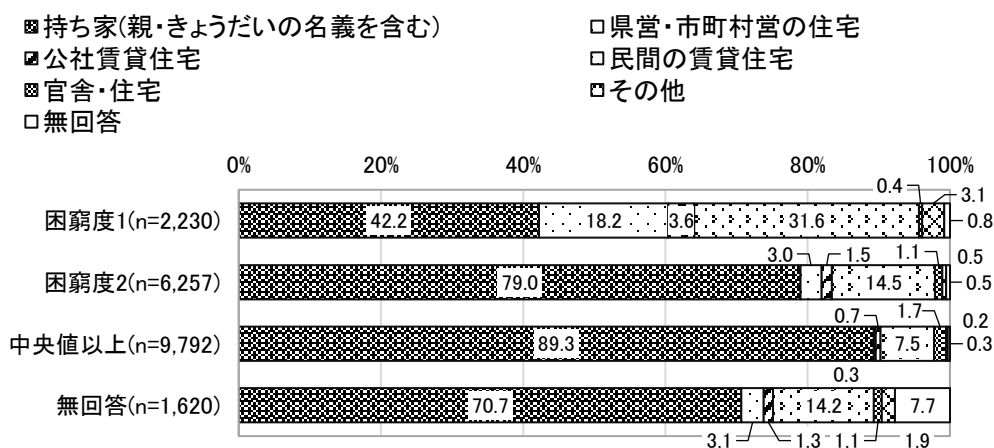


図 2-3-1-16 困窮度別に見た、居住形態

2.3.2. 家庭状況（制度等）

1. 困窮度別に見た、支援の利用状況（就学援助）

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

a) 就学援助

困窮度別に就学援助の受給状況を見ると、困窮度1群においては「現在利用している」と回答した割合は72.5%であった。困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」の割合が高くなっている。

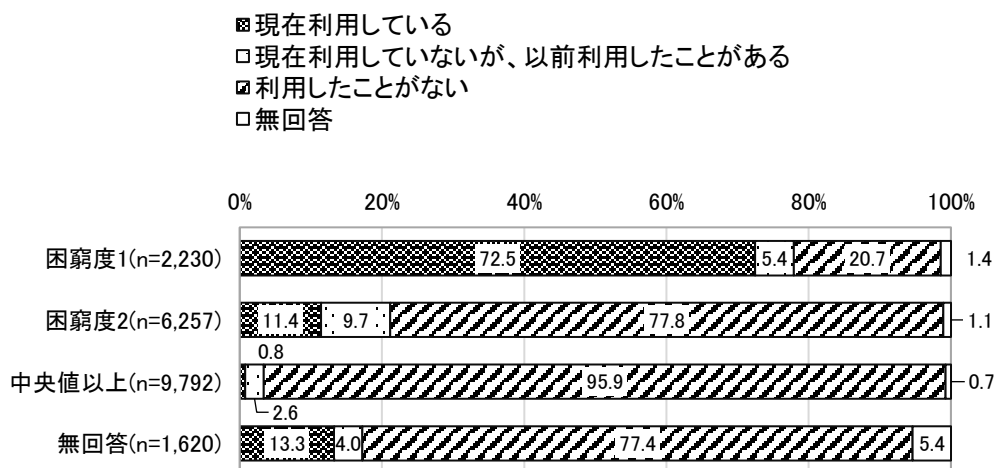


図 2-3-2-1 困窮度別に見た、支援の利用状況（就学援助）

2. 世帯構成別に見た、支援の利用状況（就学援助）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

a) 就学援助

世帯構成別に就学援助の受給状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、二人親家庭では 6.2%であり、母子家庭では 69.7%、父子家庭では 21.8%であった。

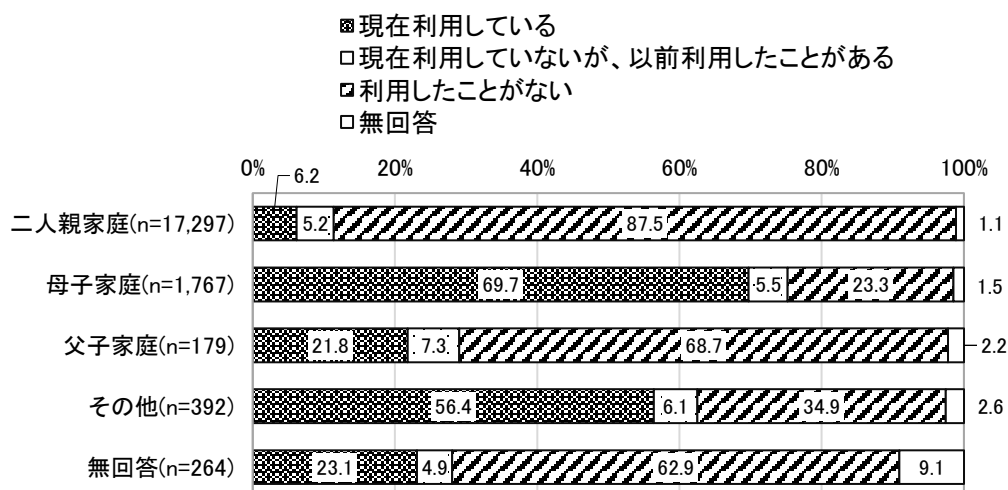


図 2-3-2-2 世帯構成別に見た、支援の利用状況（就学援助）

3. 困窮度別に見た、支援の利用状況（生活保護）

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 23. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

b) 生活保護

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度1群では10.6%であるのに対して、困窮度2群と中央値以上群ではそれぞれ0.5%、0%であった。

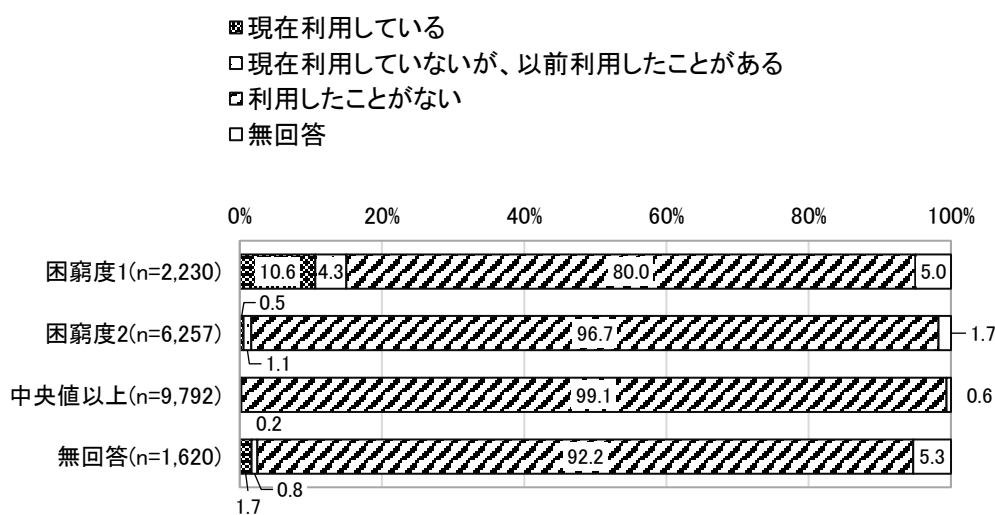


図 2-3-2-3 困窮度別に見た、支援の利用状況（生活保護）

4. 世帯構成別に見た、支援の利用状況（生活保護）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

b) 生活保護

世帯構成別に生活保護の受給状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、二人親家庭が 0.3%、母子家庭が 11.5%、父子家庭が 2.8%となっている。

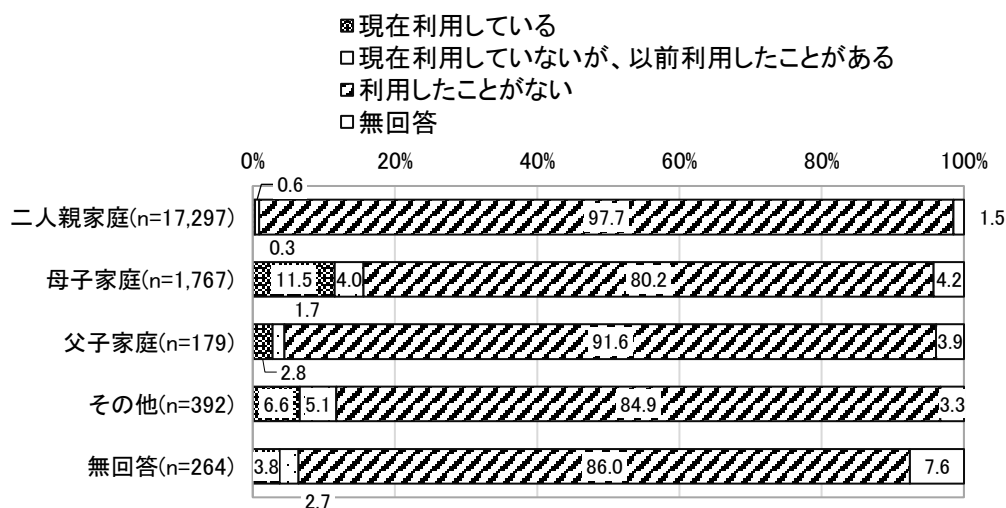


図 2-3-2-4 世帯構成別に見た、支援の利用状況（生活保護）

5. 困窮度別に見た、支援の利用状況（くらし支援窓口）

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

c) くらし支援窓口

困窮度別に暮らし支援窓口の利用状況を見ると、どの群においても「現在利用している」と回答した割合が低いといえる。具体的には、困窮度1群が2.7%、困窮度2群が0.2%、中央値以上群が0%であった。

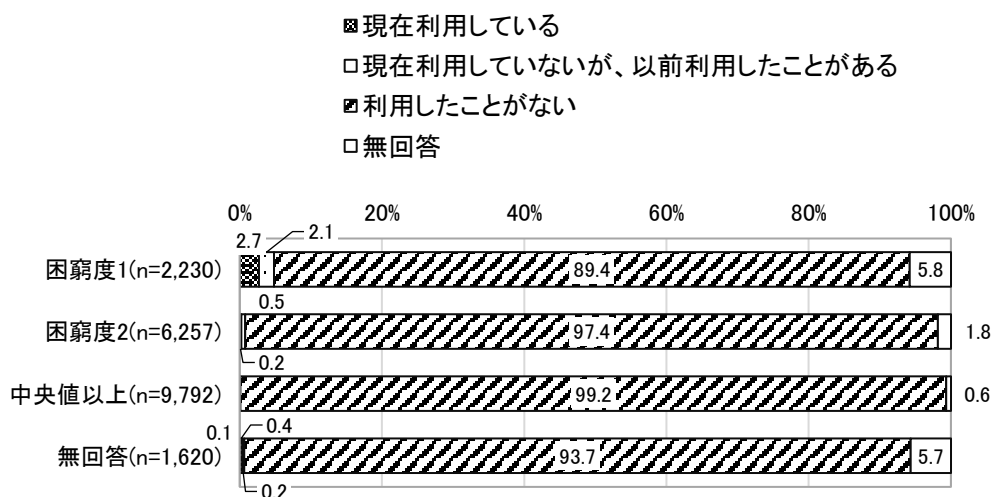


図 2-3-2-5 困窮度別に見た、支援の利用状況（くらし支援窓口）

6. 世帯構成別に見た、支援の利用状況（くらし支援窓口）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

c) くらし支援窓口

世帯構成別にくらし支援窓口の利用状況を見ると、どの世帯構成においても「現在利用している」と回答した割合が低くなっている。具体的には、父子家庭が 3.9%、母子家庭が 2.1%、二人親家庭が 0.2%となっている。

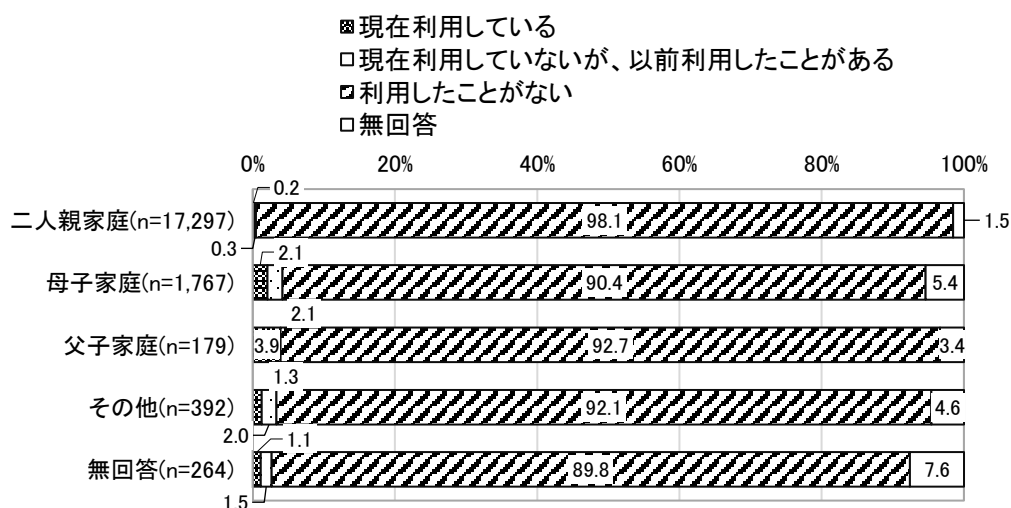


図 2-3-2-6 世帯構成別に見た、支援の利用状況（くらし支援窓口）

7. 困窮度別に見た、支援の利用状況（児童扶養手当）

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

d) 児童扶養手当

困窮度別に児童扶養手当の受給状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度1群では51.9%であるのに対して、困窮度2群と中央値以上群ではそれぞれ8.9%、2.5%となっている。困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」の割合が高くなっている。

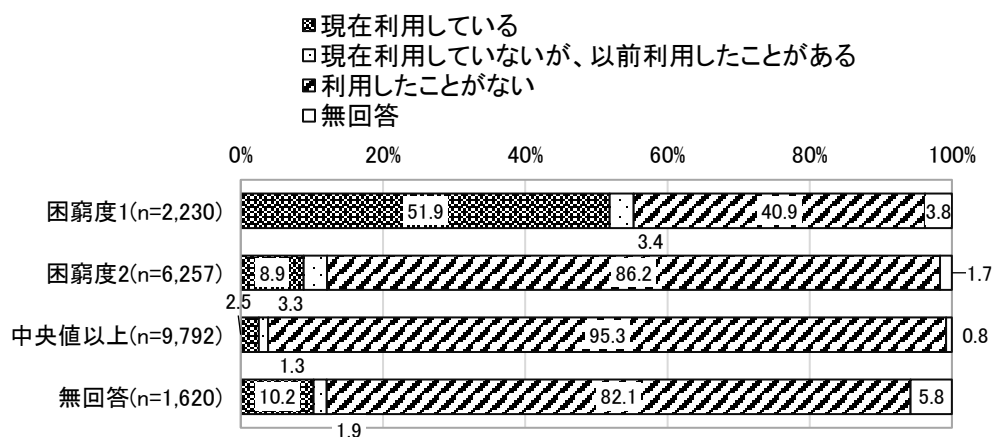


図 2-3-2-7 困窮度別に見た、支援の利用状況（児童扶養手当）

8. 世帯構成別に見た、支援の利用状況（児童扶養手当）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

d) 児童扶養手当

世帯構成別に児童扶養手当の受給状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、二人親家庭が 3.5%、母子家庭が 69.0%、父子家庭が 24.0%となっている。ひとり親家庭であっても、母子家庭では約 7 割、父子世帯では約 2 割と世帯構成による受給状況の違いが表れている。

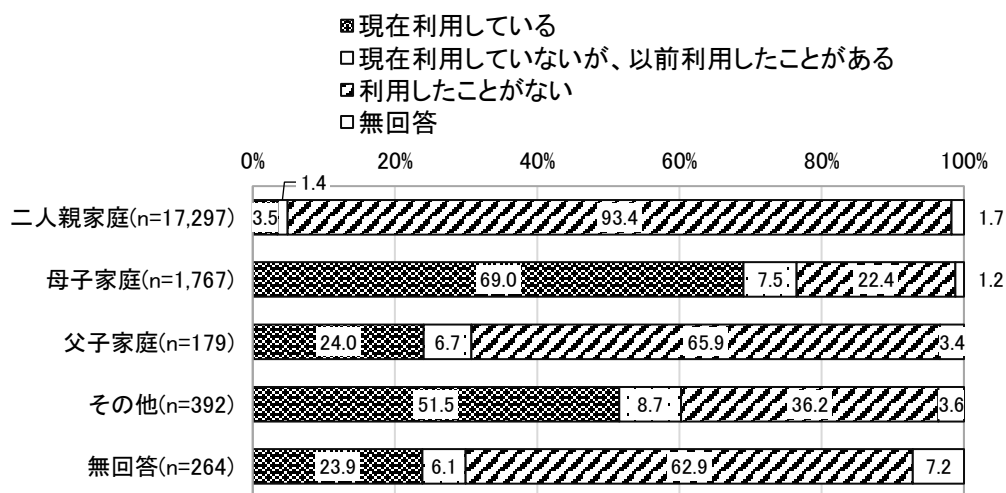


図 2-3-2-8 世帯構成別に見た、支援の利用状況（児童扶養手当）

9. 困窮度別に見た、支援の利用状況（ひとり親家庭支援センター）

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

e) ひとり親家庭支援センター

困窮度別にひとり親家庭支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度1群では6.4%であるのに対して、困窮度2群と中央値以上群ではそれぞれ0.7%、0.1%となっている。

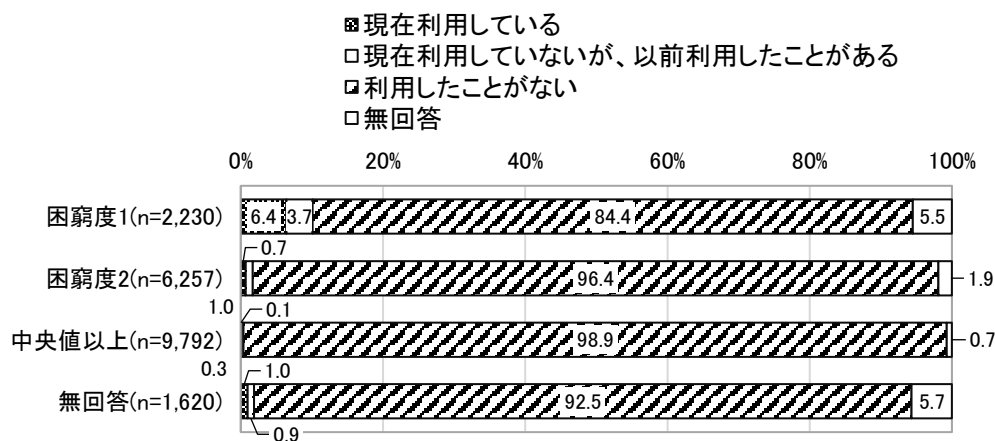


図 2-3-2-9 困窮度別に見た、支援の利用状況（ひとり親家庭支援センター）

10. 世帯構成別に見た、支援の利用状況（ひとり親家庭支援センター）

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者票問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

e) ひとり親家庭支援センター

世帯構成別にひとり親家庭支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した割合は、母子家庭では8.2%、父子家庭では6.1%となっている。

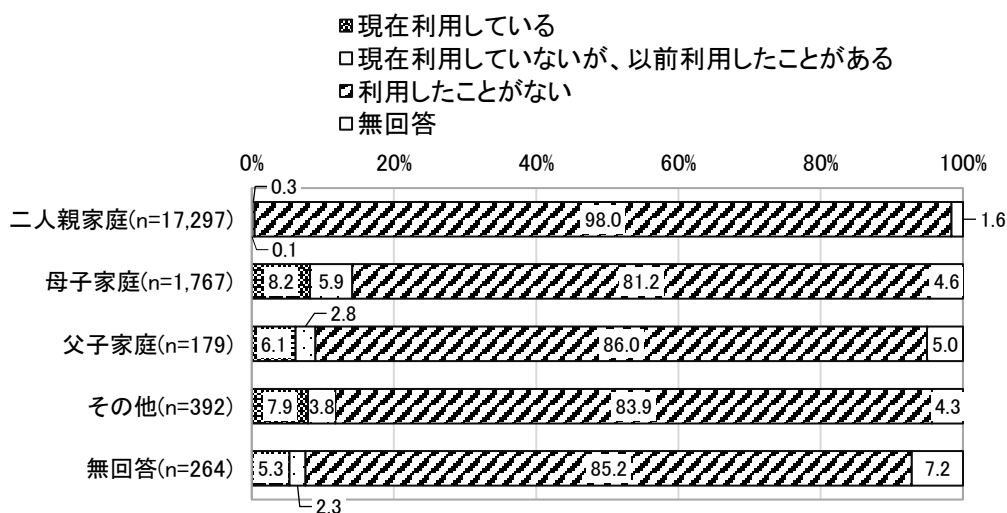


図 2-3-2-10 世帯構成別に見た、支援の利用状況（ひとり親家庭支援センター）

11. 困窮度別に見た、ひとり親の養育費受取状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 7 問 6 で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に養育費の受取状況を見ると、困窮度1群においては「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と回答した割合は27.4%であった。困窮度が高まるにつれ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が低くなっている。

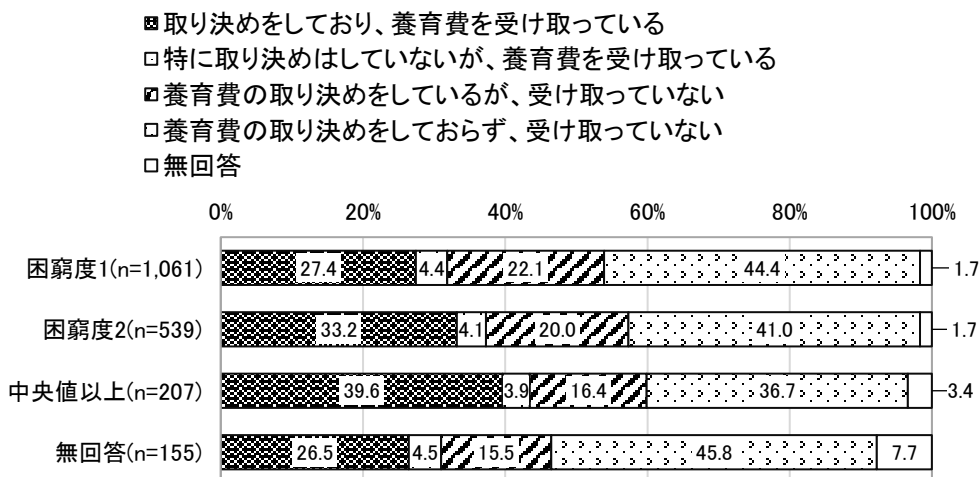


図 2-3-2-11 困窮度別に見た、ひとり親の養育費受取状況

12. 世帯構成別に見た、ひとり親の養育費受取状況

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

世帯構成別に養育費の受給状況を見ると、母子家庭では、「受け取っている」の割合（「取り決めをしており、養育費を受け取っている」+「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」）が37.0%であるのに対して、父子家庭は6.8%であった。

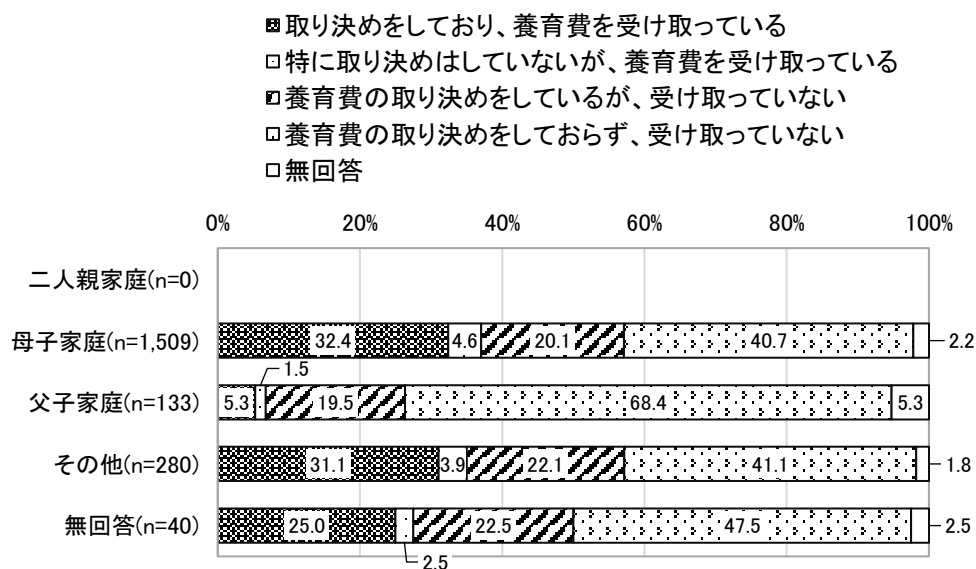


図 2-3-2-12 世帯構成別に見た、ひとり親の養育費受取状況

13. 困窮度別に見た、支援の利用状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 18 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) （自分や友人の家以外で）放課後や休日を過ごすことができる場所（学童保育・放課後等デイサービスなど）

困窮度別に放課後や休日を過ごすことができる場所の利用状況を見ると、困窮度 1 群において、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は 8.4%であった。困窮度が高まるにつれ、「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。

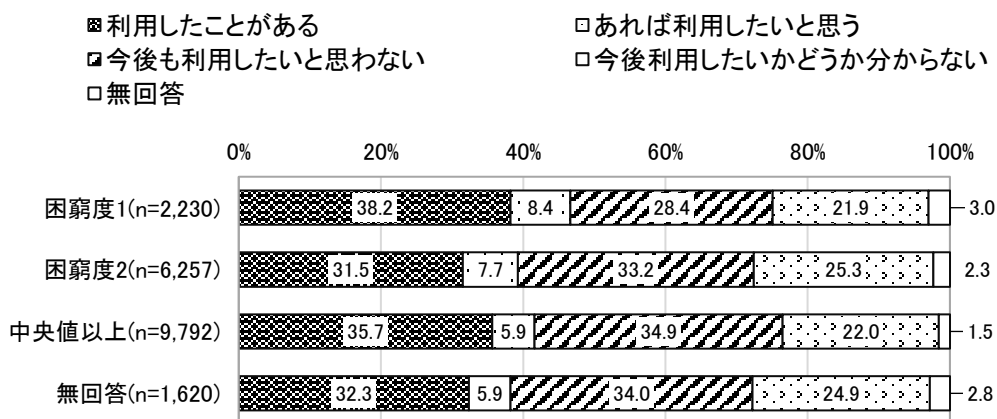


図 2-3-2-13-1 困窮度別に見た、支援の利用状況
（放課後や休日を過ごすことができる場所）

b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)

困窮度別に夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況を見ると、困窮度1群において、「利用したことがある」と回答した割合は7.1%であった。困窮度が高まるにつれ、「利用したことがある」の割合が高くなっている。

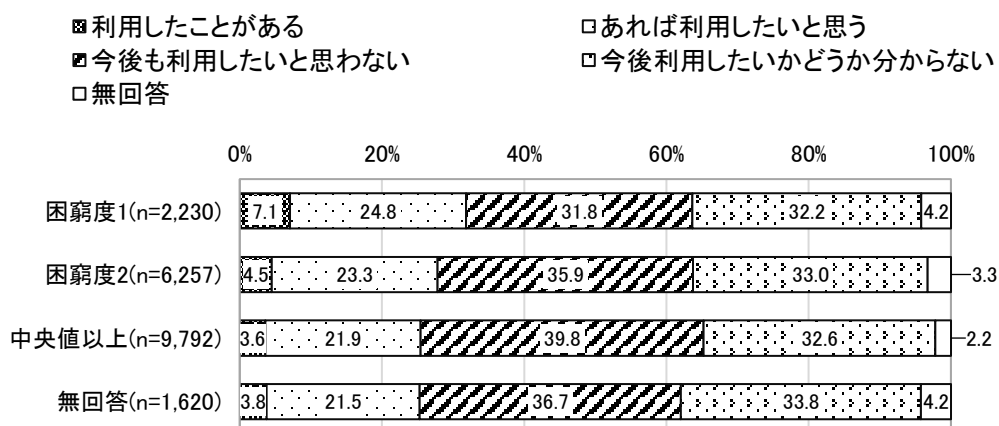


図 2-3-2-13-2 困窮度別に見た、支援の利用状況
(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

困窮度別に勉強を無料でみてくれる場所の利用状況を見ると、困窮度1群において、「利用したことがある」と回答した割合は7.0%であった。困窮度が高まるにつれ、「利用したことがある」の割合が高くなっている。

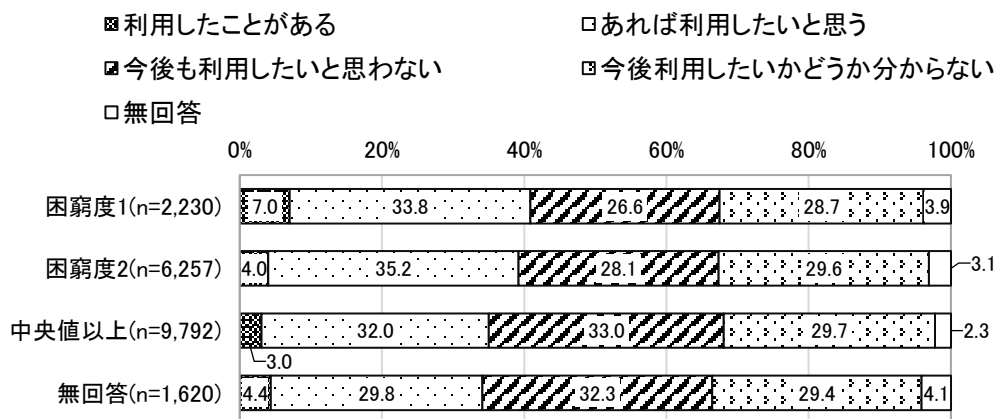


図 2-3-2-13-3 困窮度別に見た、支援の利用状況
(勉強を無料でみてくれる場所)

d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)

困窮度別に何でも相談できる場所の利用状況を見ると、困窮度1群においては「利用したことがある」と回答した割合は 3.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「利用したことがある」の割合が高くなっている。

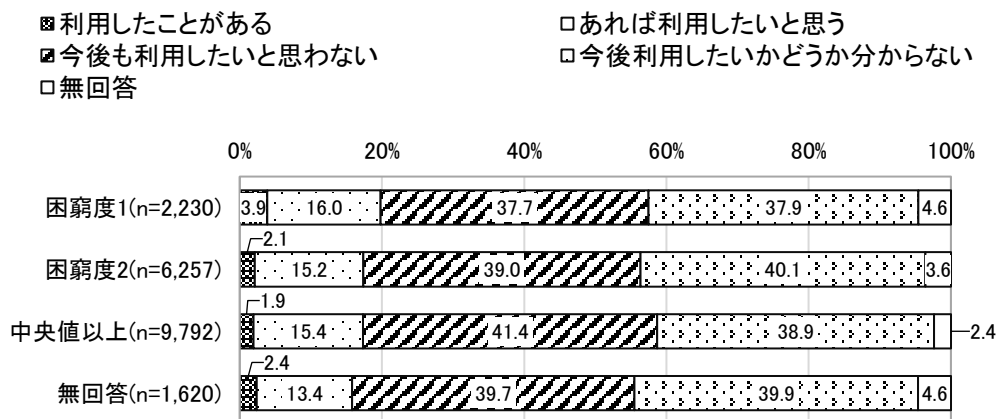


図 2-3-2-13-4 困窮度別に見た、支援の利用状況
(何でも相談できる場所)

14. 困窮度別に見た、支援の効果

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 19 問 18 で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（1～8については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に支援効果を見ると、全体としては、約半数の人が「友達が増えた」と回答した。どの項目をみても、困窮度別に大きな違いはみられなかった。

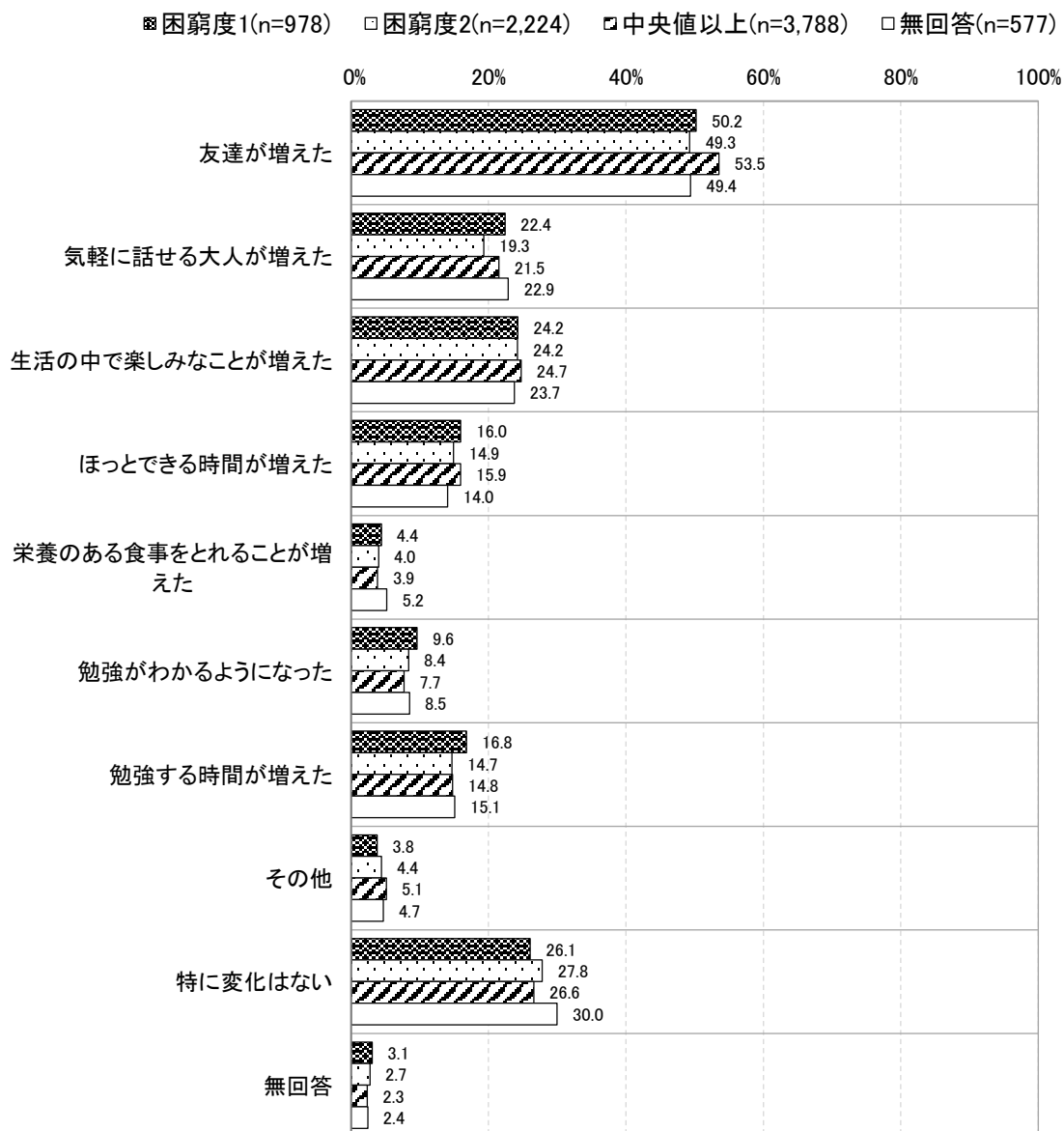


図 2-3-2-14 困窮度別に見た、支援の効果

15. 困窮度別に見た、家族へのケアの実施の有無

保護者問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 11 家庭や家族についてお聞きします。

a1) あなたは家族のお世話をしていますか。（ここで「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。）（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に家族へのケアの実施の有無を見ると、困窮度1群において、「している」と回答した人は36.8%であった。困窮度が高まるにつれ、「している」の割合が高くなっている。

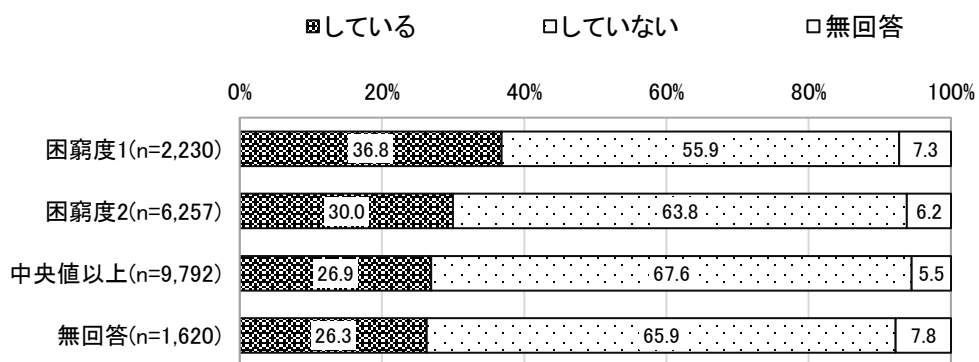


図 2-3-2-15-1 困窮度別に見た、家族へのケア
(家族へのケアの実施の有無)

a2) 「1. している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

困窮度別にケアを必要としている人を見ると、困窮度1群において、「父親」と回答した割合は12.5%であった。困窮度が高まるにつれ、「父親」と回答した割合が低くなっている。「母親」と回答した割合は、すべての群で約6割となっていた。

■ 困窮度1(n=821) □ 困窮度2(n=1,877) ▨ 中央値以上(n=2,635) □ 無回答(n=426)

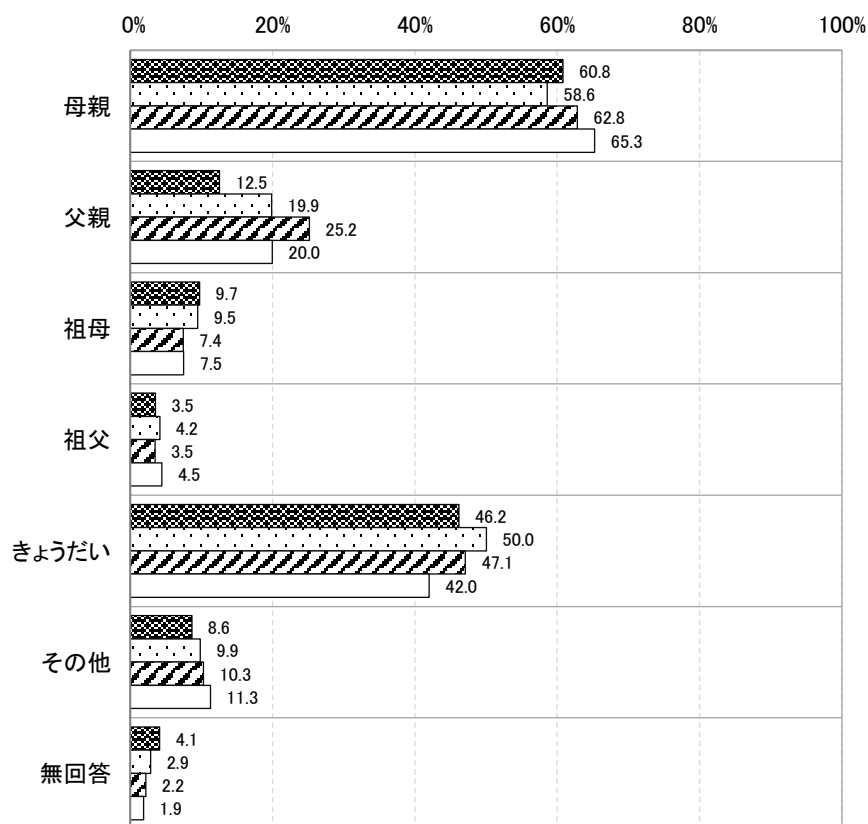


図 2-3-2-15-2 困窮度別に見た、家族へのケア
 (ケアを必要としている人)

b) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

困窮度別にケアの内容を見ると、すべての群において「家事(食事の準備や掃除・洗濯)」と回答した割合が7割以上となっている。具体的には、困窮度1群が73.2%、困窮度2群が72.2%、中央値以上群が74.8%であった。

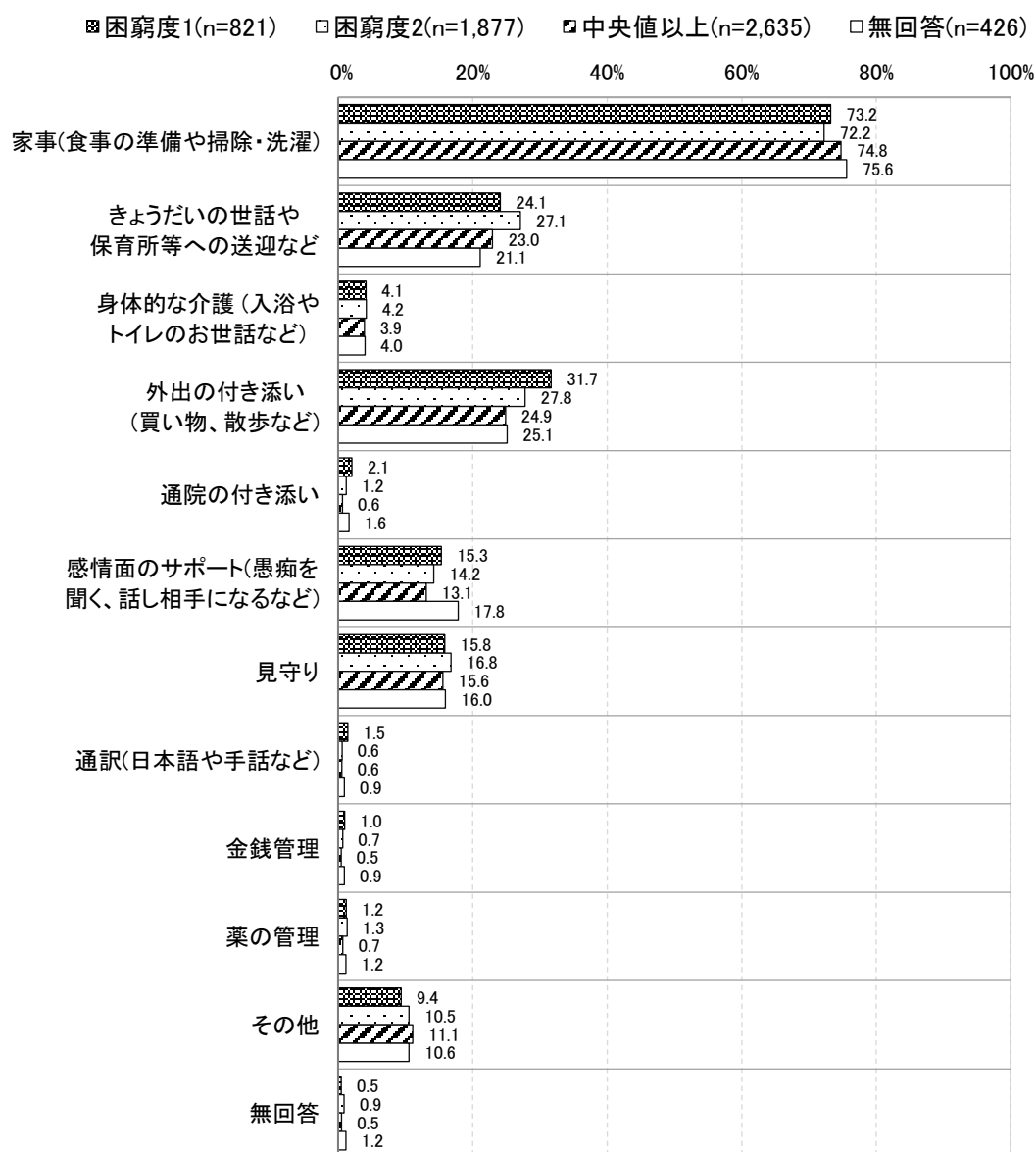


図 2-3-2-15-3 困窮度別に見た、家族へのケア
(ケアの内容)

c) お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

困窮度別にケアの頻度を見ると、困窮度1群では「ほぼ毎日」と回答した割合は48.0%、中央値以上群では40.4%であった。困窮度が高まるにつれ、「ほぼ毎日」と答えた割合が高くなっている。

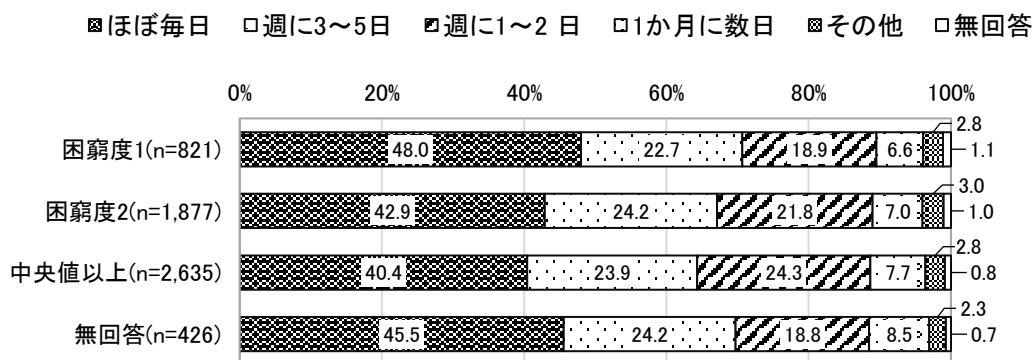


図 2-3-2-15-4 困窮度別に見た、家族へのケア
(ケアの頻度)

d) 平日にお世話はどれくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

困窮度別にケアの時間を見ると、「30分未満」と回答した割合は、困窮度1群で39.1%、中央値以上群で53.2%であった。困窮度が高まるにつれ、「30分未満」と回答した割合が低くなっている。一方、「30分以上1時間未満」「1時間以上3時間未満」「3時間以上5時間未満」「5時間以上7時間未満」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて高くなっている。

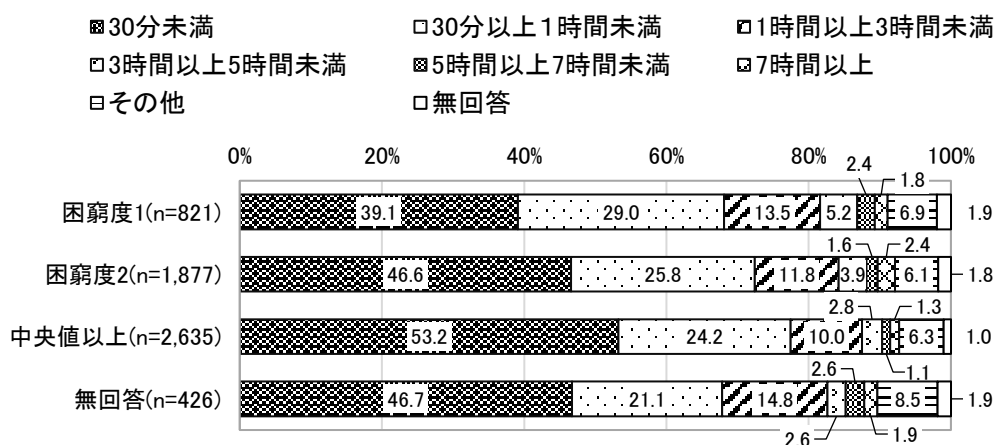


図 2-3-2-15-5 困窮度別に見た、家族へのケア
(ケアの時間)

2.3.3. 雇用

1. 困窮度別に見た、親の雇用形態

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

保護者票問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

（a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 母親 b) 父親

困窮度別に母親の就労状況を見ると、「働いていない」と回答した割合は、困窮度1群で16.8%、困窮度2群で18.6%、中央値以上群で18.4%であった。

また、母親の雇用形態については、困窮度1群では「正社員・正規職員・会社役員」が15.7%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.8%であるのに対して、困窮度2群では「正社員・正規職員・会社役員」が17.1%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が51.9%となっている。困窮度が高まるにつれ、「正社員・正規職員・会社役員」と答えた割合が低くなっている。

困窮度別に父親の就労状況を見ると、「働いていない」と回答した割合は、困窮度1群で3.1%、困窮度2群で0.5%、中央値以上群で0.2%であった。

また、父親の雇用形態については、困窮度1群では「正社員・正規職員・会社役員」が26.0%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が3.2%であるのに対して、困窮度2群では「正社員・正規職員・会社役員」が76.7%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が1.0%となっている。困窮度が高まるにつれ、「正社員・正規職員・会社役員」と答えた割合が低くなっている。

- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- ▨ パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- 働いていない(専業主婦/主夫を含む)
- わからない、いない
- 無回答

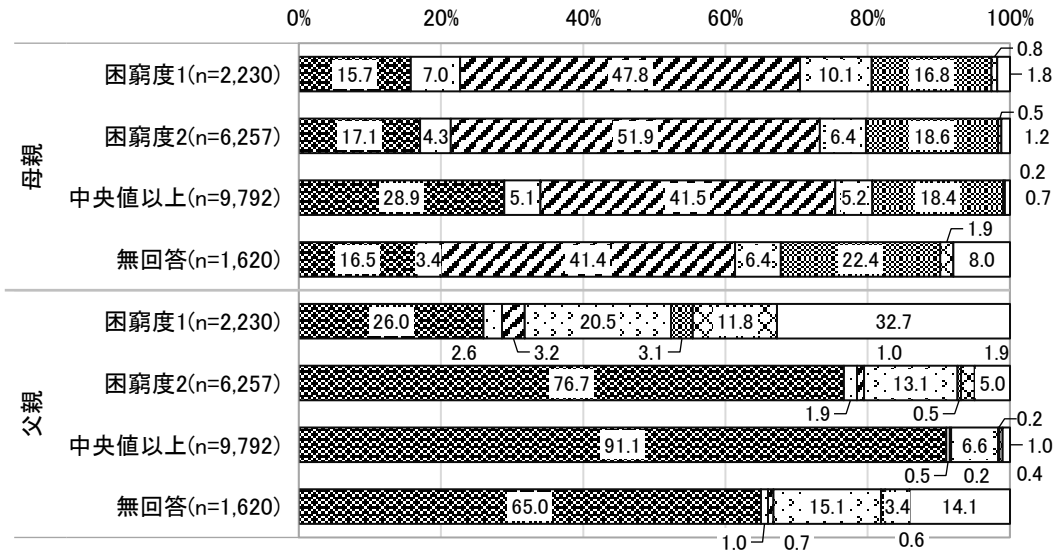


図 2-3-3-1 困窮度別に見た、親の雇用形態

2. 世帯構成別に見た、親の雇用形態

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a) 母親 b) 父親

世帯構成別に母親の就労状況を見ると、母親が「働いていない」と回答した割合は、二人親家庭では 20.1%であるのに対して、母子家庭では 9.0%であった。

また、母親の雇用形態については、二人親家庭では「正社員・正規職員・会社役員」が 21.0%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 47.4%であるのに対して、母子家庭では「正社員・正規職員・会社役員」が 38.6%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 36.9%であった。

世帯構成別に父親の就労状況を見ると、父親が「働いていない」と回答した割合は、二人親家庭では 0.6%、父子家庭では 4.5%となっている。

また、父親の雇用形態については、二人親家庭では「正社員・正規職員・会社役員」が 85.0%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が 11.4%となっているのに対して、父子家庭では「正社員・正規職員・会社役員」が 72.1%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が 16.8%となっている。

- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- ▨ パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- 働いていない(専業主婦/主夫を含む)
- わからない、いない
- 無回答

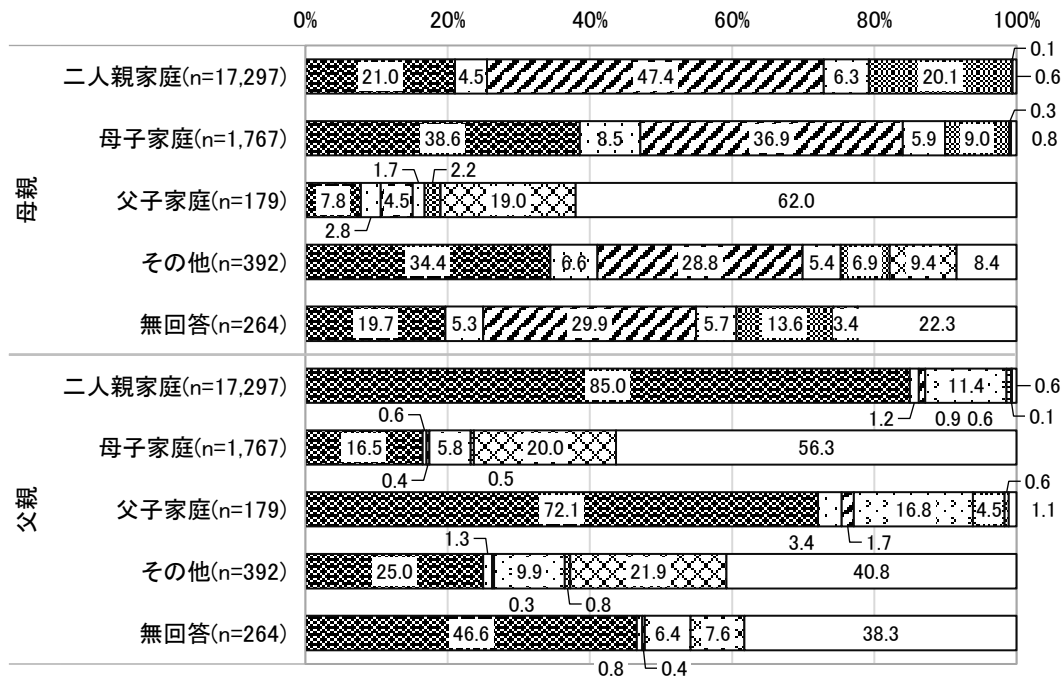


図 2-3-3-2 世帯構成別から見た親の雇用形態

3. 困窮度別に見た、就労していない理由

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 11 問 10 で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない主な理由を教えてください。（a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 母親 b) 父親

困窮度別に母親が就労していない理由を見ると、困窮度1群においては「子育てを優先したいため」と回答した割合は25.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「子育てを優先したいため」と答えた割合が低くなっている。また、「自分の病気や障害のため」と回答した割合は22.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「自分の病気や障害のため」と答えた割合が高くなっている。

困窮度別に父親が就労していない理由を見ると、困窮度1群においては「子育てを優先したいため」と回答した割合は5.8%であり、「自分の病気や障害のため」は52.2%であった。「自分の病気や障害のため」と回答した割合は、中央値以上群に比べ、困窮度1群、困窮度2群の方が高くなっている。

- 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
- 子育てを優先したいため
- 家族の介護・介助のため
- 自分の病気や障害のため
- 通学しているため
- その他の理由
- 無回答

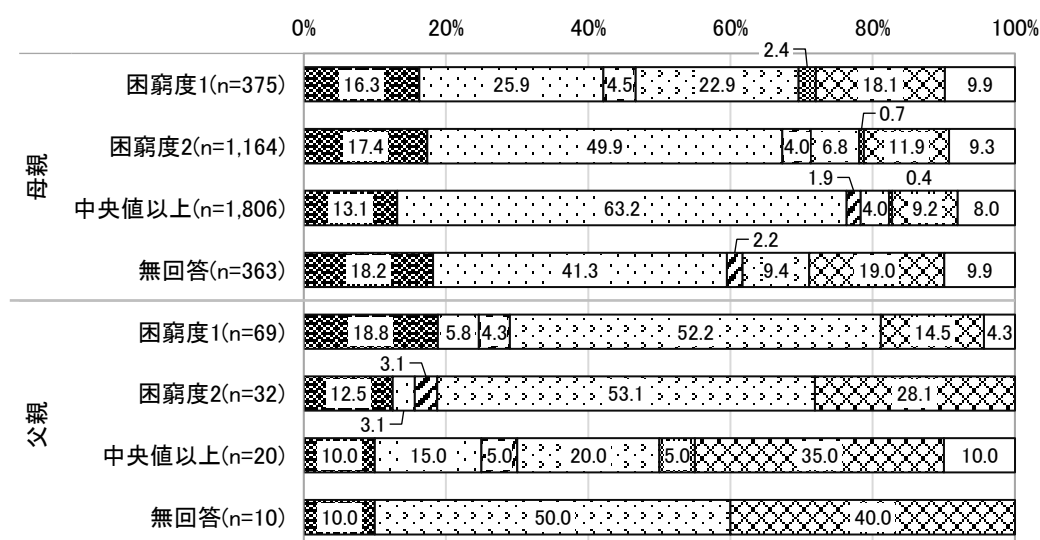


図 2-3-3-3 困窮度別に見た、就労していない理由

4. 困窮度別に見た、親の最終学歴

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 9 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 母親 b) 父親

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度1群においては「大学またはそれ以上」と回答した割合は11.7%であった。困窮度が高まるにつれ、「大学またはそれ以上」と答えた割合が低くなっている。

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度1群においては「大学またはそれ以上」と回答した割合は14.0%であった。また「中学（中等部）まで」の割合は10.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「大学またはそれ以上」と答えた割合が低くなり、「中学（中等部）まで」と答えた割合が高くなっている。

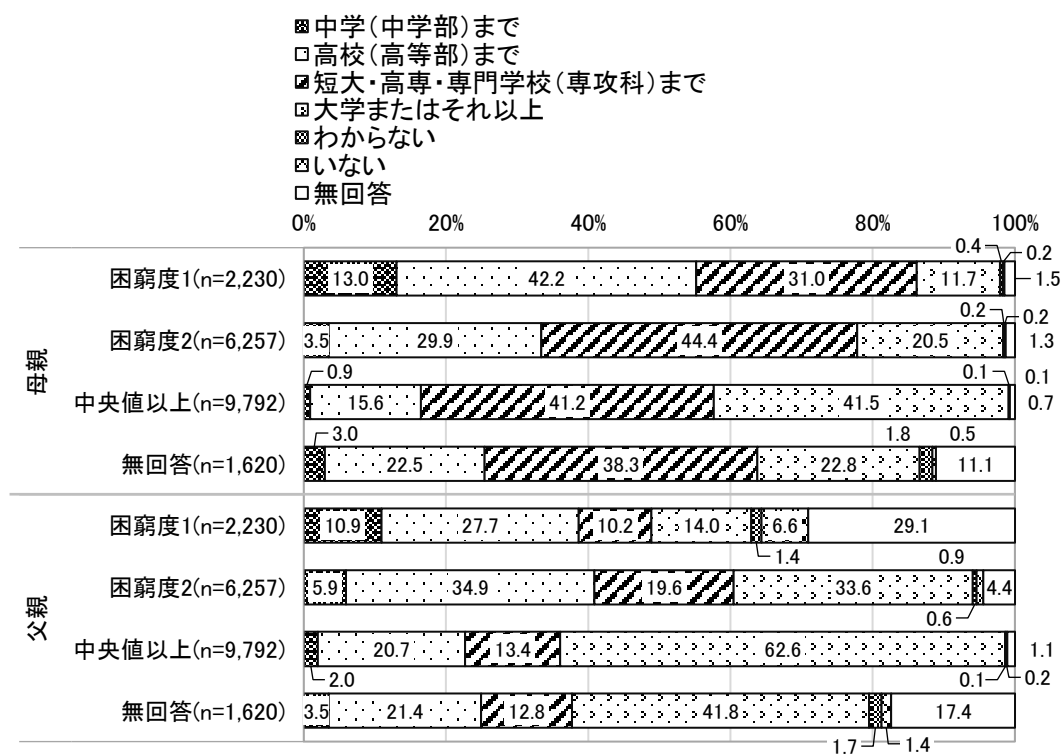


図 2-3-3-4 困窮度別に見た、親の最終学歴

5. 困窮度別に見た、幼児期の教育

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 12 お子さんが0～2歳の間と3～5歳の間に通っていた教育・保育施設などで主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 0～2歳 b) 3～5歳

困窮度別に幼児期の教育（0～2歳）を見ると、困窮度1群において、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した割合は41.5%であった。困窮度1群は、困窮度2群と中央値以上群に比べて、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっている。

困窮度別に幼児期の教育（3～5歳）を見ると、困窮度1群において、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した割合は90.4%であった。困窮度が高まるにつれ、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と答えた割合が低くなっている。

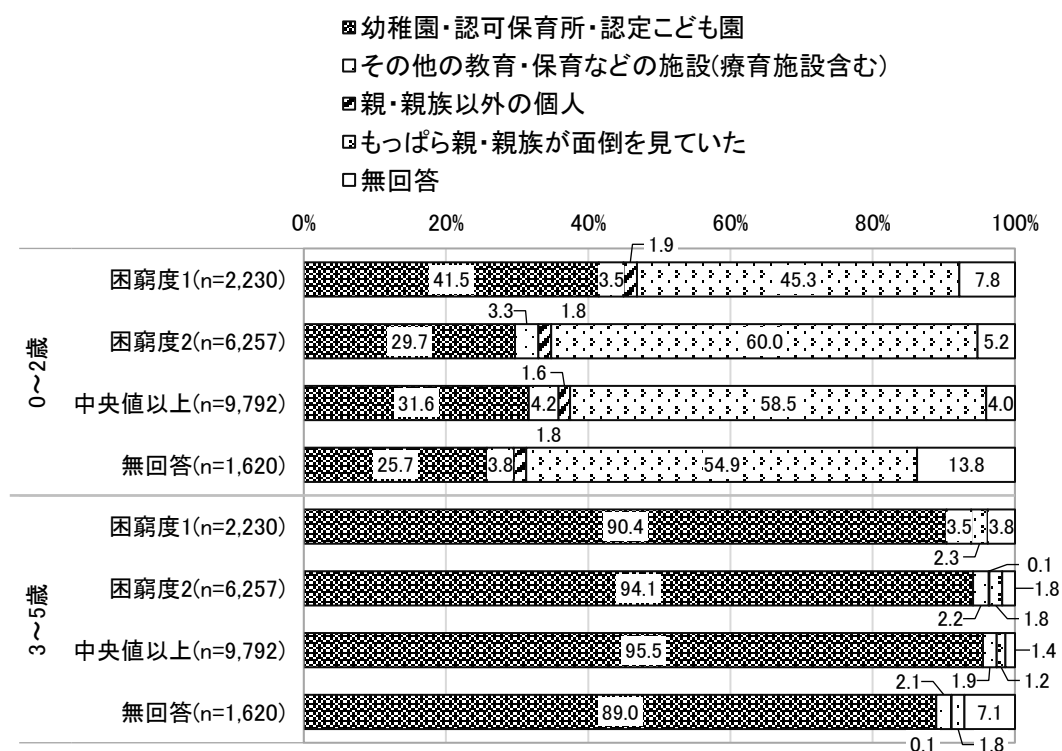


図 2-3-3-5 困窮度別に見た、幼児期の教育

6. 困窮度別に見た、コロナの仕事への影響と負担

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの仕事に変化はありましたか。

a) あなたの職場や職種が変わる、または仕事内容が変わるなどの変化はありましたか。（あなたにとってもっとも影響が大きかったものに○）

困窮度別に新型コロナウイルス感染症の影響による仕事の変化を見ると、困窮度1群において、「変化はなかった」と回答した割合は42.2%であった。困窮度が高まるにつれ、「変化はなかった」の割合が低くなっている。

- ☒ 変化はなかった
- ☒ 時差通勤になった
- ☒ 勤務時間・日数が変更になった
- ☐ 職種が変更になった
- ☒ 退職した（自主退職）
- ☒ その他
- ☐ テレワークなど勤務場所が変わった
- ☐ 勤務形態（パート等）が変更になった
- ☒ 休業を命じられた
- ☐ 失業した（職場都合での失業）
- ☐ 別の職場へ転職した
- ☐ 無回答

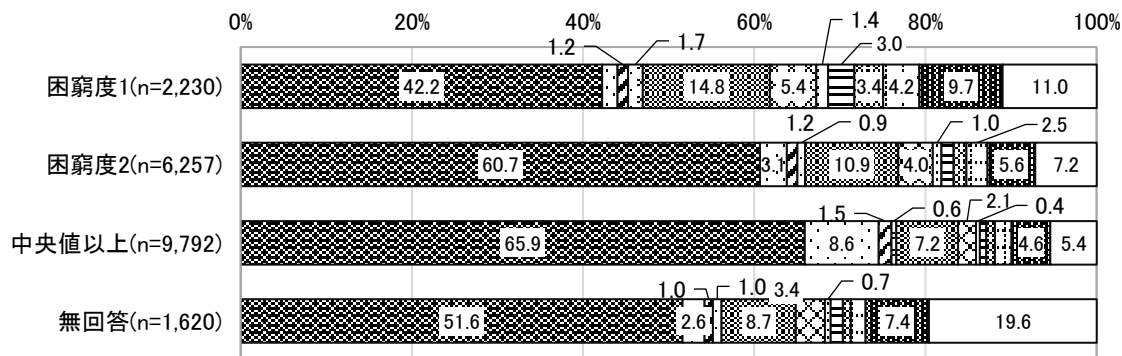


図 2-3-3-6-1 困窮度別に見た、コロナの仕事への影響と負担（仕事の変化）

b) 仕事の変化はあなたにとって負担になったと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

困窮度別に新型コロナウイルス感染症の影響による仕事の変化への負担を見ると、困窮度1群においては「とても負担に感じた」と回答した割合は38.7%であった。困窮度が高まるにつれ、「とても負担に感じた」の割合が高くなっている。

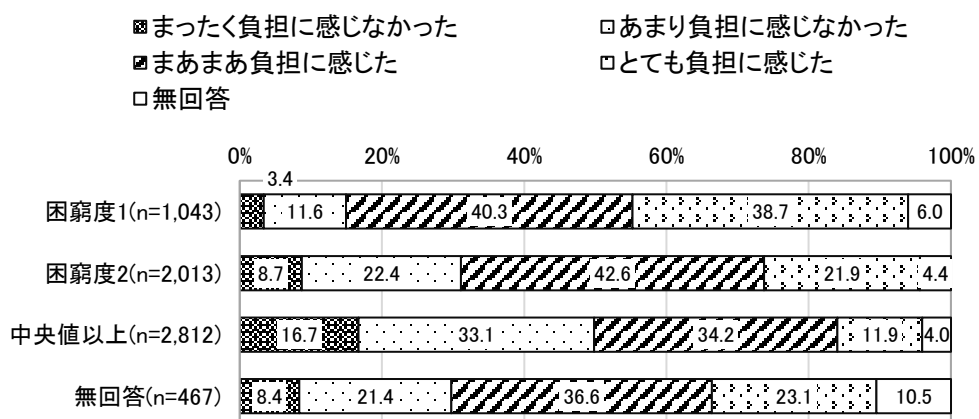


図 2-3-3-6-2 困窮度別に見た、コロナの仕事への影響と負担
(仕事の変化による負担)

7. 困窮度別に見た、コロナで利用した制度

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

保護者票問 26 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響であなたが利用した制度があ
りますか。（あてはまるものすべてに○）

困窮度別に新型コロナウイルス感染症の影響で利用した制度を見ると、困窮度 1 群においては「1～20 のどの制度も利用していない」の割合が 4.2%であるのに対して、困窮度 2 群と中央値以上群は、それぞれ 10.7%、15.5%であった。

また、困窮度 1 群では「特別定額給付金(対象者 1 人につき 10 万円を給付)」が 87.5%、「子育て世帯への臨時特別給付金」が 60.6%となっているのに対して、困窮度 2 群では「特別定額給付金(対象者 1 人につき 10 万円を給付)」が 85.1%、「子育て世帯への臨時特別給付金」が 31.1%となっている。困窮度が高まるにつれ、「特別定額給付金(対象者 1 人につき 10 万円を給付)」、「子育て世帯への臨時特別給付金」と回答した割合が高くなっている。

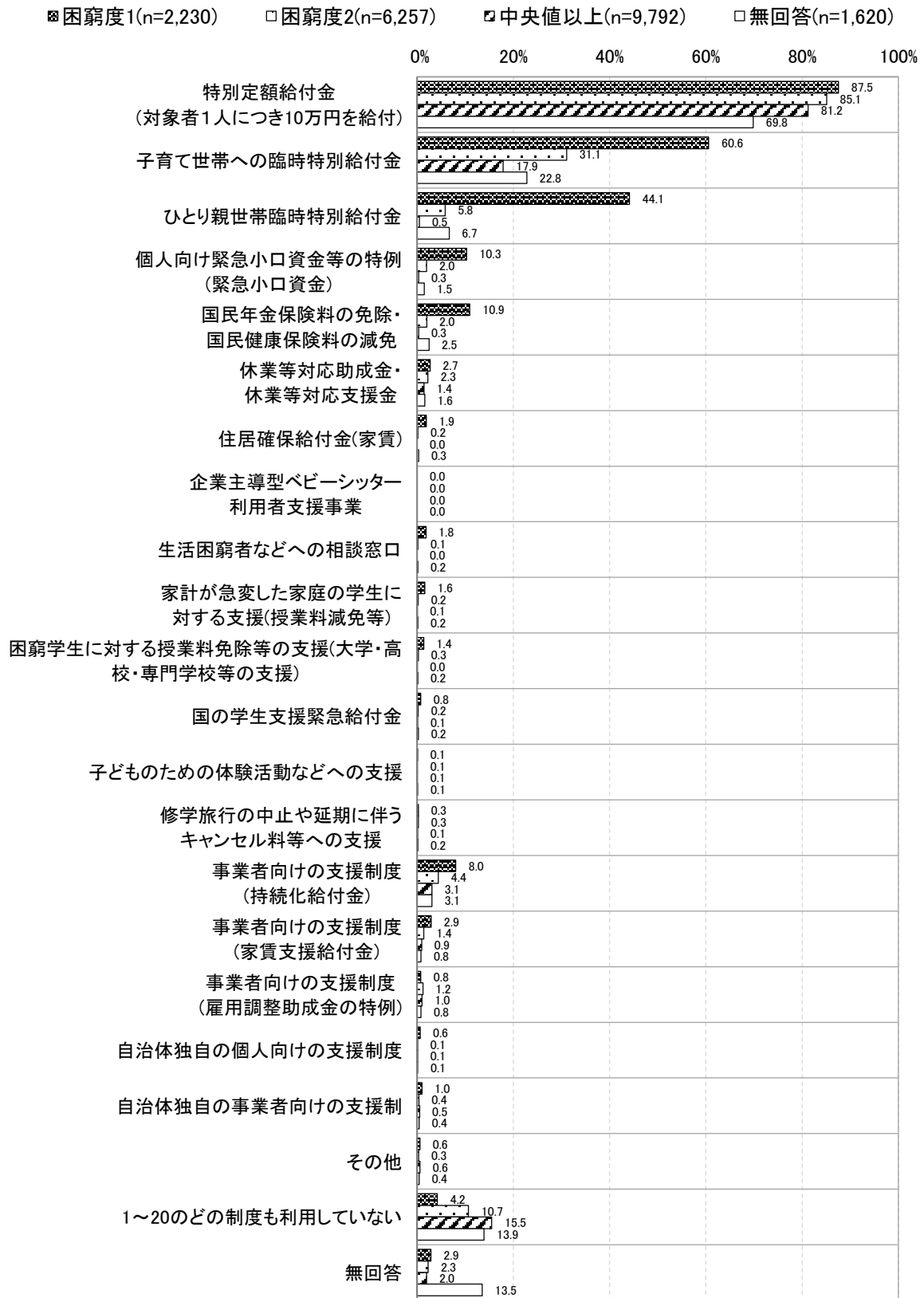


図 2-3-3-7 困窮度別に見た、コロナで利用した制度

2.3.4. 健康

1. 困窮度別に見た、食事の頻度

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○） a)朝食 b)夕食 c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食

困窮度別に子どもの朝食、夕食、夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度を見ると、すべての食事において、困窮度が高まるにつれて毎日食べる割合が少なくなっている。

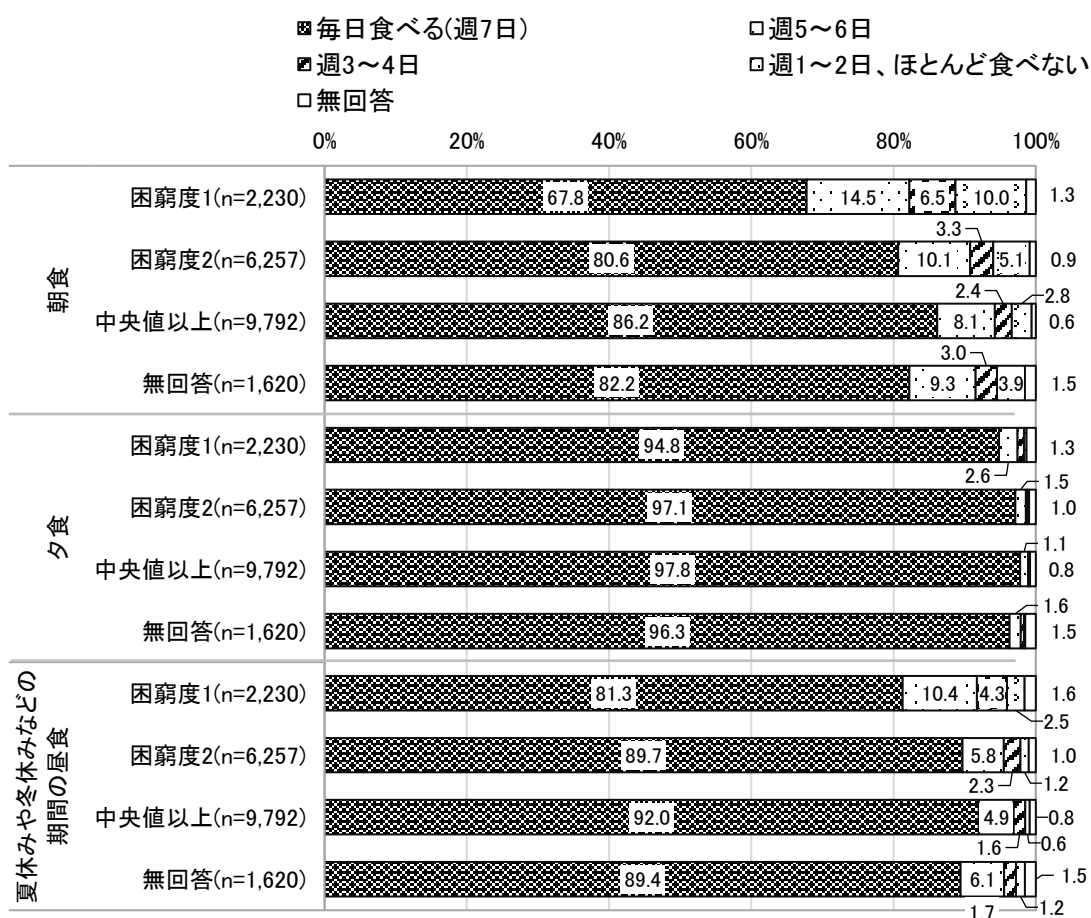


図 2-3-4-1 困窮度別に見た、食事の頻度

2. 困窮度別に見た、就寝時間の規則性

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの就寝時間の規則性を見ると、困窮度 1 群において、「そうではない」と回答した割合は 13.1%であった。困窮度が高まるにつれ、「そうではない」と回答した割合が高くなっている。

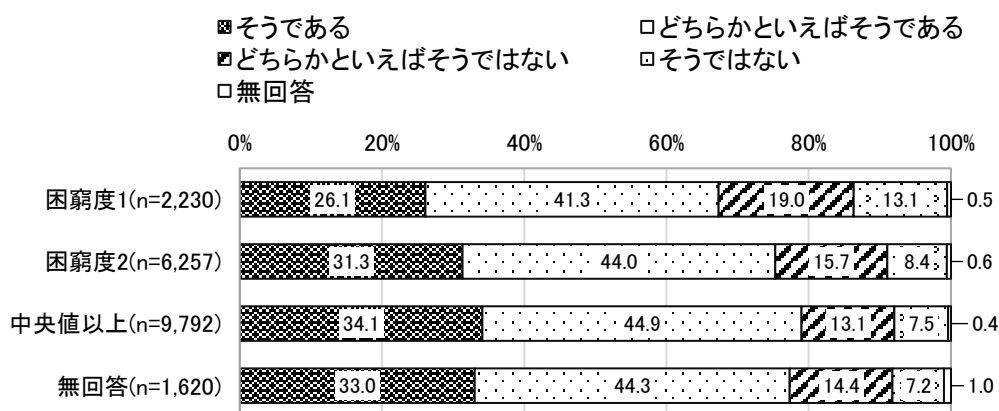


図 2-3-4-2 困窮度別に見た、就寝時間の規則性

3. 困窮度別に見た、健康状態

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 28 あなたとお子さんの健康状態はいかがですか。（a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの健康状態を見ると、困窮度1群において「良い」と回答した割合は60.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「良い」を答えた割合が低くなっている。

また、保護者の健康状態についても、困窮度が高まるにつれて「良い」と回答した割合が低くなっている。

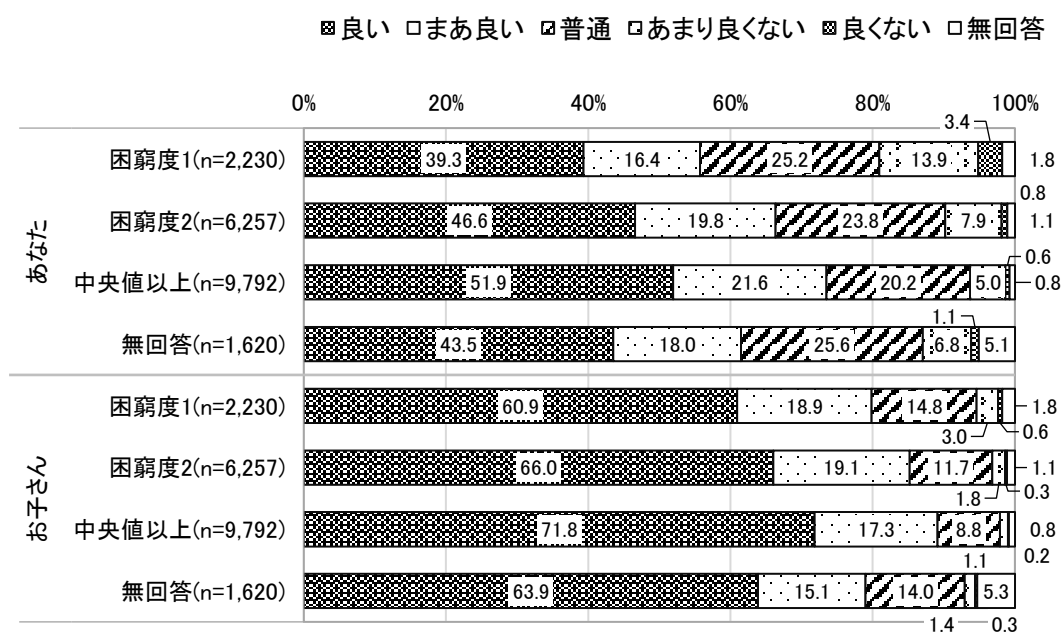


図 2-3-4-3 困窮度別に見た、健康状態

4. 困窮度別に見た、自覚症状のある健康状態

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 17 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。（1～13につい
ては、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に子どもの自覚症状のある健康状態を見ると、困窮度1群において、「とくに気になることはない」と回答したのが33.1%であり、困窮度2群と中央値以上群においてはそれぞれ38.0%、40.3%である。困窮度が高まるにつれ、「とくに気になることはない」と回答した割合が低くなっている。

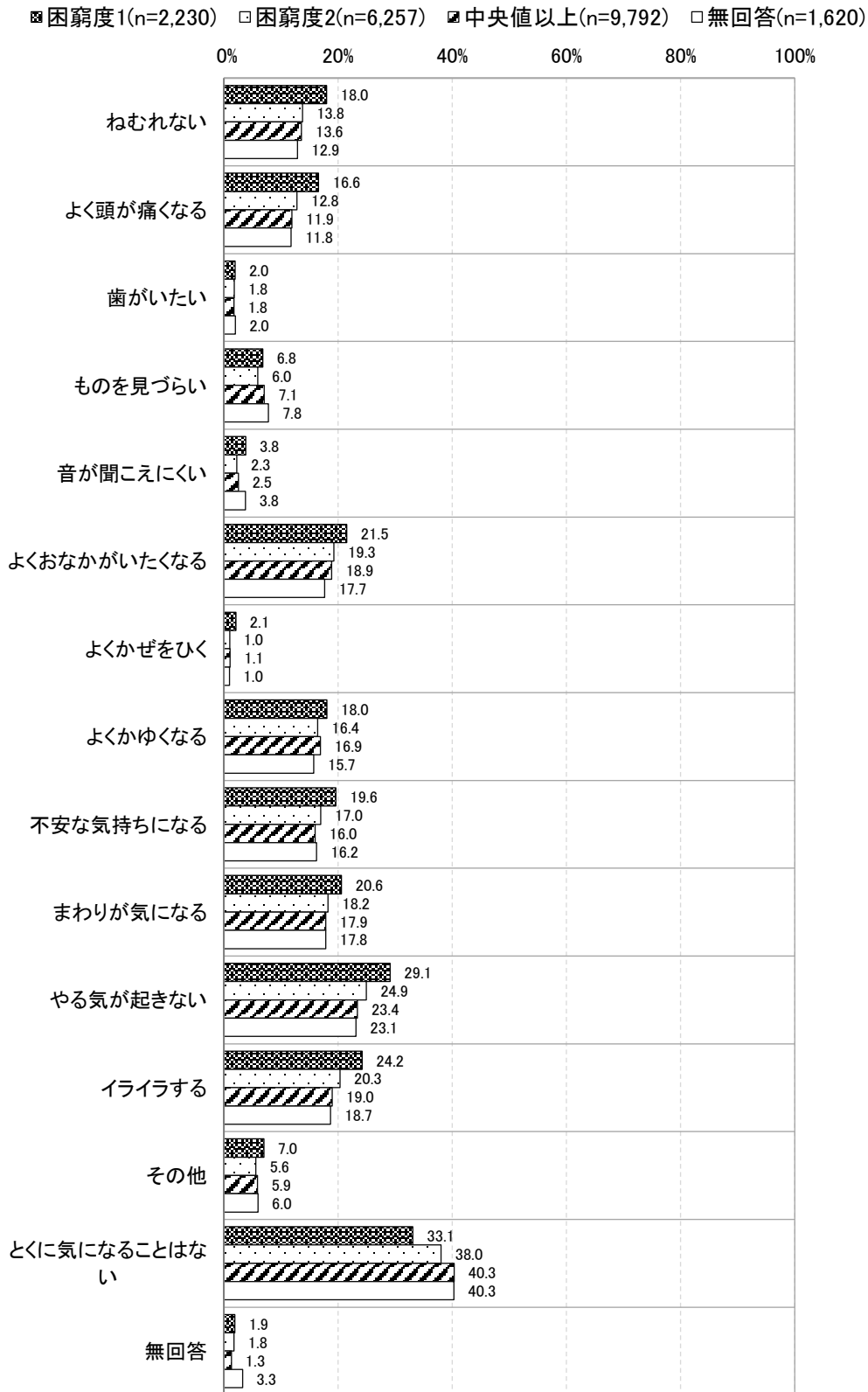


図 2-3-4-4 困窮度別に見た、自覚症状のある健康状態

5. 遅刻の状況別に見た、自覚症状のある健康状態の数

子ども票問 14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまるもの1つに○)
 子ども票問 17 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(1~13 については、あてはまるものすべてに○)

「子どもの自覚症状のある健康状態」について、該当の数が少ないほど、健康状態が良いことを示している。子どもの遅刻の状況別に、子どもの自覚症状のある健康状態を見ると、自覚症状の数が「2 個以下」の割合は、「毎日」を除き、遅刻の回数が増えるにつれて減少している。

一方、自覚症状の数が「9~11 個」の割合は、「遅刻はしない」と回答した子どもでは 0.4% であるのに対して、「毎日遅刻している」と回答した子どもでは、4.7% となっている。

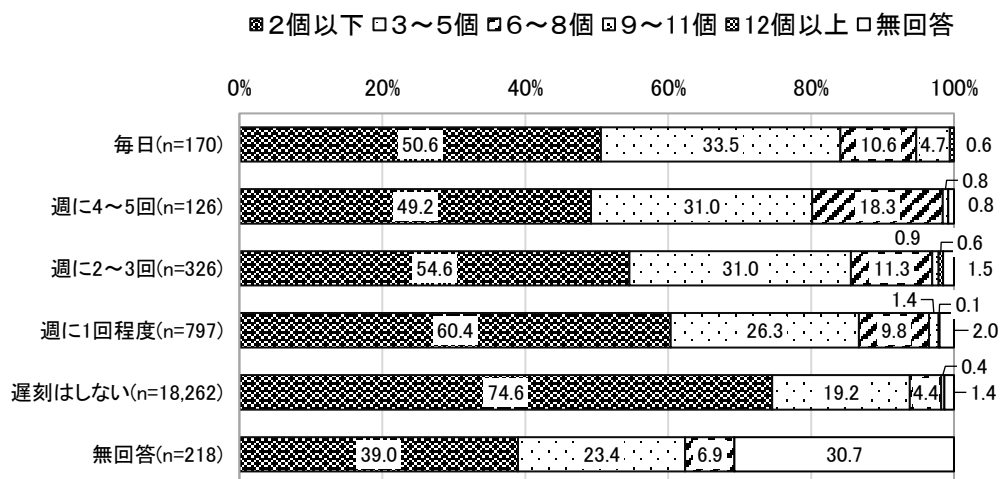


図 2-3-4-5 遅刻の状況別に見た、自覚症状のある健康状態の数

6. 困窮度別に見た、この一週間の気持ち

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。（a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの心理状態を見ると、困窮度1群において、「抑うつ傾向あり」の割合が21.4%であるのに対して、困窮度2群と中央値以上群はそれぞれ17.5%、16.2%であった。困窮度が高まるにつれ、「抑うつ傾向あり」の割合が高くなっている（抑うつ傾向に関する指標については、「1.10 変数の説明」を参照）。

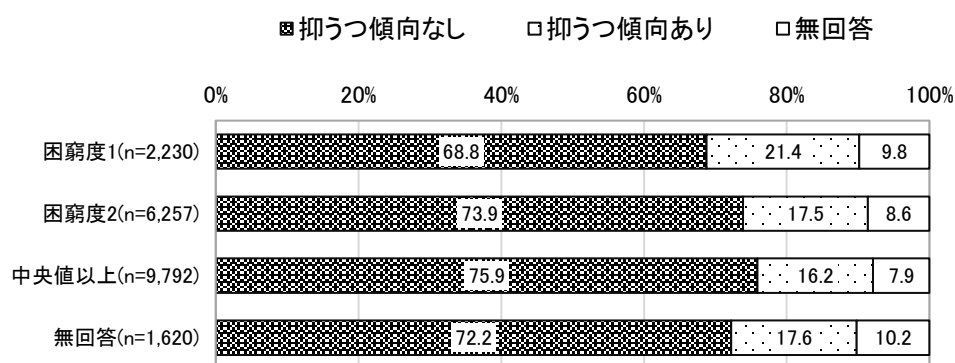


図 2-3-4-6 困窮度別に見た、この一週間の気持ち

7. 世帯構成別に見た、この一週間のきもち

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

子ども票問25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この1週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

世帯構成別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向なし」の割合は、二人親家庭では75.0%であるのに対して、ひとり親家庭ではいずれも7割未満であった。具体的には、母子家庭では68.4%、父子家庭では68.2%となっている。

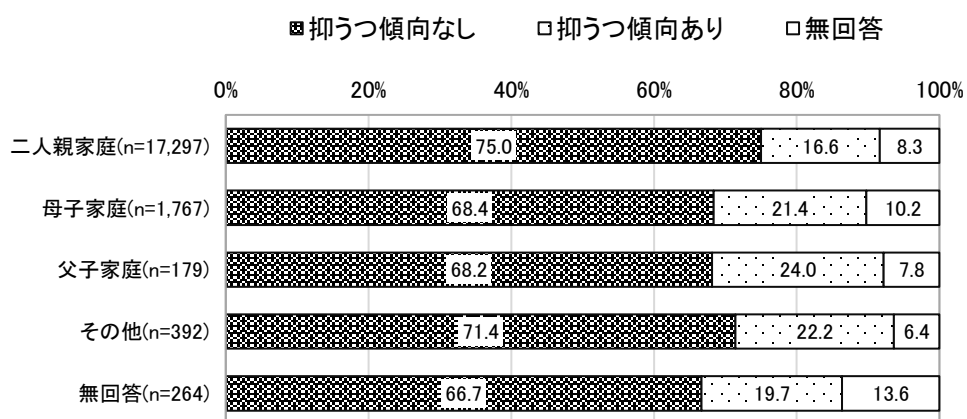


図 2-3-4-7 世帯構成別に見た、この一週間のきもち

8. 支援の利用状況別に見た、この一週間の気持ち

子ども票問 18 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

子ども票問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a) (自分や友人の家以外で)放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育・放課後等デイサービスなど)

放課後や休日を過ごすことができる場所の利用状況別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「あれば利用したいと思う」と回答した子どもで 20.0%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」19.5%、「利用したことがある」17.2%、「今後も利用したいと思わない」15.6%の順に高くなっている。

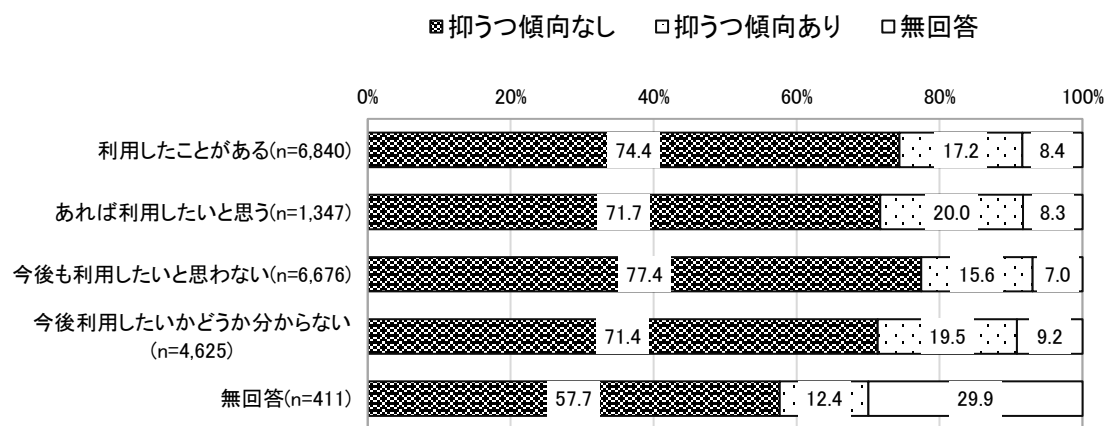


図 2-3-4-8-1 支援の利用状況別に見た、この一週間の気持ち
(放課後や休日を過ごすことができる場所)

b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

タごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「利用したことがある」と回答した子どもで 19.6%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」18.5%、「あれば利用したいと思う」18.0%、「今後も利用したいと思わない」15.9%の順に高くなっている。

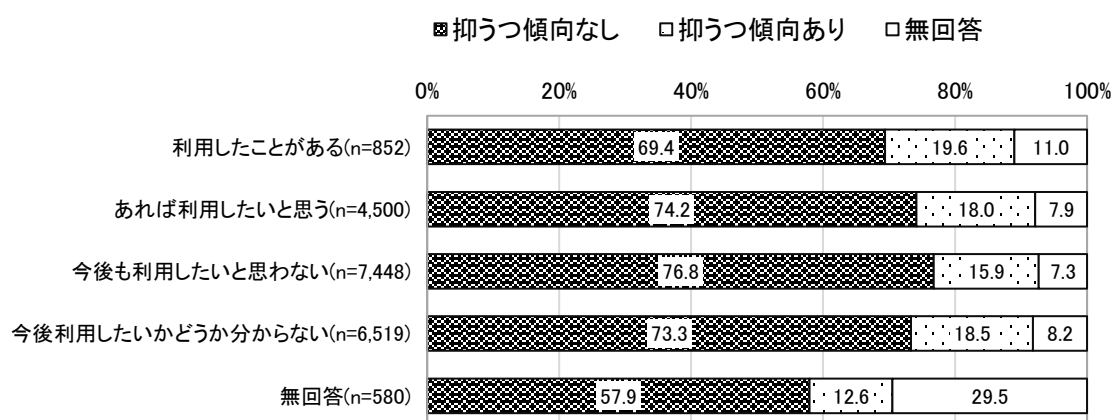


図 2-3-4-8-2 支援の利用状況別に見た、この一週間の気持ち
(タごはんを無料か安く食べることができる場所)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

勉強を無料でみてくれる場所の利用状況別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「利用したことがある」と回答した子どもで23.2%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」18.3%、「今後利用したいかどうか分からない」18.0%、「今後も利用したいと思わない」15.3%の順に高くなっている。

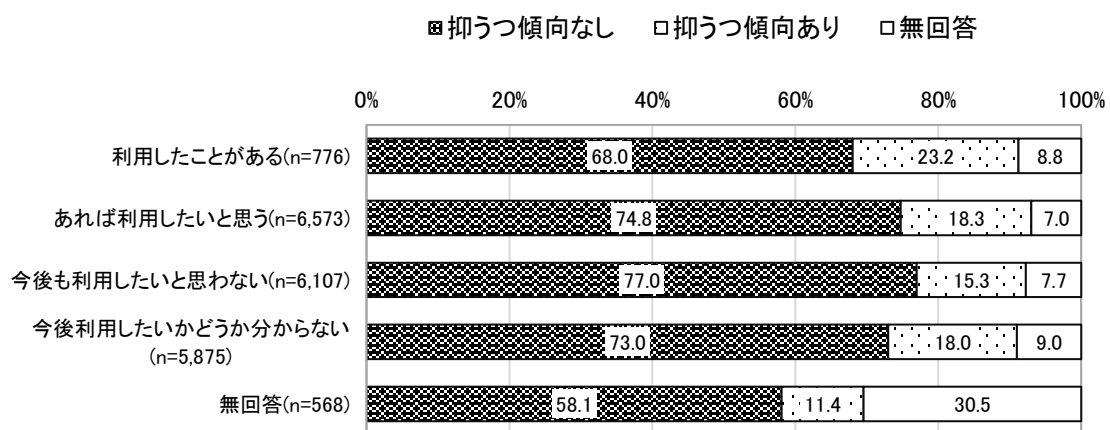


図 2-3-4-8-3 支援の利用状況別に見た、この一週間の気持ち
(勉強を無料でみてくれる場所)

d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

何でも相談できる場所の利用状況別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「利用したことがある」と回答した子どもで31.2%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」24.1%、「今後利用したいかどうか分からない」17.3%、「今後も利用したいと思わない」14.4%の順に高くなっている。

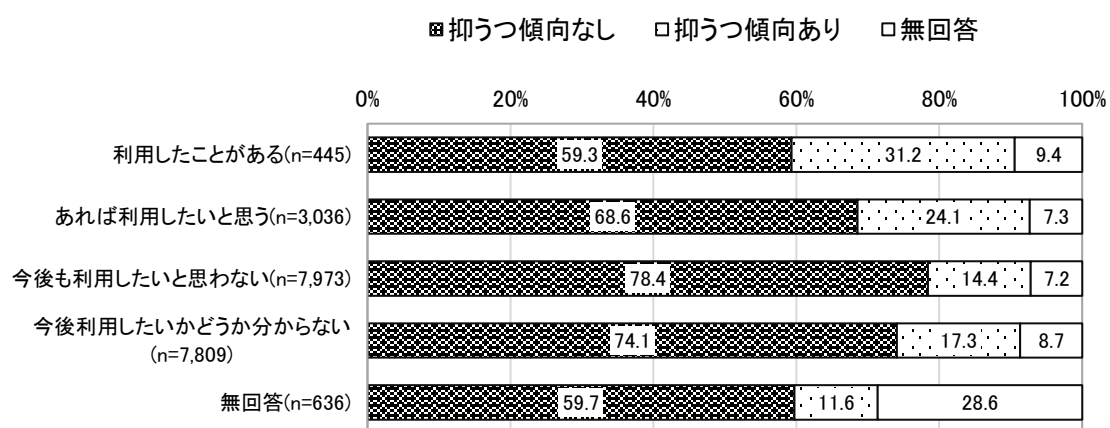


図 2-3-4-8-4 支援の利用状況別に見た、この一週間の気持ち
(何でも相談できる場所)

9. 平日のケアの時間別に見た、この一週間の気持ち

子ども票問 11 平日にお世話はどれくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)
 子ども票問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。
 (a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

平日のケアの時間別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「7時間以上」と回答した子どもで26.7%と最も高く、「30分未満」と回答した子どもで15.7%と最も低くなっている。

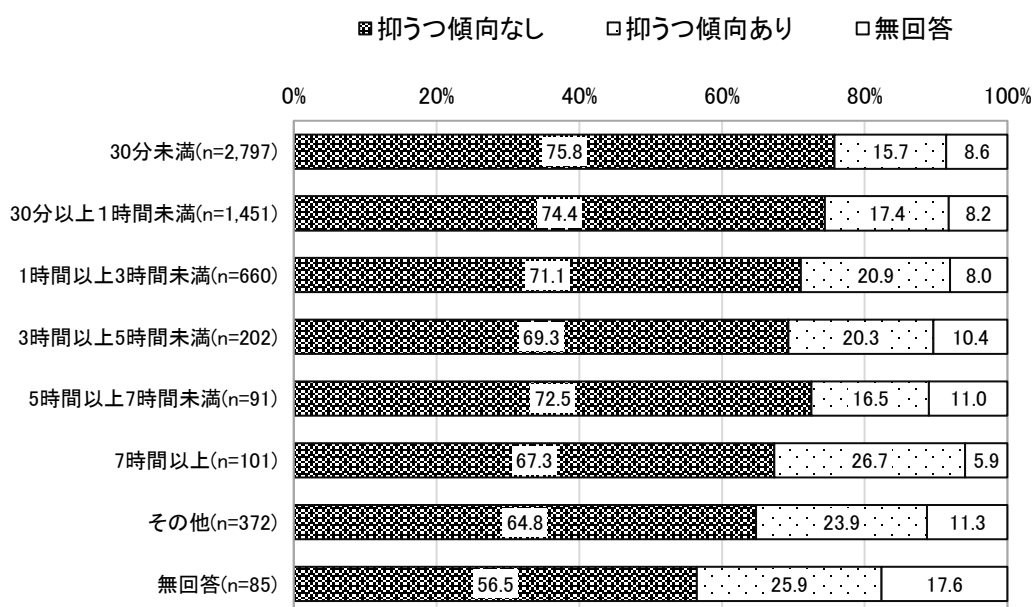


図 2-3-4-9 平日のケアの時間別に見た、この一週間の気持ち

10. 親から見た子どものはく奪指標の該当数別に見た、この一週間の気持ち

保護者票問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1～14のあてはまるものすべてに○)

子ども票問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

親から見た子どものはく奪指標の該当数別に、子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「0個該当」では16.1%と最も低いのに対して、「4個以上」では24.4%と最も高くなっている。

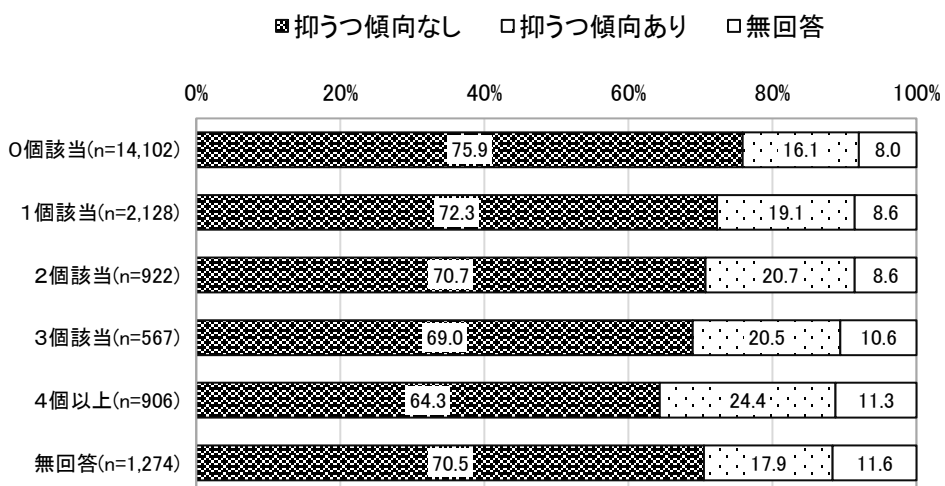


図 2-3-4-10 子どものはく奪指標の該当数別に見た、この一週間の気持ち

11. 困窮度別に見た、精神状態

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 27 次の a～f の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 神経過敏に感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「神経過敏に感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では13.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

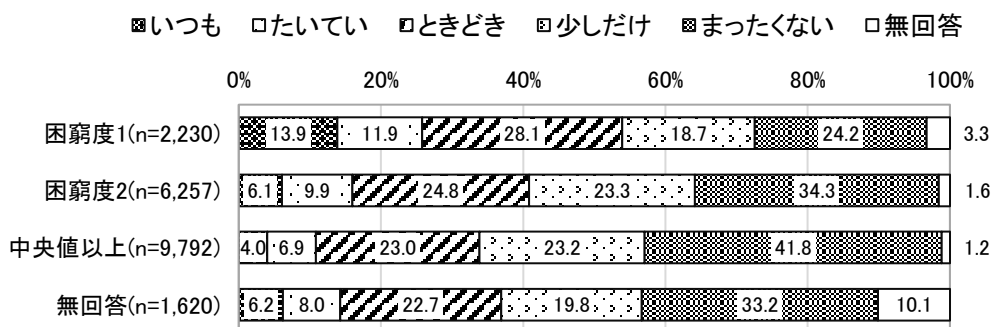


図 2-3-4-11-1 困窮度別に見た、精神状態
(神経過敏に感じた)

b) 絶望的だと感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「絶望的だと感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では7.1%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

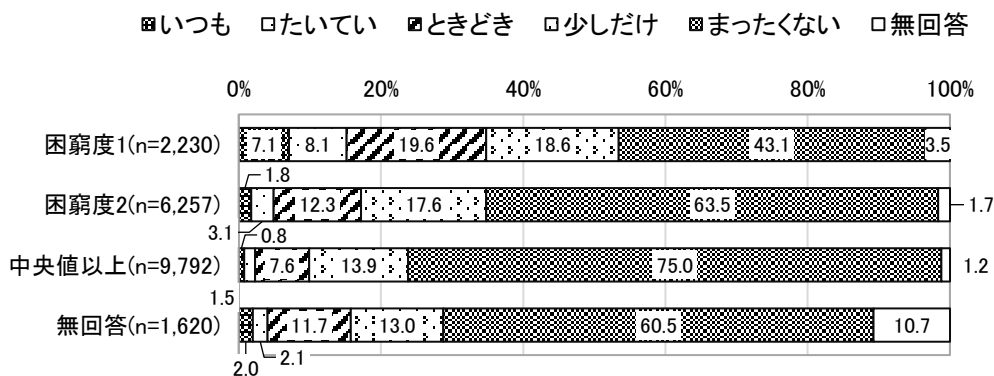


図 2-3-4-11-2 困窮度別に見た、精神状態
(絶望的だと感じた)

c) そわそわ、落ち着かなく感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「そわそわ、落ち着かなく感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では6.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

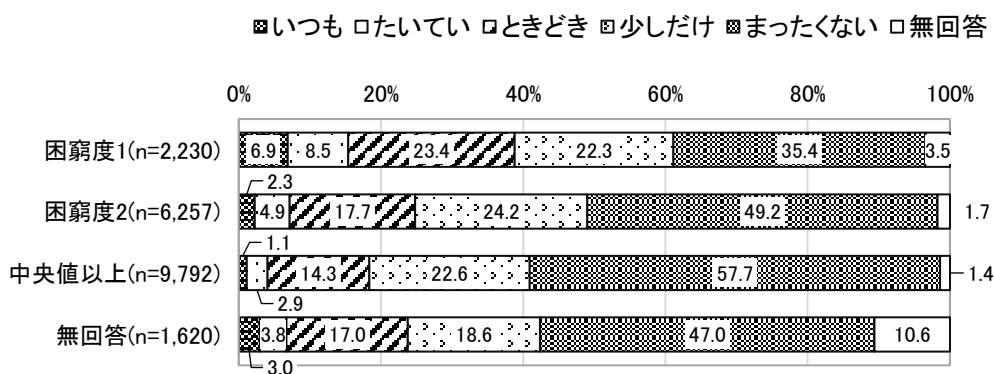


図 2-3-4-11-3 困窮度別に見た、精神状態
(そわそわ、落ち着かなく感じた)

d) 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では9.1%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

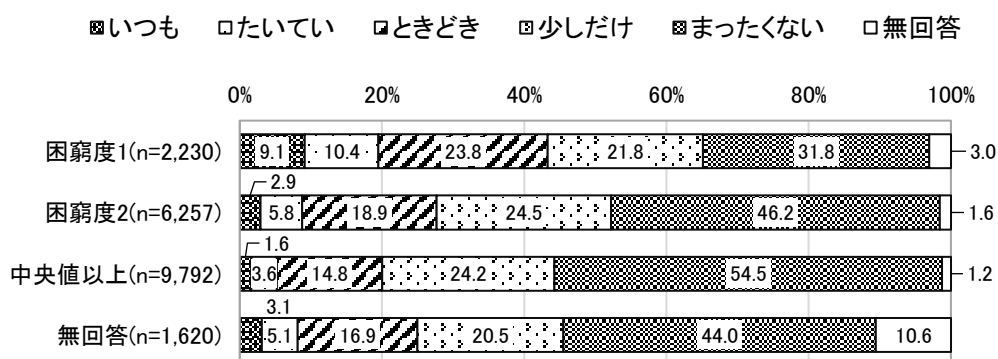


図 2-3-4-11-4 困窮度別に見た、精神状態
(気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた)

e) 何をするのも面倒だと感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「何をするのも面倒だと感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では11.3%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

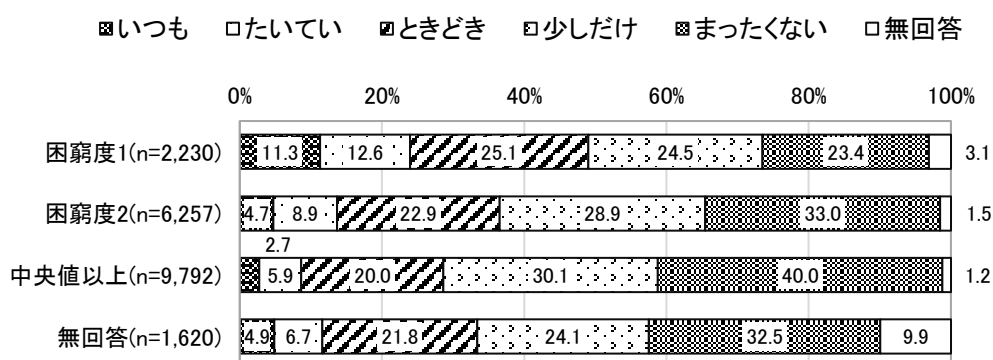


図 2-3-4-11-5 困窮度別に見た、精神状態
(何をするのも面倒だと感じた)

f) 自分は価値のない人間だと感じた

困窮度別に保護者の精神状態を見ると、「自分は価値のない人間だと感じた」について「いつも」と回答した割合は、困窮度1群では8.6%であった。困窮度が高まるにつれ、「いつも」と答えた割合が高くなっている。

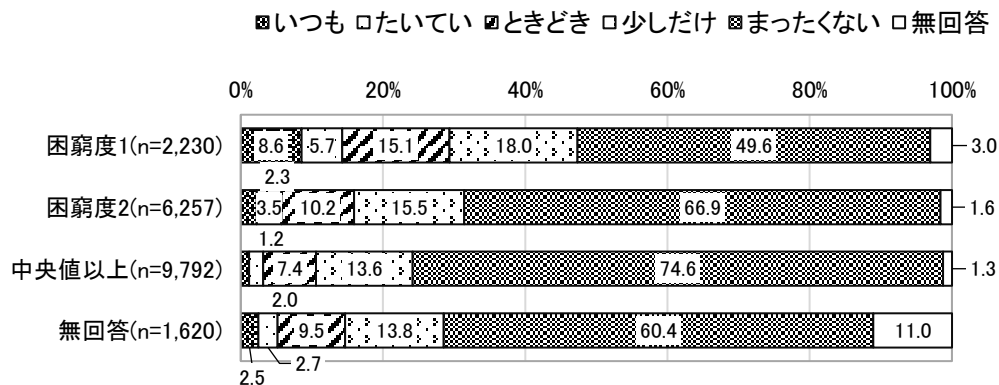


図 2-3-4-11-6 困窮度別に見た、精神状態
(自分は価値のない人間だと感じた)

12. 困窮度別に見た、精神状態 (K6)

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 27 次の a～f の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

困窮度別に保護者の精神状態（K6）を見ると（K6 については、「1.10 変数の説明」を参照）、困窮度1群において、「うつ・不安障害相当」の該当割合が22.2%であるのに対して、困窮度2群と中央値以上群は、それぞれ10.8%、5.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「うつ・不安障害相当」の該当割合が高くなっている。

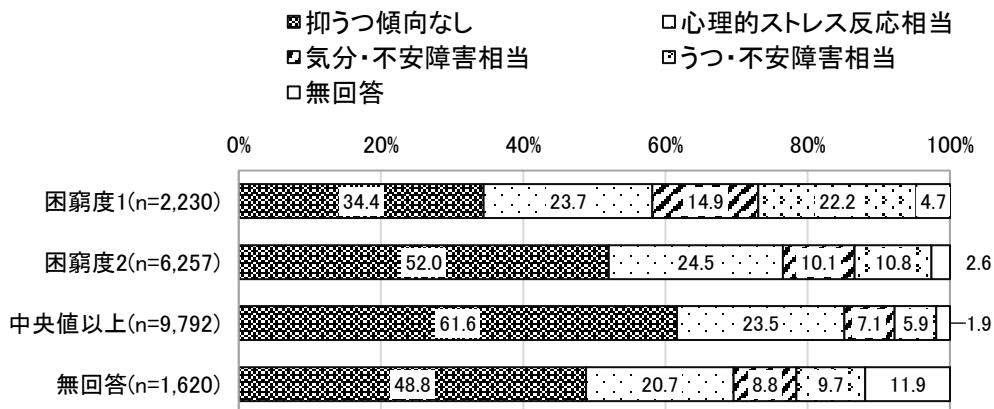


図 2-3-4-12 困窮度別に見た、精神状態 (K6)

13. 世帯構成別に見た、精神状態

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問27 次のa~fの質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a~fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 神経過敏に感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「神経過敏に感じた」について、「まったくない」と回答した割合は、二人親家庭で38.0%、母子家庭で26.2%、父子家庭で32.4%となっている。

また、「いつも」と回答した割合は、二人親家庭で5.0%、母子家庭で13.4%（二人親家庭に対して、2.7倍）、父子家庭で9.5%（同じく1.9倍）となっている。

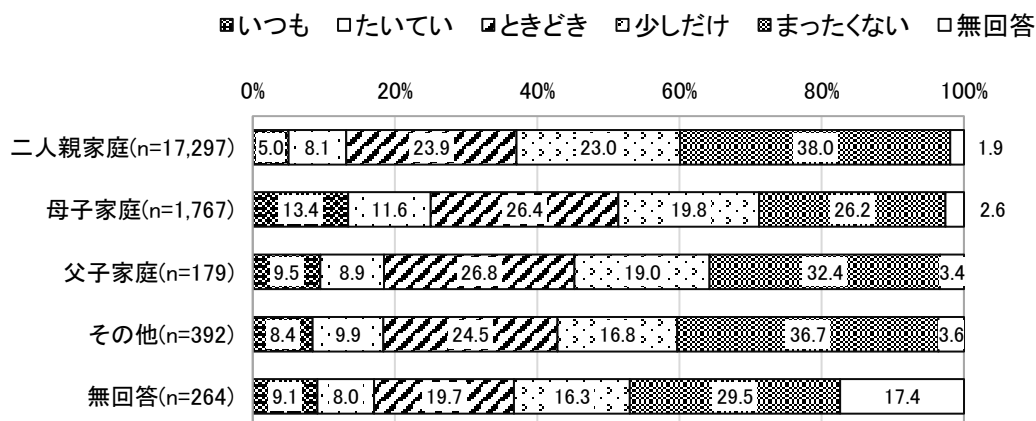


図 2-3-4-13-1 世帯構成別に見た、精神状態
(神経過敏に感じた)

b) 絶望的だと感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「絶望的だと感じた」について、「まったくない」と回答した割合は、二人親家庭で 69.3%、母子家庭で 47.8%、父子家庭で 53.1%となっている。また、「ときどき」と回答した割合は、二人親家庭で 9.6%、母子家庭で 19.4%（二人親家庭に対して、2.0 倍）、父子家庭で 16.8%（同じく 1.8 倍）となっている。

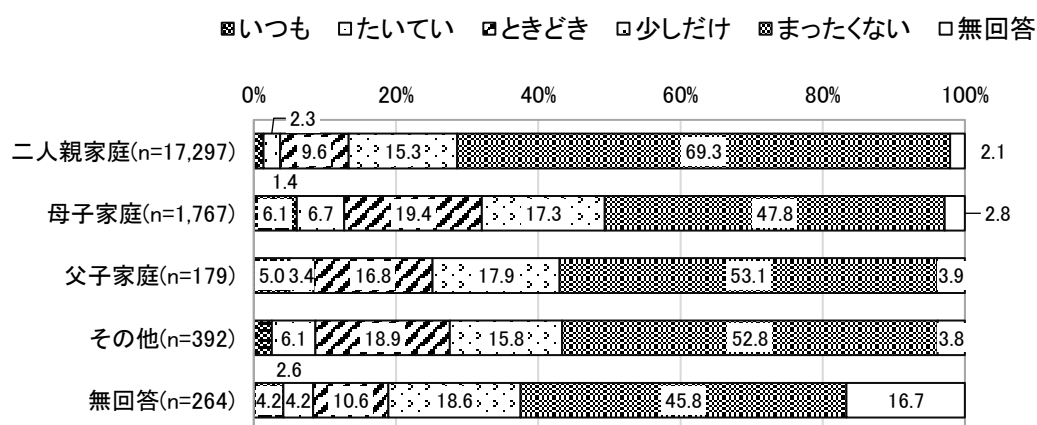


図 2-3-4-13-2 世帯構成別に見た、精神状態
(絶望的だと感じた)

c) そわそわ、落ち着かなく感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「そわそわ、落ち着かなく感じた」について、「まったくない」と回答した割合は、二人親家庭で53.5%、母子家庭で38.1%、父子家庭で41.9%となっている。また、「ときどき」と回答した割合は、二人親家庭で15.9%、母子家庭で23.1%、父子家庭で19.6%となっている。

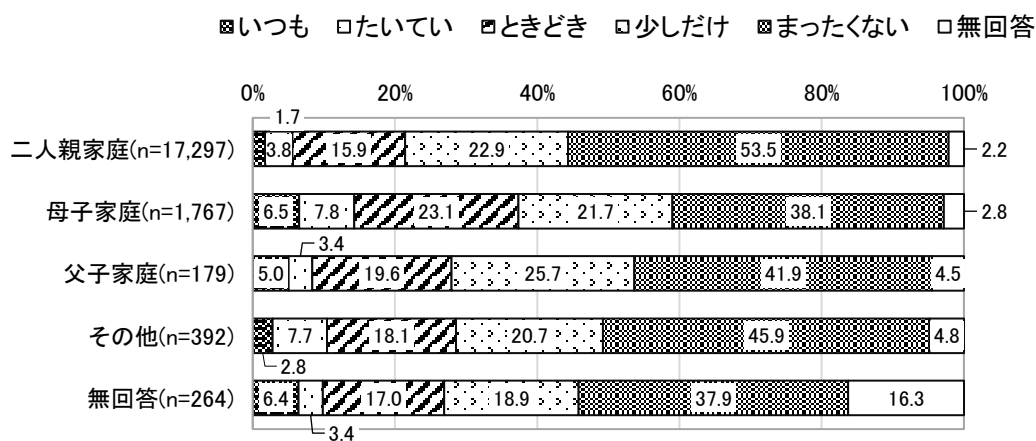


図 2-3-4-13-3 世帯構成別に見た、精神状態
(そわそわ、落ち着かなく感じた)

d) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた」について、「まったくない」と回答した割合は、二人親家庭で 50.5%、母子家庭で 33.1%、父子家庭で 41.3%となっている。また、「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」のいずれの回答においても、母子家庭の方が、二人親家庭と父子家庭よりも高くなっている。

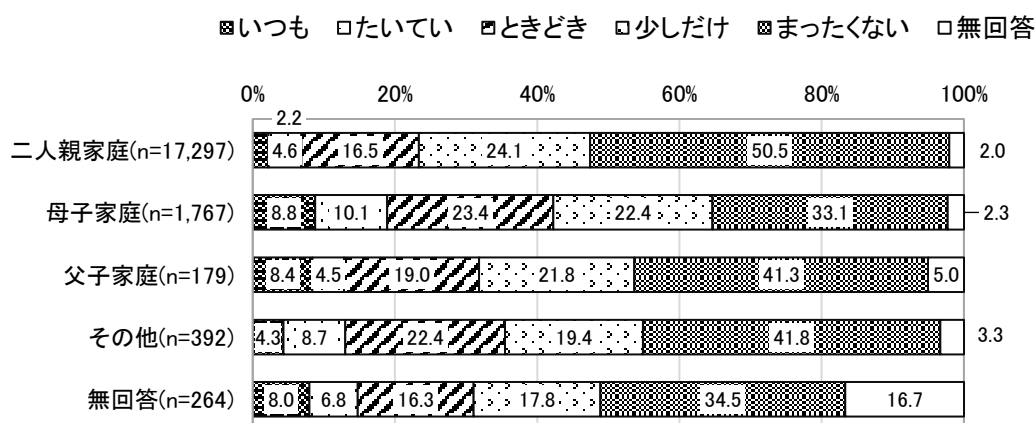


図 2-3-4-13-4 世帯構成別に見た、精神状態
(気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた)

e) 何をするのも面倒だと感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「何をするのも面倒だと感じた」について、「まったく」と回答した割合は、二人親家庭で36.5%、母子家庭で26.2%、父子家庭で34.6%となっている。また、「いつも」「たいてい」「ときどき」のいずれの回答においても、母子家庭の方が、二人親家庭と父子家庭よりも高くなっている。

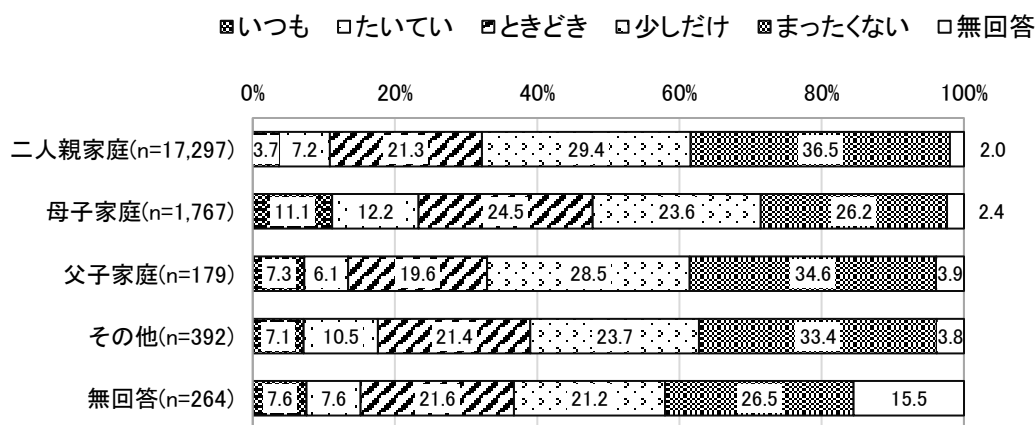


図 2-3-4-13-5 世帯構成別に見た、精神状態
(何をするのも面倒だと感じた)

f) 自分は価値のない人間だと感じた

世帯構成別に保護者の精神状態を見ると、「自分は価値のない人間だと感じた」について、「まったくない」と回答した割合は、二人親家庭で70.3%、母子家庭で52.7%、父子家庭で65.9%となっている。また、「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」のいずれの回答においても、母子家庭の方が、二人親家庭と父子家庭よりも高くなっている。

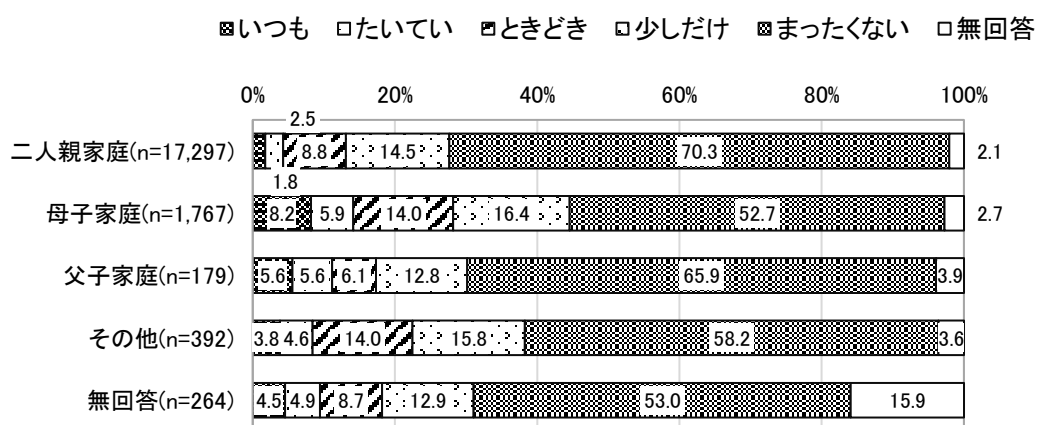


図 2-3-4-13-6 世帯構成別に見た、精神状態
(自分は価値のない人間だと感じた)

14. 世帯構成別に見た、精神状態 (K6)

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問 27 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a~f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

二人親家庭に比べて、ひとり親家庭（特に母子家庭）の方が「気分・不安障害相当」、「うつ・不安障害相当」の割合が高くなっている。具体的には、「気分・不安障害相当」に該当する二人親家庭の割合が 8.5% であるのに対して、母子家庭と父子家庭はそれぞれ 13.8%、11.7% となっている。また、「うつ・不安障害相当」に該当する二人親家庭の割合は 8.1% であるのに対して、母子家庭と父子家庭はそれぞれ 21.1%、15.1% となっている。

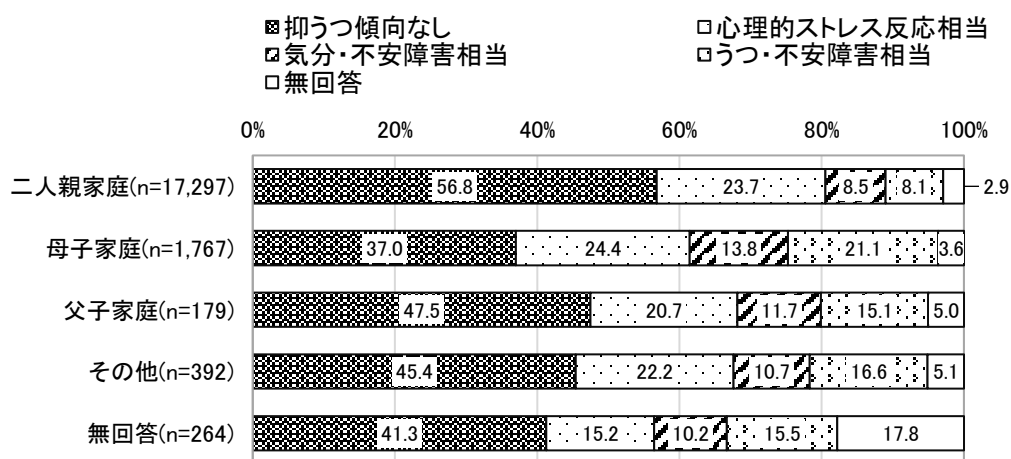


図 2-3-4-14 世帯構成別に見た、精神状態 (K6)

2.3.5. 家庭生活、学習

1. 困窮度別に見た、家庭で使用している言語

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に家庭で使用している言語を見ると、困窮度1群において、「日本語のみを使用している」と回答した割合は90.1%であった。困窮度が高まるにつれ、「日本語のみを使用している」と回答した割合は低くなっている。

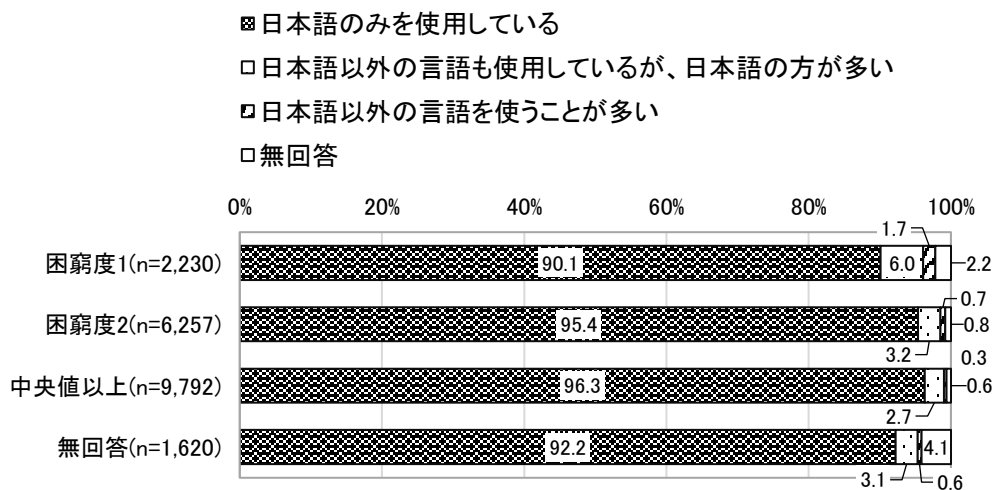


図 2-3-5-1 困窮度別に見た、家庭で使用している言語

2. 困窮度別に見た、主観的幸福（生活満足度）

保護者票問 20 世帯全体のおおその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

子ども票問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの一つに○）

困窮度別に子どもの生活満足度を見ると、困窮度が高まるにつれて「十分に満足している」と回答する割合が低くなっている。「十分に満足している」と回答した割合は、すべての群で2割以上であった。

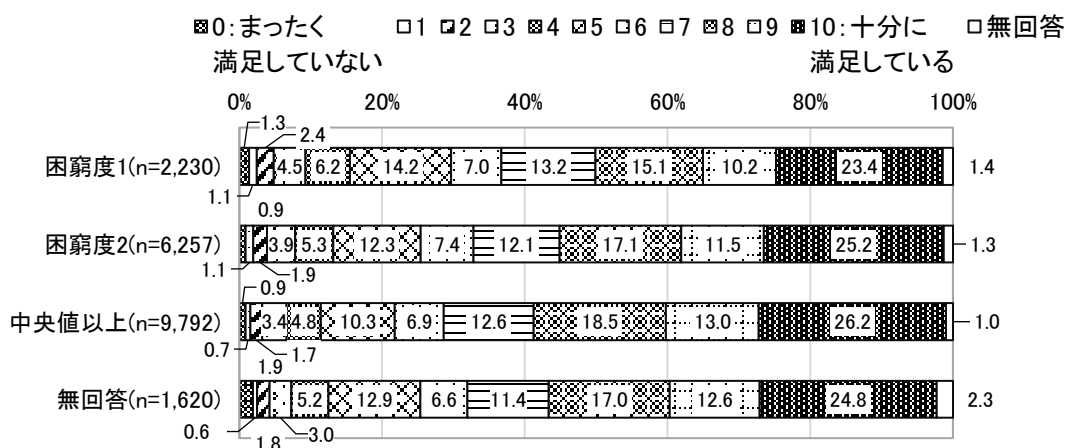


図 2-3-5-2 困窮度別に見た、主観的幸福（生活満足度）

3. 世帯構成別に見た、主観的幸福（生活満足度）

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

子ども票問16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

世帯構成別に、子どもの生活満足度を見ると、「6-10」に該当する割合は、二人親家庭で75.6%、母子家庭で68.3%、父子家庭で71.5%となっている。

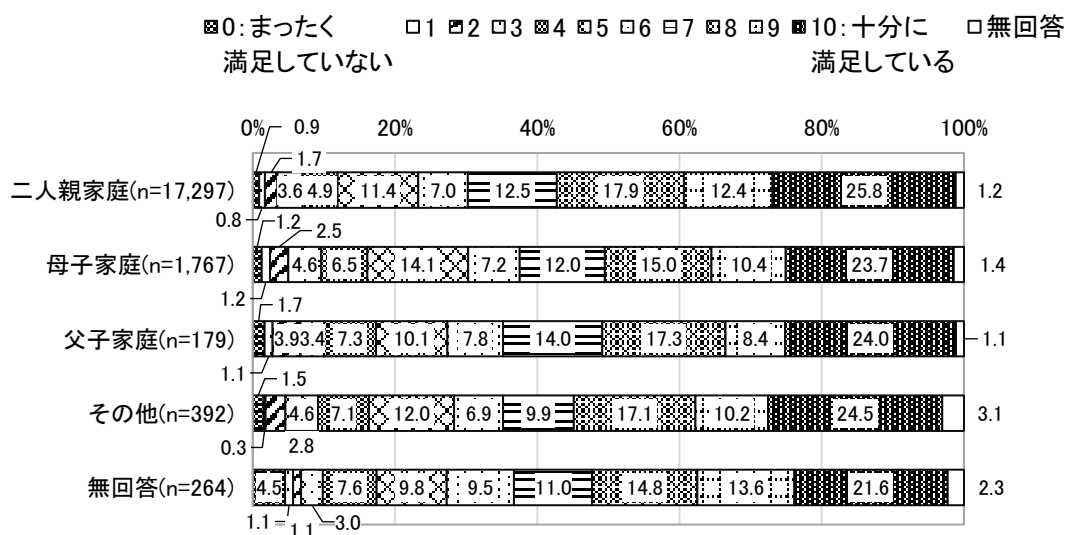


図 2-3-5-3 世帯構成別に見た、主観的幸福（生活満足度）

4. 精神状態別に見た、主観的幸福（生活満足度）

保護者票問 27 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

子ども票問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

親の精神状態別に、子どもの生活満足度を見ると、「抑うつ傾向なし」では、「6-10」に該当する割合が 78.3%と最も高いのに対して、「うつ・不安障害相当」では、64.2%と最も低くなっている。

保護者の精神状態がよいほど、子どもの生活満足度が高くなっている。

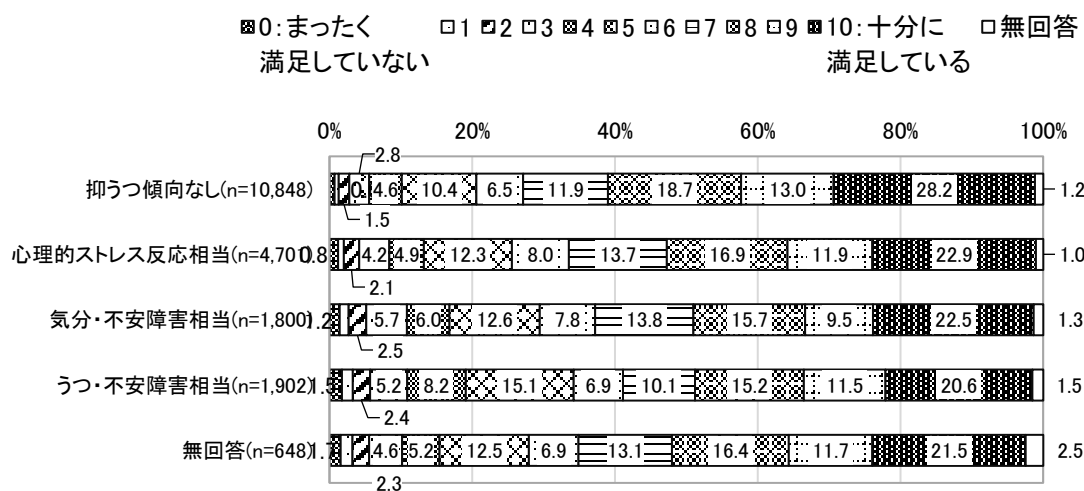


図 2-3-5-4 精神状態別に見た、主観的幸福（生活満足度）

5. 困窮度別に見た、学習環境

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

子ども票問 2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題も含まれます。（1～8については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に子どもの学習環境を見ると、困窮度が高まるにつれて「自分で勉強する」、「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」と回答する割合が低くなっている。特に、「塾で勉強する」の割合は、困窮度1群で中央値以上群よりも25.6ポイント低くなっていた。逆に、「学校の補習を受ける」、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」、「友達と勉強する」と回答する割合は困窮度が高まるにつれて高くなっている。

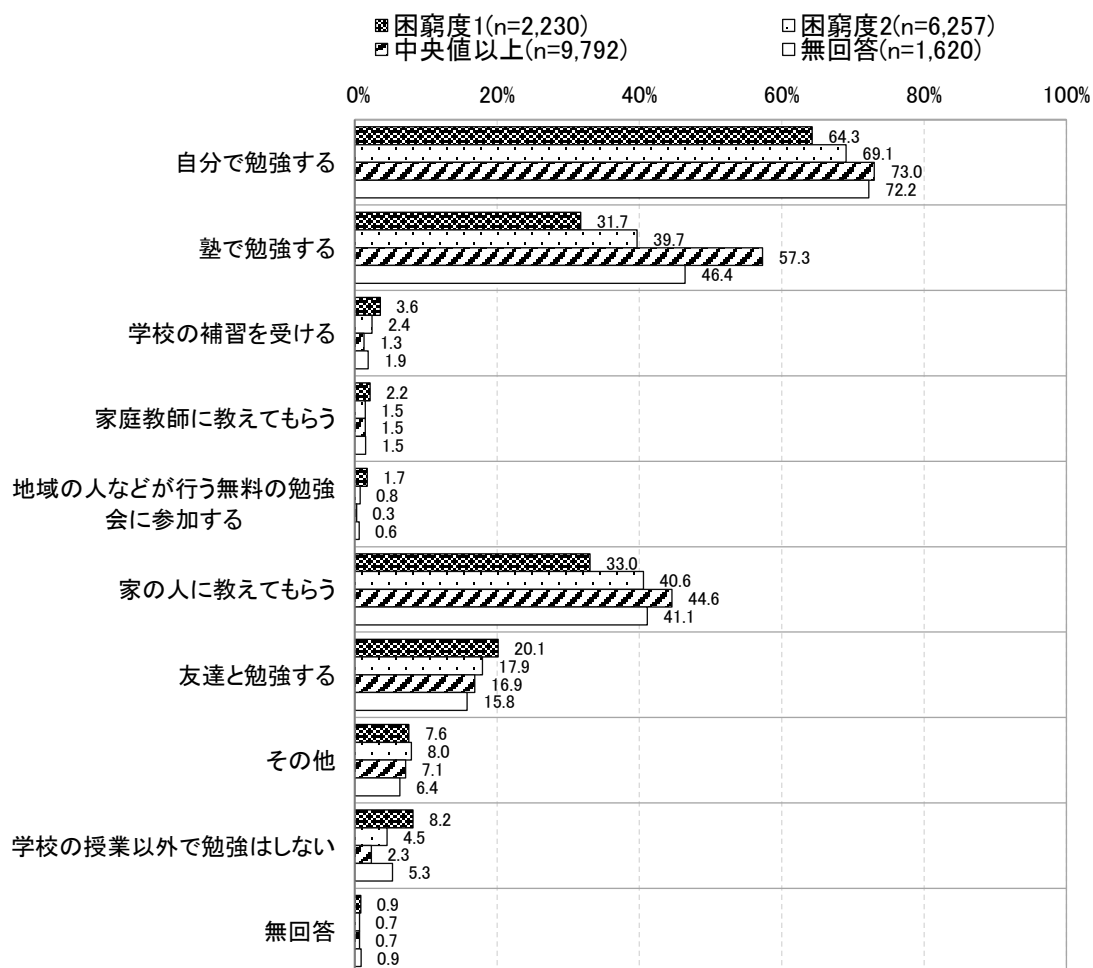


図 2-3-5-5 困窮度別に見た、学習環境

6. 困窮度別に見た、学習習慣

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。（a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 学校がある日（月～金曜日） b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

困窮度別に学校がある日の子どもの学習習慣を見ると、困窮度が高まるにつれて「まったくくしない」、「30分より少ない」と回答する割合が高くなっている。

困窮度別に学校がない日の子どもの学習習慣を見ると、困窮度が高まるにつれて「まったくくしない」と回答する割合が高くなっている。困窮度別に見ると、困窮度1群では「まったくくしない」が25.7%、困窮度2群では「30分より少ない」が24.4%、中央値以上群では「30分以上、1時間より少ない」が23.4%でそれぞれ最も多い回答となっている。

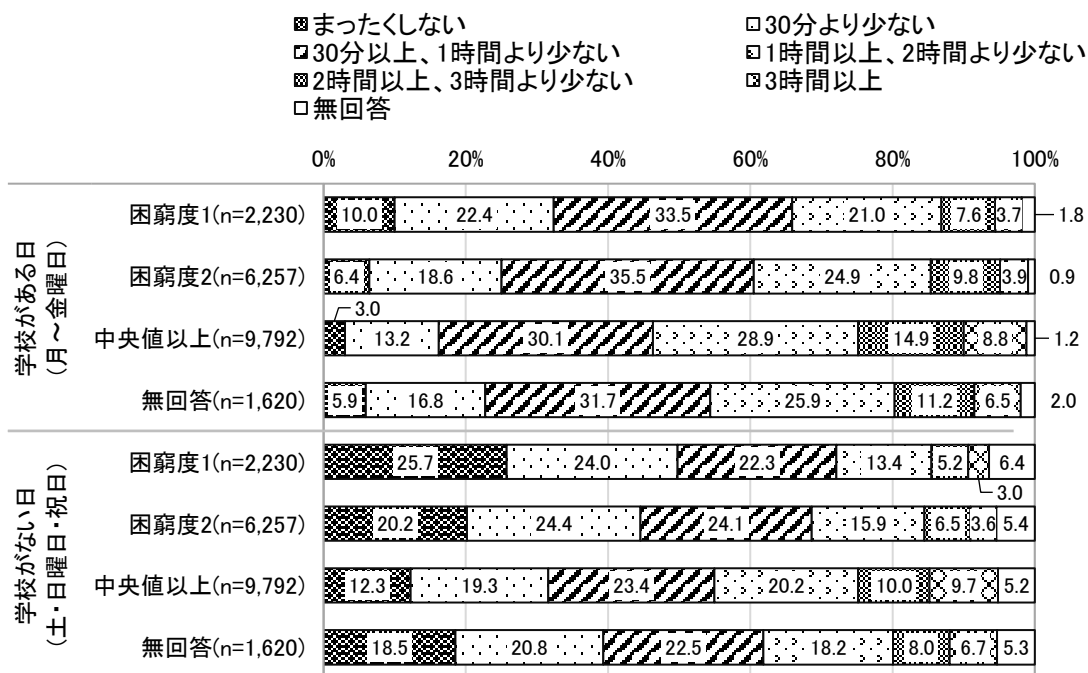


図 2-3-5-6 困窮度別に見た、学習習慣

7. 困窮度別に見た、遅刻の状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの遅刻の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて「毎日」と回答する割合が高くなっている。「遅刻はしない」と回答した割合は、困窮度1群では83.3%、中央値以上群では94.0%であった。

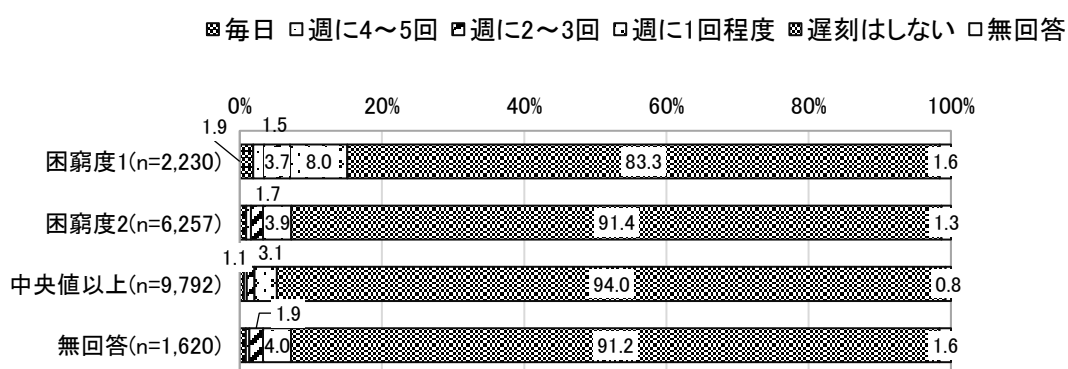


図 2-3-5-7 困窮度別に見た、遅刻の状況

8. 困窮度別に見た、通学状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 17 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、困窮度が高まるにつれて「ほぼ毎日通っている」と回答する割合が低くなっている。「欠席は年間30日未満である」と回答した割合は、困窮度1群では7.0%、困窮度2群では3.6%、中央値以上群では2.3%であった。

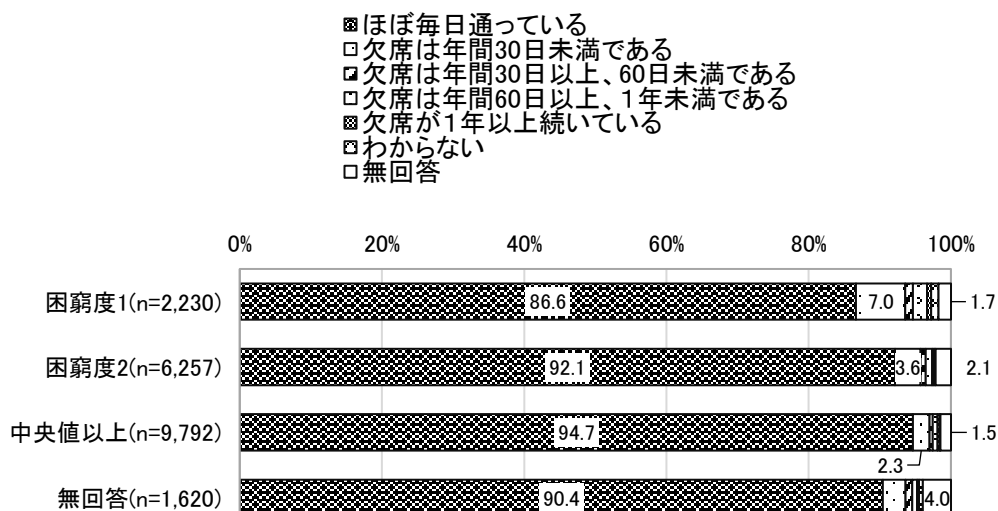


図 2-3-5-8 困窮度別に見た、通学状況

9. 世帯構成別に見た、通学状況

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問17 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

世帯構成別に、子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」の割合は、二人親家庭で93.5%、母子家庭で86.2%、父子家庭で90.5%となっている。

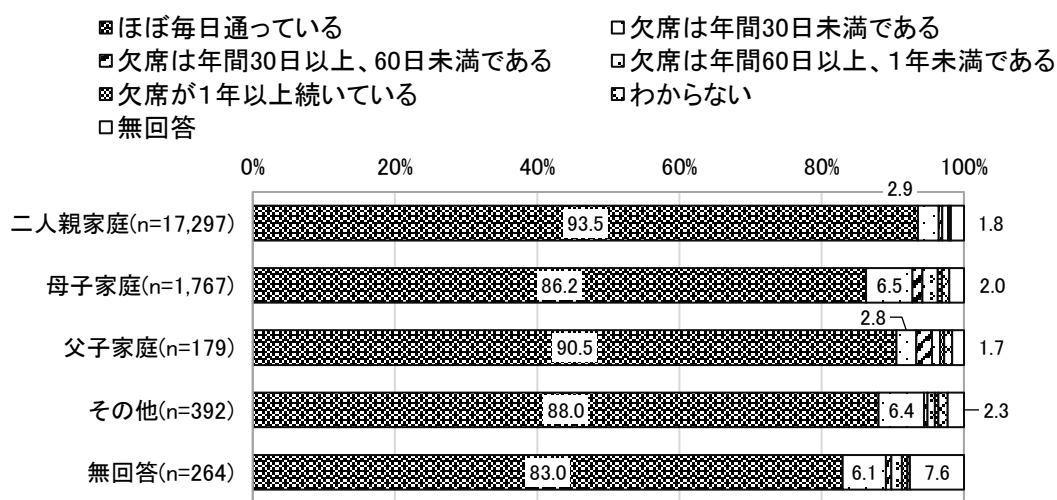


図 2-3-5-9 世帯構成別に見た、通学状況

10. 困窮度別に見た、学習成績

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの
1つに○）

困窮度別に子どもの学習成績を見ると、困窮度が高まるにつれて「上のほう」、「やや上のほう」と回答する割合が低くなっている。それぞれの群で最も高い割合で回答されているのは、困窮度1群では「下のほう」が30.2%、困窮度2群、中央値以上群では「まん中あたり」がそれぞれ33.7%、34.7%となっていた。

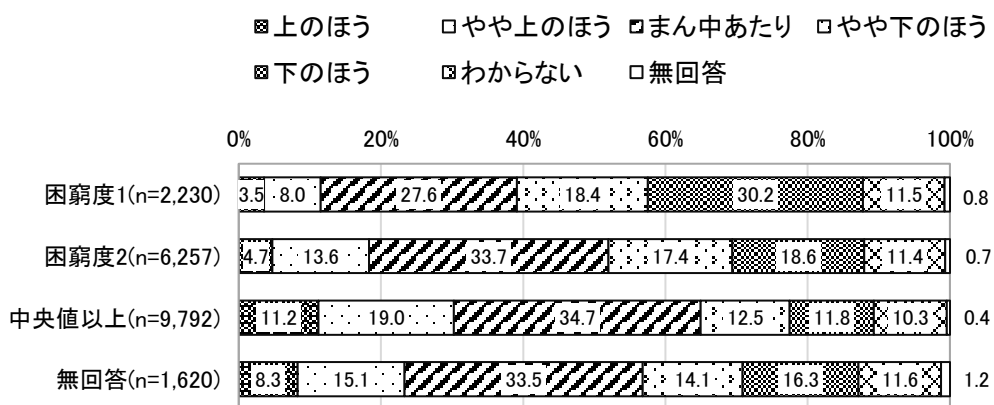


図 2-3-5-10 困窮度別に見た、学習成績

11. 困窮度別に見た、授業の理解度

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの授業の理解度を見ると、困窮度が高まるにつれて、「ほとんどわからない」、「わからないことが多い」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「いつもわかる」と回答する割合が20.1%であり、困窮度1群では6.5%であった。

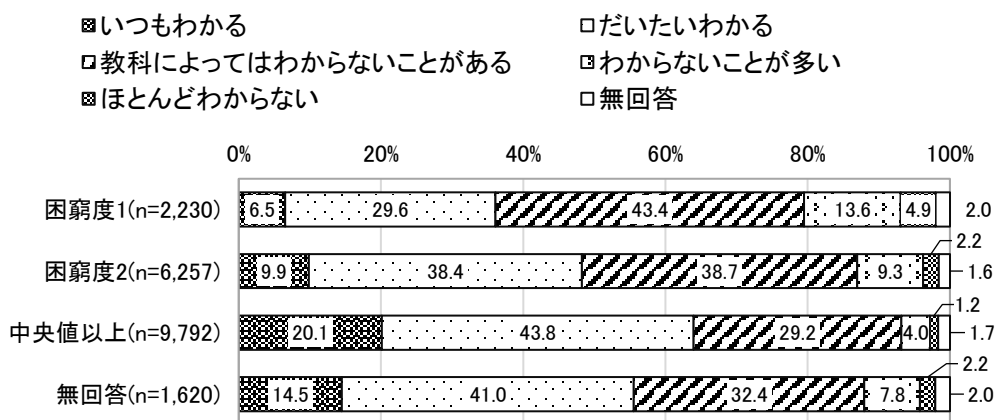


図 2-3-5-11 困窮度別に見た、授業の理解度

12. 世帯構成別に見た、授業の理解度

保護者票問 5 問 4 で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○をつけてください)

世帯構成別に、子どもの授業の理解度を見ると、二人親家庭では、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が 57.7%であるのに対して、母子家庭では 38.7%、父子家庭では 32.4%となっている。

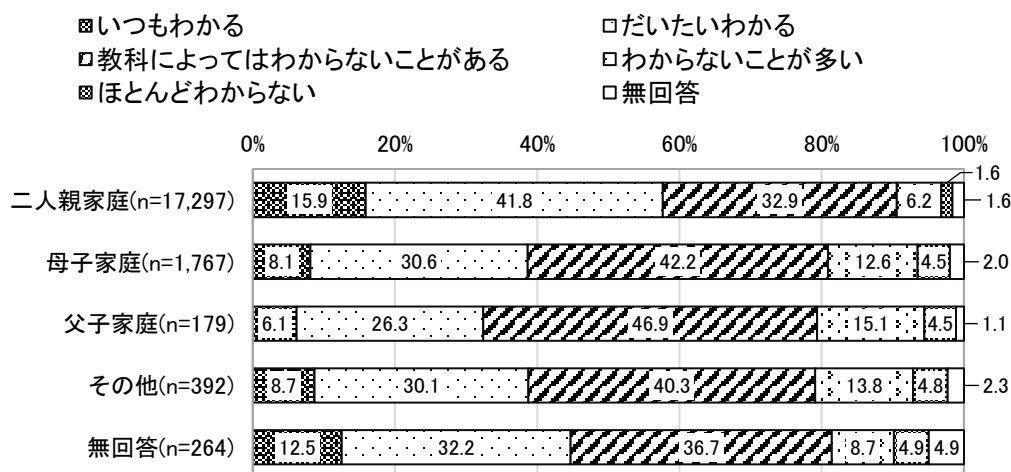


図 2-3-5-12 世帯構成別に見た、授業の理解度

13. 遅刻の状況別に見た、授業の理解度

子ども票問 14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

子どもの遅刻の状況別に、授業の理解度を見ると、遅刻が多いほど、授業の理解度が低い傾向がみられた。具体的には、「遅刻はしない」子どもでは、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が 57.1%で最も高いのに対して、「毎日」と答えた子どもは 25.9%で最も低くなっている。

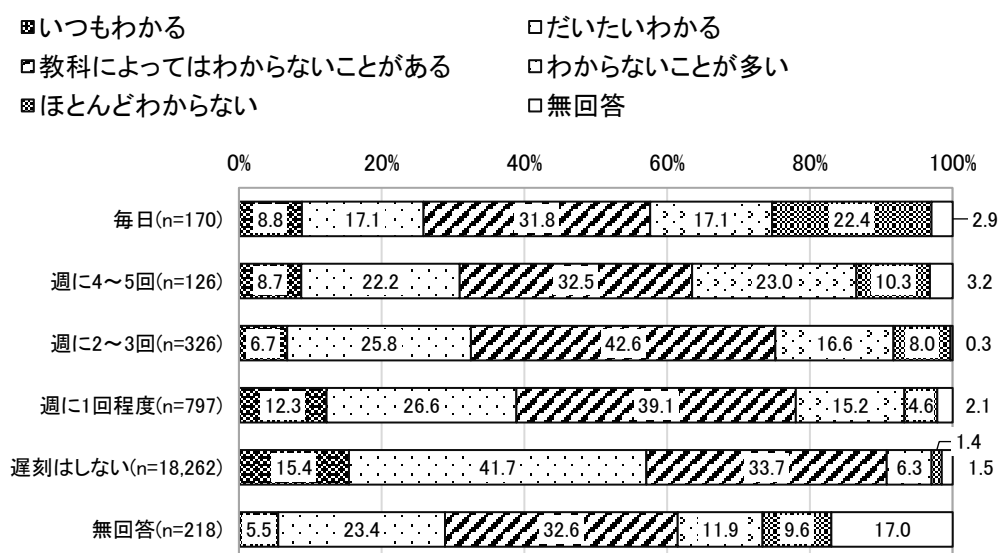


図 2-3-5-13 遅刻の状況別に見た、授業の理解度

14. 保護者の関わり方別に見た、授業の理解度

保護者票問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
 子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」という関わり方別に、子どもの授業の理解度を見ると、「あてはまる」と回答した家庭では、子どもの授業の理解度は、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が64.5%と最も高いのに対して、「あてはまらない」と回答している家庭では、42.7%と最も低くなっている。

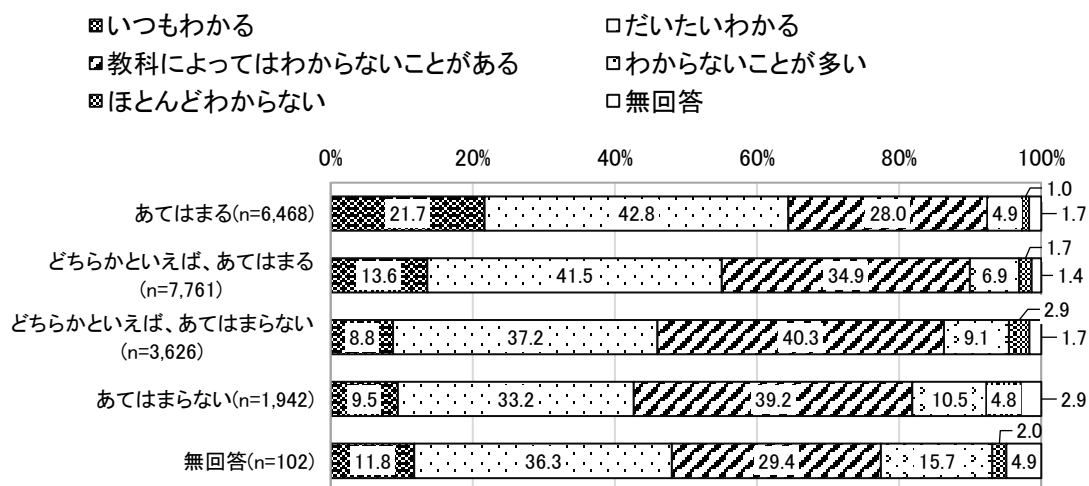


図 2-3-5-14-1 保護者の関わり方別に見た、授業の理解度

(テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている)

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」という関わり方別に、子どもの授業の理解度を見ると、「あてはまる」と回答した家庭では、子どもの授業の理解度は、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が69.2%と最も高いのに対して、「あてはまらない」と回答した家庭では、38.0%と最も低くなっている。

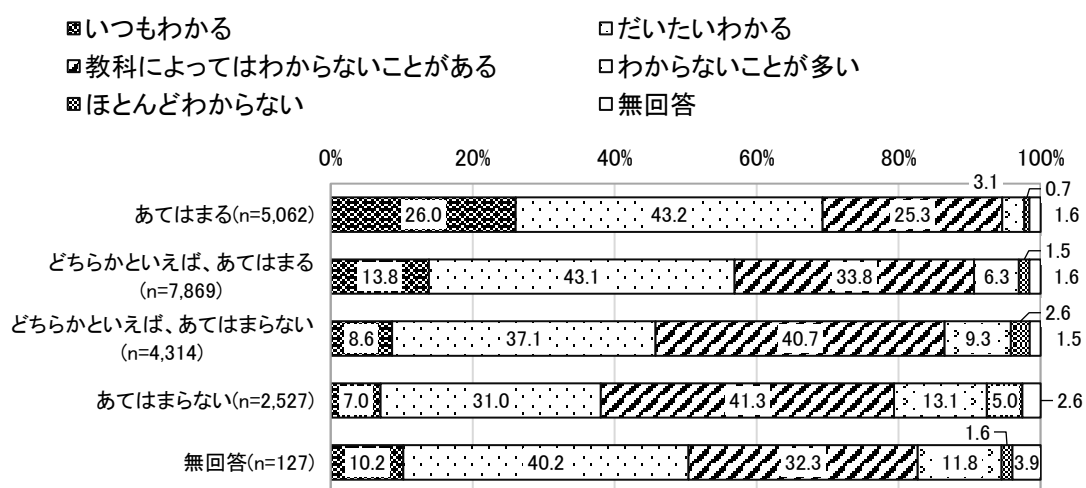


図 2-3-5-14-2 保護者の関わり方別に見た、授業の理解度
(お子さんに本や新聞を読むように勧めている)

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」という関わり方別に、子どもの授業の理解度を見ると、「あてはまる」と回答した家庭では、子どもの授業の理解度は、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が62.2%と最も高いのに対して、「あてはまらない」と回答した家庭では、41.9%と最も低くなっている。

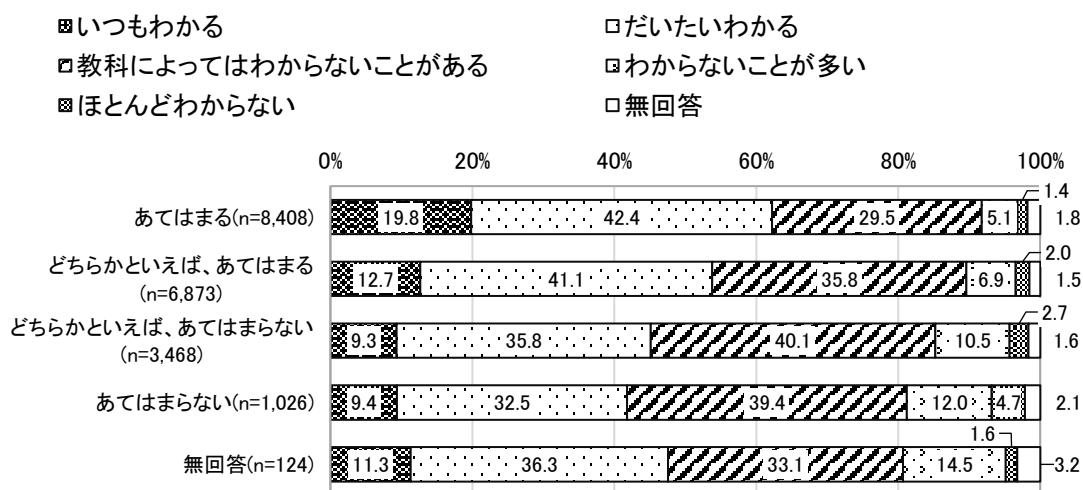


図 2-3-5-14-3 保護者の関わり方別に見た、授業の理解度
（お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた）

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」という関わり方別に、子どもの授業の理解度を見ると、「あてはまる」と回答した家庭では、子どもの授業の理解度は、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が 65.6%と最も高いのに対して、「あてはまらない」と回答した家庭では、28.7%と最も低くなっている。

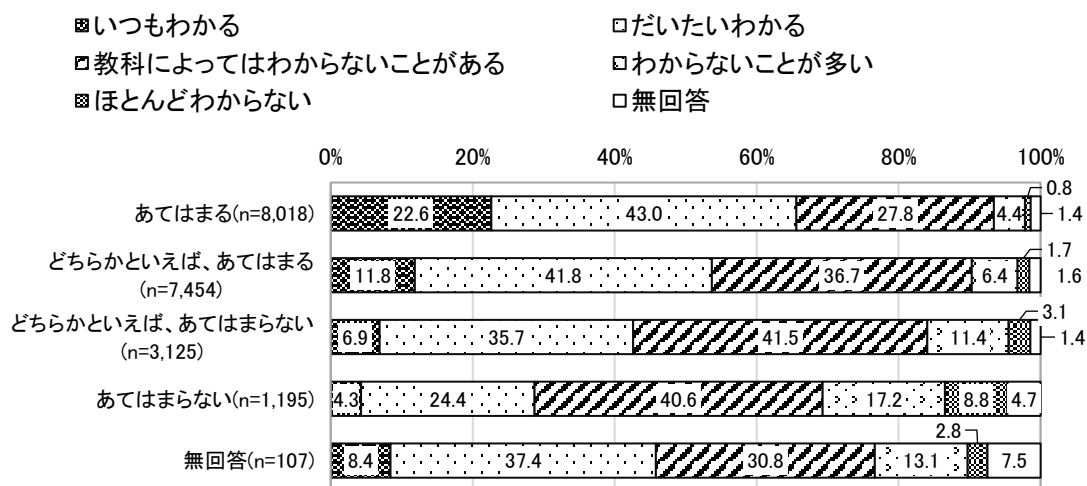


図 2-3-5-14-4 保護者の関わり方別に見た、授業の理解度
(お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる)

15. 親の精神状態別に見た、授業の理解度

保護者票問 27 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a~f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください)
 子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○をつけてください)

親の精神状態別に、子どもの授業の理解度を見ると、保護者が「抑うつ傾向なし」に該当する家庭では、「わかる」の割合（「いつもわかる」+「だいたいわかる」）が 58.7%であるのに対して、「うつ・不安障害相当」に該当する家庭では 44.0%と低くなっている。

保護者の精神状態がよいほど、子どもの授業の理解度が高くなっている。

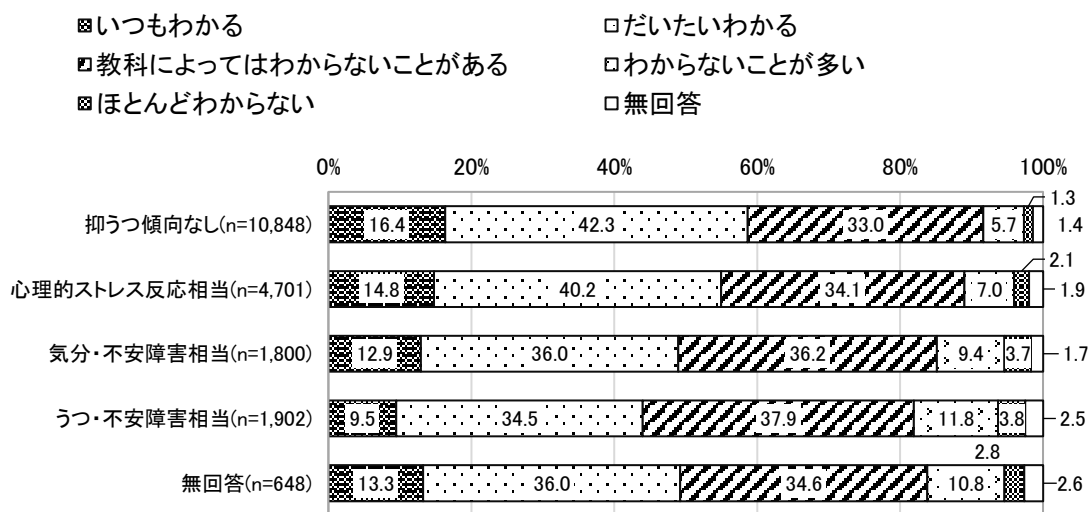


図 2-3-5-15 親の精神状態別に見た、授業の理解度

16. 支援の利用状況別に見た、授業の理解度

子ども票問 18 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。
 (a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください)
 子ども票問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

a) (自分や友人の家以外で) 放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育・放課後等デイサービスなど)

放課後や休日を過ごすことができる場所の利用状況別に子どもの授業の理解度を見ると、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもでは、「わかる」の割合(「いつもわかる」+「だいたいわかる」)が 59.2%で最も高く、「利用したことがある」54.1%、「今後利用したいかどうか分からない」53.1%、「あれば利用したいと思う」52.5%の順に高くなっている。

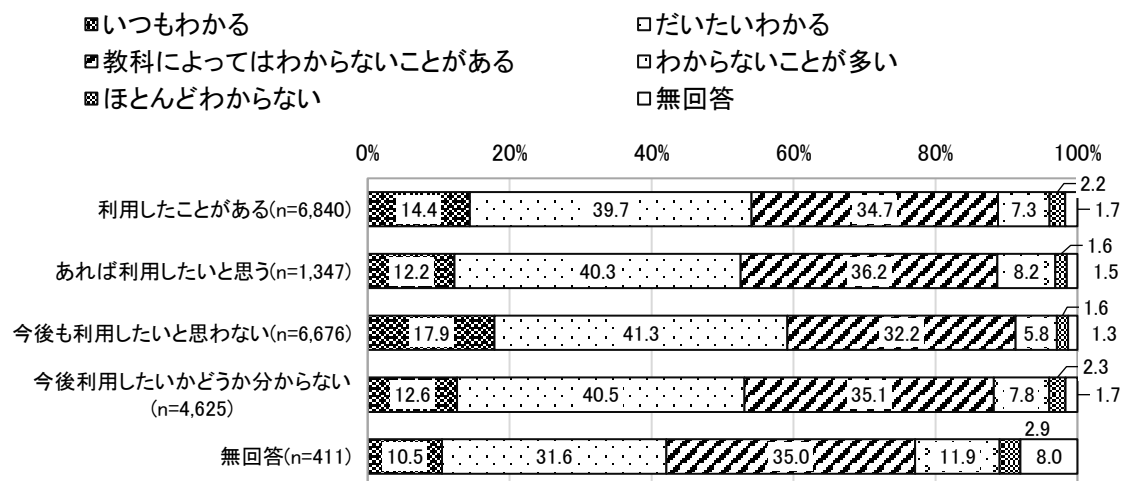


図 2-3-5-16-1 支援の利用状況別に見た、授業の理解度
 (放課後や休日を過ごすことができる場所)

b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況別に、子どもの授業の理解度を見ると、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもでは、「わかる」の割合(「いつもわかる」+「だいたいわかる」)が59.0%で最も高く、「わからないことが多い」54.4%、「今後利用したいかどうか分からない」54.4%、「あれば利用したい」53.3%、「利用したことがある」48.3%の順に高くなっている。

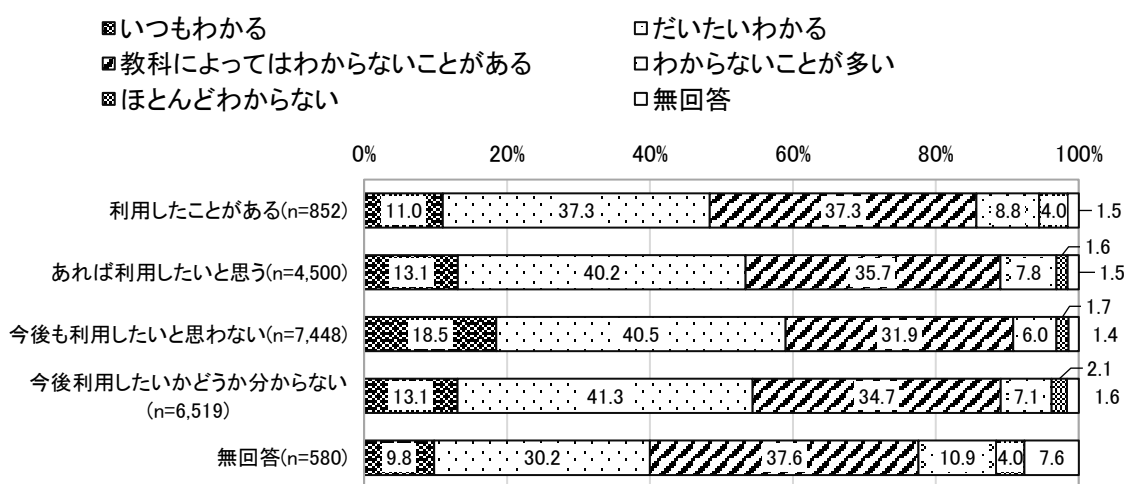


図 2-3-5-16-2 支援の利用状況別に見た、授業の理解度 (夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

勉強を無料でみてくれる場所の利用状況別に、子どもの授業の理解度を見ると、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもでは、「わかる」の割合（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）が62.0%で最も高く、「今後利用したいかどうか分からない」55.2%、「あれば利用したいと思う」50.8%、「利用したことがある」48.0%の順に高くなっている。

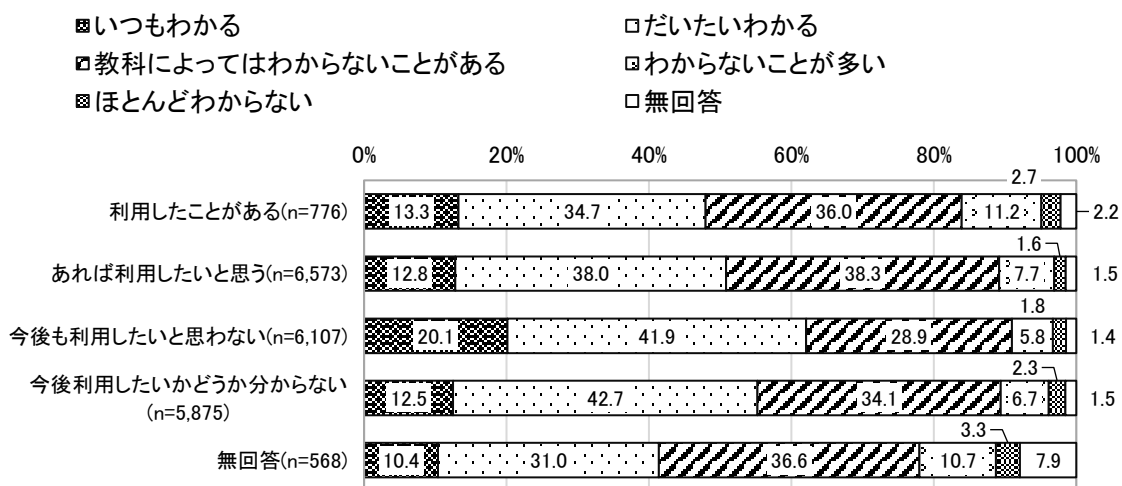


図 2-3-5-16-3 支援の利用状況別に見た、授業の理解度
(勉強を無料でみてくれる場所)

d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)

何でも相談できる場所の利用状況別に、子どもの授業の理解度を見ると、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもでは、「わかる」の割合(「いつもわかる」+「だいたいわかる」)が58.5%で最も高く、「今後利用したいかどうか分からない」54.4%、「あれば利用したいと思う」52.6%、「利用したことがある」47.8%の順に高くなっている。

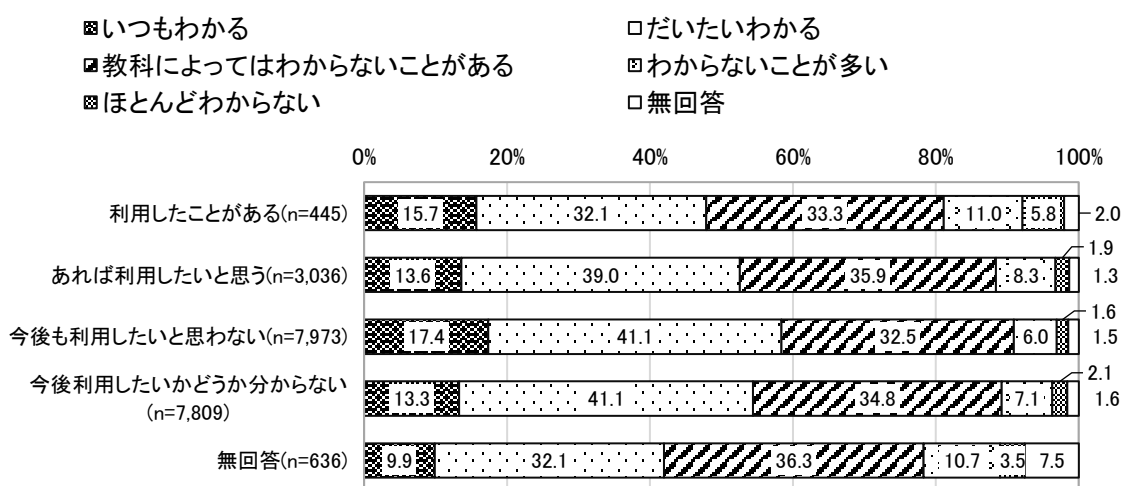


図 2-3-5-16-4 支援の利用状況別に見た、授業の理解度
(何でも相談できる場所)

17. 困窮度別に見た、授業についていけなくなった時期

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 6 問 5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）

<小学5年生>

困窮度別に小学5年生の子どもの授業についていけなくなった時期を見ると、困窮度による差はあまりみられなかった。すべての群において、「4年生のころ」と回答した割合が最も多く、困窮度1群は16.7%、困窮度2群と中央値以上群はいずれも18.4%であった。

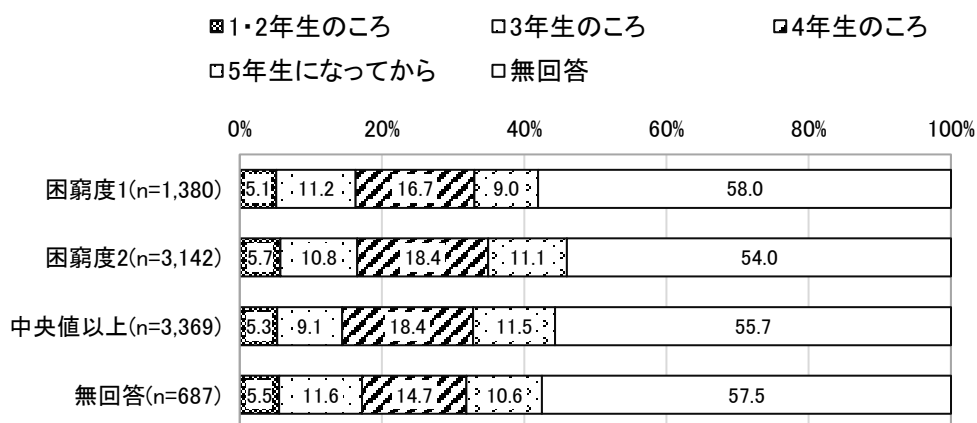


図 2-3-5-17-1 困窮度別に見た、授業についていけなくなった時期（小5）

< 中学2年生 >

困窮度別に中学2年生の子どもの授業についていけなくなった時期を見ると、すべての群で「中学1年生のころ」と回答する割合が高くなっており、困窮度1群では50.3%、困窮度2群では53.1%、中央値以上群では53.8%となっていた。

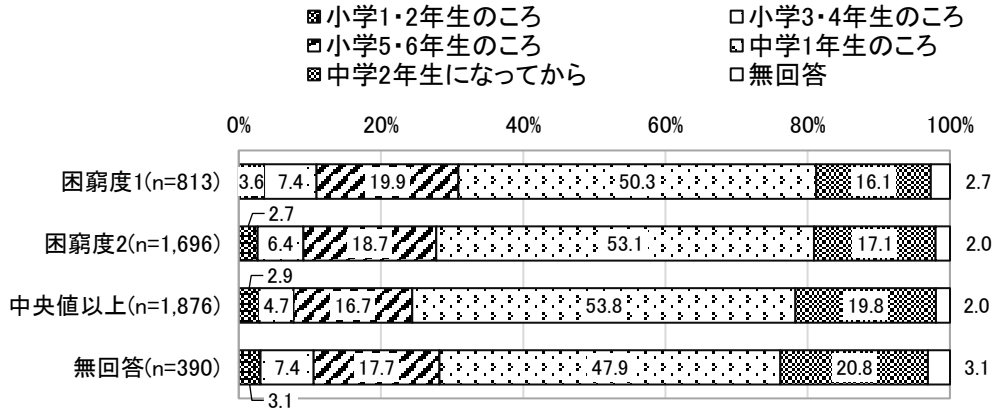


図 2-3-5-17-2 困窮度別に見た、授業についていけなくなった時期 (中2)

18. 困窮度別に見た、進学希望

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの進学希望を見ると、困窮度が高まるにつれて、「中学（中等部）まで」、「高校（高等部）まで」の割合が高くなっている。「大学またはそれ以上」と回答した割合は、困窮度1群では26.9%、中央値以上群では54.5%であった。

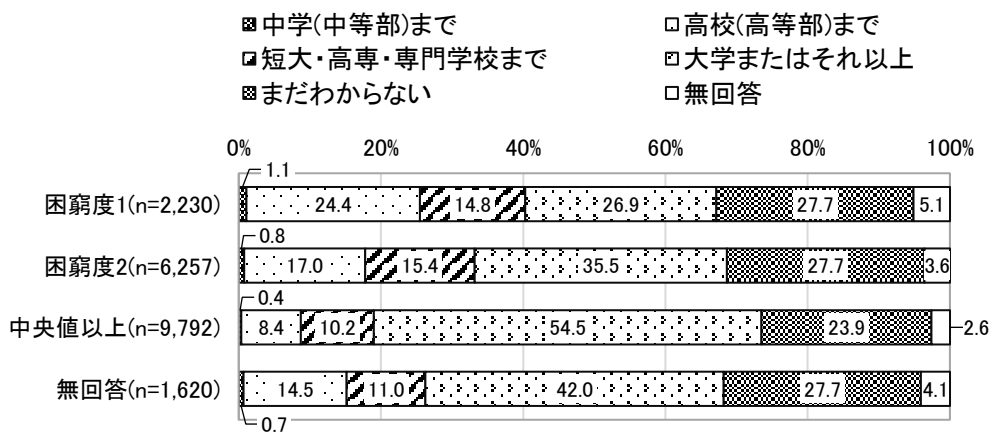


図 2-3-5-18 困窮度別に見た、進学希望

19. 親の進学見通し別に見た、進学希望

保護者票問 15 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

子ども票問 7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

親の進学見通し別に、子どもの進学希望を見ると、保護者が「大学またはそれ以上」と回答した家庭では、子どもの回答も、「大学またはそれ以上」の割合が最も高く、65.6%となっている。同様に、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」と回答した家庭では、子どもの回答も、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が最も高く、38.5%となっている。「高校（高等部）まで」と回答した家庭では、子どもの回答も「高校（高等部）まで」の割合が最も高く、50.2%となっている。「まだわからない」と回答した家庭では、子どもの回答も「わからない」が最も多く、43.2%となっている。

一方、「中学（中学部）まで」と回答した家庭では、子どもの回答は、「高校（高等部）まで」の割合が最も高く、32.0%となっており、「まだわからない」29.3%、「中学（中学部）まで」25.3%の順に高くなっている。

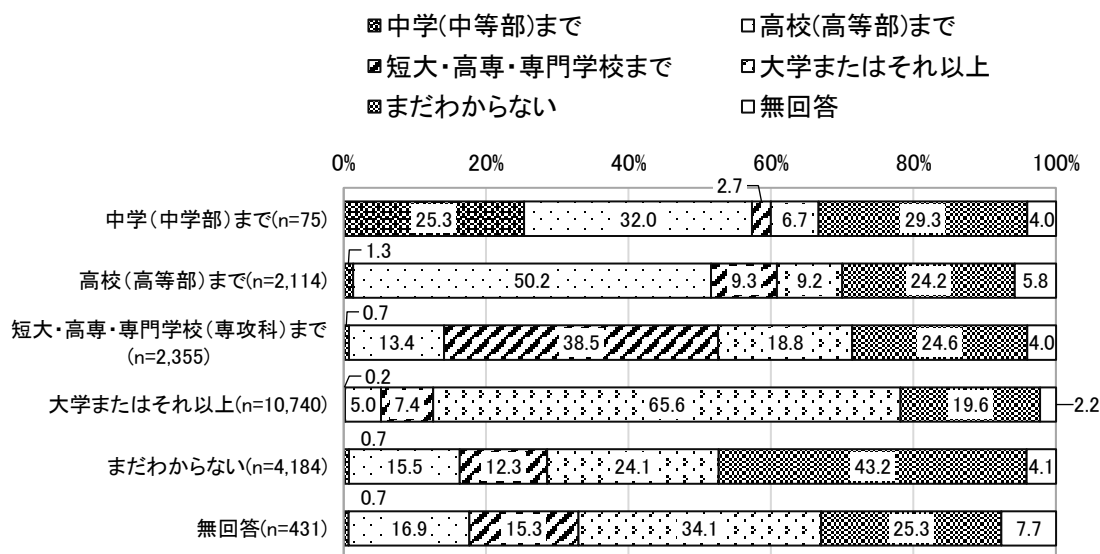


図 2-3-5-19 親の進学見通し別に見た、進学希望

20. 困窮度別に見た、想定する進学先の理由（子ども）

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 8 問 7 の質問で 1～4 と答えた場合、その理由を教えてください。（1～8 につ
いては、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に想定する進学先の理由を見ると、困窮度が高まるにつれて、「自分の成績から考えて」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」と回答する割合が高くなっている。「家にお金がないと思うから」と回答した割合は、困窮度 1 群では 6.9%、困窮度 2 群では 2.5%、中央値以上群では 1.0%であった。また、「早く働く必要があるから」と回答した割合は、困窮度 1 群では 6.9%、困窮度 2 群では 4.2%、中央値以上群では 2.9%であった。

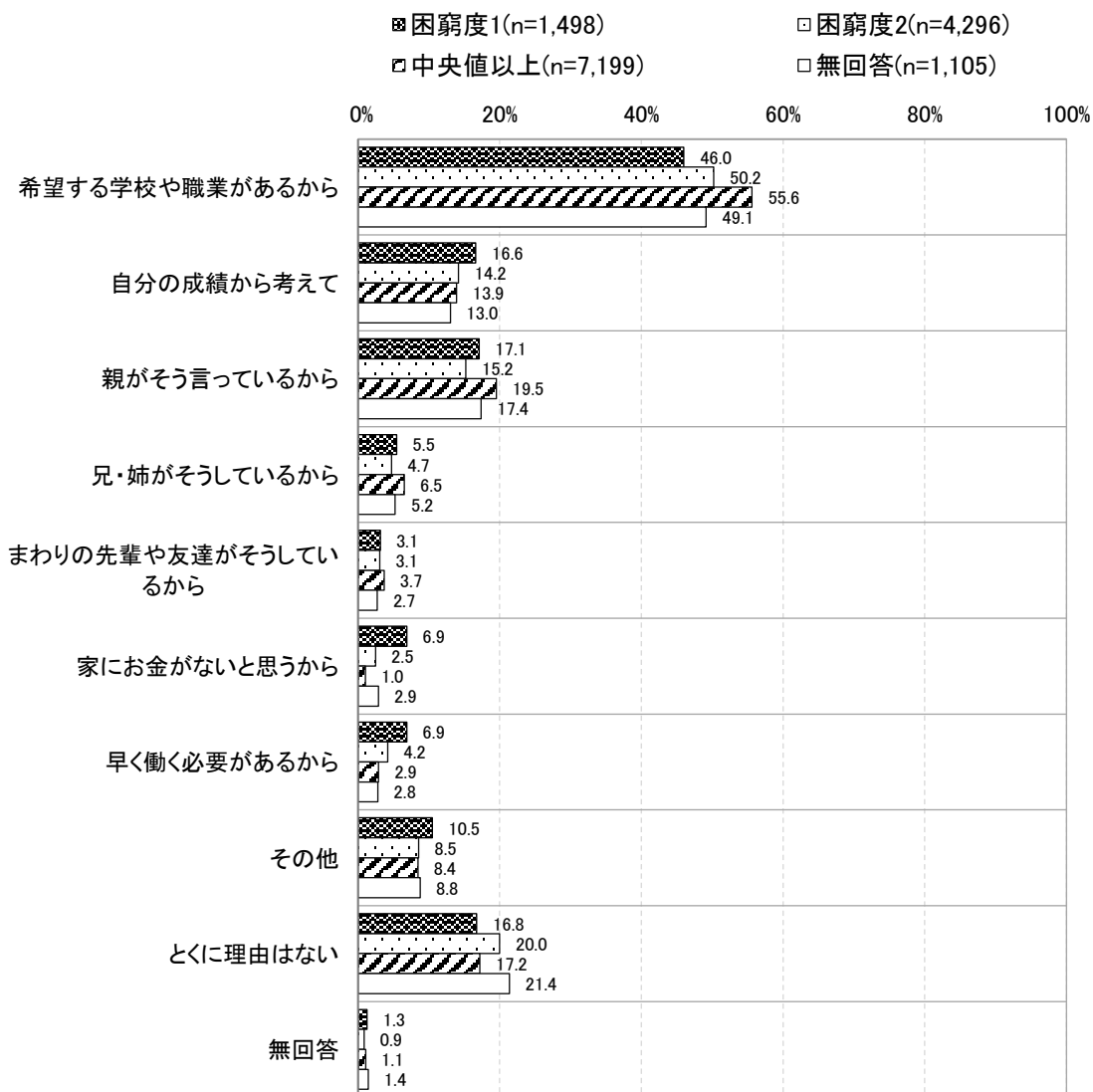


図 2-3-5-20 困窮度別に見た、想定する進学先の理由（子ども）

21. 家族へのケア実施の有無別に見た、想定する進学先の理由（子ども）

子ども票問 11 あなたは家族のお世話をしていますか。（あてはまるもの1つに○）
子ども票問 8 問7の質問（あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。）で1～4と答えた場合、その理由を答えてください。（あてはまるものすべてに○）

家族へのケア実施の有無別に、想定する進学先の理由を見ると、ケアの実施の有無にかかわらず、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合が最も高く、いずれも5割を超えている。

ケア実施の有無による回答の差に着目すると、「自分の成績から考えて」の割合は、ケアを「している」と回答した子どもで16.3%となっており、「していない」と回答した子どもの13.2%よりも3.1ポイント高い。また、「早く働く必要があるから」の割合は、ケアを「している」と回答した子どもでは5.3%となっており、「していない」と回答した子どもの3.0%よりも2.3ポイント高い。

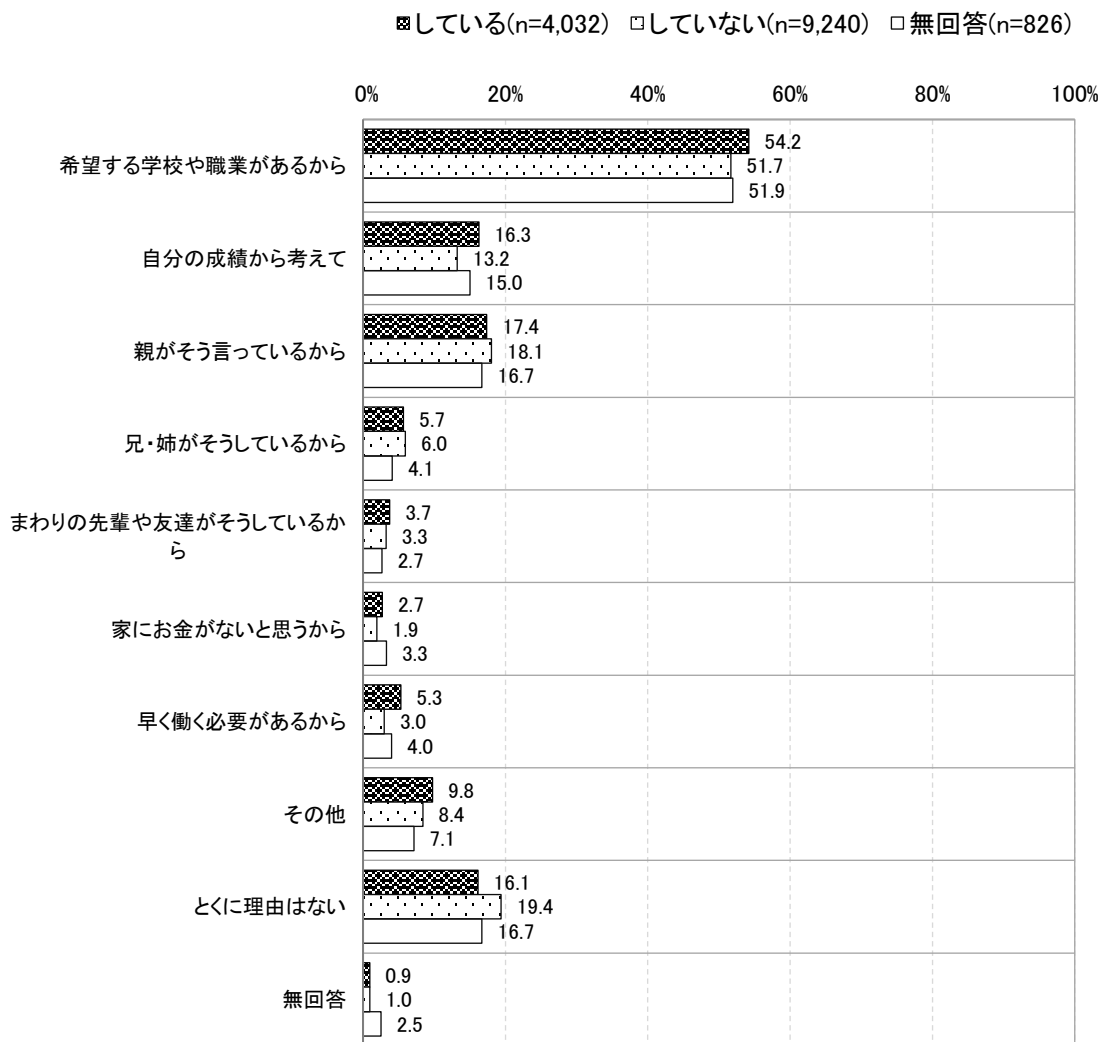


図 2-3-5-21 ケア実施の有無別に見た、想定する進学先の理由（子ども）

22. 困窮度別に見た、進学の見通し

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

保護者票問 15 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。（あてはまるもの一つに○）

困窮度別に進学の見通しを見ると、困窮度が高まるにつれて「中学（中等部）まで」、「高校（高等部）まで」の割合が高くなっている。「大学またはそれ以上」と回答した割合は、困窮度 1 群で 27.7%、困窮度 2 群で 43.4%、中央値以上群で 68.1%であった。

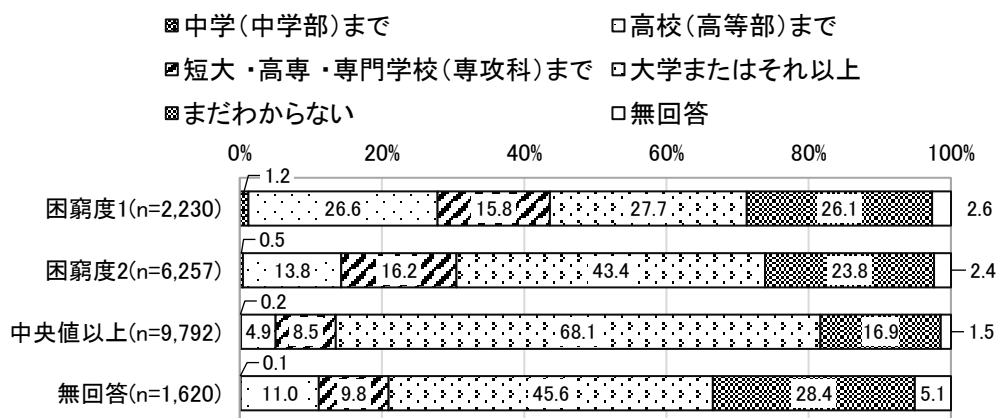


図 2-3-5-22 困窮度別に見た、進学の見通し

23. 困窮度別に見た、想定する進学先の理由（保護者）

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

保護者票問 16 問 15 で 1～4 と答えた場合、その理由は何ですか。（1～5 については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に想定する進学先の理由を見ると、困窮度が高まるにつれて、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっており、困窮度 1 群で 16.8%、困窮度 2 群で 8.4%、中央値以上群で 5.9%となっている。

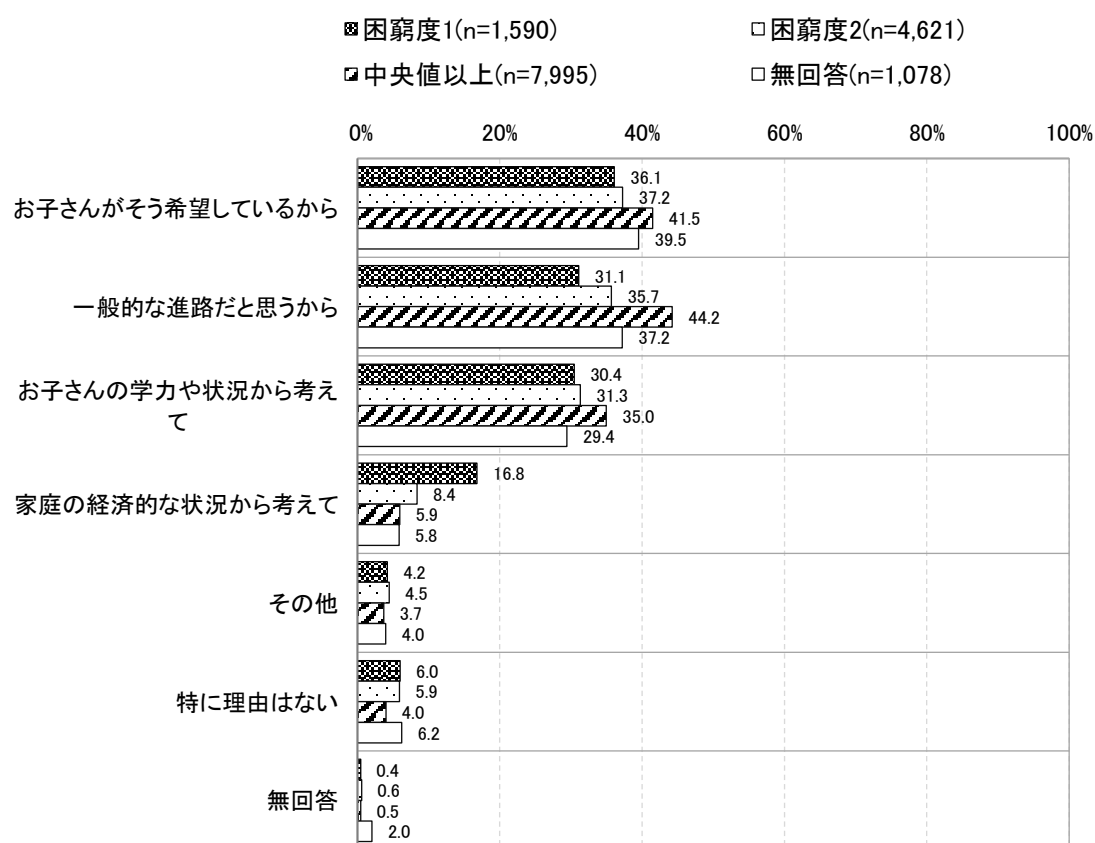


図 2-3-5-23 困窮度別に見た、想定する進学先の理由（保護者）

24. 困窮度別に見た、部活動等の状況

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 9 中2の方のみ教えてください。あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

困窮度別に子どもの部活動等の状況を見ると、困窮度が高くなるにつれて、「参加していない」の割合が高くなっており、困窮度1群で16.1%、困窮度2群で9.4%、中央値以上群で7.0%となっている。

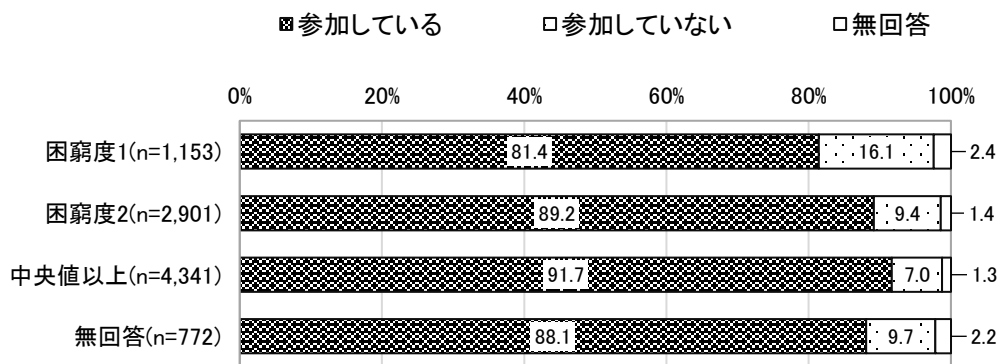


図 2-3-5-24 困窮度別に見た、部活動等の状況

25. 困窮度別に見た、部活動等に参加していない理由

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの一つに○）

子ども票問 10 問 9 で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

困窮度別に子どもの部活動等に参加していない理由を見ると、困窮度が高まるにつれて「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」の割合が高くなっている。「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」の回答の割合は、困窮度 1 群ではどちらも 11.3%、中央値以上群では、それぞれ 3.7%、4.3%であった。

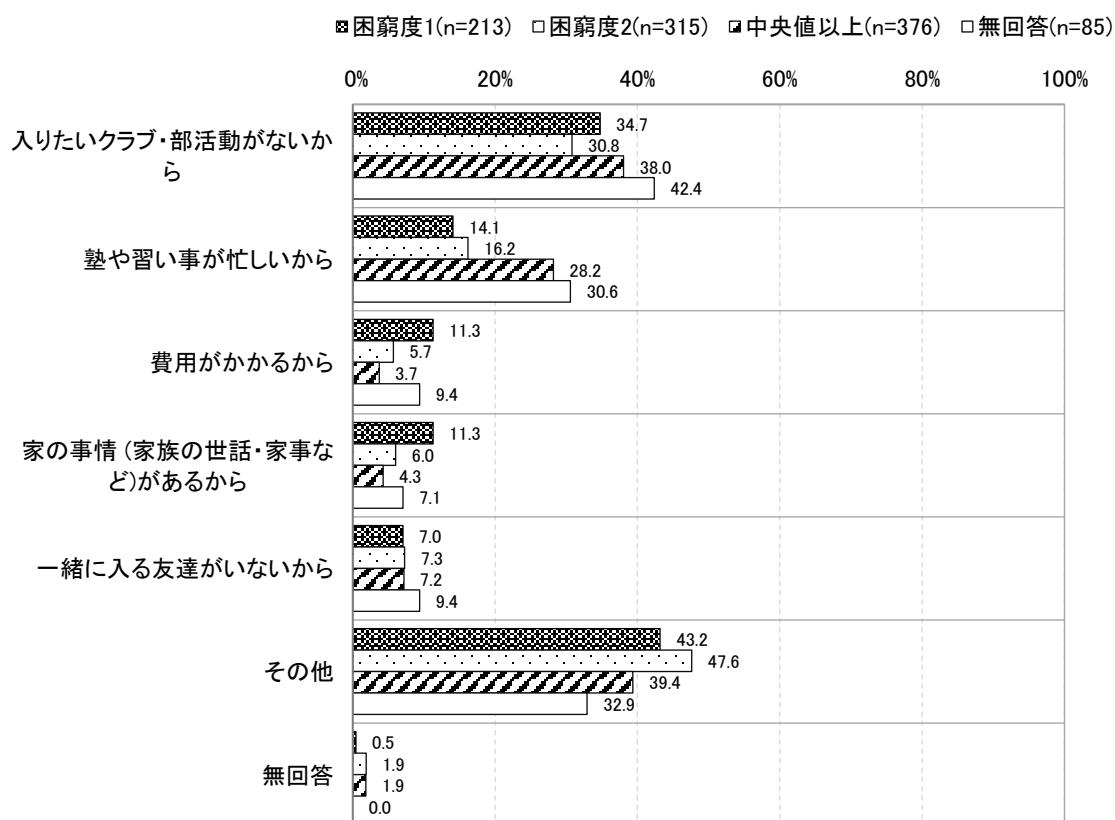


図 2-3-5-25 困窮度別に見た、部活動等に参加していない理由

2.3.6. 対人関係

1. 困窮度別に見た、放課後に過ごす場所

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 21 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あ
てはまるものすべてに○）

困窮度別に放課後に過ごす場所を見ると、困窮度が高まるにつれて、「自分の家」、「塾」、「習いごと」などを回答する割合が低くなっている。中央値以上群と困窮度1群の差が大きかった項目は、「塾」（21.6ポイント）と「習いごと」（19.6ポイント）であった。

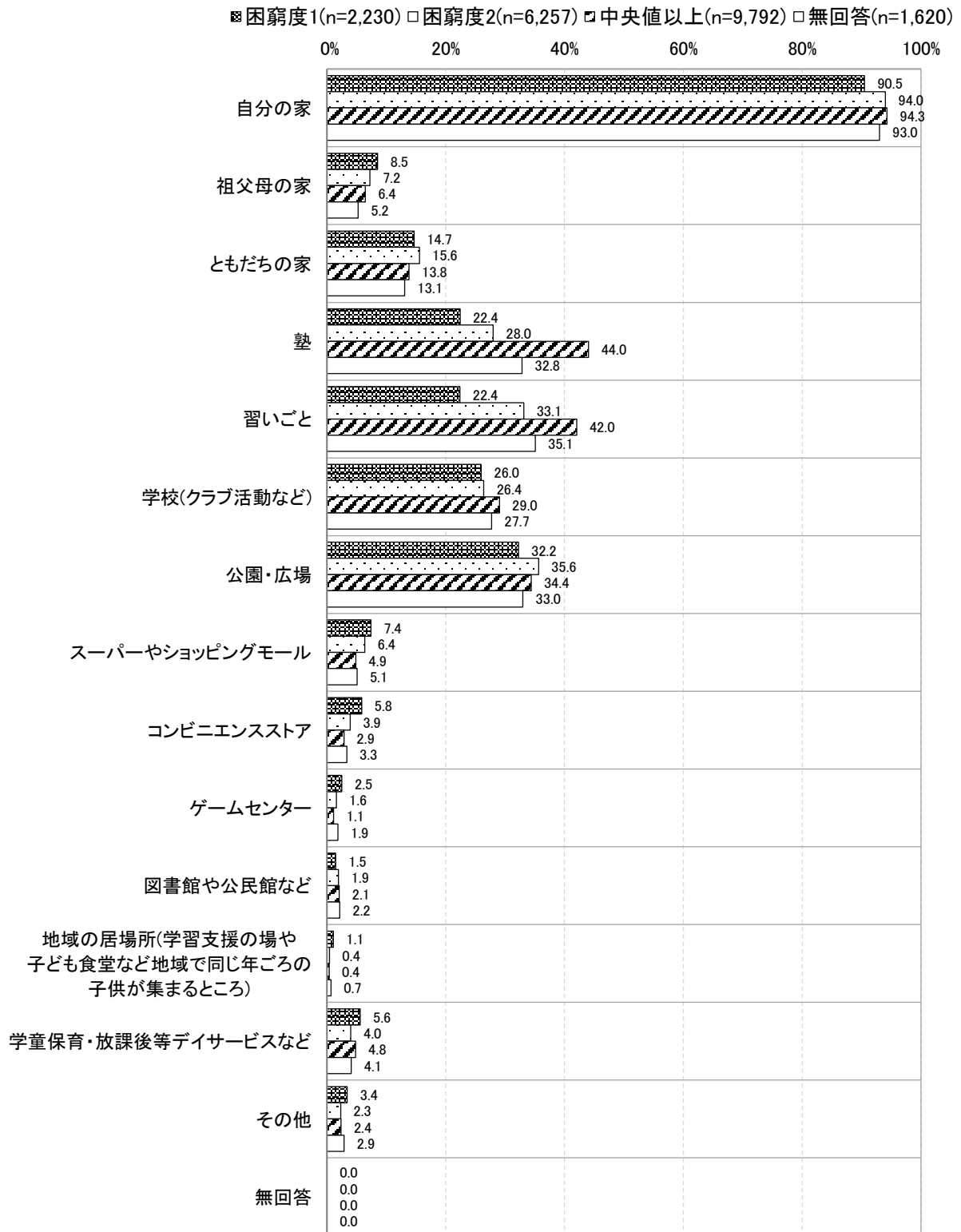


図 2-3-6-1 困窮度別に見た、放課後に過ごす場所

2. 困窮度別に見た、放課後ともに過ごす人

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 22 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。（1～7については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に放課後ともに過ごす人を見ると、困窮度が高まるにつれて「その他の人」「ひとりである」以外の項目の割合が低くなっている。

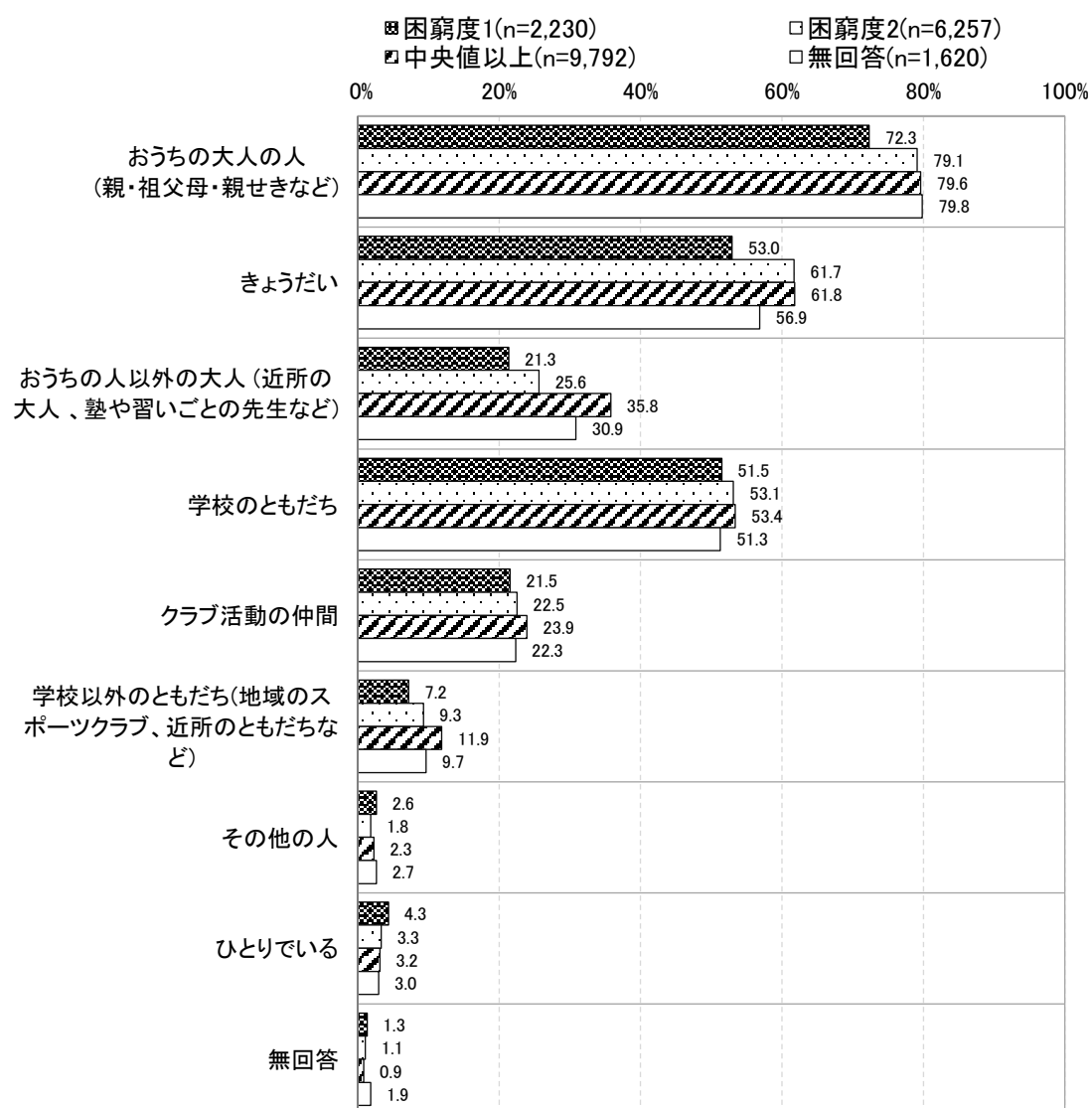


図 2-3-6-2 困窮度別に見た、放課後ともに過ごす人

3. 困窮度別に見た、コロナで困っていること

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じてい
ることは次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○）

<小学5年生>

困窮度別に小学5年生のコロナで困っていることを見ると、中央値以上群と困窮度1群の差が大きかった項目は「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」で5.2ポイント、「生活のリズムの乱れ」で4.0ポイントであった。

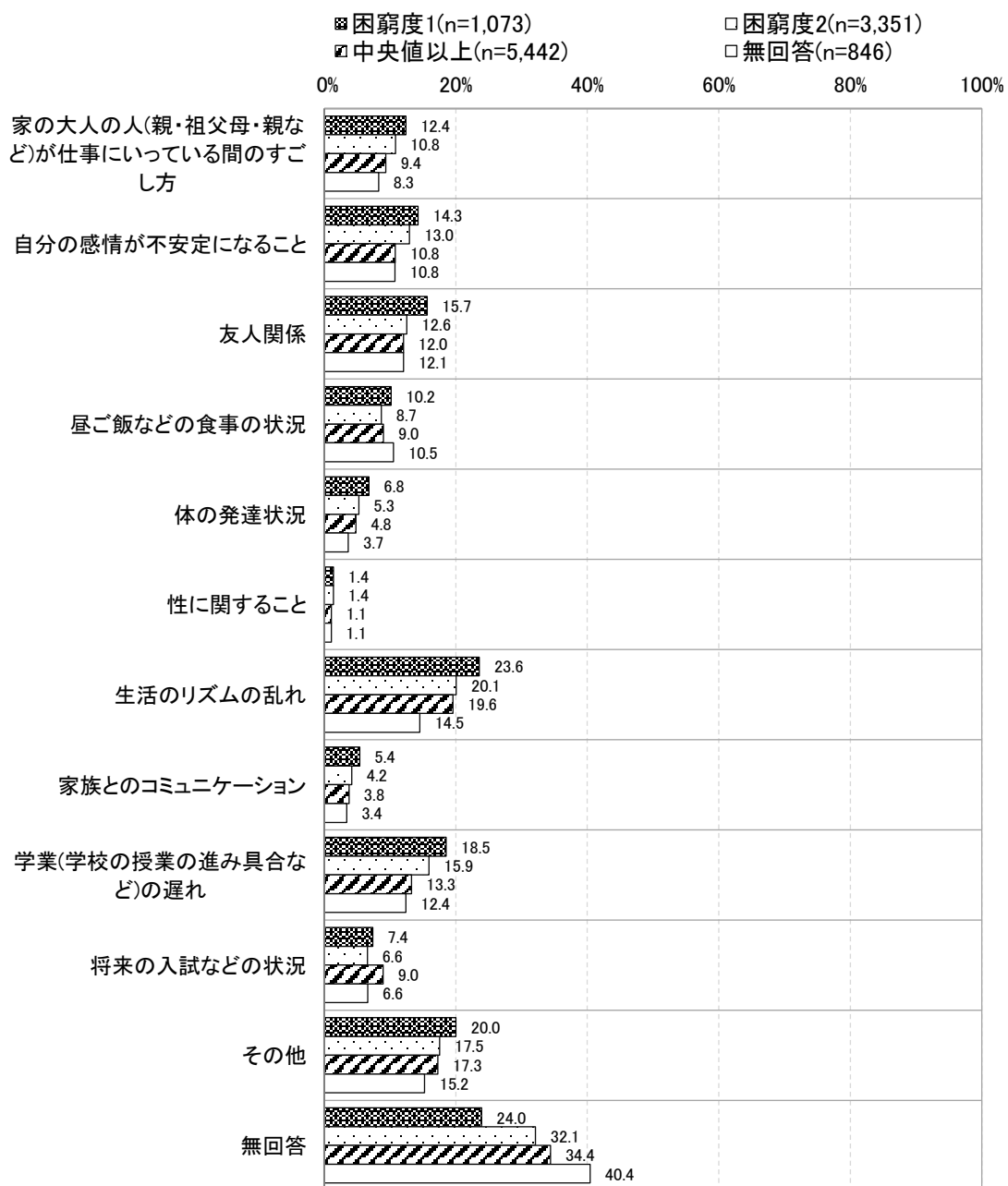


図 2-3-6-3-1 困窮度別に見た、コロナで困っていること (小5)

<中学2年生>

困窮度別に中学2年生のコロナで困っていることを見ると、中央値以上群と困窮度1群の差が大きかった項目は「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」で6.3ポイント、「生活のリズムの乱れ」で4.9ポイントであった。

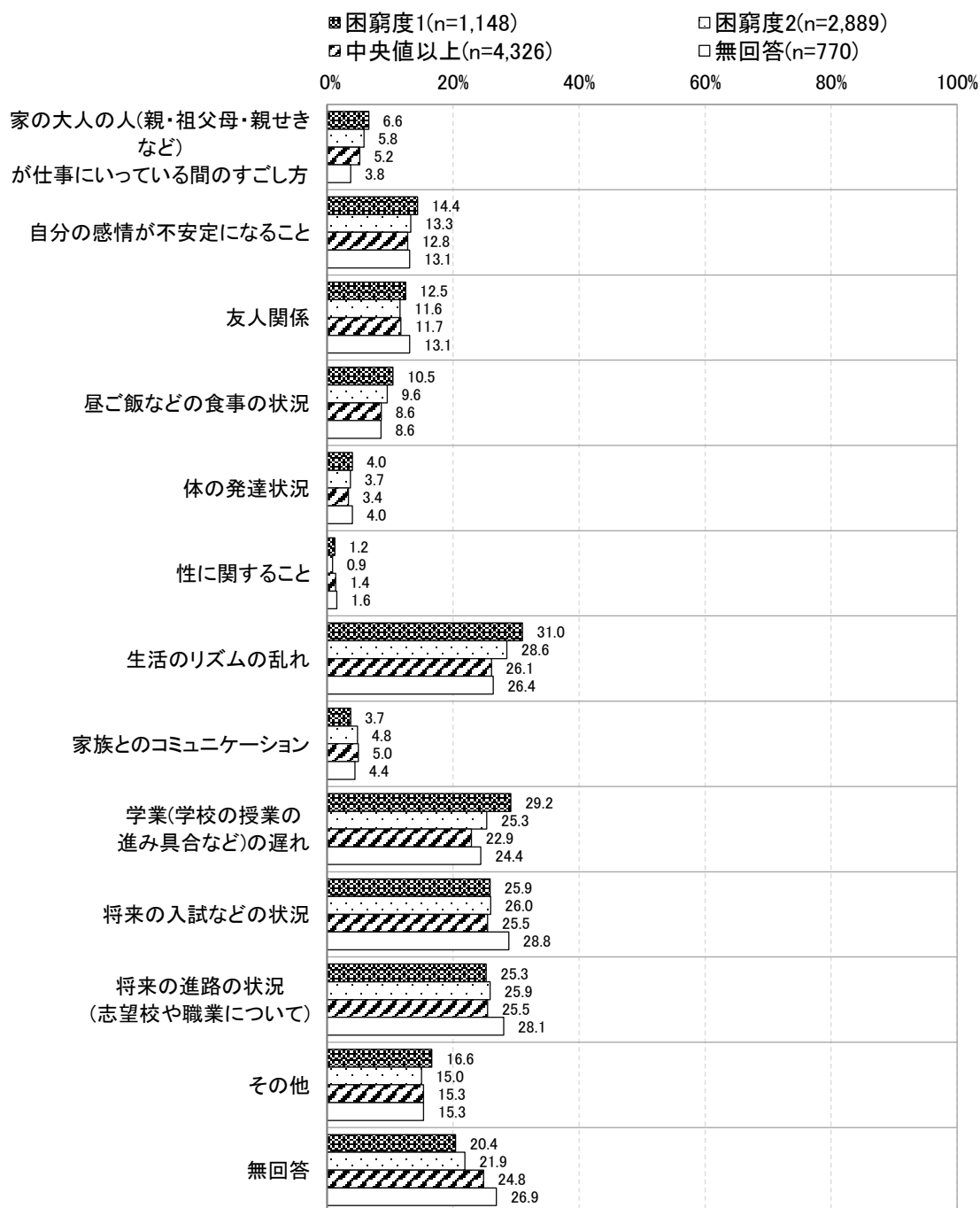


図 2-3-6-3-2 困窮度別に見た、コロナで困っていること (中2)

4. 支援の利用状況別に見た、コロナで困っていること

子ども票問 18 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

子ども票問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じていることは次のうちのどれですか。(あてはまるものすべてに○)

a) (自分や友人の家以外で) 放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育・放課後等デイサービスなど)

<小学5年生>

放課後や休日を過ごすことができる場所の利用状況別に、小学5年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」を除くすべての項目において、「あれば利用したいと思う」と回答した子どもが最も高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「友人関係」の割合について、「あれば利用したい」と回答した子どもは 20.2%となっており、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもの 9.7%より 10.5 ポイント高くなっている。

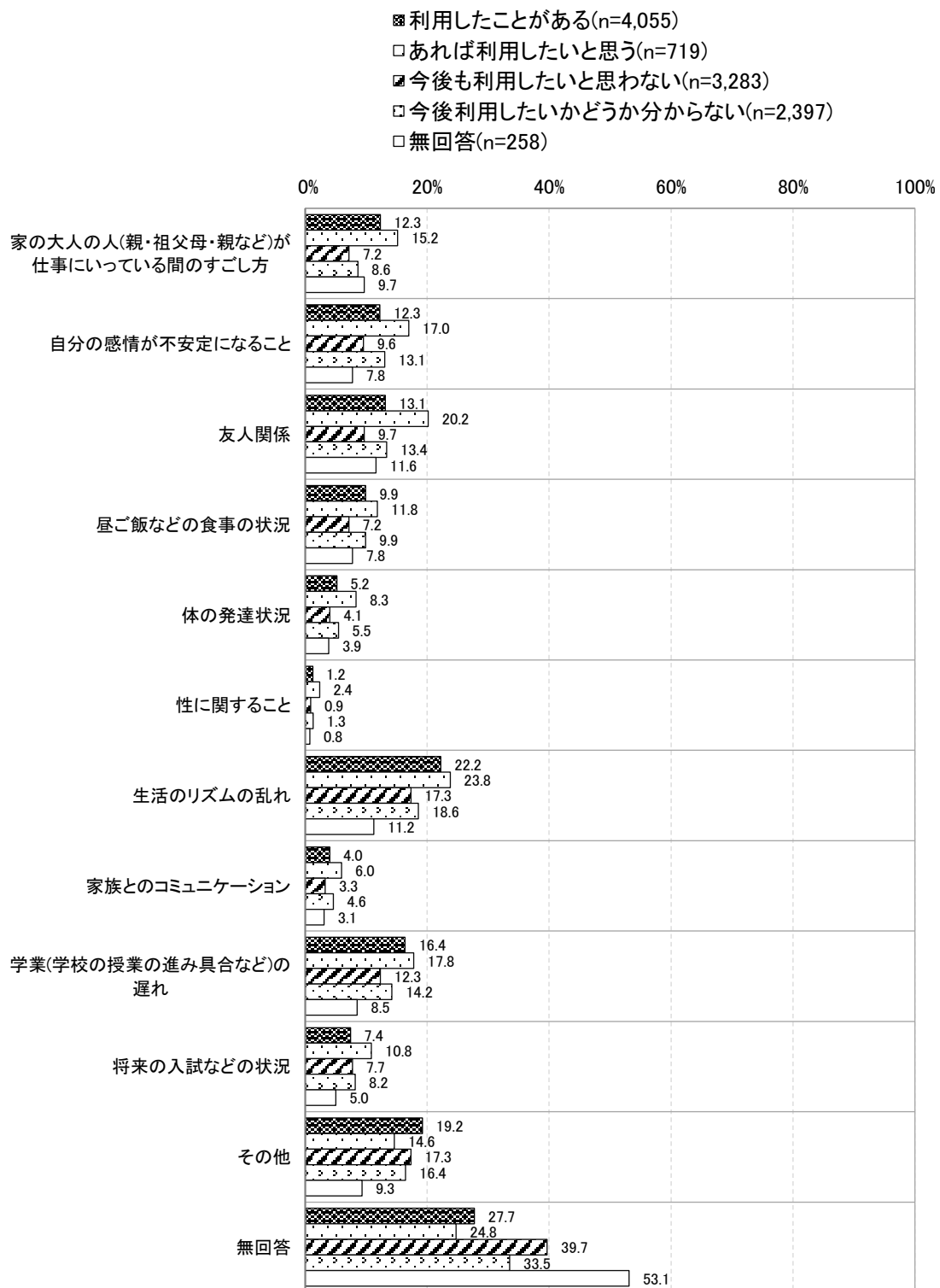


図 2-3-6-4-1 支援の利用状況（放課後や休日を過ごすことができる場所）別に見た、コロナで困っていること（小5）

<中学2年生>

放課後や休日を過ごすことができる場所の利用状況別に、中学2年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」と「性に関すること」を除くすべての項目において、「利用したことがある」、「あれば利用したい」と回答した子どもは、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもよりも割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「友人関係」、「生活のリズムの乱れ」、「将来の入試などの状況」、「将来の進路の状況(志望校や職業について)」の割合について、「あれば利用したい」と回答した子どもの方が、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもよりも、約10ポイント高くなっている。

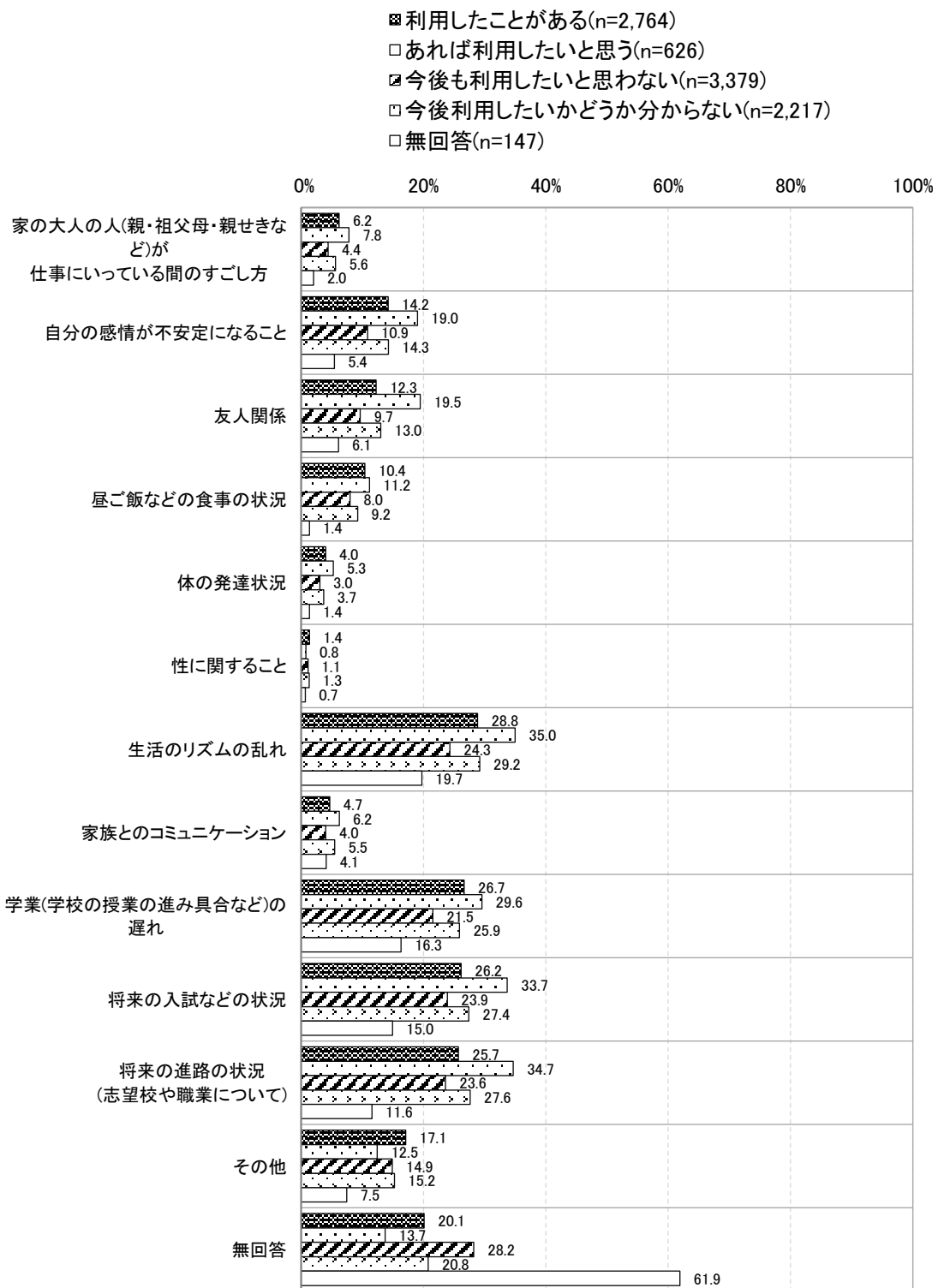


図 2-3-6-4-2 支援の利用状況（放課後や休日を過ごすことができる場所）別に見た、コロナで困っていること（中2）

b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

<小学5年生>

夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況別に、小学5年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」を除くすべての項目において、「利用したことがある」、「あれば利用したいと思う」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「生活のリズムの乱れ」について、「利用したことがある」と回答した子どもは27.5%となっており、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもの17.1%より10.4ポイント高くなっている。

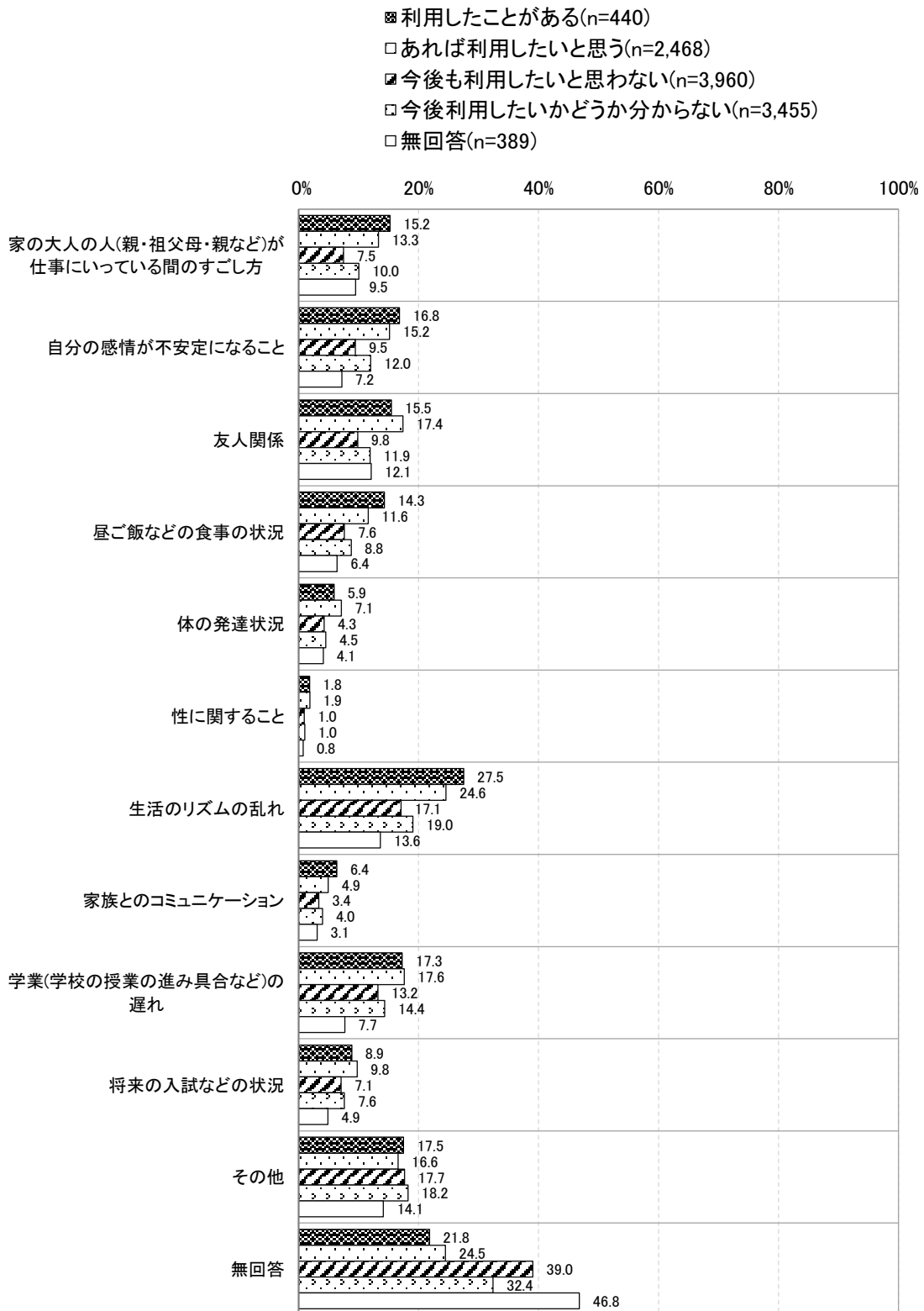


図 2-3-6-4-3 支援の利用状況(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)別に見た、コロナで困っていること(小5)

<中学2年生>

夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況別に、中学2年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」を除くすべての項目において、「利用したことがある」、「あれば利用したい」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「将来の入試などの状況」、「将来の進路の状況(志望校や職業について)」について、「あれば利用したい」と回答した子どもは、31.9%、32.0%となっており、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもの21.7%、21.8%よりも約10ポイント高くなっている。

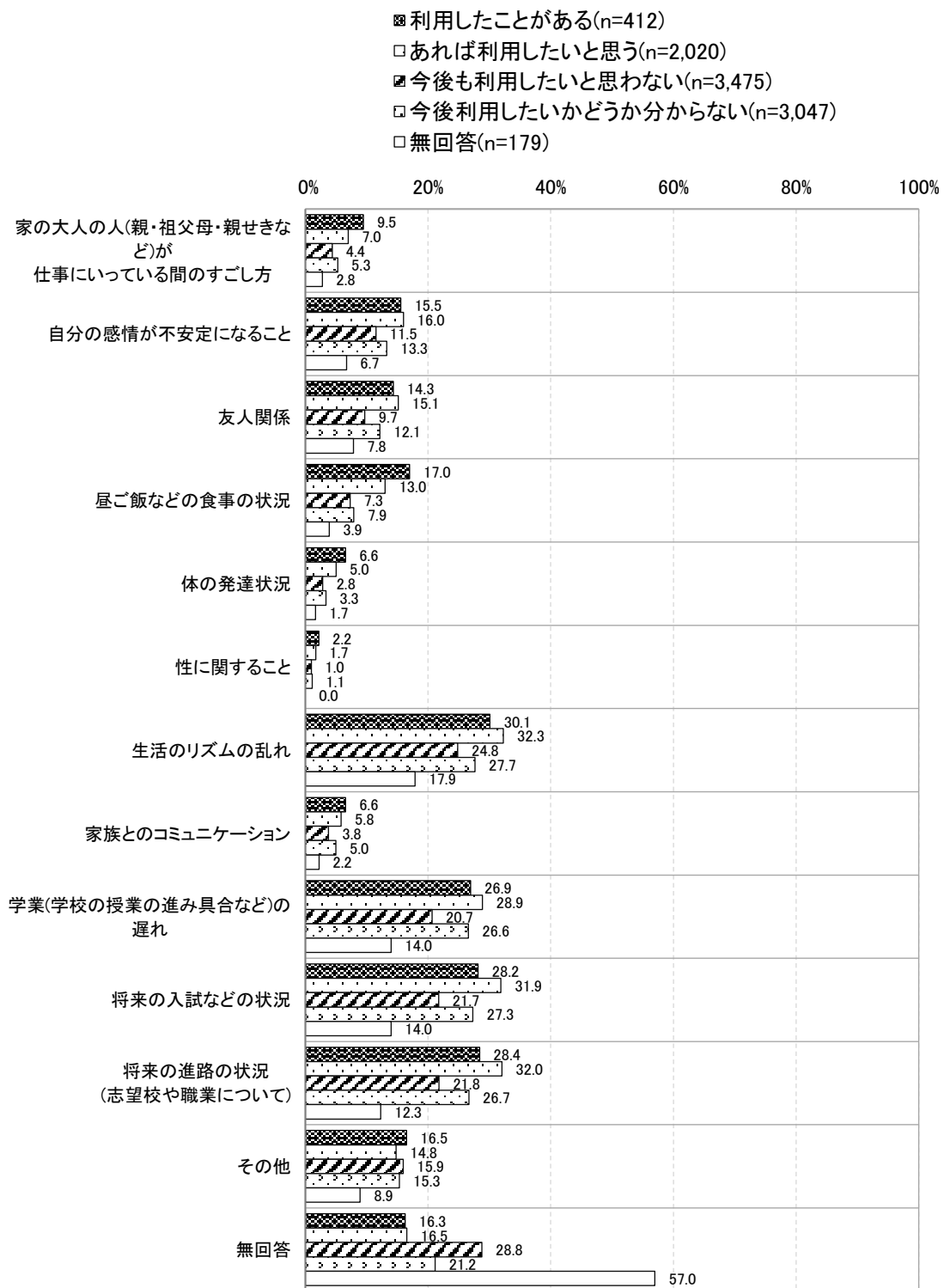


図 2-3-6-4-4 支援の利用状況 (たごはんを無料か安く食べることができる場所)別に見た、コロナで困っていること (中2)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

<小学5年生>

勉強を無料でみてくれる場所の利用状況別に、小学5年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」を除くすべての項目において、「利用したことがある」、「あれば利用したい」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」について、利用したことがある」と回答した子どもは20.1%でとなっており、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもの10.7%より9.4ポイント高くなっている。

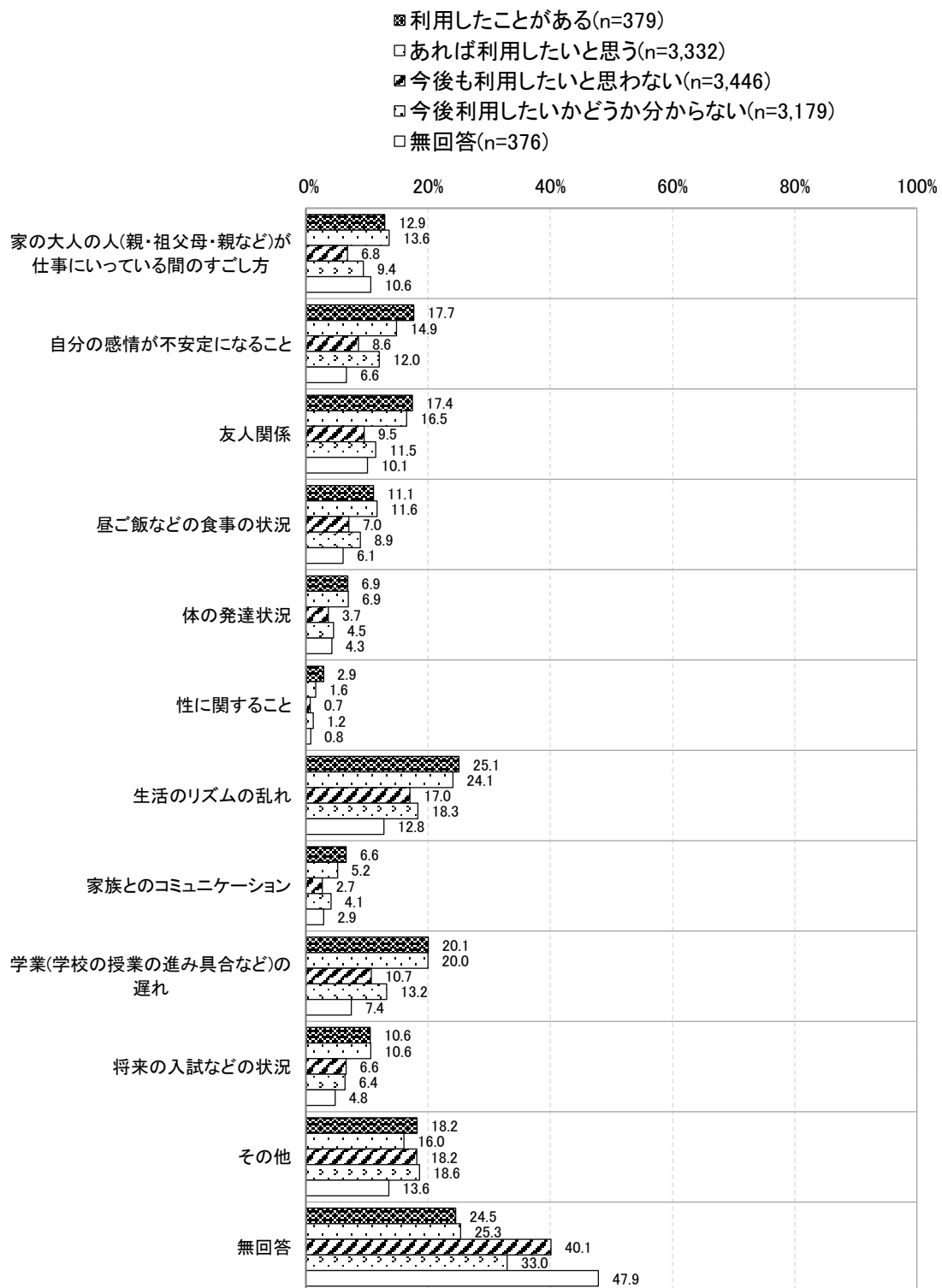


図 2-3-6-4-5 支援の利用状況（勉強を無料でみてくれる場所）別に見た、コロナで困っていること（小5）

<中学2年生>

勉強を無料でみてくれる場所の利用状況別に、中学2年生のコロナで困っていることを見ると、「その他」を除くすべての項目において、「利用したことがある」、「あれば利用したい」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「生活のリズムの乱れ」、「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」、「将来の入試などの状況」、「将来の進路の状況(志望校や職業について)」の割合について、「あれば利用したい」と回答した子どもの方が、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもよりも10ポイント以上高くなっている。

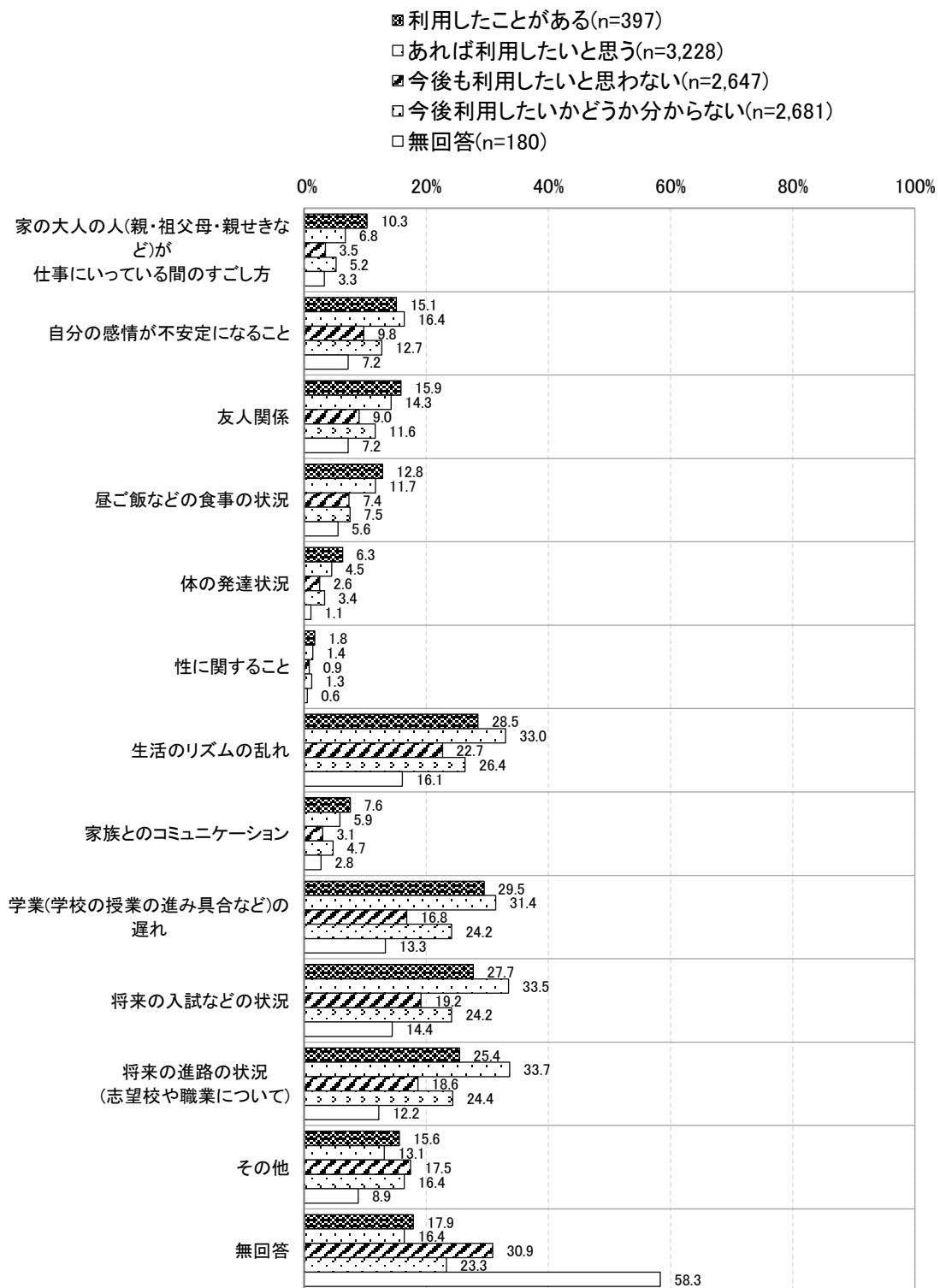


図 2-3-6-4-6 支援の利用状況(勉強を無料でみてくれる場所)別に見た、コロナで困っていること(中2)

d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)

<小学5年生>

何でも相談できる場所の利用状況別に、小学5年生のコロナで困っていることを見ると、「昼ごはんなどの食事の状況」を除くすべての項目において、「利用したことがある」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「友人関係」について、「利用したことがある」と回答した子どもは28.8%となっており、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもの9.8%より19ポイント高くなっている。

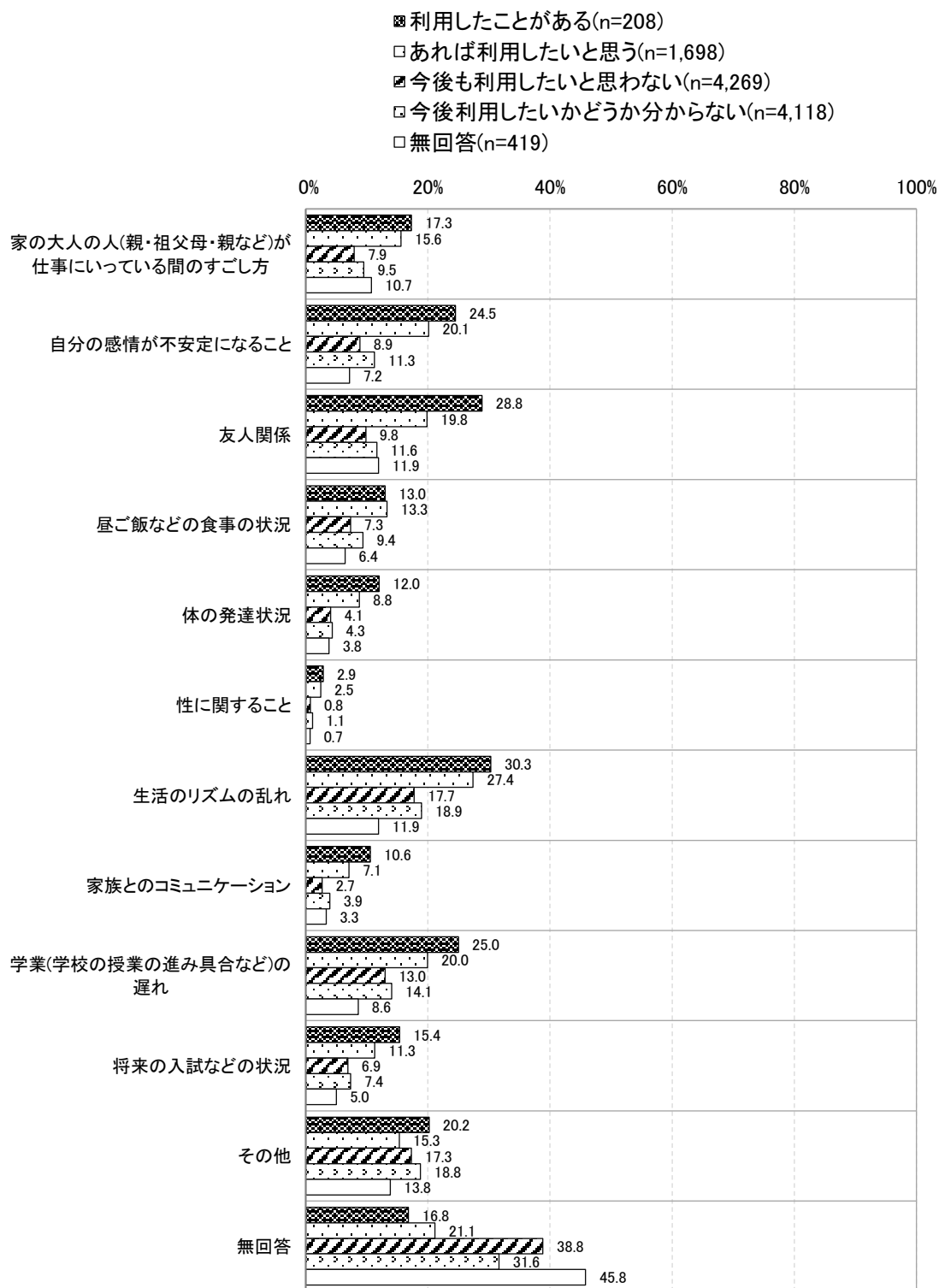


図 2-3-6-4-7 支援の利用状況(何でも相談できる場所)別に見た、
コロナで困っていること(小5)

<中学2年生>

何でも相談できる場所の利用状況別に、中学2年生のコロナで困っていることを見ると、「昼ご飯などの食事の状況」、「家族とのコミュニケーション」、「学業（学校の授業の進み具合など）の遅れ」、「将来の入試などの状況」、「将来の進路の状況（志望校や職業について）」以外の項目において、「利用したことがある」と回答した子どもが、他の層より割合が高くなっている。

差が大きい項目に着目すると、「自分の感情が不安定になること」、「友人関係」、「生活のリズムの乱れ」の割合について、「利用したことがある」と回答した子どもの方が、「今後も利用したいと思わない」と回答した子どもよりも15ポイント以上高くなっている。

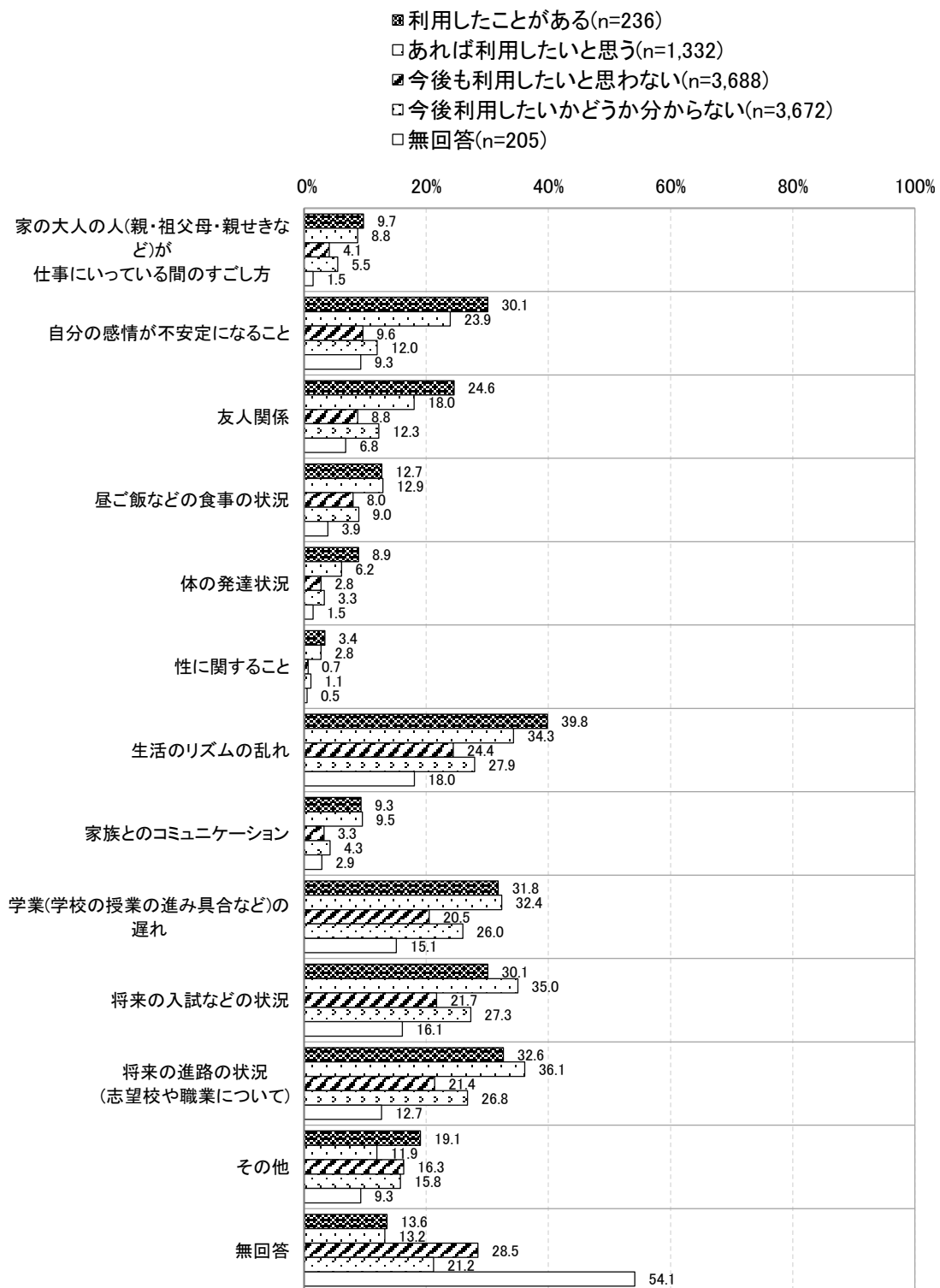


図 2-3-6-4-8 支援の利用状況(何でも相談できる場所)別に見た、コロナで困っていること(中2)

5. 困窮度別に見た、まわりの人との関係

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

子ども票問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きします。（a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした

困窮度別にまわりの人との関係を見ると、「とてもあてはまる」、「まあまああてはまる」の割合は困窮度1群で最も高くなっている。

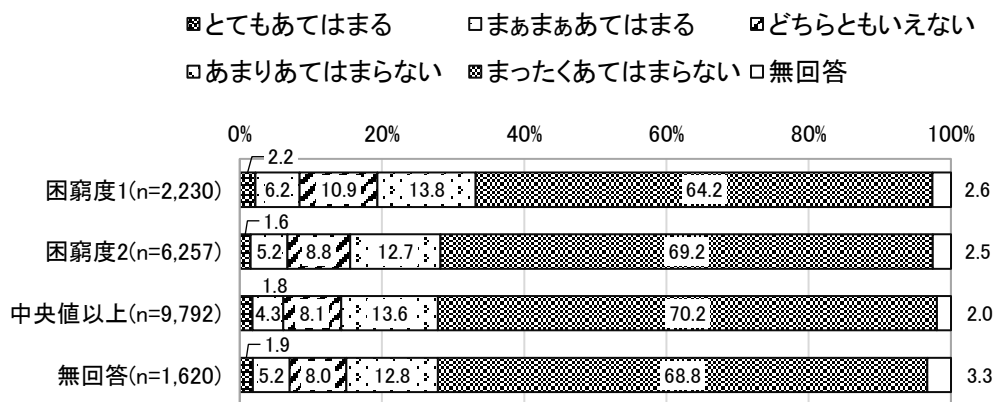


図 2-3-6-5-1 困窮度別に見た、まわりの人との関係
 （新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした）

b) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人（友達や知り合いの大人の人）に伝えたり、相談したりする機会がなくなった

困窮度別にまわりの人との関係を見ると、困窮度が高まるにつれて「とてもあてはまる」、「まあまああてはまる」の割合が高くなっている。

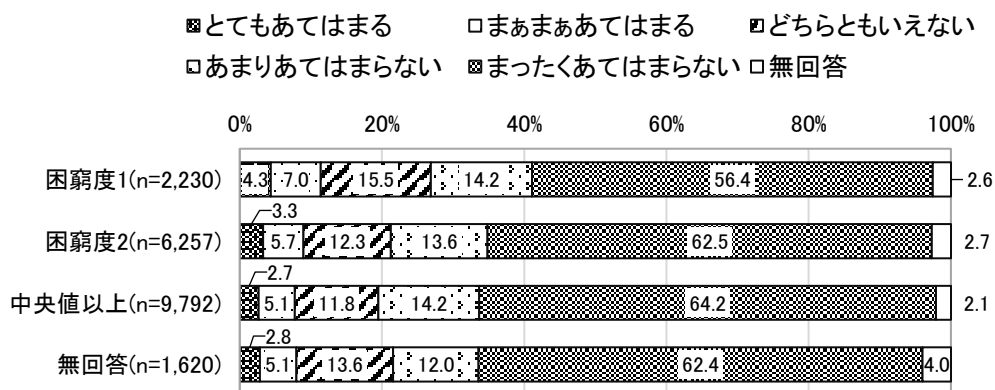


図 2-3-6-5-2 困窮度別に見た、まわりの人との関係

(新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人に伝えたり、相談したりする機会がなくなった)

c) 家族は私の気持ちになって向き合ってくれる

困窮度別にまわりの人との関係を見ると、困窮度が高まるにつれて「とてもあてはまる」の割合が低くなっている。「とてもあてはまる」の割合は、困窮度1群で38.8%、中央値以上群で45.8%であった。

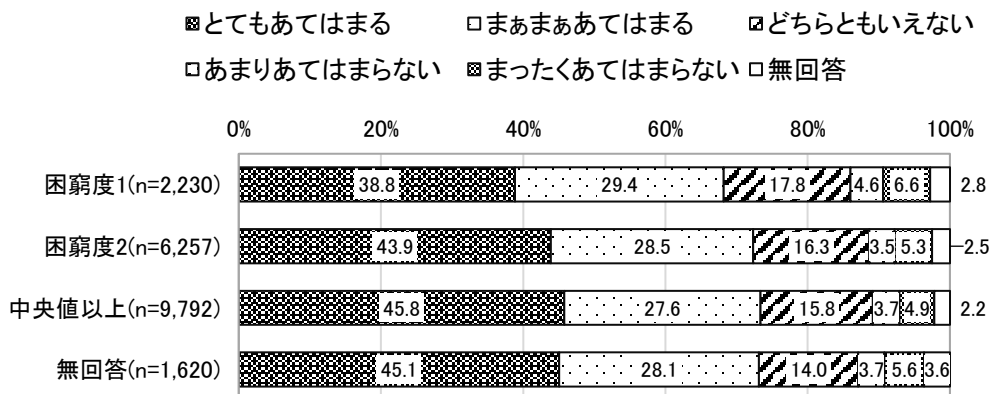


図 2-3-6-5-3 困窮度別に見た、まわりの人との関係
(家族は私の気持ちになって向き合ってくれる)

6. 困窮度別に見た、信頼できる大人・友人

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの
1つに○）

子ども票問 15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思
う人はだれですか。（1～9については、あてはまるものすべてに○）

困窮度別に信頼できる大人・友人を見ると、困窮度が高まるにつれて、「親」、「きょうだい」、「学校の先生」、「学校の友達」の割合が低くなり、「祖父母・親せきなど」、「ネットで知り合った人」、「だれにも相談できない、相談したくない」の割合が高くなっている。

困窮度 1 群と中央値以上群で差が最も大きかった項目は「親」で 7.9 ポイントであった（困窮度 1 群 69.1%、中央値以上群 77.0%）。

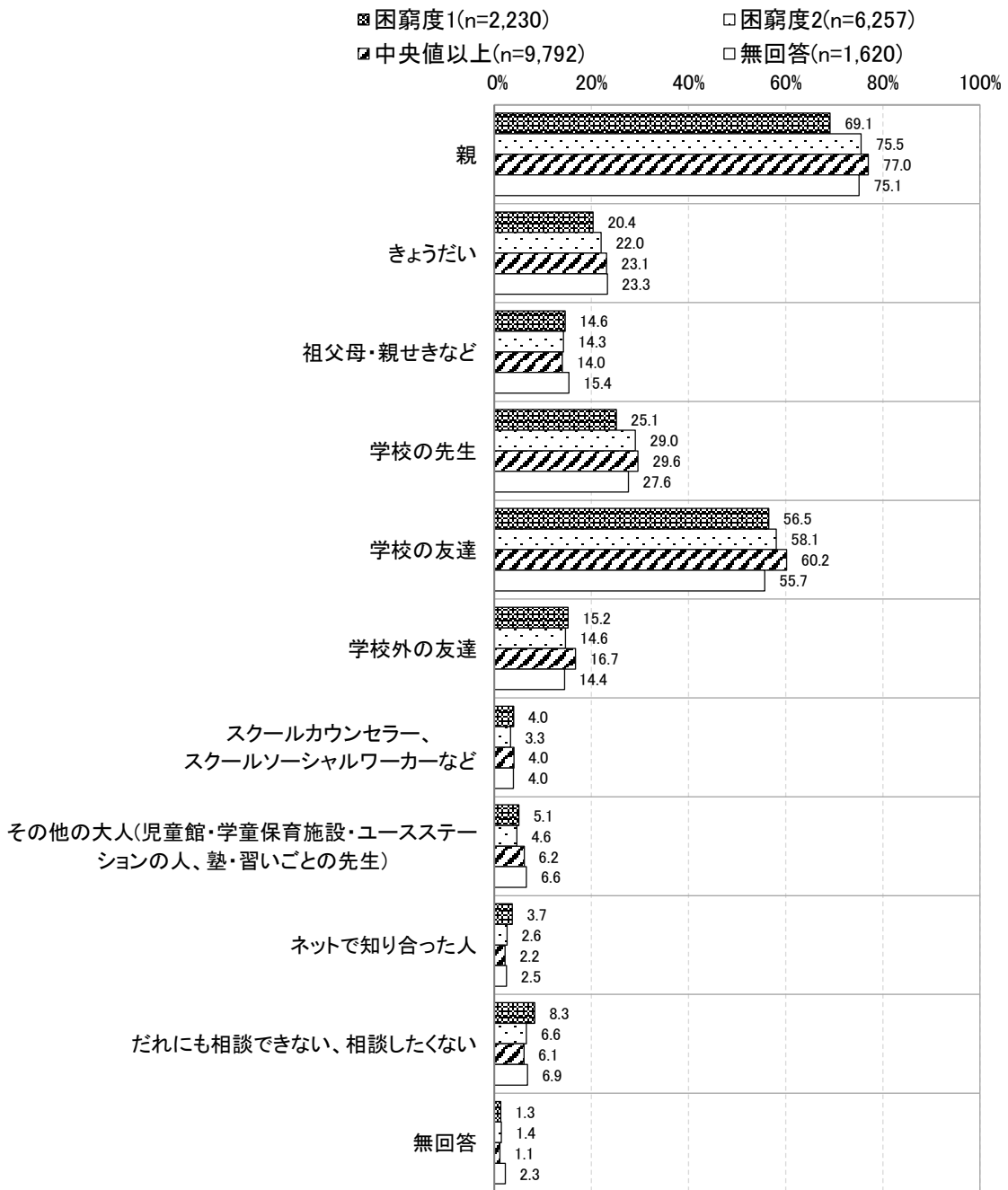


図 2-3-6-6 困窮度別に見た、信頼できる大人・友人

7. 困窮度別に見た、保護者の関わり方

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

困窮度別に保護者の関わり方を見ると、困窮度が高まるにつれて、「どちらかといえば、あてはまらない」、「あてはまらない」の割合が高くなっている。「あてはまる」の割合は、困窮度1群で25.5%、中央値以上群で35.7%であった。

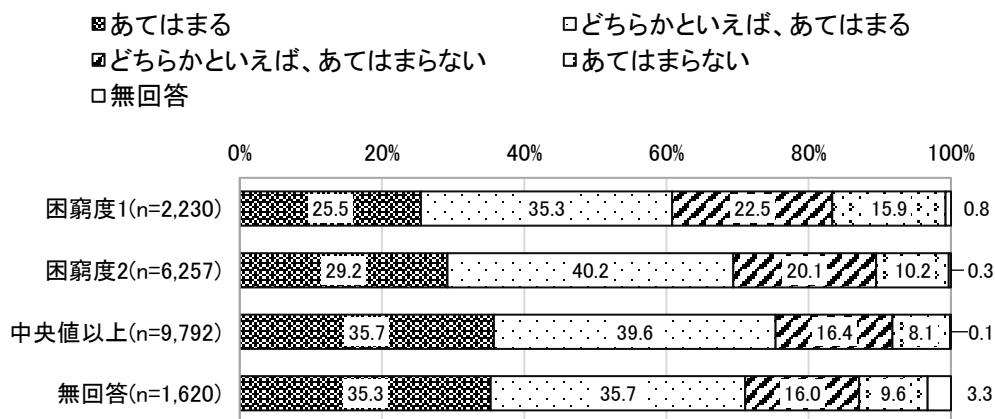


図 2-3-6-7-1 困窮度別に見た、保護者の関わり方

（テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている）

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

困窮度別に保護者の関わり方を見ると、困窮度が高まるにつれて、「どちらかといえば、あてはまらない」、「あてはまらない」の割合が高くなっている。「あてはまる」の割合は、困窮度1群で16.7%、中央値以上群で30.6%であった。

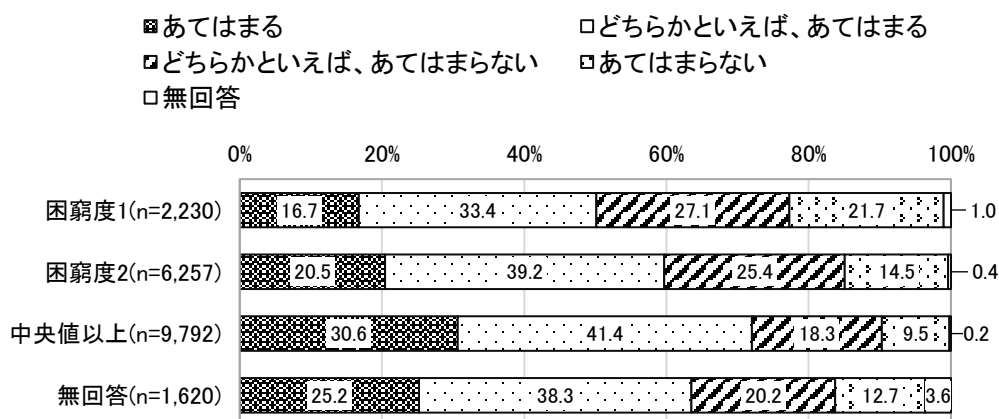


図 2-3-6-7-2 困窮度別に見た、保護者の関わり方
(お子さんに本や新聞を読むように勧めている)

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

困窮度別に保護者の関わり方を見ると、困窮度が高まるにつれて、「どちらかといえば、あてはまらない」、「あてはまらない」の割合が高くなっている。「あてはまる」の割合は、困窮度1群で34.0%、中央値以上群で46.9%であった。

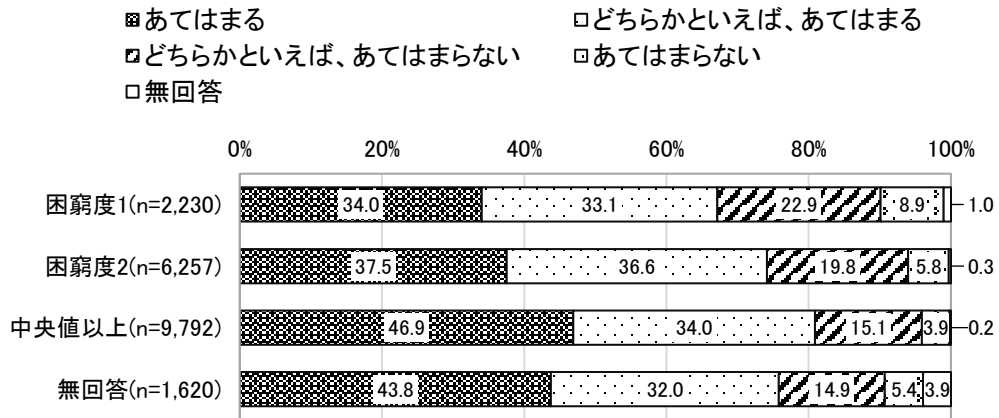


図 2-3-6-7-3 困窮度別に見た、保護者の関わり方
(お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた)

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

困窮度別に保護者の関わり方を見ると、困窮度が高まるにつれて、「どちらかといえば、あてはまらない」、「あてはまらない」の割合が高くなっている。「あてはまる」の割合は、困窮度1群で34.2%、中央値以上群で44.1%であった。

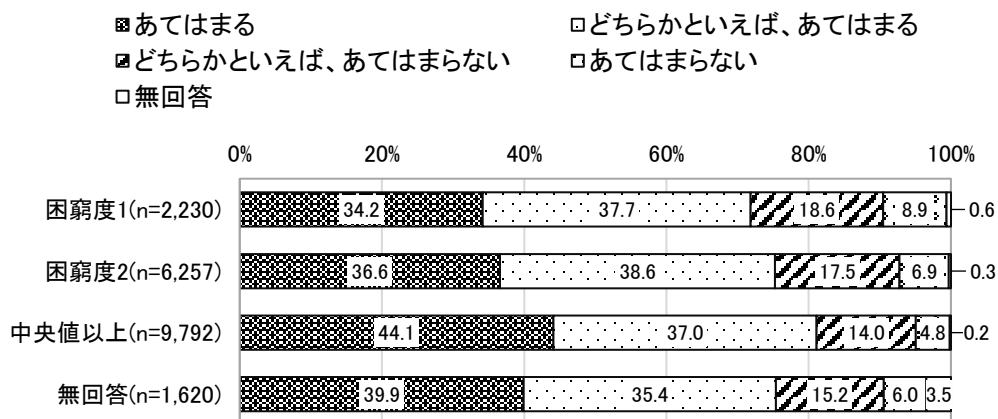


図 2-3-6-7-4 困窮度別に見た、保護者の関わり方
(お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる)

8. 困窮度別に見た、学校行事への参加

保護者票問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 学校行事への参加（授業参観や運動会など）

困窮度別に学校行事への参加を見ると、困窮度が高まるにつれて、「あまり参加していない」、「まったく参加していない」の割合が高くなっている。「よく参加している」の割合は、困窮度1群で67.0%、中央値以上群で79.3%であった。

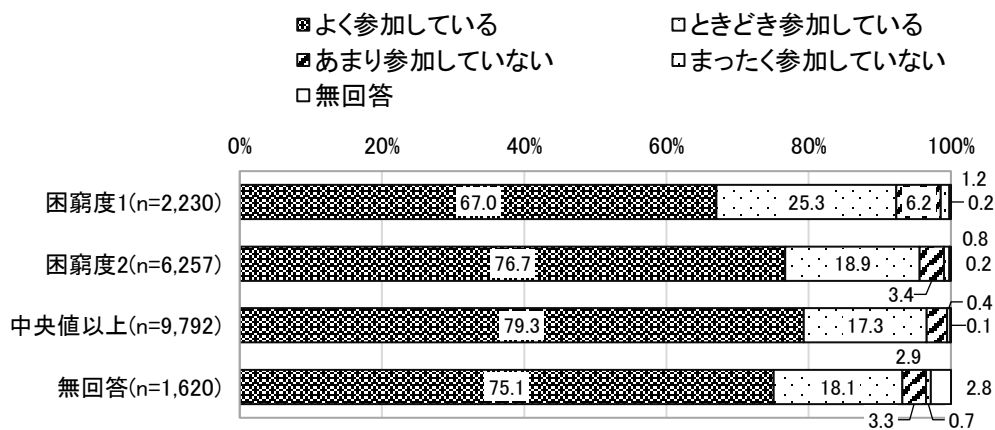


図 2-3-6-8-1 困窮度別に見た、学校行事への参加
(授業参観や運動会など)

b) 子どもに関するボランティアなどへの参加（PTA活動や保護者会、放課後学習支援など）

困窮度別に学校行事への参加を見ると、困窮度が高まるにつれて、「あまり参加していない」、「まったく参加していない」の割合が高くなっている。「よく参加している」の割合は、困窮度1群で15.7%、中央値以上群で21.5%であった。

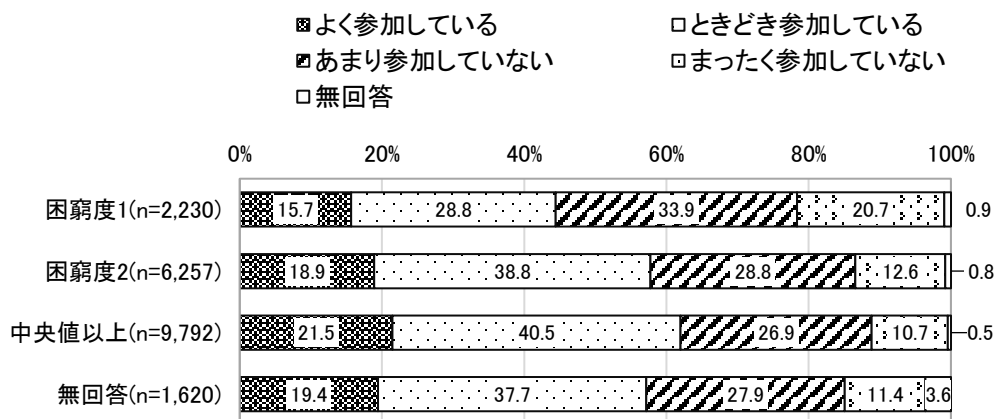


図 2-3-6-8-2 困窮度別に見た、学校行事への参加
(子どもに関するボランティアなどへの参加)

9. 困窮度別に見た、保護者の頼れる相手

保護者票問 20. 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○）

a) 子育てに関する相談 b) 重要な事柄の相談 c) いざという時のお金の援助

困窮度別に保護者の頼れる相手（子育てに関する相談）の有無を見ると、困窮度が高まるにつれて、「いない」、「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっている。「頼れる人がいる」の割合は困窮度1群で92.3%、中央値以上群で96.9%であった。

困窮度別に保護者の頼れる相手（重要な事柄の相談）の有無を見ると、困窮度が高まるにつれて、「いない」、「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっている。「頼れる人がいる」の割合は困窮度1群で88.9%、中央値以上群で96.3%であった。

困窮度別に保護者の頼れる相手（いざという時のお金の援助）の有無を見ると、困窮度が高まるにつれて、「そのことでは人に頼らない」の割合が低くなっている。「頼れる人がいる」の割合は困窮度1群で61.0%、中央値以上群で74.1%であった。

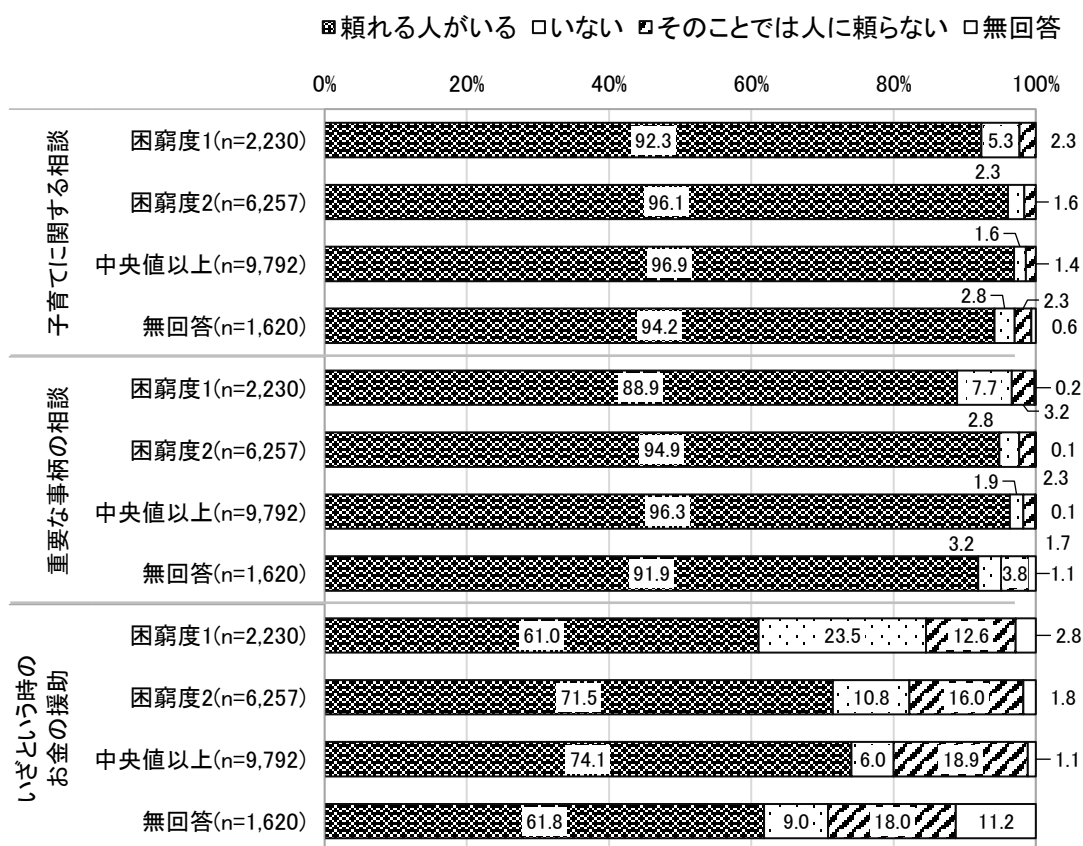


図 2-3-6-9 困窮度別に見た、保護者の頼れる相手

10. 世帯構成別に見た、保護者の頼れる相手

保護者票問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者票問18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

a) 子育てに関する相談 b) 重要な事柄の相談 c) いざという時のお金の援助

世帯構成別に保護者の頼れる相手の有無を見ると、子育てに関する相談について、頼れる人が「いない」と回答した割合は、二人親家庭では1.9%、母子家庭で5.4%、父子家庭で14.0%となっている。

重要な事柄の相談について、頼れる人が「いない」と回答した割合は、二人親家庭で2.2%、母子家庭で7.6%、父子家庭で14.5%となっている。

いざという時のお金の援助について、頼れる人が「いない」と回答した割合は、二人親世帯で8.2%、母子家庭で21.2%、父子家庭で20.7%となっている。

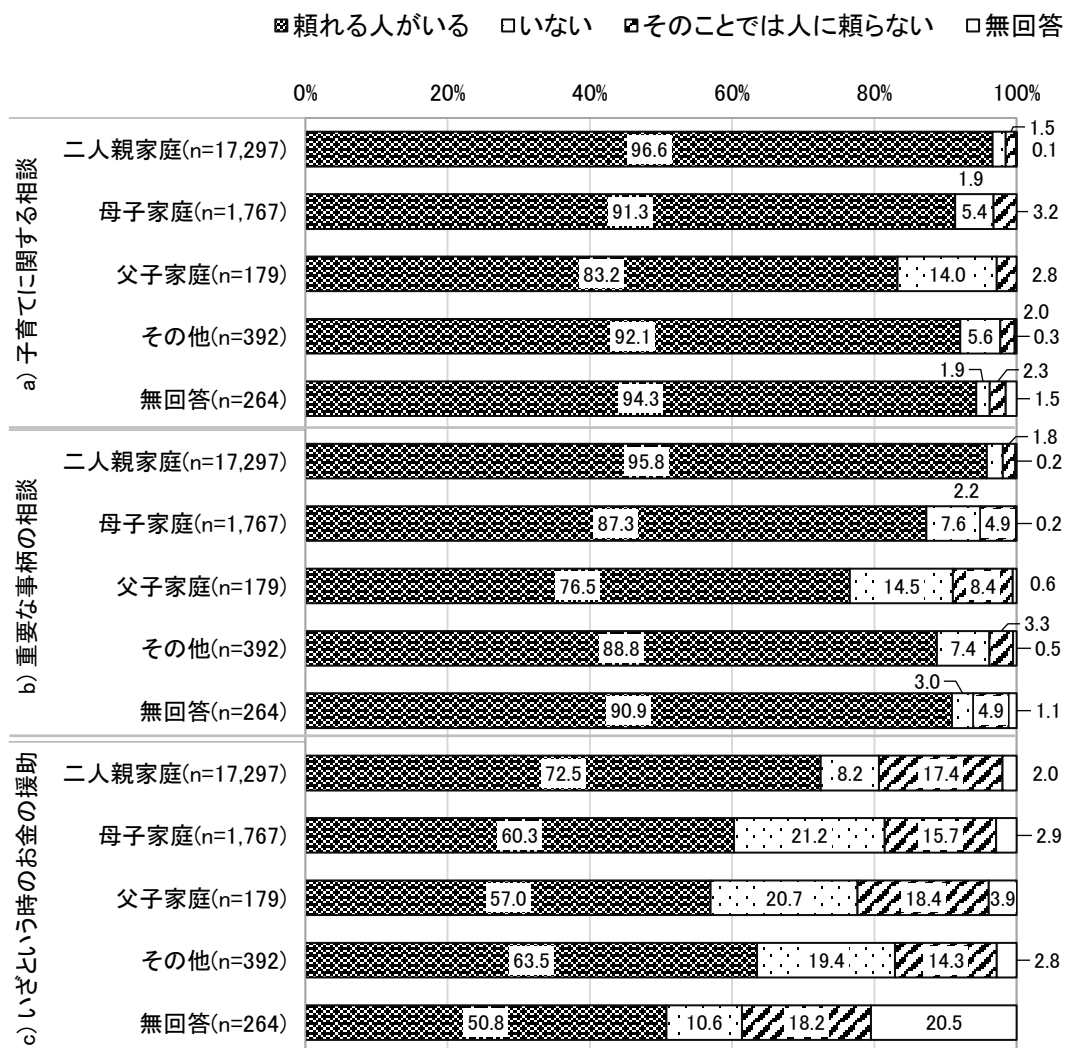


図 2-3-6-10 世帯構成別に見た、保護者の頼れる相手

11. 保護者の頼れる相手の有無別に見た、保護者の関わり方

保護者票問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

a) 子育てに関する相談 b) 重要な事柄の相談 c) いざという時のお金の援助

保護者票問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている。

子育てに関する相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方を見ると、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらとえばあてはまる」)の割合は、頼れる人がいない家庭では57.7%となっており、頼れる人がいる家庭の72.1%より14.4ポイント低くなっている。

重要な事柄の相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方(テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている)を見ると、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらとえばあてはまる」)の割合は、頼れる人がいない家庭では58.6%となっており、頼れる人がいる家庭の72.2%より13.6ポイント低くなっている。

いざという時のお金の援助について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方(テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている)を見ると、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらとえばあてはまる」)の割合は、頼れる人がいない家庭では62.7%となっており、頼れる人がいる家庭の73.0%より10.3ポイント低くなっている。

あてはまる
 どちらかといえば、あてはまらない
 無回答

どちらかといえば、あてはまる
 あてはまらない

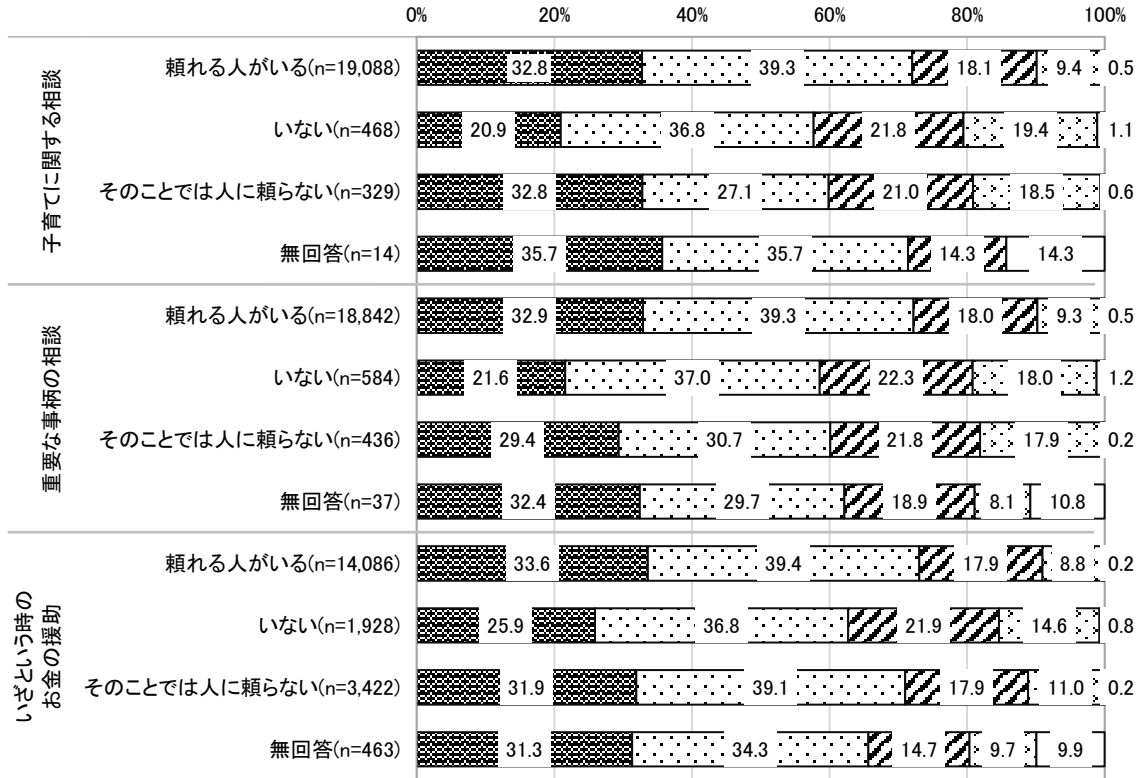


図 2-3-6-11-1 保護者の頼れる相手の有無別に見た、保護者の関わり方
 (テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている)

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

子育てに関する相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 53.2%となっており、頼れる人がいる家庭の 65.4%より 12.2 ポイント低くなっている。

重要な事柄の相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方（お子さんに本や新聞を読むように勧めている）を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 51.6%となっており、頼れる人がいる家庭の 65.6%より 14 ポイント低くなっている。

いざというときのお金の援助について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方（お子さんに本や新聞を読むように勧めている）を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 56.1%となっており、頼れる人がいる家庭の 66.7%より 10.6 ポイント低くなっている。

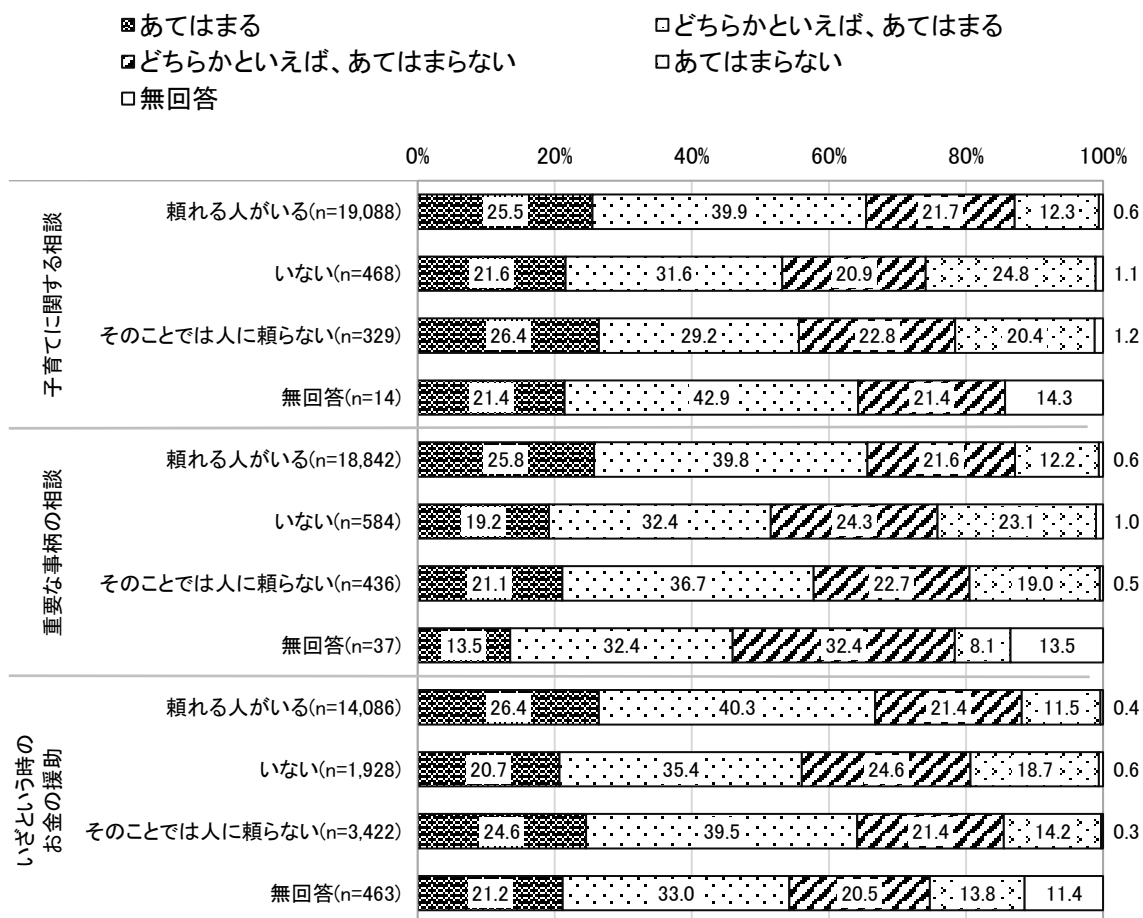


図 2-3-6-11-2 保護者の頼れる相手の有無別に見た、保護者の関わり方（お子さんに本や新聞を読むように勧めている）

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

子育てに関する相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答している割合は、頼れる人がいる家庭では 77.2%、頼れる人がいない家庭ではその割合は 63.5%であり、約 14 ポイント低くなっている。

重要な事柄の相談について、頼れる人の有無別に、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」という関わり方を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答している割合は、頼れる人がいる家庭では 77.3%、頼れる人がいない家庭ではその割合は 67.1%であり、約 10 ポイント低くなっている。

いざというときのお金の援助について、頼れる人の有無別に、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」という関わり方を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答している割合は、頼れる人がいる家庭では 78.3%、頼れる人がいない家庭ではその割合は 69.0%であり、約 10 ポイント低くなっている。

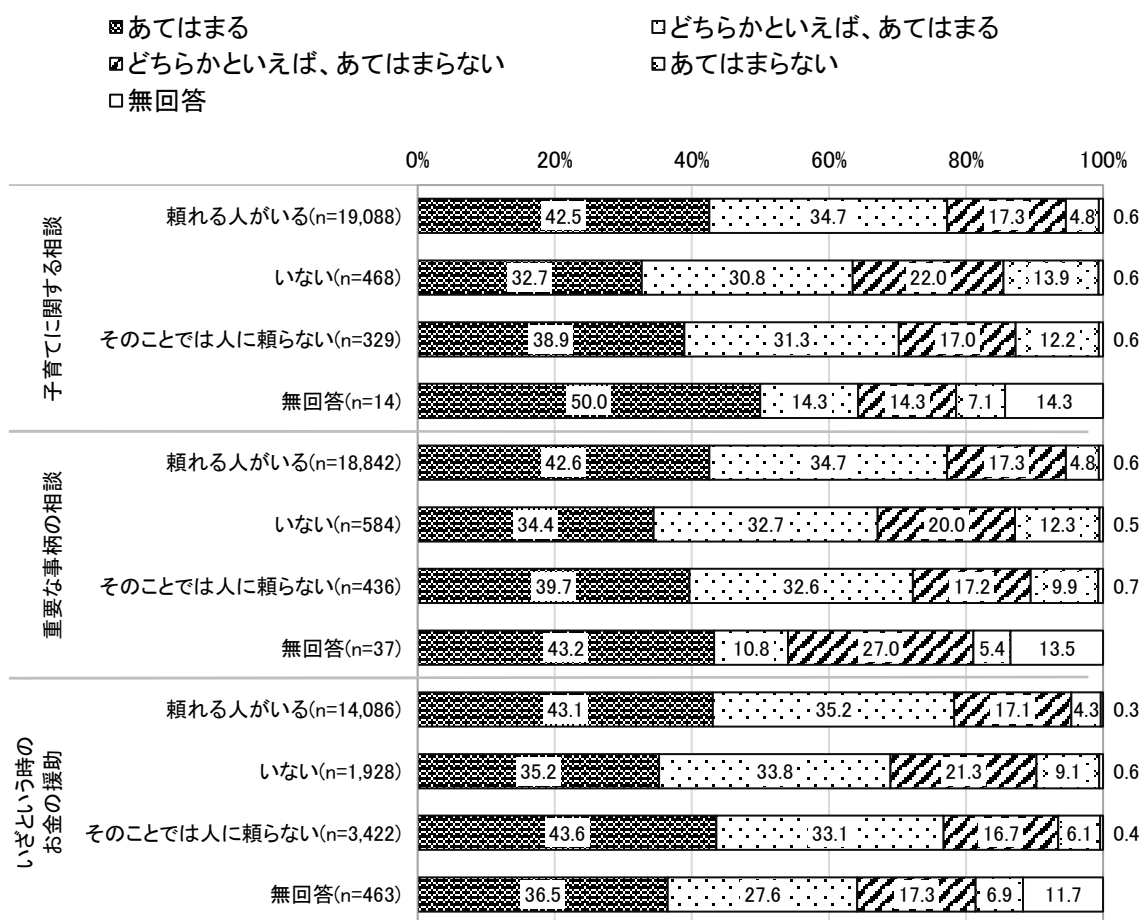


図 2-3-6-11-3 保護者の頼れる相手の有無別に見た、保護者の関わり方
(お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた)

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

子育てに関する相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 58.9%となっており、頼れる人がいる家庭の 78.3%より 19.4 ポイント低くなっている。

重要な事柄の相談について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方（お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる）を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 61.3%となっており、頼れる人がいる家庭の 78.6%より 17.3 ポイント低くなっている。

いざというときのお金の援助について、頼れる人の有無別に、保護者の関わり方（お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる）を見ると、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）の割合は、頼れる人がいない家庭では 69.6%となっており、頼れる人がいる家庭の 79.4%より 9.8 ポイント低くなっている。

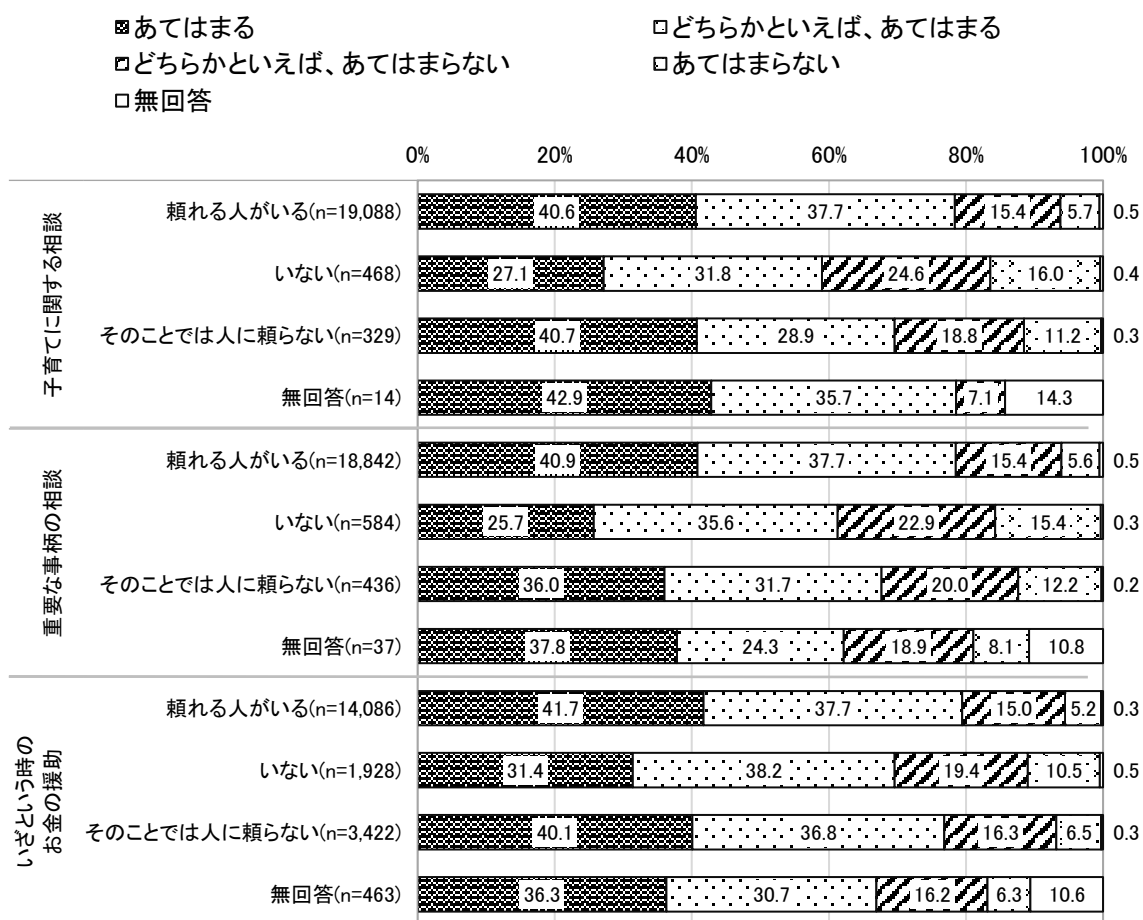


図 2-3-6-11-4 保護者の頼れる相手の有無別に見た、保護者の関わり方
（お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる）

3 課題と方向性

社会一般には、未だに経済的な問題のみに焦点化し、人的資本、社会関係資本の欠如に気づかない場合がある。そのため、本調査の分析にあたっては、チャイルド・ポバティ・アクション・グループ（CPAG：Child Poverty Action Group）が示している、以下の3つの資本の欠如・欠落を基本的な枠組みとして行っている。

- ① 経済的資本の欠如：所得や資産など
- ② ヒューマンキャピタル（人的資本）の欠如：健康や教育など
- ③ ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の欠如：つながりやネットワークなど

本調査では、これらの3つの資本の欠如に関する項目について、特に差が大きいと思われる項目に着目して考察し、後半の「まとめ」においては、他自治体の調査結果とも比較をしながら今後の方向性について検討を行った。

3.1. 経済的資本の欠如

本調査では、世帯収入、世帯の就業状況などの経済的資本の状況と世帯が利用した支援制度について分析をしている。さらに、経済的理由で世帯と子どもの生活上の経験の欠乏が生じている状態について、世帯収入や世帯の雇用の状況と照らし合わせながら考察をする。

<単純集計から>

まず経済的資本の欠如の問題から見ると、神戸市における小学5年生の保護者でも中学2年生の保護者でも、半数程度(小学5年生保護者：46.9%、中学2年生保護者：52.2%)の世帯に滞納・欠乏経験があった。その中で「趣味やレジャーの出費が減った」世帯の割合(28.4%)が最も高く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(26.0%)、「食費を切りつめた」(22.6%)が、それぞれ約2割を超え、特に小学生と比べて中学生がいる家庭でより厳しい状況であることがわかった。主観的な生活状況を見ると、「苦しい」または「大変苦しい」を回答している世帯が2割強を占め(保護者全体：19.9%)、なかでも中学2年生がいる世帯の割合が多い(小学5年生保護者：17.9%、中学2年生保護者：22.3%)。また、母親と父親の就労状況についても大きな違いがあり、母親の就労状況は、非正規が約半数を占め(保護者全体：50.4%)、正規で働く母親は2割強となっている(保護者全体：22.7%)のに対し、父親の就労状況は、正規雇用が約8割(保護者全体：77.1%)、自営業者が約1割となっている。また、母親が就労していない理由として半分以上が「子育てを優先したい」と回答しており、父親が就労していない理由の約半数は「病気や障害」となっている。

利用したことがある支援制度を見ると、最も多く利用されているのは就学援助(保護者全体：18.4%)であり、次いで児童扶養手当(保護者全体：12.8%)である。就学援助については、保護者全体では、8割強(80.3%)の世帯が利用したことがない状況であった。中学生2年生がいる世帯は小学5年生がいる世帯より就学援助を利用したことがない割合が少なくなる(中学生2年生：77.3%、小学5年生：82.9%)。支援制度を利用しなかった世帯(小学5年生と中学2年生)の83.2%は利用しなかった理由について、「制度の対象外(収入等の条件

を満たさない)」だと回答しており、それ以外の選択肢である「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」と回答した人は合計で 1.3%であった。

<クロス集計から>

本調査では、「通常であれば可能な生活」を基準に、経済的理由で生じた具体的な生活上の経験の欠如（滞納・欠乏経験）等と経済的な理由により子どもの持っているものや使うことができるものが制限を受けている状況（子どものはく奪指標）について項目を設定した。クロス集計ではこれらの滞納・欠乏経験と親から見た子どものはく奪指標について困窮度と世帯構成の関係を中心に検証した。親から見た子どものはく奪指標が「どれにも当てはまらない」という回答について、本調査では現在の日本において通常期待されるべき生活水準にあることと定義づける。

まず、困窮度が深刻化するに従い経済的理由からの生活面での困難は増す傾向にある。経済的理由で生じた具体的な生活上の経験の欠如（滞納・欠乏経験）について、最も困窮度の低い中央値以上群で約 6 割（62.8%）が「どれにも当てはまらない」と回答しているのに対して、困窮度 1 群では 14.2%であった。また、親から見た子どものはく奪指標から見ると、中央値以上群で約 8 割（84.7%）が「どれにも当てはまらない」と回答しているのに対して、困窮度 1 群では 34.0%であった。また、「食費を切りつめた」（困窮度 1 群：52.2%、中央値以上群：12.2%）、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」（困窮度 1 群：53.2%、中央値以上群：16.3%）、「友人・知人との外食を控えた」（困窮度 1 群：47.2%、中央値以上群：12.0%）といった困窮の状況を示す回答の割合は、中央値以上群と比較して、困窮度 1 群は相当高くなっており、生活面で大きな格差が存在することが示されている。そして、世帯構成別に見ると、「どれにも当てはまらない」の割合は、二人親家庭では約 5 割（50.1%）と回答しているのに対して、母子家庭では 22.4%、父子家庭では 43.0%となっており、相対的に母子家庭と二人親家庭の格差が最も大きい。

支援制度の利用状況について、「児童扶養手当」、「就学援助」、「生活保護」は、それぞれ困窮度が高まるにつれて、利用率が高くなる傾向がみられるのは当然のことではあるものの、困窮度 1 群について各制度等の現在の利用率に着目すると、「就学援助」72.5%、「児童扶養手当」51.9%、「生活保護」10.6%、「ひとり親家庭支援センター」6.4%、「くらし支援窓口」2.7%と、就学援助と児童扶養手当以外の制度では、低い利用率となっている。母子家庭と父子家庭の児童扶養手当の受給率はそれぞれ 69.0%と 24.0%であった。

就学援助、児童扶養手当、生活保護も含めた各制度については、それぞれに要件がある。本来制度の対象であるにもかかわらず、利用できていないのであれば、捕捉率（制度の対象

となる人の中で、実際にその制度から受給している人がどれくらいいるかを表す数値)を上げる施策が求められる。

困窮度1群について、各制度等を利用しない理由を見ると、「くらし支援窓口」と「ひとり親家庭支援センター」以外の制度では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が、いずれも半数程度を占めている(「就学援助」51.6%、「生活保護」51.1%、「児童扶養手当」50.1%、「ひとり親家庭支援センター」27.8%、「くらし支援窓口」23.5%)。しかし、この中には、本来制度を利用できる世帯が含まれていると考えられるため、制度の認知度を高める施策が求められる。

なお、社会保障給付ではないが、同じくひとり親世帯で養育費を受け取っているのが、母子家庭では37.0%、父子家庭では6.8%であった。

さらに、子どもに関する支援の利用状況について、困窮度1群について各制度の現在の利用率に着目すると、「学童保育・放課後等デイサービスなど」は38.2%であったが、「こども食堂など」7.1%、「勉強を無料でみてる場所」7.0%、「何でも相談できる場所」3.9%は、低い利用率となっている(子ども全体:「学童保育・放課後等デイサービスなど」34.3%、「こども食堂など」4.3%、「勉強を無料でみてる場所」3.9%)。また、学童保育の利用率は、困窮度1群、困窮度2群と中央値以上では、大きな差が見られなかった。

困窮度別に世帯構成を見ると、困窮度が高まるにつれ、「父親」を含む世帯は少なくなる。困窮度1群においては、「父親」を含むと回答した世帯構成は37.1%で中央値以上群と比べて48.7ポイント低く、半分以下である(困窮度1群:37.1%、困窮度2群:80.5%、中央値以上群:85.8%)。これは母子家庭に困窮世帯が多いことを示すため、母子家庭への重点支援を検討すべきである。

子どもの貧困を考える上で、保護者の雇用の問題は大きい。雇用状況について着目すると、父親と母親では大きな差が見られた。父親が正規雇用「正社員・正規職員・会社役員」であるのは、中央値以上群では9割強(91.1%)を占めるのに対して、困窮度1群では26.0%となっている。逆に、困窮度1群では、「自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む)」と非正規雇用(「嘱託・契約社員・派遣職員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」)の合計割合が26.3%となっており、中央値以上群と比べて割合が高い。母親の雇用状況について、中央値以上群では正規雇用が28.9%であるのに対して、困窮度1群では15.7%であった。

また、困窮度が高い群ほど保護者の学歴が低い傾向にある。母親の学歴を見ると、「大学またはそれ以上」は、中央値以上群では41.5%であるのに対して、困窮度1群では11.7%である。父親の学歴を見ると、中央値以上群では「大学またはそれ以上」が62.6%、「中学(中学部)まで」が2.0%であるのに対して、困窮度1群では「大学またはそれ以上」が14.0%、「中学(中学部)まで」が10.9%となっている。

家族のお世話(本来大人がするとされている家事や家族の世話)の有無に着目すると、子どもが家族のお世話をしているのは困窮度1群では36.8%であるのに対して、中央値以上

群では26.9%であった。お世話の頻度が「ほぼ毎日」との回答は、困窮度1群では48.0%、中央値以上群では40.4%であった。平日にお世話をする時間が「30分未満」との回答は、中央値以上群では53.2%であるのに対して、困窮度1群では39.1%であった。このように、困窮度が高い群ほど、頻繁かつ長時間にわたり家族のお世話をしていることがうかがえる。お世話を必要としている家族ごとに見ると、困窮度1群、困窮度2群と中央値以上群の差が最も顕著なのは、お世話を必要としている人が「父親」である割合である（中央値以上群：25.2%、困窮度2群：19.9%、困窮度1群：12.5%）。

経済的理由で生じた具体的な生活上の経験の欠如（滞納・欠乏経験）において上述したように、世帯の経済的資本が欠如していることによって、衣食住などの生活面だけでなく、友人付き合いや子どもの教育など、さまざまな面においてより多くの困難に直面していることが明らかとなっている。また、ひとり親家庭は、経済的な困窮に陥りやすいことがうかがえる。さらに困窮層ほど、家族のお世話にかかる子どもの負担が大きいという実態を捉え、ヤングケアラーに対する支援が求められる。

3.2. ヒューマンキャピタルの欠如

「ヒューマンキャピタル」とは、健康や教育などの人的資本のことをいう。ヒューマンキャピタルの欠如により、自身の能力を労働力に転換する力の欠如、あるいは限られた所得を必要な資源に転換する力が欠如する（山野 2019）。

<単純集計から>

本調査では、保護者のヒューマンキャピタルと子どものヒューマンキャピタルを、生活面と教育面から考察する。

（生活面）

「放課後過ごす人」の項目では、「おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）」の割合は学年間で大きな違いはみられないが、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」は小学5年生で33.6%、中学2年生で26.9%であり、学年間で違いがみられた。こうしたことから、中学2年生は、小学5年生に比べて子どもが家族以外の大人と関わりをもつ機会が少ないと考えられる。部活動等への参加により、地域活動などへの参加が相対的に困難となることが考えられるため、家族以外の身近な大人とどのように子どもをつなげていくのか、特に中学校において重要になると考えられる。

「家族へのお世話の有無」を問う項目で、子どもが家族のお世話を「している」と回答した割合は、小学5年生で30.9%、中学2年生で27.0%であった。お世話を必要としている人としては、「母親」と回答した割合が最も多く、小学5年生で59.7%、中学2年生で63.6%、「きょうだい」が小学5年生で50.6%、中学2年生で43.6%であった。お世話の内容としては、「家事（食事の準備や掃除・洗濯）」が小学5年生で70.3%、中学2年生で78.4%、「外出

の付き添い(買い物、散歩など)」が小学5年生で27.1%、中学2年生で26.3%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」が小学5年生で27.3%、中学2年生で20.3%となっていた。お世話の頻度を見ると、「ほぼ毎日」、「週に3~5日」を合計した割合は、小学5年生で66.7%、中学2年生で66.1%となっており、家族のお世話をしていると答えた子どものうち約7割が週3日以上お世話をしていることがわかった。平日のお世話の時間を見ると、ほとんどが1時間未満の回答であったが、「1時間以上3時間未満」、「3時間以上5時間未満」、「5時間以上7時間未満」、「7時間以上」を合計した割合は、小学5年生で17.8%、中学2年生で19.0%となっており、家族のお世話をしていると答えた子どものうち約2割が平日に1時間以上お世話をしていることがわかった。

(教育面)

平日の1日あたりの勉強時間では、「(学校の授業以外では)まったくしない」の回答が小学5年生で2.9%、中学2年生で7.6%であった。中学2年生では、部活動などの影響も考えられるが、平日にまったく勉強をしない割合が小学5年生よりも高くなることがわかった。

保護者の学校行事への参加については、PTA活動や保護者会などについては学年間で大きな違いはみられなかったが、授業参観や運動会などでは、「よく参加している」が小学5年生の保護者で83.3%、中学2年生の保護者で69.1%であった。中学2年生の保護者は、小学5年生の保護者に比べて学校行事への参加がやや少なくなっている。

子どもの進学希望では、「大学またはそれ以上」が小学5年生で40.0%、中学2年生で49.6%と、中学2年生は、小学5年生に比べて高等教育以上の進路を希望する子どもが多いことがわかった。進学希望の理由については、「希望する学校や職業があるから」が小学5年生で53.2%、中学2年生で51.5%、「親がそう言っているから」が小学5年生で13.8%、中学2年生で21.5%であった。こうした結果から、中学2年生は、小学5年生に比べて親が言う進路を希望する子どもが多いことがわかった。

<クロス集計から>

子どものヒューマンキャピタルを構築していく場として家庭と学校がある。本調査では、ヒューマンキャピタルの形成状況を見るため、健康面と教育面に着目して考察する。

(健康面)

子どもの食事の頻度では、困窮度が高まるにつれ、朝食、夕食、学校休業中の昼食いずれの区分でも「毎日食べる(週7日)」と答えた割合が低くなっていた。中でも最も差が生じていたのは朝食であった。困窮度I群では67.8%であったが、中央値以上群は86.2%であった。子どもの就寝時間の規則性では、困窮度1群では「そうではない(ふだん(月曜日~金曜日)ほぼ同じ時間に寝ていない。)」と回答した人は13.1%であったが、中央値以上群では7.5%と約1.7倍となっていた。

子どもの健康状態について、自覚症状のある内容として「とくに気になることはない」の回答は、困窮度1群は33.1%となっており、65.0%は何らかの自覚症状があると回答をしていた。「とくに気になることはない」の回答は、困窮度2群38.0%、中央値以上群は40.3%であった。困窮度1群の自覚症状は、割合が高い順に「やる気が起きない」29.1%、「イライラする」24.2%、「よくおなかがいたくなる」21.5%、「まわりが気になる」20.6%、「不安な気持ちになる」19.6%となっており、困窮度2群や中央値以上群よりも高い傾向が見られた。子どもの遅刻の状況と子どもの自覚症状のある健康状態の数を見ると、自覚症状のある健康状態の数が「2個以下」の割合は、「遅刻はしない」子どもでは74.6%であるのに対して、「毎日遅刻している」子どもでは50.6%となっていた。

子どもの心理状態を困窮度別に見ると、「抑うつ傾向あり」の割合について、困窮度1群は21.4%であるのに対して、困窮度2群は17.5%、中央値以上群は16.2%であった。さらに、親から見た子どものはく奪指標の該当数別に子どもの心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「0個該当」では16.1%と最も低いのに対して、「4個以上」では24.4%と最も高くなっており、親から見た子どものはく奪指標の該当数が多いほど、子どもの「抑うつ傾向あり」の割合が高くなっていった。

所得の状況だけではなく、家族構成や家族の状況も、子どもの心理状態へ影響をもたらしている。子どもの心理状態を世帯構成別で見ると、「抑うつ傾向なし」の割合は、二人親家庭では75.0%と高いのに対して、ひとり親家庭（母子家庭と父子家庭）ではいずれも7割未満（母子家庭：68.4%、父子家庭：68.2%）であった。家族のお世話をしている子どもについて、平日のお世話の時間別に心理状態を見ると、「抑うつ傾向あり」の割合は、「7時間以上」お世話をしている子どもでは26.7%と最も高く、「30分未満」の子どもでは15.7%と最も低くなっていった。本調査では、お世話の時間が長いほど、子どもの心理状態で「抑うつ傾向あり」の割合が高くなっている傾向が見られた。濱島（2021）は、経済的困難を抱える世帯やひとり親家庭のように、元々生活基盤に不安定さを抱えている家庭においては、そのしわ寄せは子ども達に行き、ヤングケアラーとして家族のケアを担わざるを得ない状況が生じることを指摘しているが、本調査においても同様の傾向が明らかとなっている。

困窮度別に保護者の精神状態（K6）を見ると（K6については、「1.10 変数の説明」を参照）、「うつ・不安障害相当」に該当したのは、困窮度1群において22.2%であるのに対して、中央値以上群は5.9%となっている。世帯構成別に見ると、「うつ・不安障害相当」に該当する二人親家庭の割合が8.1%であるのに対して、母子家庭21.1%（二人親家庭の約2.6倍）と父子家庭15.1%（二人親家庭の約1.9倍）となっている。小塩（2021）は健康と貧困は相互に影響しあう関係にあると指摘しているが、困窮度1群とひとり親家庭においては、保護者の精神状態について「うつ・不安障害相当」に該当する割合が高かった。

(教育面)

子どもの学習環境を困窮度別に見ると、困窮度が高まるにつれて「自分で勉強する」、「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」と回答する割合が低くなっている。「塾で勉強する」は、中央値以上群が 57.3%、困窮度 1 群が 31.7%と 25.6 ポイントの差が生じていた。学校がない日の子どもの学習習慣を見ると、困窮度が高まるにつれて「まったくしない」と回答する割合が高くなり、困窮度 1 群では 25.7%であった。所得は学習環境、学習習慣にも影響を及ぼしていると考えられる。

子どもの遅刻の状況では「遅刻はしない」の回答が、困窮度 1 群は 83.3%、中央値以上群では 94.0%であり、中央値以上群が 10.7 ポイント高い結果であった。通学状況では、「ほぼ毎日通っている」と回答した割合は、困窮度 1 群では 86.6%、中央値以上群では 94.7%と困窮度 1 群が 8.1 ポイント低い結果であった。世帯構成別に見ると、二人親家庭では「ほぼ毎日通っている」の割合が 93.5%と最も高く、次いで父子家庭では 90.5%、母子家庭では 86.2%となっていた。

授業の理解度の状況を困窮度別に見ると、「いつもわかる」と回答した割合は、困窮度 1 群が 6.5%で、中央値以上群では 20.1%であった。遅刻の状況別に見た場合、遅刻を「毎日(する)」と答えた子どもでは、「いつもわかる」「だいたいわかる」の合計が 25.9%で、遅刻をしない子ども (57.1%) に比べて低い傾向が見られた。世帯構成別に見ると、「いつもわかる」「だいたいわかる」の合計は、母子家庭では 38.7%、父子家庭では 32.4%と 4 割を下回っている。親の精神状態別に見ると、保護者が「うつ・不安障害相当」に該当する家庭では、「いつもわかる」「だいたいわかる」の合計は 44.0%となっており、保護者の精神状態が悪いほど、授業の理解度が低くなっている。しかしながら、授業についていけなくなった時期は困窮度別で差が見られなかった。困窮度に関わらず、小学 5 年生では「小学 4 年生のころ」の回答が最も多く、中学 2 年生では「中学 1 年生のころ」の回答が最も多い結果であった。

子どもの進学希望を困窮度別に見ると、「大学またはそれ以上」と回答する割合は、困窮度 1 群では 26.9%であり、中央値以上群の 54.5%の概ね半分であった。子どもの進学希望(理由)を困窮度別に見ると、「家にお金がないと思うから」と回答する割合は、困窮度 1 群では 6.9%、中央値以上群では 1.0%であった。また、「早く働く必要があるから」と回答する割合は、困窮度 1 群では 6.9%、中央値以上群 2.9%の約 2.4 倍であった。また、保護者側の進学の見通しを困窮度別に見ると、困窮度が高まるにつれて、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答が高くなっており、困窮度 1 群では 16.8%、中央値以上群 5.9%の約 2.8 倍となっていた。親子間の進学見通しのギャップについては、子どもが高校以上まで進学してほしいと考える家庭では親と子どもの進学希望が一致していることが多い傾向が見られた。他方で、子どもの進学を中学までと考える家庭では、親の進学の見通しと子どもの進学希望との間に親子間のギャップが生じていた。

本調査では、所得の状況は、授業の理解度と相関関係にあり、将来の学力の格差につながる可能性がある。また、通学状況や遅刻などの学校生活、将来の進学希望とも相関関係が見られた。阿部（2015）は、教育は子どもの貧困政策の大きな柱の一つであり、子どもの可能性を広げる未来への投資であり、貧困の連鎖を断つ希望であると指摘している。将来にわたる子どものキャリア形成の面からも子どもの教育支援を行う必要がある。

3.3. ソーシャルキャピタルの欠如

「ソーシャルキャピタル」とは、つながりやネットワークなど社会関係資本のことをいう。その欠如により、近隣や友人との関係性、信頼できるコミュニティが欠如し、社会的孤立の問題を生じさせる。インフォーマルなネットワークを持っていることは、貧困問題の深刻化の予防に繋がると考えられる。

<単純集計から>

保護者にとって頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」、「重要な事柄の相談」ではどちらも9割以上が「いる」と回答した（「子育てに関する相談」は、小学5年生の保護者で96.3%、中学2年生の保護者で95.6%、「重要な事柄の相談」は、小学5年生の保護者で95.3%、中学2年生の保護者で94.0%）。また、「いざという時のお金の援助」では、約7割の保護者が「いる」と回答した（小学5年生の保護者で71.9%、中学2年生の保護者で69.5%）。こうしたことから、ほとんどの保護者が周りに相談できる人がいるといえる。

子どもに聞いた「信頼できる大人・友人」では、「親」が小学5年生で82.8%、中学2年生で66.9%、「学校の先生」が小学5年生で32.4%、中学2年生で24.4%、「学校の友達」が小学5年生で53.2%、中学2年生で65.4%であった。中学2年生は、小学5年生に比べて信頼できる人として、身近な大人ではなく、友人を挙げる割合が高い。さらに、「ネットで知り合った人」が小学5年生で0.8%、中学2年生で4.5%、「だれにも相談できない、相談したくない」が小学5年生で6.2%、中学2年生で10.0%となっていた。こうしたことから、小学生と比べて中学生では、ネットで知り合った人などにも信頼できる大人・友人ができていく。そして、だれにも相談したくない割合も増加していることから、中学校の子どもでは、小学校以上に、親や教員など身近な大人が、いかに相談事などを把握していけるかが重要になっていくと考えられる。

支援の利用状況（こども食堂、勉強を無料でみてくれる場所）について、「利用したことがある」、「あれば利用したいと思う」を合計した割合が、こども食堂では小学5年生では27.2%、中学2年生では26.6%あったが、勉強を無料でみてくれる場所では小学5年生では34.7%、中学2年生では39.6%となっていた。こうしたことから、支援してくれる場所については、勉強を無料でみてくれる場所のニーズが相対的に高く、中でも中学2年生では、小学5年生に比べてそのニーズが高いことがわかった。

子どもが新型コロナウイルス感染症の影響で困っていることについて、「自分の感情が不安定になること」は小学5年生で11.8%、中学2年生で13.3%、「生活のリズムの乱れ」は小学5年生で19.7%、中学2年生で27.4%、「学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ」は小学5年生で14.6%、中学2年生で24.5%、「将来の入試などの状況」は小学5年生で7.9%、中学2年生で25.9%となっており、小学5年生に比べて中学2年生で各項目の回答の割合が高くなっていた。学習面や進路に関して、小学5年生に比べて中学2年生で新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、何らかの支援が必要である。

保護者の新型コロナウイルス感染症の仕事への影響と負担に関する質問では、コロナ禍での仕事の変化について「まあまあ負担に感じた」、「とても負担に感じた」を合計した割合が、小学5年生の保護者では56.3%、中学2年生の保護者では60.8%となっており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、半数以上の保護者が仕事の変化に負担を感じていた。こうしたことから、子どもだけでなく保護者についても新型コロナウイルス感染症は大きな影響を与えており、家庭を含めた子ども支援が重要となってくるといえる。

<クロス集計から>

本調査では、子どものソーシャルキャピタルとして、放課後に過ごす場所や一緒に過ごす人、困っていること、まわりの人との関係、信頼できる大人・友人に関する設問を用いて測定した。また、保護者のソーシャルキャピタルとして、子どもとの関わり方、学校行事への参加、頼れる相手に関する設問を用いて測定した。

以下には、中央値以上群と困窮度1群間で差が大きい項目に着目しながら、子どもと保護者のソーシャルキャピタルについて考察する。

(子どものソーシャルキャピタル)

中学2年生の部活動等の状況について、「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動」に参加していない子どもは、困窮度1群では16.1%、中央値以上群7.0%の2.3倍になっている。

放課後過ごす場所について、「塾」、「習いごと」と回答した子どもは、困窮度1群ではいずれも22.4%で、中央値以上群の44.0%、42.0%の概ね半分になっている。一方、全体の割合が小さいものの、「コンビニエンスストア」と回答した子どもは、困窮度1群は5.8%で、中央値以上群2.9%の2倍になっている。また、放課後に一緒に過ごしている人物について、「おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)」と回答した子どもは、困窮度1では21.3%であり、中央値以上群35.8%の約0.6倍となっている。「学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)」と回答した子どもは、困窮度1群では7.2%で、中央値以上群11.9%の約0.6倍になっている。

このように、困窮層の子どもほど、部活動や、家族以外の様々な大人やともだちとの交流が少なくなっており、ソーシャルキャピタルが獲得しにくくなっていると考えられる。

コロナ禍で困っていることについて、「友人関係」に困っている子どもは、小学5年生の困窮度1群は15.7%で、中央値以上群12.0%の約1.3倍になっている。「家族とのコミュニケーション」に困っている子どもは、小学5年生の困窮度1群は5.4%で、中央値以上群3.8%の約1.4倍になっている。同項目について、ソーシャルキャピタルの観点では、中学2年生には大きな差は見られなかった。

まわりの人との関係について、「家族との仲がぎくしゃくした」と思う子どもは、困窮度1群は8.4%で、中央値以上群6.1%の約1.4倍になっている。「自分の悩みや気持ちを、家族以外の人(友達や知り合いの大人の人)に伝えたり、相談したりする機会がなくなった」と思う子どもは、困窮度1群は11.3%で、中央値以上群7.8%の約1.4倍になっている。「家族は私の気持ちになって向き合ってくれる」と思わない子どもは、困窮度1群は11.2%で、中央値以上群8.6%の約1.3倍になっている。

信頼できる大人・友人(困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人)について、「親」に相談できると思う子どもは、困窮度1群は69.1%であり、中央値以上群では77.0%、「学校の先生」に相談できると思う子どもは、困窮度1群では25.1%、中央値以上群では29.6%、「学校の友達」に相談できると思う子どもは、困窮度1群では56.5%であり、中央値以上群では60.2%となっており、いずれも困窮度1群のほうが低くなっている。

このように、困窮層の子どもほど、家族との関係がうまくいかない傾向にあり、まわりの大人・友人に相談できると思えず、孤立に陥るリスクが高くなると考えられる。

(保護者のソーシャルキャピタル)

保護者と子どもの関わり方について、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」ことに対して、「あてはまる」と回答した割合は、困窮度1群は25.5%で、中央値以上群35.7%の約0.7倍となっている。「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」ことに対して、「あてはまる」と回答した割合は、困窮度1群は16.7%で、中央値以上群30.6%の約0.5倍となっている。「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」ことに対して、「あてはまる」と回答した割合は、困窮度1群は34.0%で、中央値以上群46.9%の約0.7倍となっている。「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」ことに対して、「あてはまる」と回答した割合は、困窮度1群は34.2%で、中央値以上群44.1%の約0.8倍となっている。このように、困窮層の家庭ほど、保護者の子どもとの関わりが少なくなっている。

授業参観や運動会などに「よく参加している」と回答した保護者は、困窮度1群は67.0%で、中央値以上群79.3%の約0.8倍となっている。PTA活動や保護者会、放課後学習支援などに「よく参加している」と回答した保護者は、困窮度1群は15.7%で、中央値以上群21.5%の約0.7倍となっている。

保護者の頼れる相手を困窮度別に見ると、「子育てに関する相談」について頼れる人がいない家庭は、困窮度1群は5.3%で、中央値以上群1.6%の約3.3倍となっている。「重要な

事柄の相談」について頼れる人がいない家庭は、困窮度1群は7.7%で、中央値以上群1.9%の約4.1倍となっている。「いざという時のお金の援助」について頼れる人がいない家庭は、困窮度1群は23.5%で、中央値以上群6.0%の約3.9倍となっている。

保護者の頼れる相手を世帯構成別に見ると、「子育てに関する相談」について頼れる人がいない家庭は、二人親家庭では1.9%であり、母子家庭では5.4%、父子家庭では14.0%となっている。「重要な事柄の相談」について頼れる人がいない家庭は、二人親家庭では2.2%であり、母子家庭では7.6%、父子家庭では14.5%となっている。「いざという時のお金の援助」について頼れる人がいない家庭は、二人親家庭では8.2%であり、母子家庭では21.2%、父子家庭では20.7%となっている。

このように、困窮層の家庭では保護者の社会参加の頻度が低く、困っているときに頼れる人がいない割合が高くなることや、困窮層では、他の層と比べて、ソーシャルサポートを得にくい環境にあることがうかがえる。

一方、「子育てに関する相談」、「重要な事柄の相談」、「いざという時のお金の援助」について、頼れる人がいる家庭では、いない家庭と比べ、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」といった子どもとの関わりが増えている傾向がみられた。このように、まわりのサポートが、保護者の子どもに対する関わりによい影響を与えていると考えられる。

上述したように、厳しい経済状況やひとり親などの家庭状況にいる子どもと保護者は、孤立に陥りやすい状況にある。また、まわりのサポートは重要な役割を果たしていることもうかがえる。

3.4. まとめ

1) 他自治体調査との比較

大阪府内の自治体で合同実施し、回収数99,809件(回収率62.3%)のデータ収集と分析を行った「大阪府子どもの生活実態調査」(2017)(以下、「大阪調査」という)や内閣府で行った回収数5,430件(回収率54.3%)の「令和3年子供の生活状況調査の分析 報告書」(2021)(以下、「全国調査」という)、厚生労働科学特別研究として項目を同じくして収入ごとに分析を行った回収数3,614件の「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究」(2021)(以下、「コロナ禍における子どもへの影響調査」という)などを視野に検討を行う。これらを取り上げた理由は以下の通りである。

大阪調査は、サンプル数が自治体が行った調査の中で最も多いことや、神戸市と同じ関西圏であり経済や生活状況が似通っていると考えられる。また、全国調査とコロナ禍における子どもへの影響調査については、全国規模で実施していること、コロナの影響を受けた現実

をとらえていることから比較を行った。ただし、全国調査は中学2年生のみの調査・報告であることを断っておく。

大阪調査を行った平成28年当時には多かった無回答が減少している点は、子どもの貧困や調査の認知度が高まり市民の協力姿勢が高まっているものととらえられる。以下、3つのキャピタルに沿って記述する。

<経済的資本の側面>

まず経済的資本の側面を検討する。等価世帯収入の中央値やその50%は、ほぼ全国調査の数値に近い状況（中央値：神戸市325.00万円、全国317.54万円、中央値の50%：神戸市162.50万円、全国158.77万円）であったため、経済的な状況はほぼ全国数値に近い。その実態をどのようにとらえているか、「苦しい」「大変苦しい」と回答した人は、中央値以上群において、神戸市：7%、全国：9%であり、困窮度1群においては、神戸市：59.1%、全国：57.1%と、占める割合の差は神戸市約8.4倍、全国約6.3倍と、神戸市の方がより大きい結果となった（大阪調査では、同じ質問ではなく、単純に比較できないが、赤字であるかどうかの質問において、困窮度1群は54.3%で、中央値以上群12.1%の約4.5倍であった）。主観的な暮らし向きに格差が激しいといえ、この格差は生活全般に影響するものと考えられる。

この経済状況のなかで、制度利用状況、つまり就学援助などの支援が届いているかどうかという点、神戸市は全国より「利用していない」割合がやや高くなっている。最も身近で手続き的にも受給しやすい就学援助に関して、「利用した/受けたことがない」と回答した人が、神戸市80.3%、全国78.4%であった。（大阪調査では、無回答が多かったため一概に比較できないが、49.1%であった。）生活保護なども同様の傾向がある。困窮度別に見ると、大阪調査において困窮度1群で「就学援助を受けたことがない」の割合が、14.6%もあったことが問題になったが、神戸市は20.7%、全国調査は34.8%であった。各自治体により異なる収入制限がある就学援助であるが、困窮度1群であれば、どの自治体においても確実に受けられる値である。しかし、前述の人々が受給に至っていないことを表す。子どもの貧困対策を検討するのであれば、まずはこの数値を0にする必要がある。地域の困窮状況による違いや大阪の無回答の多さ、大阪調査時は等価可処分所得で測っていたこともあり、単純には比較はできないが、制度の浸透や市民意識への働きかけ、誰もが当たり前自身のことを話せる、困ったときに助けを求められる、受給できる権利ととらえるような権利教育などに課題があるととらえるべきであろう。つまり申請に至らない理由に、恥ずかしいことという認識が根強い。また2020年度の「コロナ禍による子どもへの影響調査」においても全国自治体調査の結果から、コロナ対応に追われるがゆえに、またコロナ禍における訪問の難しさゆえに、せつかくの支援策を必要な家庭に丁寧に届けることができず、経済的に厳しい世帯の申請に至っていないことが明らかになっている。制度上のよい変化としては、養育費について、困窮度1群では、「受けている」が、大阪では養育費確保施策の作成途上だったこともあり、

6.6%であったものが、神戸市 31.8%、全国調査 30.1%、という変化が見られる。それでも決して高くはないため、引き続き注目し、制度の周知徹底や届ける工夫に努める必要がある。

<ヒューマンキャピタルの側面>

同じくヒューマンキャピタルの側面においても、他の調査結果と同様に、困窮度が高まるにつれて、保護者の健康や子どもの学校における生活に影響を与えている。

例えば、遅刻について、何らかの遅刻をしている子どもが、神戸市調査では、困窮度1群が 15.1%で、中央値以上群 5.2%の約 2.9 倍になる。大阪調査においては、困窮度1群は 16.9%で、中央値以上群 8.6%と約 2 倍になっていた。遅刻の割合自体は神戸市の方が少ないものの、困窮度1群と中央値以上群との比較では、神戸市の方が差が大きい傾向であった。また、授業の理解度について、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の合計割合を見ると、神戸市では困窮度1群は 18.5%で、中央値以上群 5.2%の 3 倍以上であり、全国調査では、困窮度1群は 24%で、中央値以上 7.3%の、同じく 3 倍以上であった（大阪調査は、聞き方が少し違うため記載しない）。同じように世帯構成で比べると、神戸市では二人親家庭で 7.8%、母子家庭で 17.1%、父子家庭で 19.6%と「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の回答割合が高くなる。全国もほぼ同様の傾向であった。成績について、「下の方」と答える子どもが、困窮度1群は 30.2%で、中央値以上群 11.8%の約 2.6 倍になる。子どもにとって「学業の遅れ」は、コロナ禍の中で非常に気になる課題であることがすでに明らかになっているが（山野ほか 2021）、塾で教えてもらうこと（中央値以上が 57.3%、困窮度1が 31.7%）や、家の人に教えてもらうこと（中央値以上が 44.6%、困窮度1が 33.0%）の機会が、困窮度が高まるにつれて少なくなることが明らかになった。

<ソーシャルキャピタルの側面>

次にソーシャルキャピタルに関連する点について見ていくと、大阪調査や全国調査と同様の傾向が明らかである。困窮度が高まるにつれ、保護者や子どもの社会関係が減少する。今回、過去の調査と比較し、詳細な項目設定や分析を行ったことによって、より「孤立」が明らかになったといえる。孤立の様相を様々な視点で示した。保護者においては、頼れる人がいないという点で、経済的な格差による多大な差を明らかにした。各層における「頼れる人がいない」割合を中央値以上群と困窮度1群で比較すると、「子育てに関する相談」では神戸市：約 3.3 倍、全国調査：約 1.6 倍、「重要な事柄の相談」では神戸市：約 4.1 倍、全国調査：約 2.2 倍、「いざという時のお金の援助」は神戸市：約 3.9 倍、全国調査：約 3.6 倍と、神戸市の格差が激しいことを示した。同じく世帯構成別においては、「子育てに関する相談」では、二人親家庭に比べて母子家庭が神戸市：約 3.6 倍、全国調査：約 2.3 倍、父子家庭が神戸市：約 9.3 倍、全国調査：記載なし、であり、「重要な事柄の相談」では、二人親家庭に比べて母子家庭が神戸市：約 4.2 倍、全国調査：約 2.3 倍、父子家庭が神戸市：約 8.1 倍、全国調査：記載なし、と差が明らかであった。孤立という点では、父子家庭の厳

しさが歴然となった。制度上も母子家庭はわかりやすいしまだアクセスしやすいが、父子家庭は市役所が空いている時間にはいくことができず、地域や同じ保護者同士との交流もない例が多く、情報をつかみにくい可能性があることから、喫緊に対応を検討すべきである。困窮世帯、そしてひとり親家庭にとって、孤立状況は非常に厳しいといえよう。このことは先行研究（山野 2019）においても明らかにしているが、様々な問題の発生にも関連する可能性があり、早急に手立てを考える必要がある。

2) 今回の特徴と今後の方策

今回調査に利用した項目は、これまで各自治体が行ってきた草の根的な調査を踏まえて、国が踏み込んだ質問を設定した項目であり、より深く実態が明らかになったといえよう。このことは、その結果を受けて自治体として取り組むべき覚悟が求められるともいえる。明らかになったこと3点と今後の方向性について述べる。

1つ目は、「孤立」の様相を明らかにしたことである。その格差は激しく、母子家庭に着目しがちであるが、父子家庭については、さらに厳しいものであった。経済面や労働面と違った側面から地方自治体において、何らかの取り組みを行うことが必要な課題である。また神戸市の格差が、全国調査や大阪調査に比べて激しいという結果であったこと、地縁・血縁が身近でない大規模な行政の1つであることを考えると、いかに声なき声を拾える地縁、あるいは社会縁を作るかが鍵である。それは「相談機関」を増やすことでは決してない。相談機関を増やしたところで、そこが子どもにとっても保護者にとっても身近で行きやすいところでないという意味がない。イメージでいうと、身近な生活品の購入の話、つまりたわいもない話ができる場を小学校区レベルに作れるかである。ある自治体では市民を募り、「子どもの未来応援団員」として地域の見守りをする、気になる子どもがいた場合に子どもの貧困対策の専門チームである「子どもの未来応援チーム」へ連絡を入れる形で始まったが、決して見張り役ではなく、温かい目線、声をかける役として機能することで、人口の1%以上の団員ができ、企業の寄付から居場所をつくるなど大きく発展させている。特別な場所ではなく、親にとっても子どもにとっても、たわいもない話を気負わずに出せる場（身近な心の居場所）を出向ける範囲で作ることが重要である。

2つ目は、申請主義である以上、拾えない層があること、神戸市がその層の数が決して少ない方ではないことである。「コロナ禍における子どもへの影響調査」によると、様々な給付の制度が作られたが、200万円未満の年収の人よりも800万円以上という年収の高い層が申請しているという実態も見られた。つまり申請主義は真に必要な人に届きにくい。支援の必要な家庭を見極めて、届けていく行為が必要である。1点目よりも現実的に行政が責任をもってできる範囲であり、その方策は取りこぼさないためにすべての子どもが通う学校と連携することである。学校の中で、子どもが出す声なきサインを見逃さず、子ども目線でキャッチし、子どもを主語に考えて、自分らしくいられる居場所の提供やそういった場を単なる紹介ではなく、丁寧なつなぎをすることが鍵になる。そこに活用できる人材が、学校とい

う壁を越えて繋がる、活動するような取り組みが望ましい。神戸市は令和3年からスクリーニング YOSS^{注1}の導入を一部の学校において試行的に始めているが、これは学校への周知徹底、発見からつなぐ仕組みを丁寧につくること、つまり学校に新たな仕組みを作ることに当たる。そしてこういった学校の仕組みと身近な資源が繋がることである。家庭訪問事業と学校がセットで動く、訪問して丁寧にサポートすることで就学援助の申請が増加した自治体もある。

そして並行して、子どもの身近に生じている貧困という現実的課題に対して、子ども自身が気軽に話せ、そして周りが受け止め、補完し合える社会作りが必要である。保護者も同様で行政等の支援を受けることは恥ずかしいことではないなどと、誰もが思え、受け入れることができる社会作りのためには、子どもや親に対して、貧困への理解を深めることのできる教育・文化的環境が必要である。誰もが目の前の困難な状況から様々な情報をキャッチし、選択することができる仕組みづくりを様々な部署においてすすめる必要がある。それは子どもに主体性をつけることでもあり、スティグマを取り除くことでもある。誰一人取りこぼさない社会を作ることにつながる。子どもや保護者に関わる様々な機関において、既存の方法、組織にとらわれずに取り組む覚悟が必要であろう。

3つ目は、子ども・保護者ともに精神的健康状態を明らかにしたことである。保護者も子どもも困窮度が高まるにつれて、精神的に健康ではなくなっていく。そして、今後、コロナ禍であるがゆえに、経済的問題が学力などだけでなく精神的な面に大きく影響することに着目する必要がある。コロナ禍であることを鑑みると、2つ目と重なるが、教育として、自分の気持ちを表現してよいという認識、深い思いではなく簡単なことを子ども相互にも語り合える体験（他市での取り組みも報告されている）を取り入れる工夫が必要である。また、身近な大人と話せる体験が必要である。それが日本中で拡大している子ども食堂や居場所に関する事業である。子どもの権利に関する条約の意見表明権は、「聴いてもらう権利」と言われ、聴いてもらう権利を子どもに保障する必要がある。つまり身近な大人が、子どものたわいもない話や行為に耳を傾ける、受け止める必要性を子どもに関わる教員や職員に研修等によって認識してもらう取り組みが必要であろう。9割ほどの子どもがストレスを抱えている実態を考えると、早期に特別なケアだけでなく身近な「会話」、「接触」がケアになるという認識を持つことである。

また関連して、神戸市の独自項目として、子どもの生活実態調査にヤングケアラーの視点の質問項目を入れ分析したことは新たな試みであり、ヤングケアラー単独での調査と比べて、様々な項目との検討により実態をさらに明らかにすることが可能となったこと、また、子どもたちが生活全体について答える中で切り離すことのできない家族のお世話についても振り返るきっかけが作れたことは、大きな意義があったと考えている。

最後に、今後の方策として、今回の調査は答えにくい内容詳細を聞いたということにより、明らかになったことから、その改善に向けた今までにない踏み込んだ施策が期待される。コロナ禍の現在、9割の子どもがストレスを感じていることや3分の1の子どもが学校に行き

づらいと感じていること（山野ほか 2021）、高校生以下の自殺が 100 人ほど増加したことなど危機的な状況であり、より支援が届いているかどうかのチェックや真に必要な世帯に届ける工夫を、二度と子どもの犠牲を出さないためにも、人員配置やセクト主義を超えた制度設計を行うなど思い切った政策が必要である。

神戸市が居場所などの資源づくりに活発に取り組んでいることを鑑みて、学校など公的機関が個人情報保護しつつ、NPOや民間を事例レベルだけでなく資源として認識し、アクセスフリーな居場所などの資源を気軽に紹介できる/利用できるようになる制度設計が必要である。その具体的な方法の一つが、学校で行うスクリーニングである。スクリーニング YOSS の活用によって、真に支援が必要な子どもの発見となるだけでなく、学年会議の場で議論することにより、教職員が地域に存在する居場所などの、子どもにとっての有効な資源を知る機会となり、支援が必要な子どもや保護者に届ける方策の獲得につながるなど、発見から支援までが自然と流れる仕組みとなる可能性がある。

さらに、保健所や学校での全数把握から居場所に来るように誘う、同行する、など行政が動いていない間に動くような社会資源を含めた予算投入、そこも含めた仕組みづくり、つまり支援の全体像を公民、朝昼夜を入れた全体で作成する必要がある。この支援の全体像を含んだ形で予算化が必要で、国の責任として一定の提示の必要性を訴えていくことも重要であろう。

注1：スクリーニング YOSS とは、Yamano Osaka Screening System を指し、スクリーニングとは、すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援が必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別のことであり、スクリーニングシステムとは、データを見ながら教職員で議論し、暫定的な方向性を決定していくシステムのことを指す（データだけでなく+議論+決定が伴うものである）。

参考文献

- 阿部彩（2015）『子どもの貧困Ⅱ 解決策を考える』岩波新書 1467
- 小塩隆士（2021）『日本人の健康を社会科学で考える』日本経済新聞出版
- 濱島淑恵（2021）『子ども介護者 ヤングケアラーの現実と社会の壁』角川新書
- 山野則子（2019）『子どもの貧困調査 子ども生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店
- 山野則子・伊藤ゆかり・李慧慧・石田まり・林萍萍・シランカ実希・亀岡智美（2021）「令和2年度厚生労働科研特別研究調査報告書「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究」一保護者調査・子ども調査」厚生労働科研データベース掲載
(<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/149910>)

4 資料編

4.1. 単純集計表

こども票

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	男	9838	48.7	5269	48.5	4569	49.0
2	女	9937	49.2	5422	49.9	4515	48.4
3	その他	49	0.2	9	0.1	40	0.4
4	答えたくない	243	1.2	103	0.9	140	1.5
	無回答	119	0.6	59	0.5	60	0.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題も含みます。

(1~8については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	自分で勉強する	14277	70.7	7555	69.6	6722	72.1
2	塾で勉強する	9699	48.0	4183	38.5	5516	59.2
3	学校の補習を受ける	397	2.0	245	2.3	152	1.6
4	家庭教師に教えてもらう	319	1.6	130	1.2	189	2.0
5	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	125	0.6	65	0.6	60	0.6
6	家の人に教えてもらう	8401	41.6	5522	50.8	2879	30.9
7	友達と勉強する	3531	17.5	1603	14.8	1928	20.7
8	その他	1486	7.4	1024	9.4	462	5.0
9	学校の授業以外で勉強はしない	960	4.8	508	4.7	452	4.8
	無回答	137	0.7	76	0.7	61	0.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間も含まれます。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 学校がある日(月～金曜日)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	まったくしない	1029	5.1	317	2.9	712	7.6
2	30分より少ない	3270	16.2	1764	16.2	1506	16.2
3	30分以上、1時間より少ない	6528	32.3	4184	38.5	2344	25.1
4	1時間以上、2時間より少ない	5338	26.4	2601	23.9	2737	29.4
5	2時間以上、3時間より少ない	2457	12.2	984	9.1	1473	15.8
6	3時間以上	1317	6.5	856	7.9	461	4.9
	無回答	247	1.2	156	1.4	91	1.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)学校がない日(土・日曜日・祝日)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	まったくしない	3379	16.7	1792	16.5	1587	17.0
2	30分より少ない	4369	21.6	2616	24.1	1753	18.8
3	30分以上、1時間より少ない	4707	23.3	2722	25.1	1985	21.3
4	1時間以上、2時間より少ない	3624	18.0	1676	15.4	1948	20.9
5	2時間以上、3時間より少ない	1651	8.2	632	5.8	1019	10.9
6	3時間以上	1366	6.8	753	6.9	613	6.6
	無回答	1090	5.4	671	6.2	419	4.5
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	上のほう	1622	8.0	959	8.8	663	7.1
2	やや上のほう	3174	15.7	1673	15.4	1501	16.1
3	まん中あたり	6765	33.5	4139	38.1	2626	28.2
4	やや下のほう	3006	14.9	1376	12.7	1630	17.5
5	下のほう	3324	16.5	1093	10.1	2231	23.9
6	わからない	2177	10.8	1562	14.4	615	6.6
	無回答	118	0.6	60	0.6	58	0.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもわかる	3002	14.9	2073	19.1	929	10.0
2	だいたいわかる	8134	40.3	4745	43.7	3389	36.3
3	教科によってはわからないことがある	6877	34.1	3143	28.9	3734	40.0
4	わからないことが多い	1441	7.1	605	5.6	836	9.0
5	ほとんどわからない	404	2.0	119	1.1	285	3.1
	無回答	328	1.6	177	1.6	151	1.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問6 問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○) a. 小5の方のみ

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%
1	1・2年生のころ	462	11.9	462	11.9
2	3年生のころ	888	23.0	888	23.0
3	4年生のころ	1527	39.5	1527	39.5
4	5年生になってから	903	23.4	903	23.4
	無回答	87	2.2	87	2.2
	全体	3867	100.0	3867	100.0

問6 問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○) b. 中2の方のみ

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%
1	小学1・2年生のころ	143	2.9	143	2.9
2	小学3・4年生のころ	293	6.0	293	6.0
3	小学5・6年生のころ	881	18.1	881	18.1
4	中学1年生のころ	2547	52.5	2547	52.5
5	中学2年生になってから	885	18.2	885	18.2
	無回答	106	2.2	106	2.2
	全体	4855	100.0	4855	100.0

問7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	中学(中等部)まで	121	0.6	82	0.8	39	0.4
2	高校(高等部)まで	2702	13.4	1336	12.3	1366	14.7
3	短大・高専・専門学校まで	2516	12.5	1243	11.4	1273	13.7
4	大学またはそれ以上	8974	44.5	4346	40.0	4628	49.6
5	まだわからない	5211	25.8	3442	31.7	1769	19.0
	無回答	662	3.3	413	3.8	249	2.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問8 問7の質問で1~4と答えた場合、その理由を教えてください。(1~8については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	希望する学校や職業があるから	7495	52.4	3729	53.2	3766	51.5
2	自分の成績から考えて	2038	14.2	987	14.1	1051	14.4
3	親がそう言っているから	2540	17.7	970	13.8	1570	21.5
4	兄・姉がそうしているから	826	5.8	272	3.9	554	7.6
5	まわりの先輩や友達がそうしているから	485	3.4	133	1.9	352	4.8
6	家にお金がないと思うから	320	2.2	126	1.8	194	2.7
7	早く働く必要があるから	537	3.8	244	3.5	293	4.0
8	その他	1244	8.7	621	8.9	623	8.5
9	とくに理由はない	2796	19.5	1389	19.8	1407	19.3
	無回答	154	1.1	75	1.1	79	1.1
	全体	14313	100.0	7007	100.0	7306	100.0

問9 中2の方のみ教えてください。あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	参加している	8323	89.3
2	参加していない	855	9.2
	無回答	146	1.6
	全体	9324	100.0

人数	%
8323	89.3
855	9.2
146	1.6
9324	100.0

問10 問9で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きます。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	入りたいクラブ・部活動がないから	322	37.7
2	塾や習い事が忙しいから	169	19.8
3	費用がかかるから	55	6.4
4	家の事情(家族の世話・家事など)があるから	46	5.4
5	一緒に入る友達がいないから	67	7.8
6	その他	378	44.2
	無回答	9	1.1
	全体	855	100.0

人数	%
322	37.7
169	19.8
55	6.4
46	5.4
67	7.8
378	44.2
9	1.1
855	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問11 家庭や家族についてお聞きします。

a あなたは家族のお世話をしていますか。(ここで「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。)(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	している	5874	29.1	3361	30.9	2513	27.0
2	していない	13083	64.8	6661	61.3	6422	68.9
	無回答	1229	6.1	840	7.7	389	4.2
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問11a-1 「1. している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	母親	3604	61.4	2006	59.7	1598	63.6
2	父親	1247	21.2	729	21.7	518	20.6
3	祖母	495	8.4	291	8.7	204	8.1
4	祖父	219	3.7	130	3.9	89	3.5
5	きょうだい	2795	47.6	1699	50.6	1096	43.6
6	その他	587	10.0	345	10.3	242	9.6
	無回答	159	2.7	76	2.3	83	3.3
	全体	5874	100.0	3361	100.0	2513	100.0

問11b あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(1~11のあてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	家事(食事の準備や掃除・洗濯)	4334	73.8	2363	70.3	1971	78.4
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	1427	24.3	918	27.3	509	20.3
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	240	4.1	172	5.1	68	2.7
4	外出の付き添い(買い物、散歩など)	1572	26.8	910	27.1	662	26.3
5	通院の付き添い	65	1.1	35	1.0	30	1.2
6	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	833	14.2	384	11.4	449	17.9
7	見守り	943	16.1	560	16.7	383	15.2
8	通訳(日本語や手話など)	46	0.8	29	0.9	17	0.7
9	金銭管理	37	0.6	20	0.6	17	0.7
10	薬の管理	60	1.0	37	1.1	23	0.9
11	その他	625	10.6	437	13.0	188	7.5
	無回答	39	0.7	26	0.8	13	0.5
	全体	5874	100.0	3361	100.0	2513	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 11c お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	ほぼ毎日	2505	42.6	1467	43.6	1038	41.3
2	週に3~5日	1398	23.8	776	23.1	622	24.8
3	週に1~2日	1317	22.4	733	21.8	584	23.2
4	1か月に数日	438	7.5	250	7.4	188	7.5
5	その他	163	2.8	101	3.0	62	2.5
	無回答	53	0.9	34	1.0	19	0.8
	全体	5874	100.0	3361	100.0	2513	100.0

問 11d 平日にお世話はどれくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	30分未満	2857	48.6	1624	48.3	1233	49.1
2	30分以上1時間未満	1479	25.2	846	25.2	633	25.2
3	1時間以上3時間未満	670	11.4	352	10.5	318	12.7
4	3時間以上5時間未満	209	3.6	121	3.6	88	3.5
5	5時間以上7時間未満	91	1.5	56	1.7	35	1.4
6	7時間以上	102	1.7	68	2.0	34	1.4
7	その他	379	6.5	233	6.9	146	5.8
	無回答	87	1.5	61	1.8	26	1.0
	全体	5874	100.0	3361	100.0	2513	100.0

問 12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○) a)朝食

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	毎日食べる(週7日)	16549	82.0	9438	86.9	7111	76.3
2	週5~6日	1943	9.6	738	6.8	1205	12.9
3	週3~4日	637	3.2	247	2.3	390	4.2
4	週1~2日、ほとんど食べない	889	4.4	325	3.0	564	6.0
	無回答	168	0.8	114	1.0	54	0.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○) b)夕食

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	毎日食べる(週7日)	19607	97.1	10609	97.7	8998	96.5
2	週5~6日	291	1.4	92	0.8	199	2.1
3	週3~4日	70	0.3	21	0.2	49	0.5
4	週1~2日、ほとんど食べない	27	0.1	12	0.1	15	0.2
	無回答	191	0.9	128	1.2	63	0.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○) c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	毎日食べる(週7日)	18131	89.8	10108	93.1	8023	86.0
2	週5~6日	1206	6.0	456	4.2	750	8.0
3	週3~4日	431	2.1	105	1.0	326	3.5
4	週1~2日、ほとんど食べない	214	1.1	54	0.5	160	1.7
	無回答	204	1.0	139	1.3	65	0.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問13 あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	そうである	6490	32.2	3701	34.1	2789	29.9
2	どちらかといえばそうである	8916	44.2	4782	44.0	4134	44.3
3	どちらかといえばそうではない	2969	14.7	1494	13.8	1475	15.8
4	そうではない	1708	8.5	817	7.5	891	9.6
	無回答	103	0.5	68	0.6	35	0.4
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	毎日	174	0.9	63	0.6	111	1.2
2	週に4~5回	128	0.6	68	0.6	60	0.6
3	週に2~3回	332	1.6	188	1.7	144	1.5
4	週に1回程度	813	4.0	457	4.2	356	3.8
5	遅刻はしない	18518	91.7	9957	91.7	8561	91.8
	無回答	221	1.1	129	1.2	92	1.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1~9については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	親	15233	75.5	8994	82.8	6239	66.9
2	きょうだい	4561	22.6	2617	24.1	1944	20.8
3	祖父母・親せきなど	2874	14.2	1785	16.4	1089	11.7
4	学校の先生	5796	28.7	3522	32.4	2274	24.4
5	学校の友達	11873	58.8	5776	53.2	6097	65.4
6	学校外の友達	3175	15.7	1418	13.1	1757	18.8
7	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	762	3.8	401	3.7	361	3.9
8	その他の大人(児童館・学童保育施設・ユースステーションの人、塾・習いごとの先生)	1129	5.6	628	5.8	501	5.4
9	ネットで知り合った人	510	2.5	86	0.8	424	4.5
10	だれにも相談できない、相談したくない	1612	8.0	676	6.2	936	10.0
	無回答	261	1.3	160	1.5	101	1.1
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(全く満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)

平均	7.37	7.88	6.79
分散(n-1)	5.73	4.87	6.10
標準偏差	2.39	2.21	2.47
最大値	10.00	10.00	10.00
最小値	0.00	0.00	0.00
無回答	236	157	79
全体	19950	10705	9245

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（全く満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	0：まったく満足していない	205	1.0	74	0.7	131	1.4
2	1	166	0.8	51	0.5	115	1.2
3	2	370	1.8	105	1.0	265	2.8
4	3	748	3.7	246	2.3	502	5.4
5	4	1038	5.1	389	3.6	649	7.0
6	5	2342	11.6	1046	9.6	1296	13.9
7	6	1420	7.0	636	5.9	784	8.4
8	7	2497	12.4	1172	10.8	1325	14.2
9	8	3555	17.6	1921	17.7	1634	17.5
10	9	2467	12.2	1510	13.9	957	10.3
11	10：十分に満足している	5142	25.5	3555	32.7	1587	17.0
	無回答	236	1.2	157	1.4	79	0.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問17 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(1～13については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	ねむれない	2847	14.1	1453	13.4	1394	15.0
2	よく頭が痛くなる	2562	12.7	1040	9.6	1522	16.3
3	歯がいたい	369	1.8	214	2.0	155	1.7
4	ものを見づらい	1361	6.7	601	5.5	760	8.2
5	音が聞こえにくい	546	2.7	222	2.0	324	3.5
6	よくおなかがいたくなる	3876	19.2	1785	16.4	2091	22.4
7	よくかぜをひく	239	1.2	110	1.0	129	1.4
8	よくかゆくなる	3396	16.8	2148	19.8	1248	13.4
9	不安な気持ちになる	3372	16.7	1391	12.8	1981	21.2
10	まわりが気になる	3692	18.3	1553	14.3	2139	22.9
11	やる気が起きない	4953	24.5	1819	16.7	3134	33.6
12	イライラする	4030	20.0	2064	19.0	1966	21.1
13	その他	1199	5.9	620	5.7	579	6.2
14	とくに気になることはない	7998	39.6	4667	43.0	3331	35.7
	無回答	339	1.7	183	1.7	156	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問18 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

a) (自分や友人の家以外で)放課後や休日を過ごすことができる場所(学童保育・放課後等デイサービスなど)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	利用したことがある	6927	34.3	4105	37.8	2822	30.3
2	あれば利用したいと思う	1371	6.8	731	6.7	640	6.9
3	今後も利用したいと思わない	6779	33.6	3326	30.6	3453	37.0
4	今後利用したいかどうか分からない	4690	23.2	2435	22.4	2255	24.2
	無回答	419	2.1	265	2.4	154	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問18 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	利用したことがある	868	4.3	448	4.1	420	4.5
2	あれば利用したいと思う	4575	22.7	2513	23.1	2062	22.1
3	今後も利用したいと思わない	7552	37.4	4005	36.9	3547	38.0
4	今後利用したいかどうか分からない	6604	32.7	3497	32.2	3107	33.3
	無回答	587	2.9	399	3.7	188	2.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問18 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

c)勉強を無料でみてくれる場所

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	利用したことがある	793	3.9	389	3.6	404	4.3
2	あれば利用したいと思う	6670	33.0	3379	31.1	3291	35.3
3	今後も利用したいと思わない	6200	30.7	3490	32.1	2710	29.1
4	今後利用したいかどうか分からない	5949	29.5	3219	29.6	2730	29.3
	無回答	574	2.8	385	3.5	189	2.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問18 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	利用したことがある	450	2.2	209	1.9	241	2.6
2	あれば利用したいと思う	3082	15.3	1719	15.8	1363	14.6
3	今後も利用したいと思わない	8094	40.1	4333	39.9	3761	40.3
4	今後利用したいかどうか分からない	7915	39.2	4170	38.4	3745	40.2
	無回答	645	3.2	431	4.0	214	2.3
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問19 問18で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	友達が増えた	3945	51.5	2469	55.2	1476	46.2
2	気軽に話せる大人が増えた	1609	21.0	1072	24.0	537	16.8
3	生活の中で楽しみなことが増えた	1869	24.4	1231	27.5	638	20.0
4	ほっとできる時間が増えた	1190	15.5	709	15.9	481	15.1
5	栄養のある食事をとれることが増えた	315	4.1	222	5.0	93	2.9
6	勉強がわかるようになった	630	8.2	415	9.3	215	6.7
7	勉強する時間が増えた	1152	15.0	687	15.4	465	14.6
8	その他	357	4.7	236	5.3	121	3.8
9	特に変化はない	2085	27.2	1065	23.8	1020	31.9
	無回答	194	2.5	131	2.9	63	2.0
	全体	7666	100.0	4472	100.0	3194	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(1～15については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	本(学校の教科書やマンガはのぞく)	16701	82.7	8919	82.1	7782	83.5
2	マンガ・雑誌	16124	79.9	8332	76.7	7792	83.6
3	子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいと一緒につかっている部屋など)	15068	74.6	7495	69.0	7573	81.2
4	インターネットにつながるパソコン	11231	55.6	5346	49.2	5885	63.1
5	運動用具(ボール・ラケットなど)	16445	81.5	8727	80.3	7718	82.8
6	ゲーム機	16985	84.1	9182	84.5	7803	83.7
7	自転車	16289	80.7	9076	83.6	7213	77.4
8	テレビ	17141	84.9	9125	84.0	8016	86.0
9	けいたい電話	10746	53.2	5596	51.5	5150	55.2
10	スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)	14861	73.6	6618	60.9	8243	88.4
11	化粧品・アクセサリ	6197	30.7	2879	26.5	3318	35.6
12	習いごとなどの道具(ピアノなど)	12369	61.3	7355	67.7	5014	53.8
13	自分で選んだ服	15286	75.7	8018	73.8	7268	77.9
14	キャラクターグッズ	13880	68.8	7763	71.5	6117	65.6
15	その他	3396	16.8	1736	16.0	1660	17.8
16	あてはまるものはない	37	0.2	16	0.1	21	0.2
	無回答	168	0.8	94	0.9	74	0.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 21 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。(1～14については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	自分の家	18911	93.7	10003	92.1	8908	95.5
2	祖父母の家	1373	6.8	930	8.6	443	4.8
3	ともだちの家	2912	14.4	2076	19.1	836	9.0
4	塾	7197	35.7	3072	28.3	4125	44.2
5	習いごと	7355	36.4	5156	47.5	2199	23.6
6	学校(クラブ活動など)	5613	27.8	1290	11.9	4323	46.4
7	公園・広場	6941	34.4	5099	46.9	1842	19.8
8	スーパーやショッピングモール	1141	5.7	509	4.7	632	6.8
9	コンビニエンスストア	724	3.6	250	2.3	474	5.1
10	ゲームセンター	300	1.5	76	0.7	224	2.4
11	図書館や公民館など	396	2.0	271	2.5	125	1.3
12	地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所)	103	0.5	77	0.7	26	0.3
13	学童保育・放課後等デイサービスなど	910	4.5	813	7.5	97	1.0
14	その他	506	2.5	275	2.5	231	2.5
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 22 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。(1～7については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	おうちの大人の人(親・祖父母・親せきなど)	15867	78.6	8502	78.3	7365	79.0
2	きょうだい	12220	60.5	6745	62.1	5475	58.7
3	おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)	6159	30.5	3649	33.6	2510	26.9
4	学校のともだち	10696	53.0	6630	61.0	4066	43.6
5	クラブ活動の仲間	4666	23.1	536	4.9	4130	44.3
6	学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)	2088	10.3	1157	10.7	931	10.0
7	その他の人	447	2.2	277	2.6	170	1.8
8	ひとりである	2782	13.8	1332	12.3	1450	15.6
	無回答	222	1.1	131	1.2	91	1.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じていることは次のうちのどれですか。

a. 小5の方（あてはまるものすべてに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%
1	家の大人の人(親・祖父母・親など)が仕事にいつている間の過ごし方	1093	10.1	1093	10.1
2	自分の感情が不安定になること	1284	11.8	1284	11.8
3	友人関係	1365	12.6	1365	12.6
4	昼ご飯などの食事の状況	990	9.1	990	9.1
5	体の発達状況	551	5.1	551	5.1
6	性に関すること	133	1.2	133	1.2
7	生活のリズムの乱れ	2144	19.7	2144	19.7
8	家族とのコミュニケーション	439	4.0	439	4.0
9	学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ	1588	14.6	1588	14.6
10	将来の入試などの状況	854	7.9	854	7.9
11	その他	1889	17.4	1889	17.4
	無回答	3608	33.2	3608	33.2
	全体	10862	100.0	10862	100.0

問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じていることは次のうちのどれですか。

b. 中2の方（あてはまるものすべてに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%
1	家の大人の人(親・祖父母・親せきなど)が仕事にいつている間の過ごし方	501	5.4	501	5.4
2	自分の感情が不安定になること	1231	13.3	1231	13.3
3	友人関係	1103	11.9	1103	11.9
4	昼ご飯などの食事の状況	843	9.1	843	9.1
5	体の発達状況	336	3.6	336	3.6
6	性に関すること	115	1.2	115	1.2
7	生活のリズムの乱れ	2550	27.4	2550	27.4
8	家族とのコミュニケーション	440	4.7	440	4.7
9	学業(学校の授業の進み具合など)の遅れ	2280	24.5	2280	24.5
10	将来の入試などの状況	2407	25.9	2407	25.9
11	将来の進路の状況(志望校や職業について)	2394	25.8	2394	25.8
12	その他	1432	15.4	1432	15.4
	無回答	2196	23.6	2196	23.6
	全体	9290	100.0	9290	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きします。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	とてもあてはまる	356	1.8	152	1.4	204	2.2
2	まあまああてはまる	986	4.9	535	4.9	451	4.8
3	どちらともいえない	1739	8.6	785	7.2	954	10.2
4	あまりあてはまらない	2681	13.3	1331	12.3	1350	14.5
5	まったくあてはまらない	13958	69.1	7729	71.2	6229	66.8
	無回答	466	2.3	330	3.0	136	1.5
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きします。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人(友達や知り合いの大人の人)に伝えたり、相談したりする機会がなくなった。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	とてもあてはまる	623	3.1	336	3.1	287	3.1
2	まあまああてはまる	1112	5.5	605	5.6	507	5.4
3	どちらともいえない	2517	12.5	1227	11.3	1290	13.8
4	あまりあてはまらない	2776	13.8	1366	12.6	1410	15.1
5	まったくあてはまらない	12659	62.7	6980	64.3	5679	60.9
	無回答	499	2.5	348	3.2	151	1.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きします。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

c) 私の保護者(お母さん、お父さんなど)は私の気持ちになって向き合ってくれる。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	とてもあてはまる	8954	44.4	5175	47.6	3779	40.5
2	まあまああてはまる	5662	28.0	2954	27.2	2708	29.0
3	どちらともいえない	3239	16.0	1497	13.8	1742	18.7
4	あまりあてはまらない	760	3.8	346	3.2	414	4.4
5	まったくあてはまらない	1072	5.3	560	5.2	512	5.5
	無回答	499	2.5	330	3.0	169	1.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。（a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 楽しみにしていることがたくさんある

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	8353	41.4	4669	43.0	3684	39.5
2	ときどきそうだ	9947	49.3	5323	49.0	4624	49.6
3	そんなことはない	1495	7.4	612	5.6	883	9.5
	無回答	391	1.9	258	2.4	133	1.4
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。（a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

b) とても良く眠れる

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	8710	43.1	5083	46.8	3627	38.9
2	ときどきそうだ	7815	38.7	4019	37.0	3796	40.7
3	そんなことはない	3216	15.9	1463	13.5	1753	18.8
	無回答	445	2.2	297	2.7	148	1.6
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。（a～rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

c) 泣きたいような気がする

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1257	6.2	519	4.8	738	7.9
2	ときどきそうだ	5853	29.0	3045	28.0	2808	30.1
3	そんなことはない	12512	62.0	6917	63.7	5595	60.0
	無回答	564	2.8	381	3.5	183	2.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

d) 遊びに出かけるのが好きだ

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	11326	56.1	6095	56.1	5231	56.1
2	ときどきそうだ	5572	27.6	3043	28.0	2529	27.1
3	そんなことはない	2807	13.9	1406	12.9	1401	15.0
	無回答	481	2.4	318	2.9	163	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

e) 逃げ出したいような気がする

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1504	7.5	451	4.2	1053	11.3
2	ときどきそうだ	4896	24.3	2090	19.2	2806	30.1
3	そんなことはない	13241	65.6	7945	73.1	5296	56.8
	無回答	545	2.7	376	3.5	169	1.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

f) おなかが痛くなることもある

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	2354	11.7	1018	9.4	1336	14.3
2	ときどきそうだ	8988	44.5	4689	43.2	4299	46.1
3	そんなことはない	8309	41.2	4782	44.0	3527	37.8
	無回答	535	2.7	373	3.4	162	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

g) 元気いっぱいだ

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	12170	60.3	7577	69.8	4593	49.3
2	ときどきそうだ	6057	30.0	2565	23.6	3492	37.5
3	そんなことはない	1549	7.7	451	4.2	1098	11.8
	無回答	410	2.0	269	2.5	141	1.5
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

h) 食事が楽しい

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	12729	63.1	7067	65.1	5662	60.7
2	ときどきそうだ	5690	28.2	2896	26.7	2794	30.0
3	そんなことはない	1312	6.5	579	5.3	733	7.9
	無回答	455	2.3	320	2.9	135	1.4
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~rそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

i) いじめられても自分で「やめて」と言える

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	10323	51.1	5669	52.2	4654	49.9
2	ときどきそうだ	5680	28.1	2981	27.4	2699	28.9
3	そんなことはない	3532	17.5	1782	16.4	1750	18.8
	無回答	651	3.2	430	4.0	221	2.4
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

j) 生きていても仕方がないと思う

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1230	6.1	564	5.2	666	7.1
2	ときどきそうだ	3339	16.5	1394	12.8	1945	20.9
3	そんなことはない	15034	74.5	8525	78.5	6509	69.8
	無回答	583	2.9	379	3.5	204	2.2
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

k) やろうと思ったことがうまくできる

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	3248	16.1	2080	19.1	1168	12.5
2	ときどきそうだ	12838	63.6	7128	65.6	5710	61.2
3	そんなことはない	3585	17.8	1313	12.1	2272	24.4
	無回答	515	2.6	341	3.1	174	1.9
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

l) いつものように何をしても楽しい

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	7473	37.0	4546	41.9	2927	31.4
2	ときどきそうだ	9171	45.4	4836	44.5	4335	46.5
3	そんなことはない	3048	15.1	1157	10.7	1891	20.3
	無回答	494	2.4	323	3.0	171	1.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

m) 家族と話すのが好きだ

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	12070	59.8	7284	67.1	4786	51.3
2	ときどきそうだ	6370	31.6	2823	26.0	3547	38.0
3	そんなことはない	1286	6.4	451	4.2	835	9.0
	無回答	460	2.3	304	2.8	156	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

n) こわい夢を見る

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1482	7.3	772	7.1	710	7.6
2	ときどきそうだ	7651	37.9	4610	42.4	3041	32.6
3	そんなことはない	10568	52.4	5156	47.5	5412	58.0
	無回答	485	2.4	324	3.0	161	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

o) ひとりぼっちの気がする

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1368	6.8	566	5.2	802	8.6
2	ときどきそうだ	4070	20.2	1861	17.1	2209	23.7
3	そんなことはない	14215	70.4	8087	74.5	6128	65.7
	無回答	533	2.6	348	3.2	185	2.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

p) 落ち込んでいてもすぐに元気になれる

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	7807	38.7	4609	42.4	3198	34.3
2	ときどきそうだ	7970	39.5	4192	38.6	3778	40.5
3	そんなことはない	3903	19.3	1723	15.9	2180	23.4
	無回答	506	2.5	338	3.1	168	1.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

q) とても悲しい気がする

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	1014	5.0	373	3.4	641	6.9
2	ときどきそうだ	3852	19.1	1709	15.7	2143	23.0
3	そんなことはない	14809	73.4	8440	77.7	6369	68.3
	無回答	511	2.5	340	3.1	171	1.8
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

r) とても退屈な気がする

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつもそうだ	2477	12.3	1115	10.3	1362	14.6
2	ときどきそうだ	7115	35.2	3742	34.5	3373	36.2
3	そんなことはない	10140	50.2	5706	52.5	4434	47.6
	無回答	454	2.2	299	2.8	155	1.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

代筆... (あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	代筆である	9	0.0	2	0.0	7	0.1
2	代筆ではない	26	0.1	3	0.0	23	0.2
	無回答	20151	99.8	10857	100.0	9294	99.7
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

学年... (あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	小学生	10862	53.8	10862	100.0	0	0.0
2	中学生	9324	46.2	0	0.0	9324	100.0
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	全体	20186	100.0	10862	100.0	9324	100.0

保護者票

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問1 あなたの年齢と性別を教えてください。a 年齢

平均	43.41	42.32	44.68
分散(n-1)	26.78	25.68	25.07
標準偏差	5.18	5.07	5.01
最大値	81.00	73.00	81.00
最小値	17.00	17.00	19.00
無回答	1503	768	735
全体	18552	10032	8520

問1 あなたの年齢と性別を教えてください。b 性別(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	男	1781	8.9	1002	9.3	779	8.4
2	女	18113	90.3	9721	90.0	8392	90.7
3	その他	10	0.0	3	0.0	7	0.1
4	答えたくない	74	0.4	36	0.3	38	0.4
	無回答	77	0.4	38	0.4	39	0.4
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	母親(継母を含む)	18476	92.1	9912	91.8	8564	92.5
2	父親(継父を含む)	1387	6.9	797	7.4	590	6.4
3	祖父母	47	0.2	19	0.2	28	0.3
4	その他	67	0.3	31	0.3	36	0.4
	無回答	78	0.4	41	0.4	37	0.4
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問3 あなたがお住まいの区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	東灘区	2779	13.9	1587	14.7	1192	12.9
2	灘区	1846	9.2	1029	9.5	817	8.8
3	中央区	1131	5.6	666	6.2	465	5.0
4	兵庫区	1044	5.2	552	5.1	492	5.3
5	北区	3273	16.3	1716	15.9	1557	16.8
6	長田区	971	4.8	494	4.6	477	5.2
7	須磨区	2057	10.3	1115	10.3	942	10.2
8	垂水区	3144	15.7	1745	16.2	1399	15.1
9	西区	3762	18.8	1874	17.4	1888	20.4
	無回答	48	0.2	22	0.2	26	0.3
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数（子どもを含む。）と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。a ご家族の人数

平均	4.03	4.04	4.02
分散 (n-1)	1.29	1.29	1.28
標準偏差	1.13	1.14	1.13
最大値	11.00	11.00	10.00
最小値	1.00	1.00	1.00
無回答	192	97	95
全体	19863	10703	9160

問4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数（子どもを含む。）と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。b 子どもの人数

平均	2.24	2.25	2.23
分散 (n-1)	0.71	0.70	0.71
標準偏差	0.84	0.84	0.84
最大値	10.00	10.00	9.00
最小値	1.00	1.00	1.00
無回答	1086	546	540
全体	18969	10254	8715

問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	母親	17136	85.4	9233	85.5	7903	85.4
2	父親	15437	77.0	8500	78.7	6937	75.0
3	祖父母	1147	5.7	582	5.4	565	6.1
4	兄弟姉妹	13803	68.8	7405	68.6	6398	69.1
5	その他	183	0.9	97	0.9	86	0.9
	無回答	153	0.8	83	0.8	70	0.8
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	結婚している（再婚や事実婚を含む）	17448	87.0	9551	88.4	7897	85.3
2	離婚	1967	9.8	925	8.6	1042	11.3
3	死別	171	0.9	76	0.7	95	1.0
4	未婚	172	0.9	86	0.8	86	0.9
5	わからない、いない	87	0.4	48	0.4	39	0.4
	無回答	210	1.0	114	1.1	96	1.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	取り決めをしており、養育費を受け取っている	593	30.1	305	33.0	288	27.6
2	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	84	4.3	41	4.4	43	4.1
3	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	402	20.4	189	20.4	213	20.4
4	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない	842	42.8	366	39.6	476	45.7
	無回答	46	2.3	24	2.6	22	2.1
	全体	1967	100.0	925	100.0	1042	100.0

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	日本語のみを使用している	19049	95.0	10198	94.4	8851	95.6
2	日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	654	3.3	400	3.7	254	2.7
3	日本語以外の言語を使うことが多い	125	0.6	80	0.7	45	0.5
	無回答	227	1.1	122	1.1	105	1.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問9 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) a)母親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	中学(中学部)まで	649	3.2	322	3.0	327	3.5
2	高校(高等部)まで	4738	23.6	2327	21.5	2411	26.1
3	短大・高専・専門学校(専攻科)まで	8186	40.8	4244	39.3	3942	42.6
4	大学またはそれ以上	6028	30.1	3682	34.1	2346	25.3
5	わからない	56	0.3	29	0.3	27	0.3
6	いない	34	0.2	18	0.2	16	0.2
	無回答	364	1.8	178	1.6	186	2.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問9 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)父親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	中学(中学部)まで	869	4.3	462	4.3	407	4.4
2	高校(高等部)まで	5217	26.0	2598	24.1	2619	28.3
3	短大・高専・専門学校(専攻科)まで	2995	14.9	1628	15.1	1367	14.8
4	大学またはそれ以上	9305	46.4	5320	49.3	3985	43.1
5	わからない	108	0.5	53	0.5	55	0.6
6	いない	248	1.2	123	1.1	125	1.4
	無回答	1313	6.5	616	5.7	697	7.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 母親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	正社員・正規職員・会社役員	4553	22.7	2527	23.4	2026	21.9
2	嘱託・契約社員・派遣職員	984	4.9	460	4.3	524	5.7
3	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	9131	45.5	4671	43.3	4460	48.2
4	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	1258	6.3	711	6.6	547	5.9
5	働いていない(専業主婦/主夫を含む)	3716	18.5	2232	20.7	1484	16.0
6	わからない、いない	99	0.5	47	0.4	52	0.6
	無回答	314	1.6	152	1.4	162	1.8
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b) 父親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	正社員・正規職員・会社役員	15461	77.1	8473	78.5	6988	75.5
2	嘱託・契約社員・派遣職員	238	1.2	117	1.1	121	1.3
3	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	171	0.9	98	0.9	73	0.8
4	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	2199	11.0	1183	11.0	1016	11.0
5	働いていない(専業主婦/主夫を含む)	131	0.7	70	0.6	61	0.7
6	わからない、いない	483	2.4	230	2.1	253	2.7
	無回答	1372	6.8	629	5.8	743	8.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問11 問10で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない主な理由を教えてください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) a) 母親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	働きたいが、希望する条件の仕事がないため	566	15.2	302	13.5	264	17.8
2	子育てを優先したいため	1972	53.1	1298	58.2	674	45.4
3	家族の介護・介助のため	105	2.8	40	1.8	65	4.4
4	自分の病気や障害のため	269	7.2	137	6.1	132	8.9
5	通学しているため	25	0.7	21	0.9	4	0.3
6	その他の理由	450	12.1	238	10.7	212	14.3
	無回答	329	8.9	196	8.8	133	9.0
	全体	3716	100.0	2232	100.0	1484	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問11 問10で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない主な理由を教えてください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)父親

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	働きたいが、希望する条件の仕事がないため	20	15.3	12	17.1	8	13.1
2	子育てを優先したいため	8	6.1	6	8.6	2	3.3
3	家族の介護・介助のため	5	3.8	3	4.3	2	3.3
4	自分の病気や障害のため	61	46.6	32	45.7	29	47.5
5	通学しているため	1	0.8	1	1.4	0	0.0
6	その他の理由	30	22.9	13	18.6	17	27.9
	無回答	6	4.6	3	4.3	3	4.9
	全体	131	100.0	70	100.0	61	100.0

問12 お子さんが0～2歳の間と3～5歳の間に通っていた教育・保育施設などで主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) a)0～2歳

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	幼稚園・認可保育所・認定こども園	6349	31.7	3598	33.3	2751	29.7
2	その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)	751	3.7	454	4.2	297	3.2
3	親・親族以外の個人	350	1.7	190	1.8	160	1.7
4	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	11476	57.2	5982	55.4	5494	59.4
	無回答	1129	5.6	576	5.3	553	6.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問12 お子さんが0～2歳の間と3～5歳の間に通っていた教育・保育施設などで主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)3～5歳

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	幼稚園・認可保育所・認定こども園	18866	94.1	10197	94.4	8669	93.7
2	その他の教育・保育などの施設(療育施設含む)	421	2.1	237	2.2	184	2.0
3	親・親族以外の個人	10	0.0	5	0.0	5	0.1
4	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	313	1.6	136	1.3	177	1.9
	無回答	445	2.2	225	2.1	220	2.4
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) a)テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	あてはまる	6527	32.5	4290	39.7	2237	24.2
2	どちらかといえば、あてはまる	7842	39.1	4227	39.1	3615	39.1
3	どちらかといえば、あてはまらない	3641	18.2	1566	14.5	2075	22.4
4	あてはまらない	1944	9.7	672	6.2	1272	13.7
	無回答	101	0.5	45	0.4	56	0.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a~dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	あてはまる	5103	25.4	3226	29.9	1877	20.3
2	どちらかといえば、あてはまる	7934	39.6	4284	39.7	3650	39.4
3	どちらかといえば、あてはまらない	4358	21.7	2091	19.4	2267	24.5
4	あてはまらない	2534	12.6	1138	10.5	1396	15.1
	無回答	126	0.6	61	0.6	65	0.7
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a~dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) c)お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	あてはまる	8478	42.3	4623	42.8	3855	41.7
2	どちらかといえば、あてはまる	6933	34.6	3775	35.0	3158	34.1
3	どちらかといえば、あてはまらない	3497	17.4	1847	17.1	1650	17.8
4	あてはまらない	1024	5.1	490	4.5	534	5.8
	無回答	123	0.6	65	0.6	58	0.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a~dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	あてはまる	8092	40.3	4474	41.4	3618	39.1
2	どちらかといえば、あてはまる	7517	37.5	4172	38.6	3345	36.1
3	どちらかといえば、あてはまらない	3152	15.7	1590	14.7	1562	16.9
4	あてはまらない	1189	5.9	512	4.7	677	7.3
	無回答	105	0.5	52	0.5	53	0.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 学校行事への参加(授業参観や運動会など)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	よく参加している	15392	76.7	8995	83.3	6397	69.1
2	ときどき参加している	3761	18.8	1514	14.0	2247	24.3
3	あまり参加していない	700	3.5	236	2.2	464	5.0
4	まったく参加していない	129	0.6	24	0.2	105	1.1
	無回答	73	0.4	31	0.3	42	0.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b) 子どもに関するボランティアなどへの参加（PTA活動や保護者会、放課後学習支援など）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	よく参加している	3992	19.9	2317	21.5	1675	18.1
2	ときどき参加している	7700	38.4	4135	38.3	3565	38.5
3	あまり参加していない	5688	28.4	2917	27.0	2771	29.9
4	まったく参加していない	2499	12.5	1336	12.4	1163	12.6
	無回答	176	0.9	95	0.9	81	0.9
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問15 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	中学（中学部）まで	75	0.4	40	0.4	35	0.4
2	高校（高等部）まで	2122	10.6	898	8.3	1224	13.2
3	短大・高専・専門学校（専攻科）まで	2386	11.9	1218	11.3	1168	12.6
4	大学またはそれ以上	10826	54.0	6036	55.9	4790	51.8
5	まだわからない	4214	21.0	2399	22.2	1815	19.6
	無回答	432	2.2	209	1.9	223	2.4
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問16 問15で1~4と答えた場合、その理由は何ですか。(1~5については、あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	お子さんがそう希望しているから	6086	39.5	2741	33.5	3345	46.3
2	一般的な進路だと思うから	6137	39.8	3650	44.6	2487	34.5
3	お子さんの学力や状況から考えて	5082	33.0	2623	32.0	2459	34.1
4	家庭の経済的な状況から考えて	1200	7.8	706	8.6	494	6.8
5	その他	610	4.0	365	4.5	245	3.4
6	特に理由はない	846	5.5	515	6.3	331	4.6
	無回答	94	0.6	57	0.7	37	0.5
	全体	15409	100.0	8192	100.0	7217	100.0

問17 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	ほぼ毎日通っている	18584	92.7	10182	94.3	8402	90.8
2	欠席は年間30日未満である	665	3.3	315	2.9	350	3.8
3	欠席は年間30日以上、60日未満である	124	0.6	48	0.4	76	0.8
4	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	0.9	36	0.3	146	1.6
5	欠席が1年以上続いている	62	0.3	13	0.1	49	0.5
6	わからない	55	0.3	21	0.2	34	0.4
	無回答	383	1.9	185	1.7	198	2.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの1つに○)

a) 子育てに関する相談

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	頼れる人がいる	19242	95.9	10398	96.3	8844	95.6
2	いない	470	2.3	229	2.1	241	2.6
3	そのことでは人に頼らない	329	1.6	166	1.5	163	1.8
	無回答	14	0.1	7	0.1	7	0.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの1つに○)

b) 重要な事柄の相談

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	頼れる人がいる	18987	94.7	10291	95.3	8696	94.0
2	いない	588	2.9	281	2.6	307	3.3
3	そのことでは人に頼らない	443	2.2	209	1.9	234	2.5
	無回答	37	0.2	19	0.2	18	0.2
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの1つに○)

c) いざという時の金の援助

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	頼れる人がいる	14201	70.8	7766	71.9	6435	69.5
2	いない	1936	9.7	960	8.9	976	10.5
3	そのことでは人に頼らない	3454	17.2	1838	17.0	1616	17.5
	無回答	464	2.3	236	2.2	228	2.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①~⑦のあてはまるものすべてに○) a) 子育てに関する相談で1を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	家族・親族	17484	90.9	9522	91.6	7962	90.0
2	友人・知人	13334	69.3	7308	70.3	6026	68.1
3	近所の人	2919	15.2	1665	16.0	1254	14.2
4	職場の人	5867	30.5	3143	30.2	2724	30.8
5	民生委員・児童委員	112	0.6	74	0.7	38	0.4
6	相談・支援機関や福祉の人	711	3.7	414	4.0	297	3.4
7	その他	259	1.3	142	1.4	117	1.3
	無回答	358	1.9	171	1.6	187	2.1
	全体	19242	100.0	10398	100.0	8844	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○) b)重要な事柄の相談で1を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	家族・親族	17866	94.1	9719	94.4	8147	93.7
2	友人・知人	6655	35.1	3674	35.7	2981	34.3
3	近所の人	408	2.1	237	2.3	171	2.0
4	職場の人	1418	7.5	795	7.7	623	7.2
5	民生委員・児童委員	30	0.2	12	0.1	18	0.2
6	相談・支援機関や福祉の人	279	1.5	153	1.5	126	1.4
7	その他	162	0.9	80	0.8	82	0.9
	無回答	479	2.5	246	2.4	233	2.7
	全体	18987	100.0	10291	100.0	8696	100.0

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○) c)いざという時のお金の援助で1を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	家族・親族	13857	97.6	7601	97.9	6256	97.2
2	友人・知人	302	2.1	153	2.0	149	2.3
3	近所の人	22	0.2	13	0.2	9	0.1
4	職場の人	95	0.7	45	0.6	50	0.8
5	民生委員・児童委員	14	0.1	6	0.1	8	0.1
6	相談・支援機関や福祉の人	204	1.4	92	1.2	112	1.7
7	その他	84	0.6	42	0.5	42	0.7
	無回答	141	1.0	74	1.0	67	1.0
	全体	14201	100.0	7766	100.0	6435	100.0

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	大変ゆとりがある	451	2.2	296	2.7	155	1.7
2	ゆとりがある	3159	15.8	1869	17.3	1290	13.9
3	ふつう	12255	61.1	6610	61.2	5645	61.0
4	苦しい	3274	16.3	1615	15.0	1659	17.9
5	大変苦しい	714	3.6	310	2.9	404	4.4
	無回答	202	1.0	100	0.9	102	1.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	50万円未満	97	0.5	47	0.4	50	0.5
2	50～100万円未満	196	1.0	98	0.9	98	1.1
3	100～150万円未満	327	1.6	176	1.6	151	1.6
4	150～200万円未満	405	2.0	177	1.6	228	2.5
5	200～250万円未満	526	2.6	239	2.2	287	3.1
6	250～300万円未満	564	2.8	280	2.6	284	3.1
7	300～350万円未満	556	2.8	286	2.6	270	2.9
8	350～400万円未満	860	4.3	447	4.1	413	4.5
9	400～450万円未満	1056	5.3	586	5.4	470	5.1
10	450～500万円未満	1255	6.3	697	6.5	558	6.0
11	500～600万円未満	2223	11.1	1157	10.7	1066	11.5
12	600～700万円未満	2218	11.1	1225	11.3	993	10.7
13	700～800万円未満	2197	11.0	1184	11.0	1013	10.9
14	800～900万円未満	1688	8.4	891	8.3	797	8.6
15	900～1000万円未満	1529	7.6	846	7.8	683	7.4
16	1000万円以上	3019	15.1	1774	16.4	1245	13.5
	無回答	1339	6.7	690	6.4	649	7.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1～21のあてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	食費を切りつめた	4534	22.6	2238	20.7	2296	24.8
2	電気・ガス・水道などが止められた	202	1.0	97	0.9	105	1.1
3	医療機関を受診できなかった	254	1.3	133	1.2	121	1.3
4	国民健康保険の支払いが滞った	378	1.9	191	1.8	187	2.0
5	国民年金の支払いが滞った	455	2.3	225	2.1	230	2.5
6	金融機関などに借金をした	572	2.9	243	2.3	329	3.6
7	クレジットカードの利用が停止になった	314	1.6	149	1.4	165	1.8
8	新しい衣服・靴を買うのを控えた	5217	26.0	2670	24.7	2547	27.5
9	新聞や雑誌を買うのを控えた	2434	12.1	1184	11.0	1250	13.5
10	スマートフォンへの切替・利用を断念した	663	3.3	332	3.1	331	3.6
11	冠婚葬祭のつきあいを控えた	378	1.9	184	1.7	194	2.1
12	生活の見通しがたたなくて不安になった	1636	8.2	789	7.3	847	9.2
13	鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	1415	7.1	727	6.7	688	7.4
14	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞った	321	1.6	146	1.4	175	1.9
15	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	401	2.0	189	1.8	212	2.3
16	趣味やレジャーの出費を減らした	5705	28.4	2846	26.4	2859	30.9
17	冷暖房の使用を控えた	2060	10.3	999	9.3	1061	11.5
18	友人・知人との外食を控えた	4251	21.2	2134	19.8	2117	22.9
19	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	316	1.6	155	1.4	161	1.7
20	理髪店・美容院へ行く回数を減らした	3996	19.9	2040	18.9	1956	21.1
21	子ども部屋が欲しかったがつかれなかった	1152	5.7	598	5.5	554	6.0
22	どれもあてはまらない	9451	47.1	5334	49.4	4117	44.5
	無回答	699	3.5	395	3.7	304	3.3
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。(1～14のあてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	子どもを医療機関に受診させることができなかった	120	0.6	57	0.5	63	0.7
2	子どもの進路を変更した	176	0.9	92	0.9	84	0.9
3	子どものための本や絵本が買えなかった	469	2.3	239	2.2	230	2.5
4	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	1141	5.7	495	4.6	646	7.0
5	子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	1035	5.2	478	4.4	557	6.0
6	子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	26	0.1	13	0.1	13	0.1
7	子どもを習い事に通わせることができなかった	1391	6.9	706	6.5	685	7.4
8	子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	52	0.3	27	0.3	25	0.3
9	子どもを学習塾に通わせることができなかった	1647	8.2	765	7.1	882	9.5
10	子どもの誕生日を祝えなかった	154	0.8	60	0.6	94	1.0
11	子どもにお年玉をあげることができなかった	549	2.7	242	2.2	307	3.3
12	子どもの学校行事に参加することができなかった	197	1.0	94	0.9	103	1.1
13	子ども会、地域の行事(祭など)活動に参加することができなかった	242	1.2	128	1.2	114	1.2
14	家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった	3344	16.7	1585	14.7	1759	19.0
15	どれもあてはまらない	14247	71.0	7891	73.1	6356	68.7
	無回答	1282	6.4	704	6.5	578	6.2
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

a 就学援助

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	現在利用している	2630	13.1	1256	11.6	1374	14.8
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	1061	5.3	470	4.4	591	6.4
3	利用したことがない	16103	80.3	8953	82.9	7150	77.3
	無回答	261	1.3	121	1.1	140	1.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

b 生活保護

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	現在利用している	298	1.5	141	1.3	157	1.7
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	199	1.0	92	0.9	107	1.2
3	利用したことがない	19189	95.7	10389	96.2	8800	95.1
	無回答	369	1.8	178	1.6	191	2.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

c くらし支援窓口

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	現在利用している	83	0.4	43	0.4	40	0.4
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	94	0.5	51	0.5	43	0.5
3	利用したことがない	19479	97.1	10514	97.4	8965	96.9
	無回答	399	2.0	192	1.8	207	2.2
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

d 児童扶養手当

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	現在利用している	2131	10.6	1056	9.8	1075	11.6
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	441	2.2	207	1.9	234	2.5
3	利用したことがない	17119	85.4	9365	86.7	7754	83.8
	無回答	364	1.8	172	1.6	192	2.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

e ひとり親家庭支援センター

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	現在利用している	213	1.1	110	1.0	103	1.1
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	187	0.9	92	0.9	95	1.0
3	利用したことがない	19246	96.0	10405	96.3	8841	95.5
	無回答	409	2.0	193	1.8	216	2.3
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤について、あてはまるもの1つに○) a 就学援助で3を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	13401	83.2	7427	83.0	5974	83.6
2	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	111	0.7	57	0.6	54	0.8
3	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	27	0.2	17	0.2	10	0.1
4	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	72	0.4	38	0.4	34	0.5
5	それ以外の理由	304	1.9	184	2.1	120	1.7
	無回答	2188	13.6	1230	13.7	958	13.4
	全体	16103	100.0	8953	100.0	7150	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤について、あてはまるもの1つに○) b 生活保護で3を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	15093	78.7	8210	79.0	6883	78.2
2	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	173	0.9	101	1.0	72	0.8
3	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	14	0.1	7	0.1	7	0.1
4	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	61	0.3	30	0.3	31	0.4
5	それ以外の理由	493	2.6	267	2.6	226	2.6
	無回答	3355	17.5	1774	17.1	1581	18.0
	全体	19189	100.0	10389	100.0	8800	100.0

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤について、あてはまるもの1つに○) c 暮らし支援窓口で3を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	13376	68.7	7315	69.6	6061	67.6
2	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	580	3.0	327	3.1	253	2.8
3	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	515	2.6	248	2.4	267	3.0
4	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	214	1.1	110	1.0	104	1.2
5	それ以外の理由	1139	5.8	604	5.7	535	6.0
	無回答	3655	18.8	1910	18.2	1745	19.5
	全体	19479	100.0	10514	100.0	8965	100.0

問 23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤について、あてはまるもの1つに○) d 児童扶養手当で3を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	13802	80.6	7583	81.0	6219	80.2
2	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	73	0.4	39	0.4	34	0.4
3	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	32	0.2	18	0.2	14	0.2
4	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	47	0.3	27	0.3	20	0.3
5	それ以外の理由	450	2.6	247	2.6	203	2.6
	無回答	2715	15.9	1451	15.5	1264	16.3
	全体	17119	100.0	9365	100.0	7754	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問23 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤について、あてはまるもの1つに○) eひとり親家庭支援センターで3を選択された方

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	14077	73.1	7735	74.3	6342	71.7
2	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	346	1.8	186	1.8	160	1.8
3	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	260	1.4	124	1.2	136	1.5
4	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	196	1.0	90	0.9	106	1.2
5	それ以外の理由	884	4.6	457	4.4	427	4.8
	無回答	3483	18.1	1813	17.4	1670	18.9
	全体	19246	100.0	10405	100.0	8841	100.0

問24 現在のあなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	15901	79.3	8588	79.5	7313	79.0
2	県営・市町村営の住宅	675	3.4	314	2.9	361	3.9
3	公社賃貸住宅	261	1.3	139	1.3	122	1.3
4	民間の賃貸住宅	2593	12.9	1404	13.0	1189	12.8
5	官舎・社宅	263	1.3	166	1.5	97	1.0
6	その他	154	0.8	79	0.7	75	0.8
	無回答	208	1.0	110	1.0	98	1.1
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問25 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの仕事に変化はありましたか。a. あなたの職場や職種が変わる、または仕事内容が変わるなどの変化はありましたか。(あなたにとってもっとも影響が大きかったものに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	変化はなかった	12135	60.5	6521	60.4	5614	60.7
2	テレワークなど勤務場所が変わった	1136	5.7	698	6.5	438	4.7
3	時差通勤になった	268	1.3	150	1.4	118	1.3
4	勤務形態(パートなど)が変更になった	167	0.8	88	0.8	79	0.9
5	勤務時間・日数が変更になった	1874	9.3	959	8.9	915	9.9
6	休業を命じられた	644	3.2	323	3.0	321	3.5
7	職種が変更になった	147	0.7	72	0.7	75	0.8
8	失業した(職場都合での失業)	254	1.3	136	1.3	118	1.3
9	退職した(自主退職)	280	1.4	156	1.4	124	1.3
10	別の職場へ転職した	464	2.3	261	2.4	203	2.2
11	その他	1140	5.7	595	5.5	545	5.9
	無回答	1546	7.7	841	7.8	705	7.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの仕事に変化はありましたか。 b. 仕事の変化はあなたにとって負担になったと思いますか。 (あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	まったく負担に感じなかった	730	11.5	415	12.1	315	10.7
2	あまり負担に感じなかった	1609	25.2	924	26.9	685	23.3
3	まあまあ負担に感じた	2428	38.1	1262	36.7	1166	39.7
4	とても負担に感じた	1294	20.3	674	19.6	620	21.1
	無回答	313	4.9	163	4.7	150	5.1
	全体	6374	100.0	3438	100.0	2936	100.0

問 26 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響であなたが利用した制度がありますか。(あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	特別定額給付金(対象者1人につき10万円を給付)	16501	82.3	8818	81.6	7683	83.0
2	子育て世帯への臨時特別給付金	5461	27.2	3055	28.3	2406	26.0
3	ひとり親世帯臨時特別給付金	1512	7.5	734	6.8	778	8.4
4	個人向け緊急小口資金等の特例(緊急小口資金)	411	2.0	216	2.0	195	2.1
5	国民年金保険料の免除・国民保険料の減免	441	2.2	218	2.0	223	2.4
6	休業等対応助成金・休業等対応支援金	370	1.8	211	2.0	159	1.7
7	住居確保給付金(家賃)	58	0.3	29	0.3	29	0.3
8	企業主導型ベビーシッター利用者支援事業	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9	生活困窮者などへの相談窓口	55	0.3	27	0.3	28	0.3
10	家計が急変した家庭の学生に対する支援(授業料減免等)	59	0.3	22	0.2	37	0.4
11	困窮学生に対する授業料免除等の支援(大学・高校・専門学校等の支援)	54	0.3	18	0.2	36	0.4
12	国の学生支援緊急給付金	48	0.2	18	0.2	30	0.3
13	子どものための体験活動などへの支援	17	0.1	11	0.1	6	0.1
14	修学旅行の中止や延期に伴うキャンセル料等への支援	37	0.2	17	0.2	20	0.2
15	事業者向けの支援制度(持続化給付金)	815	4.1	446	4.1	369	4.0
16	事業者向けの支援制度(家賃支援給付金)	264	1.3	136	1.3	128	1.4
17	事業者向けの支援制度(雇用調整助成金の特例)	214	1.1	121	1.1	93	1.0
18	自治体独自の個人向けの支援制度	32	0.2	18	0.2	14	0.2
19	自治体独自の事業者向けの支援制度	107	0.5	62	0.6	45	0.5
20	その他	100	0.5	51	0.5	49	0.5
21	1~20のどの制度も利用していない	2517	12.6	1405	13.0	1112	12.0
	無回答	622	3.1	349	3.2	273	2.9
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問27 次のa～fの質問について、この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) a) 神経過敏に感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	1181	5.9	614	5.7	567	6.1
2	たいてい	1701	8.5	929	8.6	772	8.3
3	ときどき	4833	24.1	2592	24.0	2241	24.2
4	少しだけ	4505	22.5	2397	22.2	2108	22.8
5	まったくない	7382	36.8	4036	37.4	3346	36.2
	無回答	453	2.3	232	2.1	221	2.4
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問27 次のa～fの質問について、この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b) 絶望的だと感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	374	1.9	187	1.7	187	2.0
2	たいてい	566	2.8	291	2.7	275	3.0
3	ときどき	2157	10.8	1132	10.5	1025	11.1
4	少しだけ	3109	15.5	1600	14.8	1509	16.3
5	まったくない	13369	66.7	7349	68.0	6020	65.0
	無回答	480	2.4	241	2.2	239	2.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問27 次のa～fの質問について、この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) c) そわそわ、落ち着かなく感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	452	2.3	237	2.2	215	2.3
2	たいてい	851	4.2	453	4.2	398	4.3
3	ときどき	3334	16.6	1748	16.2	1586	17.1
4	少しだけ	4558	22.7	2387	22.1	2171	23.5
5	まったくない	10359	51.7	5727	53.0	4632	50.0
	無回答	501	2.5	248	2.3	253	2.7
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 27 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○) d) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	589	2.9	299	2.8	290	3.1
2	たいてい	1040	5.2	528	4.9	512	5.5
3	ときどき	3465	17.3	1801	16.7	1664	18.0
4	少しだけ	4756	23.7	2535	23.5	2221	24.0
5	まったくない	9740	48.6	5401	50.0	4339	46.9
	無回答	465	2.3	236	2.2	229	2.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 27 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○) e) 何をするのも面倒だと感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	895	4.5	444	4.1	451	4.9
2	たいてい	1533	7.6	826	7.6	707	7.6
3	ときどき	4337	21.6	2267	21.0	2070	22.4
4	少しだけ	5733	28.6	3099	28.7	2634	28.5
5	まったくない	7108	35.4	3944	36.5	3164	34.2
	無回答	449	2.2	220	2.0	229	2.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 27 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○) f) 自分は価値のない人間だと感じた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	いつも	485	2.4	249	2.3	236	2.5
2	たいてい	586	2.9	307	2.8	279	3.0
3	ときどき	1869	9.3	964	8.9	905	9.8
4	少しだけ	2944	14.7	1513	14.0	1431	15.5
5	まったくない	13695	68.3	7533	69.8	6162	66.6
	無回答	476	2.4	234	2.2	242	2.6
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 28 あなたとお子さんの健康状態はいかがですか。(a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○) a) あなた

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	良い	9679	48.3	5476	50.7	4203	45.4
2	まあ良い	4033	20.1	2155	20.0	1878	20.3
3	普通	4472	22.3	2267	21.0	2205	23.8
4	あまり良くない	1405	7.0	678	6.3	727	7.9
5	良くない	199	1.0	92	0.9	107	1.2
	無回答	267	1.3	132	1.2	135	1.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

問 28 あなたとお子さんの健康状態はいかがですか。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○) b)お子さん

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	良い	13691	68.3	7815	72.4	5876	63.5
2	まあ良い	3565	17.8	1784	16.5	1781	19.2
3	普通	2156	10.8	939	8.7	1217	13.1
4	あまり良くない	306	1.5	104	1.0	202	2.2
5	良くない	53	0.3	16	0.1	37	0.4
	無回答	284	1.4	142	1.3	142	1.5
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 29 ご家族の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	みんな健康である	14775	73.7	8202	75.9	6573	71.0
2	通院している家族がいる	4203	21.0	2085	19.3	2118	22.9
3	入院している家族がいる	100	0.5	46	0.4	54	0.6
4	通院していないが体調が悪い家族がいる	580	2.9	275	2.5	305	3.3
5	障がいのある家族がいる(難病をのぞく)	1066	5.3	538	5.0	528	5.7
6	難病の指定を受けた家族がいる	448	2.2	233	2.2	215	2.3
7	介護が必要な家族がいる	354	1.8	168	1.6	186	2.0
8	その他	133	0.7	58	0.5	75	0.8
	無回答	315	1.6	154	1.4	161	1.7
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

問 30 調査対象のお子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまるもの1つに○) ※今後の子育て施策に活かしたいと考えているため、差支えなければお答えください。

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	持っている	718	3.6	366	3.4	352	3.8
2	持っていない	18877	94.1	10182	94.3	8695	93.9
	無回答	460	2.3	252	2.3	208	2.2
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

学年フラグ... (あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	小学校	10800	53.9	10800	100.0	0	0.0
2	中学校	9255	46.1	0	0.0	9255	100.0
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

年齢区分

問1 あなたの年齢と性別を教えてください。b性別(あてはまるもの1つに○)

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	20代	69	0.3	56	0.5	13	0.1
2	30代	3932	19.6	2735	25.3	1197	12.9
3	40代	12524	62.4	6526	60.4	5998	64.8
4	50代	1962	9.8	688	6.4	1274	13.8
5	60代以上	65	0.3	27	0.3	38	0.4
	無回答	1503	7.5	768	7.1	735	7.9
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

家族の人数区分

問4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数(子どもを含む。)と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。aご家族の人数

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	2人	1629	8.1	878	8.1	751	8.1
2	3~4人	12134	60.5	6462	59.8	5672	61.3
3	5~6人	5537	27.6	3055	28.3	2482	26.8
4	7人以上	352	1.8	190	1.8	162	1.8
	無回答	403	2.0	215	2.0	188	2.0
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

子どもの人数区分

問4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数(子どもを含む。)と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。b子どもの人数

No.	カテゴリー名	人数	%	人数	%	人数	%
1	1人	2995	14.9	1618	15.0	1377	14.9
2	2人	9885	49.3	5264	48.7	4621	49.9
3	3人	4961	24.7	2771	25.7	2190	23.7
4	4人以上	1128	5.6	601	5.6	527	5.7
	無回答	1086	5.4	546	5.1	540	5.8
	全体	20055	100.0	10800	100.0	9255	100.0

4.2. クロス集計表（報告書本文非掲載分）

1. 【世帯構成別】 家族へのケア（ケアの実施の有無）
2. 【世帯構成別】 家族へのケア（ケアを必要としている人）
3. 【世帯構成別】 家族へのケア（ケアの内容）
4. 【世帯構成別】 家族へのケア（ケアの頻度）
5. 【世帯構成別】 家族へのケア（ケアの時間）
6. 【朝食の頻度別】 主観的幸福（生活満足度）
7. 【就寝時間の規則性別】 主観的幸福（生活満足度）
8. 【子どもの通学状況別】 自覚症状のある健康状態
9. 【子どもの通学状況別】 この一週間の気持ち
10. 【家族へのケア実施の有無別】 学習習慣 a) 学校がある日
11. 【家族へのケア実施の有無別】 学習習慣 b) 学校がない日
12. 【家族へのケア実施の有無別】 部活動等の状況
13. 【家族へのケア実施の有無別】 部活動等を行わない理由
14. 【家族へのケア実施の有無別】 遅刻の状況
15. 【家族へのケア実施の有無別】 信頼できる大人・友人
16. 【家族へのケア実施の有無別】 主観的幸福（生活満足度）
17. 【家族へのケア実施の有無別】 自覚症状のある健康状態
18. 【家族へのケア実施の有無別】 子どものはく奪指標
19. 【家族へのケア実施の有無別】 放課後過ごす場所
20. 【子どもの通学状況別】 進学希望
21. 【子どもの通学状況別】 想定する進学先の理由（子ども）
22. 【子どもの通学状況別】 信頼できる大人・友人
23. 【子どもの通学状況別】 支援の利用状況 a) 放課後や休日を過ごすことができる場所
24. 【子どもの通学状況別】 支援の利用状況 b) 夕ご飯を無料か安く食べることができる場所
25. 【子どもの通学状況別】 支援の利用状況 c) 勉強を無料でみてくれる場所
26. 【子どもの通学状況別】 支援の利用状況 d) 何でも相談できる場所
27. 【子どもの通学状況別】 支援の効果
28. 【支援の利用状況別】 子どもの生活満足度 a) 放課後や休日を過ごすことができる場所
29. 【支援の利用状況別】 子どもの生活満足度 b) 夕ご飯を無料か安く食べることができる場所
30. 【支援の利用状況別】 子どもの生活満足度 c) 勉強を無料でみてくれる場所
31. 【支援の利用状況別】 子どもの生活満足度 d) 何でも相談できる場所

32. 【最終学歴別】親の雇用形態（母親）
33. 【最終学歴別】親の雇用形態（父親）
34. 【最終学歴別（母親）】進学の見通し
35. 【最終学歴別（父親）】進学の見通し
36. 【家族で使用している言語別】子どもの通学状況
37. 【家族へのケア実施の有無別】親の婚姻状況
38. 【家族へのケア実施の有無別】家族で使用している言語
39. 【家族へのケア実施の有無別】親の雇用形態 a) 母親
40. 【家族へのケア実施の有無別】親の雇用形態 b) 父親
41. 【家族へのケア実施の有無別】就労していない理由 a) 母親
42. 【家族へのケア実施の有無別】就労していない理由 b) 父親
43. 【家族へのケア実施の有無別】子どもの通学状況
44. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 a) 就学援助
45. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 b) 生活保護
46. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 c) 暮らし支援窓口
47. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 d) 児童扶養手当
48. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 e) ひとり親家庭支援センター
49. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 a) 子育てに関する相談
50. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 b) 重要な事柄の相談
51. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 c) いざという時のお金の援助
52. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 a) 子育てに関する相談
53. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 b) 重要な事柄の相談
54. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 c) いざという時のお金の援助
55. 【困窮度別】支援の利用状況（利用したことがない理由） a) 就学援助
56. 【困窮度別】支援の利用状況（利用したことがない理由） b) 生活保護
57. 【困窮度別】支援の利用状況（利用したことがない理由） c) 暮らし支援窓口
58. 【困窮度別】支援の利用状況（利用したことがない理由） d) 児童扶養手当
59. 【困窮度別】支援の利用状況（利用したことがない理由） e) ひとり親家庭支援センター
60. 【世帯構成別】支援の利用状況（利用したことがない理由） a) 就学援助
61. 【世帯構成別】支援の利用状況（利用したことがない理由） b) 生活保護
62. 【世帯構成別】支援の利用状況（利用したことがない理由） c) 暮らしの支援窓口
63. 【世帯構成別】支援の利用状況（利用したことがない理由） d) 児童扶養手当
64. 【世帯構成別】支援の利用状況（利用したことがない理由） e) ひとり親家庭支援センター

1. 【世帯構成別】家族へのケア（実施の有無）

		合計	問11a. 家族の世話をしているか		
			している	していない	無回答
	全体	19899	5759	12924	1216
		100.0	28.9	64.9	6.1
世帯構成区分	二人親家庭	17297	4904	11377	1016
		100.0	28.4	65.8	5.9
	母子家庭	1767	585	1054	128
		100.0	33.1	59.6	7.2
	父子家庭	179	63	99	17
		100.0	35.2	55.3	9.5
	その他	392	121	248	23
		100.0	30.9	63.3	5.9
無回答	264	86	146	32	
	100.0	32.6	55.3	12.1	

2. 【世帯構成別】家族へのケア（ケアを必要としている人）

		合計	問11a-1. 世話を必要としている人						
			母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
	全体	5759	3532	1224	486	218	2738	575	154
		100.0	61.3	21.3	8.4	3.8	47.5	10.0	2.7
世帯構成区分	二人親家庭	4904	2996	1145	362	176	2427	486	122
		100.0	61.1	23.3	7.4	3.6	49.5	9.9	2.5
	母子家庭	585	397	20	76	28	215	54	20
		100.0	67.9	3.4	13.0	4.8	36.8	9.2	3.4
	父子家庭	63	7	37	16	3	19	4	2
		100.0	11.1	58.7	25.4	4.8	30.2	6.3	3.2
	その他	121	73	11	21	8	49	17	7
		100.0	60.3	9.1	17.4	6.6	40.5	14.0	5.8
無回答	86	59	11	11	3	28	14	3	
	100.0	68.6	12.8	12.8	3.5	32.6	16.3	3.5	

3. 【世帯構成別】家族へのケア（ケアの内容）

		合計	問11b. 世話の内容					
			家事(食事の準備や掃除・洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
	全体	5759	4249	1402	233	1545	64	814
		100.0	73.8	24.3	4.0	26.8	1.1	14.1
世帯構成区分	二人親家庭	4904	3583	1259	198	1282	51	678
		100.0	73.1	25.7	4.0	26.1	1.0	13.8
	母子家庭	585	452	105	25	187	10	106
		100.0	77.3	17.9	4.3	32.0	1.7	18.1
	父子家庭	63	54	6	2	19	0	9
		100.0	85.7	9.5	3.2	30.2	0.0	14.3
	その他	121	92	20	5	32	3	13
	100.0	76.0	16.5	4.1	26.4	2.5	10.7	
	無回答	86	68	12	3	25	0	8
		100.0	79.1	14.0	3.5	29.1	0.0	9.3
		合計	問11c. 世話をする頻度					無回答
			見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	その他	
	全体	5759	923	42	37	59	613	40
		100.0	16.0	0.7	0.6	1.0	10.6	0.7
世帯構成区分	二人親家庭	4904	814	33	27	44	528	31
		100.0	16.6	0.7	0.6	0.9	10.8	0.6
	母子家庭	585	71	4	4	6	55	5
		100.0	12.1	0.7	0.7	1.0	9.4	0.9
	父子家庭	63	11	1	3	5	7	2
		100.0	17.5	1.6	4.8	7.9	11.1	3.2
	その他	121	17	3	3	4	11	2
	100.0	14.0	2.5	2.5	3.3	9.1	1.7	
	無回答	86	10	1	0	0	12	0
		100.0	11.6	1.2	0.0	0.0	14.0	0.0

4. 【世帯構成別】家族へのケア（ケアの頻度）

		合計	問11c. 世話をする頻度					無回答
			ほぼ毎日	週に3~5日	週に1~2日	1か月に数日	その他	
	全体	5759	2458	1374	1286	426	162	53
		100.0	42.7	23.9	22.3	7.4	2.8	0.9
世帯構成区分	二人親家庭	4904	2089	1163	1109	370	130	43
		100.0	42.6	23.7	22.6	7.5	2.7	0.9
	母子家庭	585	249	143	129	40	19	5
		100.0	42.6	24.4	22.1	6.8	3.2	0.9
	父子家庭	63	33	13	12	0	4	1
		100.0	52.4	20.6	19.0	0.0	6.3	1.6
	その他	121	56	30	19	8	5	3
	100.0	46.3	24.8	15.7	6.6	4.1	2.5	
	無回答	86	31	25	17	8	4	1
		100.0	36.0	29.1	19.8	9.3	4.7	1.2

5. 【世帯構成別】家族へのケア（ケアの時間）

		合計	問11d. 平日にどれくらいやっているか							
			30分未満	30分以上 1時間未 満	1時間以上 3時間未 満	3時間以上 5時間未 満	5時間以上 7時間未 満	7時間以上	その他	無回答
	全体	5759	2797	1451	660	202	91	101	372	85
		100.0	48.6	25.2	11.5	3.5	1.6	1.8	6.5	1.5
世帯構成区分	二人親家庭	4904	2446	1212	548	169	72	89	302	66
		100.0	49.9	24.7	11.2	3.4	1.5	1.8	6.2	1.3
	母子家庭	585	248	171	70	18	12	8	46	12
		100.0	42.4	29.2	12.0	3.1	2.1	1.4	7.9	2.1
	父子家庭	63	22	15	10	4	1	0	9	2
		100.0	34.9	23.8	15.9	6.3	1.6	0.0	14.3	3.2
	その他	121	42	37	17	7	5	3	8	2
		100.0	34.7	30.6	14.0	5.8	4.1	2.5	6.6	1.7
無回答	86	39	16	15	4	1	1	7	3	
	100.0	45.3	18.6	17.4	4.7	1.2	1.2	8.1	3.5	

6. 【朝食の頻度別】主観的幸福（生活満足度）

		合計	問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか					
			0：まった く満足し ていない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問12. どのく らい食事をして いるか a) 朝食	毎日食べる(週7 日)	16325	144	107	217	508	748	1741
		100.0	0.9	0.7	1.3	3.1	4.6	10.7
	週5~6日	1902	18	27	72	101	157	286
		100.0	0.9	1.4	3.8	5.3	8.3	15.0
	週3~4日	628	9	11	25	42	49	87
		100.0	1.4	1.8	4.0	6.7	7.8	13.9
	週1~2日、ほと んど食べない	876	31	17	50	75	67	168
	100.0	3.5	1.9	5.7	8.6	7.6	19.2	
無回答	168	0	2	4	3	5	23	
	100.0	0.0	1.2	2.4	1.8	3.0	13.7	
	合計	6	7	8	9	10：十分 に満足し ている	無回答	
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問12. どのく らい食事をして いるか a) 朝食	毎日食べる(週7 日)	16325	1102	2014	2966	2093	4535	150
		100.0	6.8	12.3	18.2	12.8	27.8	0.9
	週5~6日	1902	169	264	315	205	277	11
		100.0	8.9	13.9	16.6	10.8	14.6	0.6
	週3~4日	628	47	82	101	55	113	7
		100.0	7.5	13.1	16.1	8.8	18.0	1.1
	週1~2日、ほと んど食べない	876	80	93	103	63	118	11
	100.0	9.1	10.6	11.8	7.2	13.5	1.3	
無回答	168	4	11	11	12	28	65	
	100.0	2.4	6.5	6.5	7.1	16.7	38.7	

7. 【就寝時間の規則性別】主観的幸福（生活満足度）

		合計	問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか					無回答
			0:まったく満足していない	1	2	3	4	
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問13. ふだん ほぼ同じ時間 に寝ているか	そうである	6419	46	29	70	156	245	585
		100.0	0.7	0.5	1.1	2.4	3.8	9.1
	どちらかといえ ばそうである	8785	57	51	134	305	451	977
		100.0	0.6	0.6	1.5	3.5	5.1	11.1
	どちらかといえ ばそうではない	2920	34	35	90	143	204	449
		100.0	1.2	1.2	3.1	4.9	7.0	15.4
	そうではない	1672	64	48	74	124	123	290
	100.0	3.8	2.9	4.4	7.4	7.4	17.3	
	無回答	103	1	1	0	1	3	4
		100.0	1.0	1.0	0.0	1.0	2.9	3.9
		合計	6	7	8	9	10:十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問13. ふだん ほぼ同じ時間 に寝ているか	そうである	6419	383	679	1160	860	2144	62
		100.0	6.0	10.6	18.1	13.4	33.4	1.0
	どちらかといえ ばそうである	8785	647	1228	1693	1144	2031	67
		100.0	7.4	14.0	19.3	13.0	23.1	0.8
	どちらかといえ ばそうではない	2920	251	384	462	304	538	26
		100.0	8.6	13.2	15.8	10.4	18.4	0.9
	そうではない	1672	119	169	177	113	348	23
	100.0	7.1	10.1	10.6	6.8	20.8	1.4	
	無回答	103	2	4	4	7	10	66
		100.0	1.9	3.9	3.9	6.8	9.7	64.1

8. 【子どもの通学状況別】自覚症状のある健康状態

		合計	子どもの自覚のある健康状態区分（子ども票問17の回答数）					無回答
			2個以下	3～5個	6～8個	9～11個	12個以上	
	全体	19899	14507	3972	977	98	7	338
		100.0	72.9	20.0	4.9	0.5	0.0	1.7
問17. 通学状況 について	ほぼ毎日通っている	18431	13722	3538	787	72	5	307
		100.0	74.5	19.2	4.3	0.4	0.0	1.7
	欠席は年間30日未満 である	661	334	217	83	14	2	11
		100.0	50.5	32.8	12.6	2.1	0.3	1.7
	欠席は年間30日以上 、60日未満である	125	52	37	29	4	0	3
		100.0	41.6	29.6	23.2	3.2	0.0	2.4
	欠席は年間60日以上 、1年未満である	182	58	81	39	2	0	2
		100.0	31.9	44.5	21.4	1.1	0.0	1.1
	欠席が1年以上続い ている	62	31	19	8	0	0	4
	100.0	50.0	30.6	12.9	0.0	0.0	6.5	
わからない	55	33	12	6	1	0	3	
	100.0	60.0	21.8	10.9	1.8	0.0	5.5	
	無回答	383	277	68	25	5	0	8
		100.0	72.3	17.8	6.5	1.3	0.0	2.1

9. 【子どもの通学状況別】この一週間の気持ち

		合計	子どもの心理状態（子ども票問25）		
			抑うつ傾向 なし	抑うつ傾向 あり	無回答
	全体	19899	14761	3439	1699
		100.0	74.2	17.3	8.5
問17. 通学状況 について	ほぼ毎日通っている	18431	13968	2930	1533
		100.0	75.8	15.9	8.3
	欠席は年間30日未満 である	661	354	235	72
		100.0	53.6	35.6	10.9
	欠席は年間30日以上 、60日未満である	125	50	59	16
		100.0	40.0	47.2	12.8
	欠席は年間60日以上 、1年未満である	182	61	102	19
		100.0	33.5	56.0	10.4
	欠席が1年以上続い ている	62	28	28	6
	100.0	45.2	45.2	9.7	
わからない	55	31	15	9	
	100.0	56.4	27.3	16.4	
無回答	383	269	70	44	
	100.0	70.2	18.3	11.5	

10. 【家族へのケア実施の有無別】学習習慣 a) 学校がある日

		合計	問3. 1日あたりの勉強時間 a) 学校がある日(月～金曜日)						無回答
			まったく しない	30分より 少ない	30分以 上、1時間 より少な い	1時間以 上、2時間 より少な い	2時間以 上、3時間 より少な い	3時間以上	
	全体	19899	1017	3222	6429	5272	2419	1295	245
		100.0	5.1	16.2	32.3	26.5	12.2	6.5	1.2
問11a. 家族の 世話をし ているか	している	5759	258	897	1916	1557	674	396	61
		100.0	4.5	15.6	33.3	27.0	11.7	6.9	1.1
	していない	12924	700	2131	4127	3403	1610	826	127
		100.0	5.4	16.5	31.9	26.3	12.5	6.4	1.0
	無回答	1216	59	194	386	312	135	73	57
		100.0	4.9	16.0	31.7	25.7	11.1	6.0	4.7

11. 【家族へのケア実施の有無別】学習習慣 b) 学校がない日

		合計	問3. 1日あたりの勉強時間 b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)						無回答
			まったく しない	30分より 少ない	30分以上 、1時間よ り少ない	1時間以上 、2時間よ り少ない	2時間以上 、3時間よ り少ない	3時間以上	
	全体	19899	3336	4291	4656	3568	1628	1348	1072
		100.0	16.8	21.6	23.4	17.9	8.2	6.8	5.4
問11a. 家族の 世話をし ているか	している	5759	893	1261	1358	1059	480	369	339
		100.0	15.5	21.9	23.6	18.4	8.3	6.4	5.9
	していない	12924	2247	2775	3024	2299	1063	907	609
		100.0	17.4	21.5	23.4	17.8	8.2	7.0	4.7
	無回答	1216	196	255	274	210	85	72	124
		100.0	16.1	21.0	22.5	17.3	7.0	5.9	10.2

12. 【家族へのケア実施の有無別】部活動等の状況

		合計	問9. 学校の部活動に参加しているか		
			参加している	参加していない	無回答
	全体	9167	8186	839	142
		100.0	89.3	9.2	1.5
問11a. 家族の世話をしているか	している	2461	2230	197	34
		100.0	90.6	8.0	1.4
	していない	6322	5678	581	63
		100.0	89.8	9.2	1.0
	無回答	384	278	61	45
		100.0	72.4	15.9	11.7

13. 【家族へのケア実施の有無別】部活動等を行わない理由

		合計	問10. 参加していない理由						
			入りたいクラブ・部活動がないから	塾や習い事ごとが忙しいから	費用がかかるから	家の事情(家族の世話・家事など)があるから	一緒にいる友達がいないから	その他	無回答
	全体	989	350	213	64	65	73	418	14
		100.0	35.4	21.5	6.5	6.6	7.4	42.3	1.4
問11a. 家族の世話をしているか	している	243	77	61	20	24	22	95	3
		100.0	31.7	25.1	8.2	9.9	9.1	39.1	1.2
	していない	658	244	131	38	29	42	293	9
		100.0	37.1	19.9	5.8	4.4	6.4	44.5	1.4
	無回答	88	29	21	6	12	9	30	2
		100.0	33.0	23.9	6.8	13.6	10.2	34.1	2.3

14. 【家族へのケア実施の有無別】遅刻の状況

		合計	問14. 学校に遅刻することがあるか					
			毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	遅刻はしない	無回答
	全体	19899	170	126	326	797	18262	218
		100.0	0.9	0.6	1.6	4.0	91.8	1.1
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	37	41	96	272	5269	44
		100.0	0.6	0.7	1.7	4.7	91.5	0.8
	していない	12924	120	70	206	458	11970	100
		100.0	0.9	0.5	1.6	3.5	92.6	0.8
	無回答	1216	13	15	24	67	1023	74
		100.0	1.1	1.2	2.0	5.5	84.1	6.1

15. 【家族へのケア実施の有無別】信頼できる大人・友人

		問15. 相談できると思う人はだれか						
		合計	親	きょうだい	祖父母・親せきなど	学校の先生	学校の友達	学校外の友達
	全体	19899	15026	4472	2838	5720	11689	3127
		100.0	75.5	22.5	14.3	28.7	58.7	15.7
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4368	1353	803	1730	3560	958
		100.0	75.8	23.5	13.9	30.0	61.8	16.6
	していない	12924	9792	2824	1848	3674	7483	1974
		100.0	75.8	21.9	14.3	28.4	57.9	15.3
	無回答	1216	866	295	187	316	646	195
		100.0	71.2	24.3	15.4	26.0	53.1	16.0
	合計		スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(児童館・学童保育施設・ユースステーションの人、塾・習いごとの先生)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答	
	全体	19899	756	1114	505	1309	268	
		100.0	3.8	5.6	2.5	6.6	1.3	
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	200	357	162	355	52	
		100.0	3.5	6.2	2.8	6.2	0.9	
	していない	12924	517	699	316	883	124	
		100.0	4.0	5.4	2.4	6.8	1.0	
	無回答	1216	39	58	27	71	92	
		100.0	3.2	4.8	2.2	5.8	7.6	

16. 【家族へのケア実施の有無別】主観的幸福（生活満足度）

		合計	問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか					
			0：まったく満足していない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	66	35	117	221	300	642
		100.0	1.1	0.6	2.0	3.8	5.2	11.1
	していない	12924	124	114	229	467	669	1559
		100.0	1.0	0.9	1.8	3.6	5.2	12.1
	無回答	1216	12	15	22	41	57	104
		100.0	1.0	1.2	1.8	3.4	4.7	8.6
	合計		6	7	8	9	10：十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	392	698	1027	717	1489	55
		100.0	6.8	12.1	17.8	12.5	25.9	1.0
	していない	12924	931	1642	2284	1539	3256	110
		100.0	7.2	12.7	17.7	11.9	25.2	0.9
	無回答	1216	79	124	185	172	326	79
		100.0	6.5	10.2	15.2	14.1	26.8	6.5

17. 【家族へのケア実施の有無別】自覚症状のある健康状態

		問17. 自分の体や気持ちで気になること						
		合計	ねむれな い	よく頭が 痛くなる	歯がいたい	ものを見 づらい	音が聞こ えにくい	よくおな かがいた くなる
	全体	19899	2802	2532	365	1344	537	3819
		100.0	14.1	12.7	1.8	6.8	2.7	19.2
問11a. 家族の 世話をしてい るか	している	5759	942	833	112	435	186	1245
		100.0	16.4	14.5	1.9	7.6	3.2	21.6
	していない	12924	1685	1544	231	843	316	2367
		100.0	13.0	11.9	1.8	6.5	2.4	18.3
無回答	1216	175	155	22	66	35	207	
	100.0	14.4	12.7	1.8	5.4	2.9	17.0	
		合計	よいかぜ をひく	よいかゆ くなる	不安な気持 ちになる	まわりが 気になる	やる気が 起きない	イライラ する
	全体	19899	235	3339	3328	3637	4874	3973
		100.0	1.2	16.8	16.7	18.3	24.5	20.0
問11a. 家族の 世話をしてい るか	している	5759	91	1043	1067	1189	1464	1264
		100.0	1.6	18.1	18.5	20.6	25.4	21.9
	していない	12924	126	2101	2080	2238	3170	2499
		100.0	1.0	16.3	16.1	17.3	24.5	19.3
無回答	1216	18	195	181	210	240	210	
	100.0	1.5	16.0	14.9	17.3	19.7	17.3	
		合計	その他	とくに気 になるこ とはない	無回答			
	全体	19899	1182	7720	338			
		100.0	5.9	38.8	1.7			
問11a. 家族の 世話をしてい るか	している	5759	418	1981	78			
		100.0	7.3	34.4	1.4			
	していない	12924	695	5301	166			
		100.0	5.4	41.0	1.3			
無回答	1216	69	438	94				
	100.0	5.7	36.0	7.7				

18. 【家族へのケア実施の有無別】子どものはく奪指標

		問20. 持っているものや、使うことができるもの						
		合計	本(学校の教科書やマンガはのぞく)	マンガ・雑誌	子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいで一緒に使っている部屋など)	インターネットにつながるパソコン	運動用具(ボール・ラケットなど)	ゲーム機
	全体	19899	16478	15905	14856	11067	16224	16748
		100.0	82.8	79.9	74.7	55.6	81.5	84.2
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4712	4538	4357	2995	4684	4793
		100.0	81.8	78.8	75.7	52.0	81.3	83.2
	していない	12924	10879	10515	9687	7489	10658	11004
		100.0	84.2	81.4	75.0	57.9	82.5	85.1
	無回答	1216	887	852	812	583	882	951
		100.0	72.9	70.1	66.8	47.9	72.5	78.2
		合計	自転車	テレビ	けいたい電話	スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)	化粧品・アクセサリ	習いごとなどの道具(ピアノなど)
	全体	19899	16056	16899	10609	14660	6107	12201
		100.0	80.7	84.9	53.3	73.7	30.7	61.3
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4737	4861	3219	4233	1900	3508
		100.0	82.3	84.4	55.9	73.5	33.0	60.9
	していない	12924	10394	11096	6746	9634	3847	8016
		100.0	80.4	85.9	52.2	74.5	29.8	62.0
	無回答	1216	925	942	644	793	360	677
		100.0	76.1	77.5	53.0	65.2	29.6	55.7
		合計	自分で選んだ服	キャラクターグッズ	その他	あてはまるものはない	無回答	
	全体	19899	15078	13697	3338	20	165	
		100.0	75.8	68.8	16.8	0.1	0.8	
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4384	3945	992	5	44	
		100.0	76.1	68.5	17.2	0.1	0.8	
	していない	12924	9854	9003	2155	12	56	
		100.0	76.2	69.7	16.7	0.1	0.4	
	無回答	1216	840	749	191	3	65	
		100.0	69.1	61.6	15.7	0.2	5.3	

19. 【家族へのケア実施の有無別】放課後過ごす場所

		問21. ふだんの放課後、どこで過ごすか						
		合計	自分の家	祖父母の家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)
	全体	19899	18638	1357	2868	7093	7257	5523
		100.0	93.7	6.8	14.4	35.6	36.5	27.8
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	5392	435	961	1945	2173	1585
		100.0	93.6	7.6	16.7	33.8	37.7	27.5
	していない	12924	12186	821	1686	4764	4651	3693
		100.0	94.3	6.4	13.0	36.9	36.0	28.6
	無回答	1216	1060	101	221	384	433	245
		100.0	87.2	8.3	18.2	31.6	35.6	20.1
		合計	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など	地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子供が集まるところ)
	全体	19899	6849	1123	708	295	392	98
		100.0	34.4	5.6	3.6	1.5	2.0	0.5
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	2133	411	254	88	140	37
		100.0	37.0	7.1	4.4	1.5	2.4	0.6
	していない	12924	4228	613	394	184	225	55
		100.0	32.7	4.7	3.0	1.4	1.7	0.4
	無回答	1216	488	99	60	23	27	6
		100.0	40.1	8.1	4.9	1.9	2.2	0.5
		合計	学童保育・放課後等デイサービスなど	その他	無回答			
	全体	19899	913	499	0			
		100.0	4.6	2.5	0.0			
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	240	180	0			
		100.0	4.2	3.1	0.0			
	していない	12924	609	286	0			
		100.0	4.7	2.2	0.0			
	無回答	1216	64	33	0			
		100.0	5.3	2.7	0.0			

20. 【子どもの通学状況別】進学希望

		合計	問7. 将来どの段階まで進学したいか					まだわからない	無回答
			中学(中等部)まで	高校(高等部)まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上			
	全体	19899	119	2664	2474	8841	5139	662	
		100.0	0.6	13.4	12.4	44.4	25.8	3.3	
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	107	2375	2282	8399	4677	591	
		100.0	0.6	12.9	12.4	45.6	25.4	3.2	
	欠席は年間30日未満である	661	8	129	101	195	204	24	
		100.0	1.2	19.5	15.3	29.5	30.9	3.6	
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	0	28	12	35	40	10	
		100.0	0.0	22.4	9.6	28.0	32.0	8.0	
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	1	40	19	51	65	6	
		100.0	0.5	22.0	10.4	28.0	35.7	3.3	
	欠席が1年以上続いている	62	1	11	4	12	26	8	
100.0		1.6	17.7	6.5	19.4	41.9	12.9		
わからない	55	1	16	6	10	19	3		
	100.0	1.8	29.1	10.9	18.2	34.5	5.5		
無回答	383	1	65	50	139	108	20		
	100.0	0.3	17.0	13.1	36.3	28.2	5.2		

21. 【子どもの通学状況別】 想定する進学先の理由（子ども）

		合計	問8. その理由					家にお金がないから
			希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	
	全体	14098	7391	2003	2507	814	474	315
		100.0	52.4	14.2	17.8	5.8	3.4	2.2
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	13163	6940	1877	2362	759	443	274
		100.0	52.7	14.3	17.9	5.8	3.4	2.1
	欠席は年間30日未満である	433	214	66	69	29	16	22
		100.0	49.4	15.2	15.9	6.7	3.7	5.1
	欠席は年間30日以上、60日未満である	75	41	4	11	6	3	3
		100.0	54.7	5.3	14.7	8.0	4.0	4.0
	欠席は年間60日以上、1年未満である	111	46	20	12	5	3	6
		100.0	41.4	18.0	10.8	4.5	2.7	5.4
欠席が1年以上続いている	28	10	3	2	1	2	0	
	100.0	35.7	10.7	7.1	3.6	7.1	0.0	
わからない	33	12	3	8	2	0	2	
	100.0	36.4	9.1	24.2	6.1	0.0	6.1	
無回答	255	128	30	43	12	7	8	
		100.0	50.2	11.8	16.9	4.7	2.7	3.1
		合計	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答		
	全体	14098	523	1229	2582	149		
		100.0	3.7	8.7	18.3	1.1		
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	13163	474	1108	2402	140		
		100.0	3.6	8.4	18.2	1.1		
	欠席は年間30日未満である	433	28	50	79	2		
		100.0	6.5	11.5	18.2	0.5		
	欠席は年間30日以上、60日未満である	75	2	18	11	0		
		100.0	2.7	24.0	14.7	0.0		
	欠席は年間60日以上、1年未満である	111	8	17	25	1		
		100.0	7.2	15.3	22.5	0.9		
欠席が1年以上続いている	28	0	6	7	0			
	100.0	0.0	21.4	25.0	0.0			
わからない	33	2	4	7	0			
	100.0	6.1	12.1	21.2	0.0			
無回答	255	9	26	51	6			
		100.0	3.5	10.2	20.0	2.4		

22. 【子どもの通学状況別】信頼できる大人・友人

		問15. 相談できると思う人はだれか						
		合計	親	きょうだい	祖父母・親せきなど	学校の先生	学校の友達	学校外の友達
	全体	19899	15026	4472	2838	5720	11689	3127
		100.0	75.5	22.5	14.3	28.7	58.7	15.7
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	14050	4211	2670	5375	11023	2913
		100.0	76.2	22.8	14.5	29.2	59.8	15.8
	欠席は年間30日未満である	661	445	124	78	157	306	90
		100.0	67.3	18.8	11.8	23.8	46.3	13.6
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	74	18	13	34	44	16
		100.0	59.2	14.4	10.4	27.2	35.2	12.8
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	108	21	23	31	50	16
		100.0	59.3	11.5	12.6	17.0	27.5	8.8
	欠席が1年以上続いている	62	38	8	3	7	9	5
		100.0	61.3	12.9	4.8	11.3	14.5	8.1
わからない	55	35	10	7	11	25	8	
	100.0	63.6	18.2	12.7	20.0	45.5	14.5	
無回答	383	276	80	44	105	232	79	
		100.0	72.1	20.9	11.5	27.4	60.6	20.6
		合計	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(児童館・学童保育施設・ユースステーションの人、塾・習いごとの先生)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答	
	全体	19899	756	1114	505	1309	268	
		100.0	3.8	5.6	2.5	6.6	1.3	
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	636	1050	419	1147	224	
		100.0	3.5	5.7	2.3	6.2	1.2	
	欠席は年間30日未満である	661	63	33	43	62	15	
		100.0	9.5	5.0	6.5	9.4	2.3	
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	16	6	10	17	8	
		100.0	12.8	4.8	8.0	13.6	6.4	
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	21	9	15	34	7	
		100.0	11.5	4.9	8.2	18.7	3.8	
	欠席が1年以上続いている	62	6	3	6	14	2	
		100.0	9.7	4.8	9.7	22.6	3.2	
わからない	55	6	0	1	2	3		
	100.0	10.9	0.0	1.8	3.6	5.5		
無回答	383	8	13	11	33	9		
		100.0	2.1	3.4	2.9	8.6	2.3	

23. 【子どもの通学状況別】支援の利用状況 a)放課後や休日を過ごすことができる場所

		問18. 利用したことがある場所 a)放課後や休日を過ごすことができる場所					
		合計	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
	全体	19899	6840	1347	6676	4625	411
		100.0	34.4	6.8	33.5	23.2	2.1
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	6337	1241	6222	4263	368
		100.0	34.4	6.7	33.8	23.1	2.0
	欠席は年間30日未満である	661	225	53	202	164	17
		100.0	34.0	8.0	30.6	24.8	2.6
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	46	12	32	34	1
		100.0	36.8	9.6	25.6	27.2	0.8
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	63	7	68	38	6
		100.0	34.6	3.8	37.4	20.9	3.3
	欠席が1年以上続いている	62	25	2	20	11	4
	100.0	40.3	3.2	32.3	17.7	6.5	
わからない	55	21	5	12	12	5	
	100.0	38.2	9.1	21.8	21.8	9.1	
無回答	383	123	27	120	103	10	
	100.0	32.1	7.0	31.3	26.9	2.6	

24. 【子どもの通学状況別】支援の利用状況 b)夕ご飯を無料か安く食べることができる場所

		問18. 利用したことがある場所 b)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所					
		合計	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
	全体	19899	852	4500	7448	6519	580
		100.0	4.3	22.6	37.4	32.8	2.9
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	783	4190	6924	6015	519
		100.0	4.2	22.7	37.6	32.6	2.8
	欠席は年間30日未満である	661	41	150	229	221	20
		100.0	6.2	22.7	34.6	33.4	3.0
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	5	23	42	48	7
		100.0	4.0	18.4	33.6	38.4	5.6
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	4	32	75	63	8
		100.0	2.2	17.6	41.2	34.6	4.4
	欠席が1年以上続いている	62	0	4	26	26	6
	100.0	0.0	6.5	41.9	41.9	9.7	
わからない	55	2	10	14	23	6	
	100.0	3.6	18.2	25.5	41.8	10.9	
無回答	383	17	91	138	123	14	
	100.0	4.4	23.8	36.0	32.1	3.7	

25. 【子どもの通学状況別】支援の利用状況 c)勉強を無料でみてくれる場所

		合計	問18. 利用したことがある場所 c)勉強を無料でみてくれる場所				
			利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
	全体	19899	776	6573	6107	5875	568
		100.0	3.9	33.0	30.7	29.5	2.9
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	691	6144	5672	5420	504
		100.0	3.7	33.3	30.8	29.4	2.7
	欠席は年間30日未満である	661	45	206	201	187	22
		100.0	6.8	31.2	30.4	28.3	3.3
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	7	29	41	42	6
		100.0	5.6	23.2	32.8	33.6	4.8
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	12	50	50	64	6
		100.0	6.6	27.5	27.5	35.2	3.3
欠席が1年以上続いている	62	5	13	19	20	5	
	100.0	8.1	21.0	30.6	32.3	8.1	
わからない	55	2	15	8	23	7	
	100.0	3.6	27.3	14.5	41.8	12.7	
無回答	383	14	116	116	119	18	
	100.0	3.7	30.3	30.3	31.1	4.7	

26. 【子どもの通学状況別】支援の利用状況 d)何でも相談できる場所

		合計	問18. 利用したことがある場所 d)何でも相談できる場所				
			利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
	全体	19899	445	3036	7973	7809	636
		100.0	2.2	15.3	40.1	39.2	3.2
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	18431	373	2802	7443	7246	567
		100.0	2.0	15.2	40.4	39.3	3.1
	欠席は年間30日未満である	661	28	118	242	250	23
		100.0	4.2	17.9	36.6	37.8	3.5
	欠席は年間30日以上、60日未満である	125	7	18	51	42	7
		100.0	5.6	14.4	40.8	33.6	5.6
	欠席は年間60日以上、1年未満である	182	17	23	61	74	7
		100.0	9.3	12.6	33.5	40.7	3.8
欠席が1年以上続いている	62	8	6	21	22	5	
	100.0	12.9	9.7	33.9	35.5	8.1	
わからない	55	6	5	15	24	5	
	100.0	10.9	9.1	27.3	43.6	9.1	
無回答	383	6	64	140	151	22	
	100.0	1.6	16.7	36.6	39.4	5.7	

27. 【子どもの通学状況別】支援の効果

		合計	問19. 利用したことで変化があったか					
			友達が 増えた	気軽に話 せる大人 が増えた	生活の中 で楽し みなこ とが増 えた	ほっと できる 時間 が増 えた	栄養の ある食 事をと れるこ とが増 えた	勉強が わかる よう になっ た
	全体	7567	3900	1594	1849	1171	308	620
		100.0	51.5	21.1	24.4	15.5	4.1	8.2
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	6979	3661	1474	1736	1073	288	571
		100.0	52.5	21.1	24.9	15.4	4.1	8.2
	欠席は年間30日未満である	261	117	60	55	44	11	29
		100.0	44.8	23.0	21.1	16.9	4.2	11.1
	欠席は年間30日以上、60日未満である	55	17	11	10	10	1	3
		100.0	30.9	20.0	18.2	18.2	1.8	5.5
	欠席は年間60日以上、1年未満である	76	24	14	12	13	0	4
		100.0	31.6	18.4	15.8	17.1	0.0	5.3
	欠席が1年以上続いている	28	9	3	2	3	0	2
	100.0	32.1	10.7	7.1	10.7	0.0	7.1	
わからない	23	10	4	4	2	2	0	
	100.0	43.5	17.4	17.4	8.7	8.7	0.0	
無回答	145	62	28	30	26	6	11	
		100.0	42.8	19.3	20.7	17.9	4.1	7.6
		合計	勉強する 時間が増 えた	その他	特に変化は ない	無回答		
	全体	7567	1136	356	2053	194		
		100.0	15.0	4.7	27.1	2.6		
問17. 通学状況について	ほぼ毎日通っている	6979	1051	323	1845	180		
		100.0	15.1	4.6	26.4	2.6		
	欠席は年間30日未満である	261	41	6	89	3		
		100.0	15.7	2.3	34.1	1.1		
	欠席は年間30日以上、60日未満である	55	5	4	23	3		
		100.0	9.1	7.3	41.8	5.5		
	欠席は年間60日以上、1年未満である	76	10	4	29	1		
		100.0	13.2	5.3	38.2	1.3		
	欠席が1年以上続いている	28	3	3	12	0		
	100.0	10.7	10.7	42.9	0.0			
わからない	23	2	1	10	0			
	100.0	8.7	4.3	43.5	0.0			
無回答	145	24	15	45	7			
		100.0	16.6	10.3	31.0	4.8		

28. 【支援の利用状況別】子どもの生活満足度 a)放課後や休日を過ごすことができる場所

		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	0:まったく満足していない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問18. 利用したことがある場所 a)放課後や休日を過ごすことができる場所	利用したことがある	6840	65	52	128	207	374	794
		100.0	1.0	0.8	1.9	3.0	5.5	11.6
	あれば利用したいと思う	1347	9	14	26	64	76	159
		100.0	0.7	1.0	1.9	4.8	5.6	11.8
	今後も利用したいと思わない	6676	70	57	114	258	319	695
		100.0	1.0	0.9	1.7	3.9	4.8	10.4
	今後利用したいかどうか分からない	4625	54	38	97	184	235	621
	100.0	1.2	0.8	2.1	4.0	5.1	13.4	
無回答	411	4	3	3	16	22	36	
	100.0	1.0	0.7	0.7	3.9	5.4	8.8	
		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	6	7	8	9	10:十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問18. 利用したことがある場所 a)放課後や休日を過ごすことができる場所	利用したことがある	6840	492	889	1210	816	1736	77
		100.0	7.2	13.0	17.7	11.9	25.4	1.1
	あれば利用したいと思う	1347	94	161	230	185	312	17
		100.0	7.0	12.0	17.1	13.7	23.2	1.3
	今後も利用したいと思わない	6676	445	855	1192	827	1795	49
		100.0	6.7	12.8	17.9	12.4	26.9	0.7
	今後利用したいかどうか分からない	4625	349	526	802	561	1120	38
	100.0	7.5	11.4	17.3	12.1	24.2	0.8	
無回答	411	22	33	62	39	108	63	
	100.0	5.4	8.0	15.1	9.5	26.3	15.3	

29. 【支援の利用状況別】子どもの生活満足度 b) タご飯を無料か安く食べることができる場所

		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	0:まったく満足していない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問18. 利用したことがある場所 b) タご飯を無料か安く食べることができる場所	利用したことがある	852	15	8	13	35	49	94
		100.0	1.8	0.9	1.5	4.1	5.8	11.0
	あれば利用したいと思う	4500	52	41	85	191	257	536
		100.0	1.2	0.9	1.9	4.2	5.7	11.9
	今後も利用したいと思わない	7448	80	60	145	242	355	753
		100.0	1.1	0.8	1.9	3.2	4.8	10.1
	今後利用したいかどうか分からない	6519	54	49	123	244	334	861
	100.0	0.8	0.8	1.9	3.7	5.1	13.2	
無回答	580	1	6	2	17	31	61	
		100.0	0.2	1.0	0.3	2.9	5.3	10.5
		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	6	7	8	9	10:十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問18. 利用したことがある場所 b) タご飯を無料か安く食べることができる場所	利用したことがある	852	67	114	126	97	227	7
		100.0	7.9	13.4	14.8	11.4	26.6	0.8
	あれば利用したいと思う	4500	338	554	873	539	994	40
		100.0	7.5	12.3	19.4	12.0	22.1	0.9
	今後も利用したいと思わない	7448	488	917	1330	957	2068	53
		100.0	6.6	12.3	17.9	12.8	27.8	0.7
	今後利用したいかどうか分からない	6519	478	827	1089	786	1614	60
	100.0	7.3	12.7	16.7	12.1	24.8	0.9	
無回答	580	31	52	78	49	168	84	
		100.0	5.3	9.0	13.4	8.4	29.0	14.5

30. 【支援の利用状況別】子どもの生活満足度 c) 勉強を無料でみてる場所

		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	0:まったく満足していない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問18. 利用したことがある場所 c) 勉強を無料でみてる場所	利用したことがある	776	17	9	18	39	47	87
		100.0	2.2	1.2	2.3	5.0	6.1	11.2
	あれば利用したいと思う	6573	64	56	123	258	355	732
		100.0	1.0	0.9	1.9	3.9	5.4	11.1
	今後も利用したいと思わない	6107	69	52	110	226	304	626
		100.0	1.1	0.9	1.8	3.7	5.0	10.3
	今後利用したいかどうか分からない	5875	49	41	116	191	297	800
	100.0	0.8	0.7	2.0	3.3	5.1	13.6	
	無回答	568	3	6	1	15	23	60
		100.0	0.5	1.1	0.2	2.6	4.0	10.6
		問16. 全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	6	7	8	9	10:十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問18. 利用したことがある場所 c) 勉強を無料でみてる場所	利用したことがある	776	68	79	128	86	193	5
		100.0	8.8	10.2	16.5	11.1	24.9	0.6
	あれば利用したいと思う	6573	480	849	1205	783	1625	43
		100.0	7.3	12.9	18.3	11.9	24.7	0.7
	今後も利用したいと思わない	6107	390	746	1090	767	1675	52
		100.0	6.4	12.2	17.8	12.6	27.4	0.9
	今後利用したいかどうか分からない	5875	429	739	995	737	1422	59
	100.0	7.3	12.6	16.9	12.5	24.2	1.0	
	無回答	568	35	51	78	55	156	85
		100.0	6.2	9.0	13.7	9.7	27.5	15.0

31. 【支援の利用状況別】子どもの生活満足度 d)何でも相談できる場所

		問16.全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	0:まったく満足していない	1	2	3	4	5
	全体	19899	202	164	368	729	1026	2305
		100.0	1.0	0.8	1.8	3.7	5.2	11.6
問18.利用したことがある場所 d)何でも相談できる場所	利用したことがある	445	16	9	25	27	25	52
		100.0	3.6	2.0	5.6	6.1	5.6	11.7
	あれば利用したいと思う	3036	42	36	64	157	182	369
		100.0	1.4	1.2	2.1	5.2	6.0	12.2
	今後も利用したいと思わない	7973	70	71	140	277	403	805
		100.0	0.9	0.9	1.8	3.5	5.1	10.1
今後利用したいかどうか分からない	7809	69	43	135	255	385	1011	
	100.0	0.9	0.6	1.7	3.3	4.9	12.9	
無回答	636	5	5	4	13	31	68	
	100.0	0.8	0.8	0.6	2.0	4.9	10.7	
		問16.全体として最近の生活にどのくらい満足しているか						
		合計	6	7	8	9	10:十分に満足している	無回答
	全体	19899	1402	2464	3496	2428	5071	244
		100.0	7.0	12.4	17.6	12.2	25.5	1.2
問18.利用したことがある場所 d)何でも相談できる場所	利用したことがある	445	27	56	55	50	100	3
		100.0	6.1	12.6	12.4	11.2	22.5	0.7
	あれば利用したいと思う	3036	251	381	546	345	635	28
		100.0	8.3	12.5	18.0	11.4	20.9	0.9
	今後も利用したいと思わない	7973	511	979	1442	1017	2201	57
		100.0	6.4	12.3	18.1	12.8	27.6	0.7
今後利用したいかどうか分からない	7809	576	991	1367	954	1950	73	
	100.0	7.4	12.7	17.5	12.2	25.0	0.9	
無回答	636	37	57	86	62	185	83	
	100.0	5.8	9.0	13.5	9.7	29.1	13.1	

32. 【最終学歴別】親の雇用形態（母親）

		合計	問10. 親の就労状況について a) 母親						無回答
			正社員・ 正規職員 ・会社役 員	嘱託・契 約社員・ 派遣職員	パート・ アルバイト ・日雇 い・非常 勤職員	自営業(家 族従業者 、内職、 自由業、 フリーラ ンスを含 む。)	働いてい ない(専業 主婦/主夫 を含む)	わからな い、いな い	
	全体	19899	4518	978	9043	1241	3708	97	314
		100.0	22.7	4.9	45.4	6.2	18.6	0.5	1.6
問9. 親の最終学歴 a) 母親	中学（中学部）まで	647	67	26	309	67	163	8	7
		100.0	10.4	4.0	47.8	10.4	25.2	1.2	1.1
	高校（高等部）まで	4699	822	249	2436	286	867	20	19
		100.0	17.5	5.3	51.8	6.1	18.5	0.4	0.4
	短大・高専・専門学校（専攻科）まで	8123	1850	357	3963	461	1461	10	21
		100.0	22.8	4.4	48.8	5.7	18.0	0.1	0.3
	大学またはそれ以上	5978	1759	336	2271	418	1172	4	18
		100.0	29.4	5.6	38.0	7.0	19.6	0.1	0.3
	わからない	54	8	2	11	3	9	21	0
		100.0	14.8	3.7	20.4	5.6	16.7	38.9	0.0
いない	34	0	0	1	0	0	32	1	
	100.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	94.1	2.9	
無回答	364	12	8	52	6	36	2	248	
	100.0	3.3	2.2	14.3	1.6	9.9	0.5	68.1	

33. 【最終学歴別】親の雇用形態（父親）

		合計	問10. 親の就労状況について b) 父親						無回答
			正社員・ 正規職員 ・会社役 員	嘱託・契 約社員・ 派遣職員	パート・ アルバイト ・日雇 い・非常 勤職員	自営業(家 族従業者 、内職、 自由業、 フリーラ ンスを含 む。)	働いてい ない(専業 主婦/主夫 を含む)	わからな い、いな い	
	全体	19899	15345	236	167	2168	131	483	1369
		100.0	77.1	1.2	0.8	10.9	0.7	2.4	6.9
問9. 親の最終学歴 b) 父親	中学（中学部）まで	868	445	14	31	281	31	38	28
		100.0	51.3	1.6	3.6	32.4	3.6	4.4	3.2
	高校（高等部）まで	5178	4058	91	69	772	40	64	84
		100.0	78.4	1.8	1.3	14.9	0.8	1.2	1.6
	短大・高専・専門学校（専攻科）まで	2969	2400	44	27	432	17	28	21
		100.0	80.8	1.5	0.9	14.6	0.6	0.9	0.7
	大学またはそれ以上	9220	8258	84	38	659	38	59	84
		100.0	89.6	0.9	0.4	7.1	0.4	0.6	0.9
	わからない	106	45	2	0	10	3	43	3
		100.0	42.5	1.9	0.0	9.4	2.8	40.6	2.8
いない	248	1	0	1	0	0	237	9	
	100.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	95.6	3.6	
無回答	1310	138	1	1	14	2	14	1140	
	100.0	10.5	0.1	0.1	1.1	0.2	1.1	87.0	

34. 【最終学歴別（母親）】進学の見通し

		合計	問15. 将来どの段階まで進学すると思うか					無回答
			中学（中 学部）ま で	高校（高 等部）ま で	短大・高 専・専門 学校（専 攻科）ま で	大学また はそれ以 上	まだわか らない	
	全体	19899	75	2114	2355	10740	4184	431
		100.0	0.4	10.6	11.8	54.0	21.0	2.2
問9. 親の最終学 歴 a) 母親	中学（中学部）まで	647	22	279	86	98	140	22
		100.0	3.4	43.1	13.3	15.1	21.6	3.4
	高校（高等部）まで	4699	17	1053	698	1640	1175	116
		100.0	0.4	22.4	14.9	34.9	25.0	2.5
	短大・高専・専門学 校（専攻科）まで	8123	21	547	1189	4368	1819	179
		100.0	0.3	6.7	14.6	53.8	22.4	2.2
	大学またはそれ以上	5978	10	150	346	4489	914	69
		100.0	0.2	2.5	5.8	75.1	15.3	1.2
	わからない	54	1	15	6	7	23	2
		100.0	1.9	27.8	11.1	13.0	42.6	3.7
いない	34	1	11	3	9	10	0	
	100.0	2.9	32.4	8.8	26.5	29.4	0.0	
無回答	364	3	59	27	129	103	43	
	100.0	0.8	16.2	7.4	35.4	28.3	11.8	

35. 【最終学歴別（父親）】進学の見通し

		合計	問15. 将来どの段階まで進学すると思うか					無回答
			中学（中 学部）ま で	高校（高 等部）ま で	短大・高 専・専門 学校（専 攻科）ま で	大学また はそれ以 上	まだわか らない	
	全体	19899	75	2114	2355	10740	4184	431
		100.0	0.4	10.6	11.8	54.0	21.0	2.2
問9. 親の最終学 歴 b) 父親	中学（中学部）まで	868	13	246	162	192	227	28
		100.0	1.5	28.3	18.7	22.1	26.2	3.2
	高校（高等部）まで	5178	25	927	798	2018	1297	113
		100.0	0.5	17.9	15.4	39.0	25.0	2.2
	短大・高専・専門学 校（専攻科）まで	2969	8	233	494	1446	737	51
		100.0	0.3	7.8	16.6	48.7	24.8	1.7
	大学またはそれ以上	9220	11	321	665	6567	1504	152
		100.0	0.1	3.5	7.2	71.2	16.3	1.6
	わからない	106	1	25	15	20	39	6
		100.0	0.9	23.6	14.2	18.9	36.8	5.7
いない	248	3	50	41	92	56	6	
	100.0	1.2	20.2	16.5	37.1	22.6	2.4	
無回答	1310	14	312	180	405	324	75	
	100.0	1.1	23.8	13.7	30.9	24.7	5.7	

36. 【家族で使用している言語別】子どもの通学状況

		合計	問17. 通学状況について						
			ほぼ毎日通っている	欠席は年間30日未満である	欠席は年間30日以上、60日未満である	欠席は年間60日以上、1年未満である	欠席が1年以上続いている	わからない	無回答
	全体	19899	18431	661	125	182	62	55	383
		100.0	92.6	3.3	0.6	0.9	0.3	0.3	1.9
問8. 家庭ではどれくらい日本語以外の言語を使用しているか	日本語のみを使用している	18900	17545	622	112	172	60	48	341
		100.0	92.8	3.3	0.6	0.9	0.3	0.3	1.8
	日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	650	593	25	10	5	1	3	13
		100.0	91.2	3.8	1.5	0.8	0.2	0.5	2.0
	日本語以外の言語を使うことが多い	123	109	8	0	0	0	1	5
	100.0	88.6	6.5	0.0	0.0	0.0	0.8	4.1	
	無回答	226	184	6	3	5	1	3	24
		100.0	81.4	2.7	1.3	2.2	0.4	1.3	10.6

37. 【家族へのケア実施の有無別】親の婚姻状況

		合計	問6. 生計を同一にしている親の婚姻状況					わからない、いない	無回答
			結婚している(再婚や事実婚を含む)	離婚	死別	未婚			
	全体	19899	17297	1962	171	172	87	210	
		100.0	86.9	9.9	0.9	0.9	0.4	1.1	
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4904	640	57	56	34	68	
		100.0	85.2	11.1	1.0	1.0	0.6	1.2	
	していない	12924	11377	1182	104	103	46	112	
		100.0	88.0	9.1	0.8	0.8	0.4	0.9	
	無回答	1216	1016	140	10	13	7	30	
		100.0	83.6	11.5	0.8	1.1	0.6	2.5	

38. 【家族へのケア実施の有無別】家族で使用している言語

		合計	問8. 家庭ではどれくらい日本語以外の言語を使用しているか			
			日本語のみを使用している	日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	日本語以外の言語を使うことが多い	無回答
	全体	19899	18900	650	123	226
		100.0	95.0	3.3	0.6	1.1
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	5413	232	52	62
		100.0	94.0	4.0	0.9	1.1
	していない	12924	12360	368	60	136
		100.0	95.6	2.8	0.5	1.1
	無回答	1216	1127	50	11	28
		100.0	92.7	4.1	0.9	2.3

39. 【家族へのケア実施の有無別】親の雇用形態 a) 母親

		問10. 親の就労状況について a) 母親							
		合計	正社員・ 正規職員 ・会社役 員	嘱託・契 約社員・ 派遣職員	パート・ アルバイト ・日雇 い・非常 勤職員	自営業(家 族従業者 、内職、 自由業、 フリーラ ンスを含 む。)	働いてい ない(専業 主婦/主夫 を含む)	わからな い、いな い	無回答
全体		19899	4518	978	9043	1241	3708	97	314
		100.0	22.7	4.9	45.4	6.2	18.6	0.5	1.6
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	1455	290	2525	376	983	30	100
		100.0	25.3	5.0	43.8	6.5	17.1	0.5	1.7
	していない	12924	2773	621	6003	762	2527	57	181
		100.0	21.5	4.8	46.4	5.9	19.6	0.4	1.4
無回答		1216	290	67	515	103	198	10	33
		100.0	23.8	5.5	42.4	8.5	16.3	0.8	2.7

40. 【家族へのケア実施の有無別】親の雇用形態 b) 父親

		問10. 親の就労状況について b) 父親							
		合計	正社員・ 正規職員 ・会社役 員	嘱託・契 約社員・ 派遣職員	パート・ アルバイト ・日雇 い・非常 勤職員	自営業(家 族従業者 、内職、 自由業、 フリーラ ンスを含 む。)	働いてい ない(専業 主婦/主夫 を含む)	わからな い、いな い	無回答
全体		19899	15345	236	167	2168	131	483	1369
		100.0	77.1	1.2	0.8	10.9	0.7	2.4	6.9
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	4298	65	57	684	35	158	462
		100.0	74.6	1.1	1.0	11.9	0.6	2.7	8.0
	していない	12924	10141	155	94	1343	90	296	805
		100.0	78.5	1.2	0.7	10.4	0.7	2.3	6.2
無回答		1216	906	16	16	141	6	29	102
		100.0	74.5	1.3	1.3	11.6	0.5	2.4	8.4

41. 【家族へのケア実施の有無別】就労していない理由 a) 母親

		問11. 働いていない主な理由 a) 母親							無回答
		合計	働きたい が、希望 する条件 の仕事が ないため	子育てを 優先した いため	家族の介 護・介助 のため	自分の病 気や障害 のため	通学して いるため	その他の 理由	無回答
全体		3708	566	1970	107	271	25	443	326
		100.0	15.3	53.1	2.9	7.3	0.7	11.9	8.8
問11a. 家族の世話をしているか	している	983	141	544	22	76	2	106	92
		100.0	14.3	55.3	2.2	7.7	0.2	10.8	9.4
	していない	2527	400	1316	78	183	18	313	219
		100.0	15.8	52.1	3.1	7.2	0.7	12.4	8.7
無回答		198	25	110	7	12	5	24	15
		100.0	12.6	55.6	3.5	6.1	2.5	12.1	7.6

42. 【家族へのケア実施の有無別】就労していない理由 b) 父親

		合計	問11. 働いていない主な理由 b) 父親						
			働きたいが、希望する条件の仕事がないため	子育てを優先したため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	無回答
	全体	131	20	8	5	62	1	30	5
		100.0	15.3	6.1	3.8	47.3	0.8	22.9	3.8
問11a. 家族の世話をしているか	している	35	8	1	2	20	0	4	0
		100.0	22.9	2.9	5.7	57.1	0.0	11.4	0.0
	していない	90	12	7	3	40	1	23	4
		100.0	13.3	7.8	3.3	44.4	1.1	25.6	4.4
	無回答	6	0	0	0	2	0	3	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0	16.7

43. 【家族へのケア実施の有無別】子どもの通学状況

		合計	問17. 通学状況について						
			ほぼ毎日通っている	欠席は年間30日未満である	欠席は年間30日以上、60日未満である	欠席は年間60日以上、1年未満である	欠席が1年以上続いている	わからない	無回答
	全体	19899	18431	661	125	182	62	55	383
		100.0	92.6	3.3	0.6	0.9	0.3	0.3	1.9
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	5341	210	25	42	14	17	110
		100.0	92.7	3.6	0.4	0.7	0.2	0.3	1.9
	していない	12924	11964	409	92	133	44	35	247
		100.0	92.6	3.2	0.7	1.0	0.3	0.3	1.9
	無回答	1216	1126	42	8	7	4	3	26
		100.0	92.6	3.5	0.7	0.6	0.3	0.2	2.1

44. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 a) 就学援助

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 a) 就学援助			
			現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
	全体	19899	2622	1049	15969	259
		100.0	13.2	5.3	80.3	1.3
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	938	339	4401	81
		100.0	16.3	5.9	76.4	1.4
	していない	12924	1507	647	10612	158
		100.0	11.7	5.0	82.1	1.2
	無回答	1216	177	63	956	20
		100.0	14.6	5.2	78.6	1.6

45. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 b)生活保護

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 b)生活保護			
			現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
	全体	19899	300	200	19032	367
		100.0	1.5	1.0	95.6	1.8
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	125	73	5441	120
		100.0	2.2	1.3	94.5	2.1
	していない	12924	156	104	12451	213
		100.0	1.2	0.8	96.3	1.6
無回答	1216	19	23	1140	34	
	100.0	1.6	1.9	93.8	2.8	

46. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 c)くらし支援窓口

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 c)くらし支援窓口			
			現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
	全体	19899	83	94	19324	398
		100.0	0.4	0.5	97.1	2.0
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	32	34	5557	136
		100.0	0.6	0.6	96.5	2.4
	していない	12924	40	54	12602	228
		100.0	0.3	0.4	97.5	1.8
無回答	1216	11	6	1165	34	
	100.0	0.9	0.5	95.8	2.8	

47. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 d)児童扶養手当

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 d)児童扶養手当			
			現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
	全体	19899	2125	441	16971	362
		100.0	10.7	2.2	85.3	1.8
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	719	152	4777	111
		100.0	12.5	2.6	82.9	1.9
	していない	12924	1244	256	11207	217
		100.0	9.6	2.0	86.7	1.7
無回答	1216	162	33	987	34	
	100.0	13.3	2.7	81.2	2.8	

48. 【家族へのケア実施の有無別】支援の利用状況 e)ひとり親家庭支援センター

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 e)ひとり親家庭支援センター			
			現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
	全体	19899	211	188	19094	406
		100.0	1.1	0.9	96.0	2.0
問11a. 家族の世話をしているか	している	5759	84	66	5472	137
		100.0	1.5	1.1	95.0	2.4
	していない	12924	112	109	12470	233
		100.0	0.9	0.8	96.5	1.8
	無回答	1216	15	13	1152	36
		100.0	1.2	1.1	94.7	3.0

49. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 a)子育てに関する相談

		合計	問18. 頼れる人はいるか a)子育てに関する相談 1を選択							無回答
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	
	全体	19088	17348	13219	2890	5810	112	718	259	355
		100.0	90.9	69.3	15.1	30.4	0.6	3.8	1.4	1.9
神戸市困窮度基準	困窮度1	2059	1727	1311	173	514	21	132	46	47
		100.0	83.9	63.7	8.4	25.0	1.0	6.4	2.2	2.3
	困窮度2	6012	5478	4249	922	1927	44	231	87	80
		100.0	91.1	70.7	15.3	32.1	0.7	3.8	1.4	1.3
	中央値以上	9491	8888	6741	1632	3037	42	302	97	83
	100.0	93.6	71.0	17.2	32.0	0.4	3.2	1.0	0.9	
	無回答	1526	1255	918	163	332	5	53	29	145
		100.0	82.2	60.2	10.7	21.8	0.3	3.5	1.9	9.5

50. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 b)重要な事柄の相談

		合計	問18. 頼れる人はいるか b)重要な事柄の相談 1を選択							無回答
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	
	全体	18842	17730	6597	405	1404	30	283	162	479
		100.0	94.1	35.0	2.1	7.5	0.2	1.5	0.9	2.5
神戸市困窮度基準	困窮度1	1983	1726	762	30	150	8	71	39	70
		100.0	87.0	38.4	1.5	7.6	0.4	3.6	2.0	3.5
	困窮度2	5936	5628	2146	131	449	10	83	52	125
		100.0	94.8	36.2	2.2	7.6	0.2	1.4	0.9	2.1
	中央値以上	9434	9112	3263	232	722	8	99	51	127
	100.0	96.6	34.6	2.5	7.7	0.1	1.0	0.5	1.3	
	無回答	1489	1264	426	12	83	4	30	20	157
		100.0	84.9	28.6	0.8	5.6	0.3	2.0	1.3	10.5

51. 【困窮度別】保護者の頼れる相手 c) いざという時のお金の援助

		合計	問18. 頼れる人はいるか c) いざという時のお金の援助 1を選択							無回答
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	
	全体	14086	13742	298	22	95	14	205	84	141
		100.0	97.6	2.1	0.2	0.7	0.1	1.5	0.6	1.0
神戸市困窮度基準	困窮度1	1361	1244	76	5	18	9	101	22	22
		100.0	91.4	5.6	0.4	1.3	0.7	7.4	1.6	1.6
	困窮度2	4472	4370	110	7	28	2	46	29	46
		100.0	97.7	2.5	0.2	0.6	0.0	1.0	0.6	1.0
	中央値以上	7252	7181	93	10	36	2	37	26	46
		100.0	99.0	1.3	0.1	0.5	0.0	0.5	0.4	0.6
無回答	1001	947	19	0	13	1	21	7	27	
	100.0	94.6	1.9	0.0	1.3	0.1	2.1	0.7	2.7	

52. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 a) 子育てに関する相談

		合計	問18. 頼れる人はいるか a) 子育てに関する相談 1を選択							無回答
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	
	全体	19088	17348	13219	2890	5810	112	718	259	355
		100.0	90.9	69.3	15.1	30.4	0.6	3.8	1.4	1.9
世帯構成区分	二人親家庭	16715	15487	11740	2726	5066	94	563	200	242
		100.0	92.7	70.2	16.3	30.3	0.6	3.4	1.2	1.4
	母子家庭	1614	1295	1075	111	552	13	106	43	51
		100.0	80.2	66.6	6.9	34.2	0.8	6.6	2.7	3.2
	父子家庭	149	124	55	15	27	1	4	4	4
		100.0	83.2	36.9	10.1	18.7	0.7	2.7	2.7	2.7
その他	361	276	220	19	105	2	24	9	19	
	100.0	76.5	60.9	5.3	29.7	0.6	6.6	2.5	5.3	
無回答	249	166	129	19	60	2	21	3	39	
	100.0	66.7	51.8	7.6	24.7	0.8	8.4	1.2	15.7	

53. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 b) 重要な事柄の相談

		合計	問18. 頼れる人はいるか b) 重要な事柄の相談 1を選択							無回答
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	
	全体	18842	17730	6597	405	1404	30	283	162	479
		100.0	94.1	35.0	2.1	7.5	0.2	1.5	0.9	2.5
世帯構成区分	二人親家庭	16574	15882	5624	368	1136	22	197	115	339
		100.0	95.8	33.9	2.2	6.9	0.1	1.2	0.7	2.0
	母子家庭	1543	1301	714	27	179	6	53	34	70
		100.0	84.3	46.3	1.7	11.6	0.4	3.4	2.2	4.5
	父子家庭	137	114	42	3	17	1	2	2	5
		100.0	83.2	30.7	2.2	12.4	0.7	1.5	1.5	3.6
その他	348	270	140	3	51	1	19	9	19	
	100.0	77.6	40.2	0.9	14.7	0.3	5.5	2.6	5.5	
無回答	240	163	77	4	21	0	12	2	46	
	100.0	67.9	32.1	1.7	8.8	0.0	5.0	0.8	19.2	

54. 【世帯構成別】保護者の頼れる相手 c) いざという時のお金の援助

		合計	問18. 頼れる人はいるか c) いざという時のお金の援助 1を選択							
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
	全体	14086	13742	298	22	95	14	205	84	141
		100.0	97.6	2.1	0.2	0.7	0.1	1.5	0.6	1.0
世帯構成区分	二人親家庭	12536	12358	207	18	61	6	101	57	105
		100.0	98.6	1.7	0.1	0.5	0.0	0.8	0.5	0.8
	母子家庭	1065	952	62	1	13	5	74	18	25
		100.0	89.4	5.8	0.1	1.2	0.5	6.9	1.7	2.3
	父子家庭	102	93	12	1	7	0	1	2	0
		100.0	91.2	11.8	1.0	6.9	0.0	1.0	2.0	0.0
	その他	249	220	13	1	9	2	21	4	8
		100.0	88.4	5.2	0.4	3.6	0.8	8.4	1.6	3.2
無回答	134	119	4	1	5	1	8	3	3	
	100.0	88.8	3.0	0.7	3.7	0.7	6.0	2.2	2.2	

55. 【困窮度別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） a) 就学援助

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 a就学援助 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	15969	13273	111	27	70	305	2183
		100.0	83.1	0.7	0.2	0.4	1.9	13.7
神戸市困窮度基準	困窮度1	461	238	19	9	23	32	140
		100.0	51.6	4.1	2.0	5.0	6.9	30.4
	困窮度2	4866	3998	48	7	34	102	677
		100.0	82.2	1.0	0.1	0.7	2.1	13.9
	中央値以上	9388	8163	37	10	10	144	1024
		100.0	87.0	0.4	0.1	0.1	1.5	10.9
無回答	1254	874	7	1	3	27	342	
	100.0	69.7	0.6	0.1	0.2	2.2	27.3	

56. 【困窮度別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） b)生活保護

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 b)生活保護 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	19032	14948	173	14	61	490	3346
		100.0	78.5	0.9	0.1	0.3	2.6	17.6
神戸市困窮度基準	困窮度1	1785	912	80	9	42	127	615
		100.0	51.1	4.5	0.5	2.4	7.1	34.5
	困窮度2	6048	4701	58	1	12	153	1123
		100.0	77.7	1.0	0.0	0.2	2.5	18.6
	中央値以上	9705	8341	26	3	4	175	1156
		100.0	85.9	0.3	0.0	0.0	1.8	11.9
無回答	1494	994	9	1	3	35	452	
	100.0	66.5	0.6	0.1	0.2	2.3	30.3	

57. 【困窮度別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） c)くらし支援窓口

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 c)くらし支援窓口 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	19324	13241	578	513	215	1131	3646
		100.0	68.5	3.0	2.7	1.1	5.9	18.9
神戸市困窮度基準	困窮度1	1994	468	135	242	113	279	757
		100.0	23.5	6.8	12.1	5.7	14.0	38.0
	困窮度2	6096	4043	204	160	82	421	1186
		100.0	66.3	3.3	2.6	1.3	6.9	19.5
	中央値以上	9716	7852	207	76	14	359	1208
		100.0	80.8	2.1	0.8	0.1	3.7	12.4
無回答	1518	878	32	35	6	72	495	
	100.0	57.8	2.1	2.3	0.4	4.7	32.6	

58. 【困窮度別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） d) 児童扶養手当

		問23. 利用したことがある支援制度 d) 児童扶養手当 3を選択						
		合計	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	16971	13667	73	32	47	449	2703
		100.0	80.5	0.4	0.2	0.3	2.6	15.9
神戸市困窮度基準	困窮度1	913	457	15	10	25	72	334
		100.0	50.1	1.6	1.1	2.7	7.9	36.6
	困窮度2	5393	4251	31	15	17	162	917
		100.0	78.8	0.6	0.3	0.3	3.0	17.0
	中央値以上	9335	8052	23	7	3	176	1074
		100.0	86.3	0.2	0.1	0.0	1.9	11.5
無回答	1330	907	4	0	2	39	378	
	100.0	68.2	0.3	0.0	0.2	2.9	28.4	

59. 【困窮度別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） e) ひとり親家庭支援センター

		問23. 利用したことがある支援制度 e) ひとり親家庭支援センター 3を選択						
		合計	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	19094	13946	342	260	194	879	3473
		100.0	73.0	1.8	1.4	1.0	4.6	18.2
神戸市困窮度基準	困窮度1	1882	523	139	166	123	263	668
		100.0	27.8	7.4	8.8	6.5	14.0	35.5
	困窮度2	6032	4364	113	57	55	309	1134
		100.0	72.3	1.9	0.9	0.9	5.1	18.8
	中央値以上	9682	8134	67	21	9	253	1198
		100.0	84.0	0.7	0.2	0.1	2.6	12.4
無回答	1498	925	23	16	7	54	473	
	100.0	61.7	1.5	1.1	0.5	3.6	31.6	

60. 【世帯構成別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） a 就学援助

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 a就学援助 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ たから	利用はで きるが、 特に利用 したいと 思わな かったか ら	利用した いが、今 までこの 支援制度 を知らな かったか ら	利用した いが、手 続がわか らなかつ たり、利 用しにく いから	それ以外 の理由	無回答
	全体	15969	13273	111	27	70	305	2183
		100.0	83.1	0.7	0.2	0.4	1.9	13.7
世帯構成区分	二人親家庭	15131	12796	93	20	49	258	1915
		100.0	84.6	0.6	0.1	0.3	1.7	12.7
	母子家庭	412	238	13	4	10	26	121
		100.0	57.8	3.2	1.0	2.4	6.3	29.4
	父子家庭	123	81	2	3	6	1	30
		100.0	65.9	1.6	2.4	4.9	0.8	24.4
	その他	137	80	1	0	4	10	42
100.0		58.4	0.7	0.0	2.9	7.3	30.7	
無回答	166	78	2	0	1	10	75	
	100.0	47.0	1.2	0.0	0.6	6.0	45.2	

61. 【世帯構成別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） b 生活保護

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 b生活保護 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ たから	利用はで きるが、 特に利用 したいと 思わな かったか ら	利用した いが、今 までこの 支援制度 を知らな かったか ら	利用した いが、手 続がわか らなかつ たり、利 用しにく いから	それ以外 の理由	無回答
	全体	19032	14948	173	14	61	490	3346
		100.0	78.5	0.9	0.1	0.3	2.6	17.6
世帯構成区分	二人親家庭	16891	13758	95	8	28	347	2655
		100.0	81.5	0.6	0.0	0.2	2.1	15.7
	母子家庭	1417	800	57	3	25	103	429
		100.0	56.5	4.0	0.2	1.8	7.3	30.3
	父子家庭	164	108	5	3	1	4	43
		100.0	65.9	3.0	1.8	0.6	2.4	26.2
	その他	333	183	12	0	5	24	109
100.0		55.0	3.6	0.0	1.5	7.2	32.7	
無回答	227	99	4	0	2	12	110	
	100.0	43.6	1.8	0.0	0.9	5.3	48.5	

62. 【世帯構成別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） c くらしの支援窓口

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 cくらし支援窓口 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	19324	13241	578	513	215	1131	3646
		100.0	68.5	3.0	2.7	1.1	5.9	18.9
世帯構成区分	二人親家庭	16962	12617	396	260	106	786	2797
		100.0	74.4	2.3	1.5	0.6	4.6	16.5
	母子家庭	1598	362	137	195	91	266	547
		100.0	22.7	8.6	12.2	5.7	16.6	34.2
	父子家庭	166	82	7	9	2	16	50
		100.0	49.4	4.2	5.4	1.2	9.6	30.1
	その他	361	98	28	40	13	48	134
100.0		27.1	7.8	11.1	3.6	13.3	37.1	
無回答	237	82	10	9	3	15	118	
	100.0	34.6	4.2	3.8	1.3	6.3	49.8	

63. 【世帯構成別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） d 児童扶養手当

		合計	問23. 利用したことがある支援制度 d児童扶養手当 3を選択					
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	16971	13667	73	32	47	449	2703
		100.0	80.5	0.4	0.2	0.3	2.6	15.9
世帯構成区分	二人親家庭	16150	13198	62	30	25	383	2452
		100.0	81.7	0.4	0.2	0.2	2.4	15.2
	母子家庭	395	242	5	0	13	33	102
		100.0	61.3	1.3	0.0	3.3	8.4	25.8
	父子家庭	118	81	3	2	1	6	25
		100.0	68.6	2.5	1.7	0.8	5.1	21.2
	その他	142	74	2	0	7	17	42
100.0		52.1	1.4	0.0	4.9	12.0	29.6	
無回答	166	72	1	0	1	10	82	
	100.0	43.4	0.6	0.0	0.6	6.0	49.4	

64. 【世帯構成別】問 23. 支援の利用状況（利用したことがない理由） e ひとり親家庭支援センター

		問23. 利用したことがある支援制度 eひとり親家庭支援センター 3を選択						
		合計	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ たから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
	全体	19094	13946	342	260	194	879	3473
		100.0	73.0	1.8	1.4	1.0	4.6	18.2
世帯構成区分	二人親家庭	16951	13477	84	26	23	561	2780
		100.0	79.5	0.5	0.2	0.1	3.3	16.4
	母子家庭	1435	240	201	188	131	244	431
		100.0	16.7	14.0	13.1	9.1	17.0	30.0
	父子家庭	154	64	10	14	8	14	44
		100.0	41.6	6.5	9.1	5.2	9.1	28.6
	その他	329	87	33	29	27	45	108
		100.0	26.4	10.0	8.8	8.2	13.7	32.8
無回答	225	78	14	3	5	15	110	
	100.0	34.7	6.2	1.3	2.2	6.7	48.9	

4.3. 調査票

神戸市 子どもの生活状況に関する実態調査 小学生・中学生向け調査票

- ◆この調査は、神戸市の子どもたちの生活状況などを調べるためのアンケートです。
- ◆この調査の回答は、あなたが自分で書いてください。おうちの方や学校の先生に見せる必要はありません。
- ◆名前は、書かないでください。
- ◆答えたくない質問は、とばして次に進んでください。
- ◆この調査では、まちがった答えや正しい答えはありません。あなたの気持ちや考えに近いものを選んでください。
- ◆書き終わったら自分で「子ども用」の封筒に入れて、のりなどでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、学校に提出してください。
- ◆右上の5桁の数字はデータ整理のために使用するものであり、個人を特定するものではありません。
- ◆神戸市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

◆提出期限：令和3年9月17日（金）

<この調査のお問合せ先>

- ◆調査についてのお問合せは、以下までお願いいたします。

神戸市総合コールセンター（年中無休 8:00～21:00）

電話：0570-083330 または 078-333-3330

ホームページ：以下のページもしくは二次元コードをご覧ください。



<https://www.city.kobe.lg.jp/a57667/shise/kekaku/kodomokatekyoku/kodomotyousa2021.html>

質問の回答方法

- ◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたはどの選択肢にあてはまりますか。

① 小学生・中学生	③ 大学生
② 高校生	④ その他

※答えはあてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしただけでください。

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 男	3 その他
2 女	4 答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題も含まれます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 自分で勉強する	6 家の人に教えてもらう
2 塾で勉強する	7 友達と勉強する
3 学校の補習を受ける	8 その他
4 家庭教師に教えてもらう	9 学校の授業以外で勉強はしない
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	2時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 上のほう	4 やや下のほう
2 やや上のほう	5 下のほう
3 まん中あたり	6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつもわかる⇒問7へ	4 わからないことが多い⇒問6へ
2 だいたいわかる⇒問7へ	5 ほとんどわからない⇒問6へ
3 教科によってはわからないことがある⇒問6へ	

問6 問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きます。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

a. 小5の方のみ答えてください。

1 1・2年生のころ	3 4年生のころ
2 3年生のころ	4 5年生になってから

b. 中2の方のみ答えてください。

1 小学1・2年生のころ	4 中学1年生のころ
2 小学3・4年生のころ	5 中学2年生になってから
3 小学5・6年生のころ	

問7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

1 中学(中等部)まで⇒問8へ	4 大学またはそれ以上⇒問8へ
2 高校(高等部)まで⇒問8へ	5 まだわからない⇒小5の方は問11へ、 中2の方は問9へ
3 短大・高専・専門学校まで⇒問8へ	

問8 問7の質問で1～4と答えた場合、その理由を答えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 希望する学校や職業があるから	6 家にお金がないと思うから
2 自分の成績から考えて	7 早く働く必要があるから
3 親がそう言っているから	8 その他
4 兄・姉がそうしているから	9 とくに理由はない
5 まわりの先輩や友達がそうしているから	

⇒小5の方は問11へ

⇒中2の方は問9へ

問9 中2の方のみ答えてください。あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 参加している⇒問11へ	2 参加していない⇒問10へ
---------------	----------------

問10 問9で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きます。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 入りたいクラブ・部活動がないから	4 家の事情(家族の世話・家事など)があるから
2 塾や習い事が忙しいから	5 一緒に入る友達がいないから
3 費用がかかるから	6 その他

問 11 家庭や家族についてお聞きします。

a. あなたは家族のお世話をしていますか。(ここで「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。)(あてはまるもの1つに○)

「1. している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1 している →</p> <p>2 していない⇒問 12 へ</p>	<p>① 母親</p> <p>② 父親</p> <p>③ 祖母</p> <p>④ 祖父</p> <p>⑤ きょうだい</p> <p>⑥ その他</p>
---------------------------------------	---

b. あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1 家事(食事の準備や掃除・洗濯)</p> <p>2 きょうだいの世話や保育所等への送迎など</p> <p>3 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)</p> <p>4 外出の付き添い(買い物、散歩など)</p> <p>5 通院の付き添い</p>	<p>6 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)</p> <p>7 見守り</p> <p>8 通訳(日本語や手話など)</p> <p>9 金銭管理</p> <p>10 薬の管理</p> <p>11 その他</p>
---	--

c. お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

<p>1 ほほ毎日</p> <p>2 週に3～5日</p> <p>3 週に1～2日</p>	<p>4 1か月に数日</p> <p>5 その他</p>
---	------------------------------

d. 平日にお世話はどれくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

<p>1 30分未満</p> <p>2 30分以上1時間未満</p> <p>3 1時間以上3時間未満</p> <p>4 3時間以上5時間未満</p>	<p>5 5時間以上7時間未満</p> <p>6 7時間以上</p> <p>7 その他</p>
--	---

問 12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5～6日	週3～4日	ほとんど食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

あと半分！がんばってね！

問 13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（あてはまるもの1つに○）

1 そうである	3 どちらかといえばそうではない
2 どちらかといえばそうである	4 そうではない

問 14 あなたは、学校に遅刻することがありますか。（あてはまるもの1つに○）

1 毎日	4 週に1回程度
2 週に4～5回	5 遅刻はしない
3 週に2～3回	

問 15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

（1～9については、あてはまるものすべてに○）

1 親	7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
2 きょうだい	8 その他の大人（児童館・児童保育施設・ユースステーションの人、塾・習いごとの先生）
3 祖父母・親せきなど	9 ネットで知り合った人
4 学校の先生	10 だれにも相談できない、相談したくない
5 学校の友達	
6 学校外の友達	

問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

0：まったく満足していない					10：十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 17 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。（1～13については、あてはまるものすべてに○）

1 ねむれない	8 よくかゆくなる
2 よく頭がいたくなる	9 不安な気持ちになる
3 歯がいたい	10 まわりが気になる
4 ものを見づらい	11 やる気が起きない
5 音が聞こえにくい	12 イライラする
6 よくおなかがいたくなる	13 その他
7 よくかぜをひく	14 とくに気になることはない

問 18 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いませんか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない			
		と思わない	あれば利用したい	今後利用したい	どうか分らない
a) (自分や友人の家以外で)放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育・放課後等デイサービスなど)	1	2	3	4	
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料が安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4	
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4	
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4	

問 19 問 18 で、1 つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1 友達が増えた	6 勉強がわかるようになった
2 気軽に話せる大人が増えた	7 勉強する時間が増えた
3 生活の中で楽しみなことが増えた	8 その他
4 ほっとできる時間が増えた	9 特に変化はない
5 栄養のある食事をとれることが増えた	

問 20 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(1～15 については、あてはまるものすべてに○)

1 本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	10 スマートフォン・タブレット機器 (通話等アプリ (ライン) やツイッター、フェイスブックなどできるもの)
2 マンガ・雑誌	11 化粧品・アクセサリ
3 こども部屋 (ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など)	12 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
4 インターネットにつながるパソコン	13 自分で選んだ服
5 運動用具 (ボール・ラケットなど)	14 キャラクターグッズ
6 ゲーム機	15 その他
7 自転車	16 あてはまるものはない
8 テレビ	
9 けいたい電話	

問 21 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまるものすべてに○）

1 自分の家	9 コンビニエンスストア
2 祖父母の家	10 ゲームセンター
3 ともだちの家	11 図書館や公民館など
4 塾	12 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）
5 習いごと	13 学童保育・放課後等デイサービスなど
6 学校（クラブ活動など）	14 その他
7 公園・広場	
8 スーパーやショッピングモール	

問 22 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。（1～7については、あてはまるものすべてに○）

1 おうちの大人の人（親・祖父母・親せきなど）	4 学校のともだち
2 きょうだい	5 クラブ活動の仲間
3 おうちの人以上の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	6 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
	7 その他の人
	8 ひとりである

問 23 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが日々困っていると感じていることは次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○。aは小5の方、bは中2の方が教えてください。）

a. 小5の方の質問	b. 中2の方の質問
1 家の大人の人（親・祖父母・親せきなど）が仕事にしている間の過ごし方	1 家の大人の人（親・祖父母・親せきなど）が仕事にしている間の過ごし方
2 自分の感情が不安定になること	2 自分の感情が不安定になること
3 友人関係	3 友人関係
4 昼ご飯などの食事の状況	4 昼ご飯などの食事の状況
5 体の発達状況	5 体の発達状況
6 性に関すること	6 性に関すること
7 生活のリズムの乱れ	7 生活のリズムの乱れ
8 家族とのコミュニケーション	8 家族とのコミュニケーション
9 学業（学校の授業の進み具合など）の遅れ	9 学業（学校の授業の進み具合など）の遅れ
10 将来の入試などの状況	10 将来の入試などの状況
11 その他	11 将来の進路の状況（志望校や職業について）
	12 その他

問 24 あなたのまわりの人との関係についてお聞きます。(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	るあてはま とても	るあてはま まああ	いも どちら えなと	らあてはま あまり	らあてはま まったく
a) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、家族との仲がぎくしゃくした	1	2	3	4	5
b) 新型コロナウイルスや外出を控えている影響で、自分の悩みや気持ちを、家族以外の人(友達や知り合いの大人の人)に伝えたり、相談したりする機会がなくなった	1	2	3	4	5
c) 家族は私の気持ちになって向き合ってくれる	1	2	3	4	5

問 25 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(a~r それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	うい つも そ	そと とき だ	とそ んな いこ
a) 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
b) とても良く眠れる	1	2	3
c) 泣きたいような気がする	1	2	3
d) 遊びに出かけるのが好きだ	1	2	3
e) 逃げ出したいような気がする	1	2	3
f) おなかが痛くなることがある	1	2	3
g) 元気いっぱいだ	1	2	3
h) 食事が楽しい	1	2	3
i) いじめられても自分で「やめて」と言える	1	2	3
j) 生きていても仕方がないと思う	1	2	3
k) やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
l) いつものように何をしてても楽しい	1	2	3
m) 家族と話すのが好きだ	1	2	3
n) こわい夢を見る	1	2	3
o) ひとりぼっちの気がする	1	2	3
p) 落ち込んでいてもすぐに元気になれる	1	2	3
q) とても悲しい気がする	1	2	3
r) とても退屈な気がする	1	2	3

以上です。ご協力ありがとうございました。

神戸市 子どもの生活状況に関する実態調査 保護者向け調査票

- ◆この調査は、神戸市の子どもたちの生活状況などを調べるためのアンケートです。
- ◆調査の対象は、小学5年生、中学2年生のお子さんと、その保護者です。小学5年生または中学2年生のお子さんについて回答してください。ご家庭に小学5年生、中学2年生のお子さんが両方いる場合は、お手数ですが、それぞれ回答し、提出してください。
- ◆この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- ◆ご記入いただいた調査票は、「保護者用」の封筒に入れ、他の人に見られないようにのりなどで封をして、お子さんに渡してください。
- ◆回答の内容は、調査の目的以外には使用しません。統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- ◆右上の5桁の数字はデータ整理のために使用するものであり、個人を特定するものではありません。
- ◆調査への協力は任意であり、ご協力いただけない場合に不利益が生じることはありません。回答したくない設問には、お答えいただく必要はありません。
- ◆神戸市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

◆提出期限：令和3年9月17日（金）

<この調査のお問合せ先>

- ◆調査についてのお問合せは、以下までお願いいたします。
神戸市総合コールセンター（年中無休 8:00～21:00）
電話：0570-083330 または 078-333-3330
ホームページ：以下のページもしくは二次元コードをご覧ください。



<https://www.city.kobe.lg.jp/a57667/shise/kekaku/kodomokatekyoku/kodomotyousa2021.html>

質問の回答方法

- ◆それぞれの質問について次のように答えてください。

（例）本調査票を持ち帰ったあなたのお子さんほどの選択肢にあてはまりますか。

5 小学生・中学生	7 大学生
6 高校生	8 その他

※答えはあてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしがってください。

「神戸市子どもの生活状況に関する実態調査」へのご協力について（ご依頼）とこの調査票の1枚目を読まれましたか。本調査に参加することを同意の上で、調査票の回答をするようにお願いします。

問1 あなたの年齢と性別を教えてください。

a 年齢

【 】歳

b 性別（あてはまるもの1つに○）

1 男	3 その他
2 女	4 答えたくない

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）※この調査で「お子さん」とは調査対象となる小学5年生/中学2年生のお子さんのことをいいます。以下同じ。

1 母親（継母を含む）	3 祖父母
2 父親（継父を含む）	4 その他

問3 あなたがお住まいの区を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 東灘区	2 灘区	3 中央区	4 兵庫区	5 北区
6 長田区	7 須磨区	8 垂水区	9 西区	

問4 お子さんと同居し、世帯を同一にしているご家族の人数（子どもを含む。）と子どもの人数を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。

a ご家族の人数 【 】人	b 子どもの人数 【 】人
--------------------	--------------------

問5 問4で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

1 母親	4 兄弟姉妹
2 父親	5 その他
3 祖父母	

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 結婚している（再婚や事実婚を含む） ⇒問8へ	4 未婚⇒問8へ
2 離婚⇒問7へ	5 わからない、いない⇒問8へ
3 死別⇒問8へ	

問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 取り決めをしており、養育費を受け取っている	3 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
2 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	4 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 日本語のみを使用している	3 日本語以外の言語を使うことが多い
2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多	

問9 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
中学(中学部)まで	1	1
高校(高等部)まで	2	2
短大・高専・専門学校(専攻科)まで	3	3
大学またはそれ以上	4	4
わからない	5	5
いない	6	6

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・白雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む)	5	5
わからない、いない	6	6

問 11 問 10 で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない主な理由を教えてください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問 12 お子さんが 0～2 歳の間と 3～5 歳の間に通っていた教育・保育施設などで主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 0～2 歳	b) 3～5 歳
幼稚園・認可保育所・認定こども園	1	1
その他の教育・保育などの施設（療育施設含む）	2	2
親・親族以外の個人	3	3
もっぱら親・親族が面倒を見ていた	4	4

問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまる	ば、どちらかといえ ない	どどちらかといえ ば、あてはまら	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 学校行事への参加 (授業参観や運動会など)	1	2	3	4
b) 子どもに関するボランティアなどへの参加 (PTA活動や保護者会、放課後学習支援など)	1	2	3	4

問 15 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 中学 (中予部) まで⇒問 16 へ	4 大学またはそれ以上⇒問 16 へ
2 高校 (高予部) まで⇒問 16 へ	5 まだわからない⇒問 17 へ
3 短大・高専・専門学校 (専攻科) まで⇒問 16 へ	

問 16 問 15 で 1～4 と答えた場合、その理由は何ですか。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんがそう希望しているから	4 家庭の経済的な状況から考えて
2 一般的な進路だと思うから	5 その他
3 お子さんの学力や状況から考えて	6 特に理由はない

問 17 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに○)

1 ほぼ毎日通っている	4 欠席は年間60日以上、1年未満である
2 欠席は年間30日未満である	5 欠席が1年以上続いている
3 欠席は年間30日以上、60日未満である	6 わからない

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄の相談	c) いざという時のお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○
1に○をつけた場合、

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 大変ゆとりがある	4 苦しい
2 ゆとりがある	5 大変苦しい
3 ふう	

問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

1 50万円未満	9 400～450万円未満
2 50～100万円未満	10 450～500万円未満
3 100～150万円未満	11 500～600万円未満
4 150～200万円未満	12 600～700万円未満
5 200～250万円未満	13 700～800万円未満
6 250～300万円未満	14 800～900万円未満
7 300～350万円未満	15 900～1000万円未満
8 350～400万円未満	16 1000万円以上

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の勤め先収入(定期収入、賞与等)、事業所得(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)、公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)、農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)、財産所得(預貯金利子、家賃収入等)、その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)を含みます。

問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～21のあてはまるものすべてに○）

1 食費を切りつめた	13 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2 電気・ガス・水道などが止められた	14 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った
3 医療機関を受診できなかった	15 家賃や住宅ローンの支払いが滞った
4 国民健康保険の支払いが滞った	16 趣味やレジャーの出費を減らした
5 国民年金の支払いが滞った	17 冷暖房の使用を控えた
6 金融機関などに借金をした	18 友人・知人との外食を控えた
7 クレジットカードの利用が停止になった	19 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した
8 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20 理髪店・美容院へ行く回数を減らした
9 新聞や雑誌を買うのを控えた	21 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10 スマートフォンへの切替・利用を断念した	22 どれもあてはまらない
11 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12 生活の見通しがたたなくて不安になった	

問 22 あなたの世帯では、経済的な理由で、おおむね1年の間で次のような経験をされたことはありますか。（1～14のあてはまるものすべてに○）

1 子どもを医療機関を受診させることができなかった	9 子どもを学習塾に通わせることができなかった
2 子どもの進路を変更した	10 子どもの誕生日を祝えなかった
3 子どものための本や絵本が買えなかった	11 子どもにお年玉をあげることができなかった
4 子どもにおこづかいを渡すことができなかった	12 子どもの学校行事に参加することができなかった
5 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	13 子ども会、地域の行事（祭りなど）活動に参加することができなかった
6 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14 家族旅行（テーマパークなど白帰りのおでかけをふくむ）ができなかった
7 子どもを習い事に通わせることができなかった	15 どれもあてはまらない
8 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	

問23 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）
 また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（①～⑤について、あてはまるもの1つに○）

	a 就学援助※1 しゅうがくえんじょ	b 生活保護※2 せいかつほご	c くらし支援窓□ しえんまどぐら	d 児童扶養手当※3 じどうふようてあて	e ひとり親家庭支援 センター おやかていしえん
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ 思うから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用 したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの 支援制度を知らなかったか から	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわか らなかったり、利用しにくい から	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

↓
 ①～⑤のあてはまるもの1つに○
 3に○をつけた場合、
 ①～⑤のあてはまるもの1つに○

(参考)

- ※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※3 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）

問 24 現在のあなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1 持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	4 民間の賃貸住宅
2 県営・市町村営の住宅	5 官舎・社宅
3 公社賃貸住宅	6 その他

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの仕事に変化はありましたか。

a. あなたの職場や職種が変わる、または仕事内容が変わるなどの変化はありましたか。(あなたにとってもっとも影響が大きかったものに○)

1 変化はなかった⇒問 26 へ	7 職種が変更になった
2 テレワークなど勤務場所が変わった	8 失業した(職場都合での失業)
3 時差通勤になった	9 退職した(自主退職)
4 勤務形態(パート等)が変更になった	10 別の職場へ転職した
5 勤務時間・日数が変更になった	11 その他
6 休業を命じられた	

b. 仕事の変化はあなたにとって負担になったと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 まったく負担に感じなかった	3 まあまあ負担に感じた
2 あまり負担に感じなかった	4 とても負担に感じた

問 26 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響であなたが利用した制度がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

<p>1 特別定額給付金（対象者1人につき10万円を給付）</p>	<p>12 国の学生支援緊急給付金</p>
<p>2 子育て世帯への臨時特別給付金</p>	<p>13 子どものための体験活動などへの支援</p>
<p>3 ひとり親世帯臨時特別給付金</p>	<p>14 修学旅行の中止や延期に伴うキャンセル料等への支援</p>
<p>4 個人向け緊急小口資金等の特例（緊急小口資金）</p>	<p>15 事業者向けの支援制度（持続化給付金）</p>
<p>5 国民年金保険料の免除・国民保険料の減免</p>	<p>16 事業者向けの支援制度（家賃支援給付金）</p>
<p>6 休業等対応助成金・休業等対応支援金</p>	<p>17 事業者向けの支援制度（雇用調整助成金の特例）</p>
<p>7 住居確保給付金（家賃）</p>	<p>18 自治体独自の個人向けの支援制度</p>
<p>8 企業主導型ベビーシッター利用者支援事業</p>	<p>19 自治体独自の事業者向けの支援制度</p>
<p>9 生活困窮者などへの相談窓口</p>	<p>20 その他</p>
<p>10 家計が急変した家庭の学生に対する支援（授業料減免等）</p>	<p>21 1～20のどの制度も利用していない</p>
<p>11 困窮学生に対する授業料免除等の支援（大学・高校・専門学校等の支援）</p>	

問 27 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 28 あなたとお子さんの健康状態はいかがですか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) あなた	b) お子さん
良い	1	1
まあ良い	2	2
普通	3	3
あまり良くない	4	4
良くない	5	5

問 29 ご家族の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

1 みんな健康である	5 障がいのある家族がいる(難病をのぞく)
2 通院している家族がいる	6 難病の指定を受けた家族がいる
3 入院している家族がいる	7 介護が必要な家族がいる
4 通院していないが体調が悪い家族がいる	8 その他

問 30 調査対象のお子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか(あてはまるもの 1 つに○) ※今後の子育て施策に活かしたいと考えているため、差し支えなければお答えください。

1 持っている	2 持っていない
---------	----------

質問は以上です。最後までご回答いただきありがとうございました。

神戸市

子どもの生活状況に関する実態調査

令和4年3月

大阪府立大学